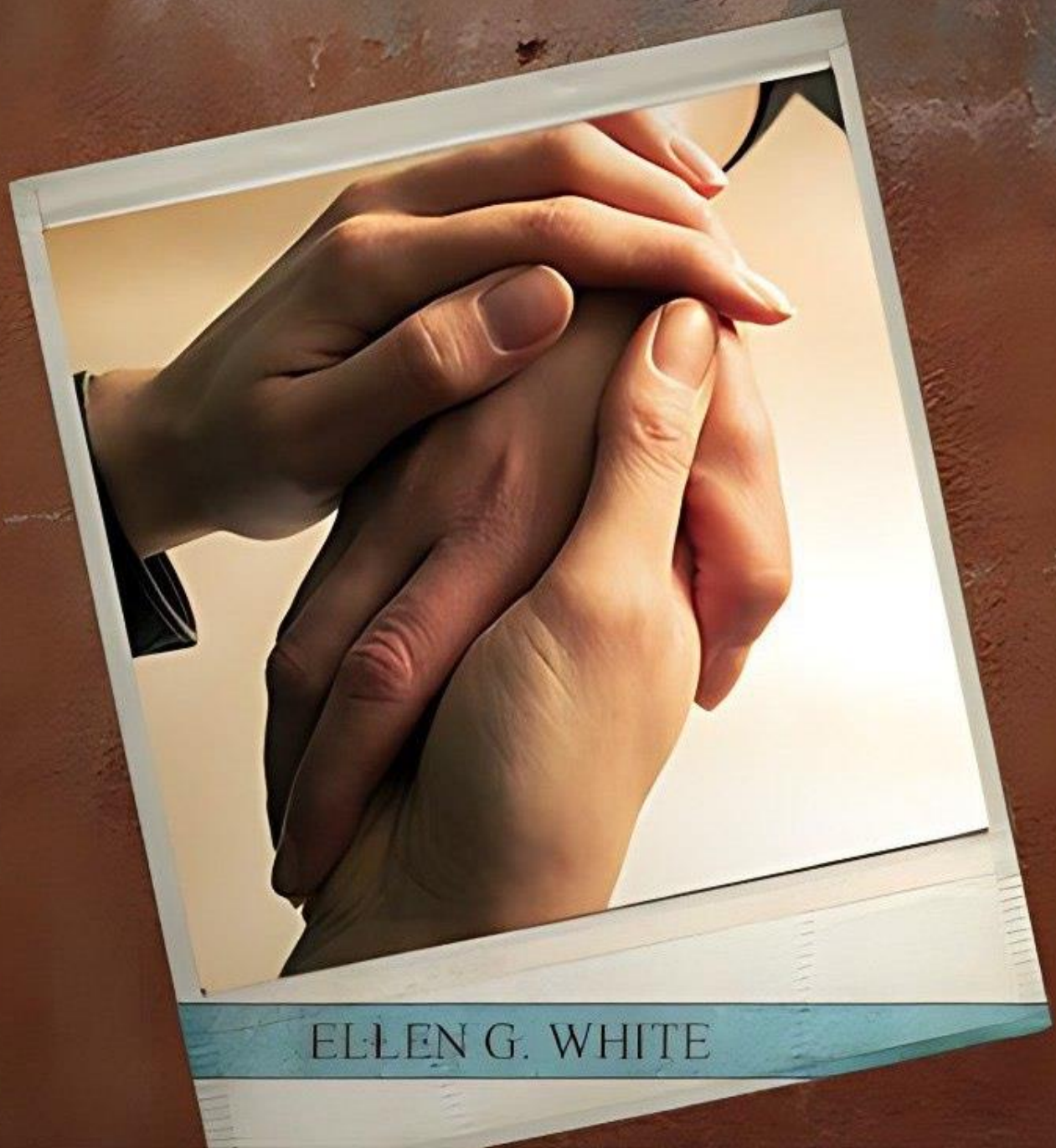


癒しのミニストーリー



ELLEN G. WHITE

癒しのミニストーリー

エレン・G・ホワイト

第1章-私たちの例.....	3
第2章 奉仕の日々.....	23
第3章 自然と神とともに.....	62
第4章 信仰の触れ合い.....	74
第5章 魂の癒し.....	106
第6章-奉仕するために救われる.....	147
第7章 神と人間の共働.....	179
第8章 医師、教育者.....	211
第9章 教えと癒し.....	240
第10章 誘惑に陥った人々を助ける.....	291
第11章 節制のない人々のために働く.....	314
第12章 失業者とホームレスへの支援.....	343
第13章-無力な貧者.....	383
第14章 富裕層への奉仕.....	402
第15章 病室で.....	421
第16章 病人のための祈り.....	431
第17章 救済策の使用.....	452
第18章 心の治癒.....	465
第19章 自然との触れ合い.....	510
第20章 一般的な衛生.....	526

第21章	イスラエル人の衛生習慣.....	537
第22章	ドレス	558
第23章	食事と健康.....	577
第24章	肉は食物である.....	609
第25章	極端な食生活.....	622
第26章	覚醒剤と麻薬.....	634
第27章	酒類の取引と禁酒法.....	657
第28章	内務省	681
第29章	家を建てる人々	694
第30章	家の選択と準備.....	710
第31章	母	723
第32章	子供	738
第33章	家庭の影響.....	757
第34章	真の教育、宣教師の訓練.....	771
第35章	神についての真の知識.....	801
第36章	推測的知識の危険性.....	843
第37章	教育における真実と虚偽.....	875
第38章	真の知識を求めることの重要性.....	904
第39章	神の言葉を通して得られる知識.....	922
第40章	日常生活の援助.....	944
第41章	他者との接触.....	976
第42章	開発とサービス.....	1012
第43章	より高い経験.....	1028

括弧内の元のページ番号（英語）：[#]

egwwritings.org

翻訳：

第1章-私たちの例

私たちの主イエス・キリストは、人類の必要に疲れることなく応える僕としてこの世に来られました。イエスは「私たちの弱さを負い、私たちの病を負い」、人類のあらゆる必要に応えようとされました。マタイ 8:17。イエスは病気と惨めさと罪の重荷を取り除くために来られました。イエスの使命は人々に完全な回復をもたらすことでした。イエスは人々に健康と平安と完全な人格を与えるために来られたのです。

彼に助けを乞う人々の状況や必要性は様々でしたが、彼のもとに来た者で助けを受けずに帰る者は一人もいませんでした

。彼からは癒しの力が流れ出てきて、人々の体と心と魂は癒されました。

救い主の働きは、時間や場所を限定されませんでした。主の慈悲には限界がありませんでした。主は、癒しと教えの働きを非常に大規模に行われたため、パレスチナには、主のもとに群がる群衆を収容できるほど大きな建物はありませんでした。ガリラヤの緑の丘陵斜面、交通路、海岸、会堂、その他、病人が主のもとに連れてこられるあらゆる場所に、主の病院がありました。主が通ったすべての都市、町、村で、主は苦しむ人々に手を置いて癒しました。主のメッセージを受け入れる心のある場所ではどこでも、主は天の父の愛を確信して彼らを慰めました。主は一日中、主のもとに来る人々に奉

仕し、夕方には、家族を養うために日中
わずかな収入を得るために苦勞している
人々に心を配りました。

イエスは人々の救いという重い責任を背
負われました。人類の原則と目的に決定
的な変化がなければ、すべてが失われる
ことをイエスは知っていました。これは
イエスの魂の重荷であり、イエスにのし
かかっている重荷を誰も理解できません
でした。幼少期、青年期、成人期を通し
てイエスは独りで歩まれました。しかし
、イエスの御前にいるのは天国のよう
でした。イエスは日々試練と誘惑に遭われ
、日々悪と接触し、イエスが祝福し救
おうとしていた人々に対する悪の力を目撃
されました。しかし、イエスは挫折した
り、落胆したりしませんでした。

イエスは、すべてのことにおいて、自分の願いを厳格に保留し、すべてを父の意志に従わせることで、自分の人生を栄光あるものにされました。若いころ、母親がラビの学校でイエスを見つけて、「子よ、なぜ私たちにこんなことをしたのですか」と言ったとき、イエスはこう答えました。「どうしてわたしを捜したのですか。わたしが父の務めを果たさなければならぬことを、知らなかったのですか」。ルカによる福音書 2:48, 49。

イエスの生涯は、常に自己犠牲の人生でした。イエスは、旅人として友人たちの親切によって支えられた以外に、この世に居場所はありませんでした。イエスは、私たちのために最も貧しい人々の生活を送り、困窮者や苦しむ人々の間を歩き

、働くために来られました。イエスは、認められることも、尊敬されることもなく、多くのことをしてあげた人々の間を行き来しました。

イエスはいつも忍耐強く、明るく、苦しむ人々はイエスを命と平和の使者として迎えました。イエスは男性、女性、子供、若者の必要を理解し、すべての人に「わたしのもとに来なさい」と招きました。

イエスは宣教活動中、説教よりも病人の癒しに多くの時間を費やしました。イエスの奇跡は、イエスが滅ぼすためにではなく救うために来たというイエスの言葉の真実さを証明しました。イエスが行く所はどこでも、イエスの慈悲のおとずれが先行しました。イエスが通った所では

、イエスの同情の対象となった人々は健康を喜び、新たに見いだした力を試していました。群衆は彼らの周りに集まり、主が成し遂げた業を彼らの口から聞こうとしていました。イエスの声は多くの人々にとって初めて聞いた音であり、イエスの名前は彼らが初めて話した言葉であり、イエスの顔は彼らが初めて見た顔でした。なぜ彼らはイエスを愛し、賛美の声を上げないのでしょうか。イエスが町や都市を通り過ぎたとき[20]、イエスは生命と喜びを広める活力の流れのようでした。

「ゼブルンの地、ナフタリの地、
海の向こう、ヨルダンの向こう
、諸国の民のガリラヤ、

暗闇の中に座していた民は、
大いなる光を見た。
死の地と陰に座していた者たちに、
光が湧き出た。」

マタイ4:15, 16

救い主は、癒しの業の一つ一つを、心と魂に神聖な原則を植え付ける機会とされました。これが主の業の目的でした。主は人々の心を導き、主の恵みの福音を受け入れられるように、地上の祝福を与えられました。

キリストはユダヤ民族の教師たちの中で最高の地位を占めていたかもしれないが、むしろ貧しい人々に福音を伝えることを好まれた。彼は道や小道にいる人々が真理の言葉を聞くことができるように、あちこちを巡回された。海辺、山腹、町

の通り、[21]会堂で、聖書を説明する彼の声が聞こえた。彼はしばしば神殿の外庭で教え、異邦人が彼の言葉を聞くことができるようにした。

キリストの教えは、律法学者やパリサイ人による聖書の説明とは全く異なっていたため、人々の注意は引きつけられました。ラビたちは伝統、人間の理論や推測にこだわっていました。聖書そのものの代わりに、人々が聖書について教えたり書いたりしたものがしばしば使われました。キリストの教えの主題は神の言葉でした。彼は質問者に対して、「こう書いてあります」「聖書には何と書いてありますか」「あなたはどう読みますか」とはっきり答えました。友人であれ敵であれ、人々の興味が喚起されるあらゆる機

会に、彼は御言葉を示されました。彼は明快さと力強さをもって福音のメッセージを宣べ伝えました。彼の言葉は族長や預言者の教えに洪水のような光を当て、聖書は人々に新たな啓示としてもたらされました。彼の話聞いた人々 [22]は、神の言葉にこれほど深い意味を感じたことはかつてありませんでした。

キリストほどの伝道者はかつていませんでした。キリストは天の威厳を放っていましたが、謙虚になって人間の性質を身にまとい、人々がいる場所で人々に会えるようにされました。金持ちにも貧乏人にも、自由人にも奴隷にも、すべての人々に、契約の使者であるキリストは救いの知らせをもたらしました。偉大な治癒者としてのキリストの名声はパレスチナ

中に広まりました。病人はキリストが通る場所にやって来て、助けを求めました。また、多くの人々が、キリストの言葉を聞き、キリストの手に触れてもらいたいと切望してやって来ました。このように、キリストは都市から都市へ、町から町へと巡り、福音を説き、病人を癒しました。人間の卑しい装いをした栄光の王です。

イエスは国の毎年の大きな祭りに出席し、外面的な儀式に熱中している群衆に天の事柄について語り、永遠を彼らの視野に入れました。イエスはすべての人々に知恵の倉庫から宝物をもたらされました。イエスは彼らが理解できないはずがないほど簡単な言葉で彼らに語りました。イエスは独自の方法で、悲しみと苦悩に

あるすべての人々を助けました。優しく丁寧な恩寵で、罪に苦しむ魂に仕え、癒しと強さをもたらしました。

教師の王であるイエスは、人々の最も身近な交わりの道を通して人々と接しようとしていました。イエスが真理を説いたとき、それは聞き手にとって、その後ずっと最も神聖な思い出と[24]共感と結びついていました。イエスは、聞き手がイエスと完全に一体化していることを感じるような方法で教えました。イエスの教えは直接的で、例え話は適切で、言葉は共感的で快活だったので、聞き手は魅了されました。イエスが困っている人々に語りかけるときの簡潔さと真摯さは、すべての言葉を神聖なものにしました。

イエスはなんと忙しい人生を送ったのでしょう。日々、イエスは貧困と悲しみに暮れる貧しい人々の家を訪れ、落ち込んでいる人々に希望を、苦しんでいる人々に平安を語っておられたことでしょう。慈悲深く、優しく、哀れみ深いイエスは、屈服した人々を励まし、苦しんでいる人々を慰めながら歩き回られました。どこへ行っても、イエスは祝福を運んでおられました。

イエスは貧しい人々に奉仕する一方で、富裕層に近づく方法も模索されました。裕福で教養のあるパリサイ人、ユダヤの貴族、ローマの支配者と知り合いになろうと努めました。彼らの招待を受け入れ、彼らの宴会に出席し、彼らの興味や職業に精通しました。 [25]それは、彼らの

心に入り込み、彼らに不滅の富を明らかにするためでした。

キリストは、天から力を受けることで、人間が汚れのない人生を送れることを示すためにこの世に来られました。イエスは、疲れを知らない忍耐と思いやりのある援助で、人々の困窮に対処されました。イエスは、優しい恵みのタッチで人々の魂から不安と疑いを消し去り、敵意を愛に、不信を自信に変えられました。

イエスは望む人に「わたしに従いなさい」と告げることができ、告げられた人は立ち上がりイエスに従いました。世の魔法の呪文は解けました。イエスの声を聞くと貪欲と野心の精神は心から消え去り、人々は解放されて立ち上がり、救い主に従いました。

兄弟愛

キリストは国籍や身分や信条の区別を認めませんでした。律法学者やパリサイ人は、天からの賜物を地域や国家の利益に利用し、この世の神の家族の残りを排除しようとしていました。しかし、キリストはあらゆる隔壁を打ち破るために来られました。キリストは、慈悲と愛の賜物が、空気や光、あるいは大地を潤す雨のように制限されないことを示すために来られたのです。

キリストの生涯は、カーストのない宗教、ユダヤ人と非ユダヤ人、自由人と奴隷が共通の兄弟として神の前で平等に結びつく宗教を確立しました。政策の問題は彼の行動に影響を与えませんでした。彼は隣人と見知らぬ人、友人と敵を区別し

ませんでした。彼の心に訴えたのは、命の水に渴望する魂でした。

イエスは、どんな人間も価値のない人間として見過ごすことはなく、すべての魂に癒しの薬を施そうと努めた。どのような仲間と出会っても、イエスは時と状況にふさわしい教訓を与えた。人々が同胞に対して示すあらゆる無視や侮辱は、イエスが、神と人間としての同情を彼らが必要としていることを一層意識させるだけだった。イエスは、最も荒々しく、最も見込みのない人々にも希望を与えようと努め、彼らが罪のない、害のない者となり、神の子として現れるような品性を獲得できるという保証を与えた。

イエスは、サタンの支配下に漂い、その罠から逃れる力のない人々にしばしば会

われました。そのような人、落胆した人、病気の人、誘惑された人、墮落した人に対して、イエスは最も優しい憐れみの言葉、必要な、理解できる言葉を語りました。また、魂の敵と肉弾戦を戦っている人々にも会われました。イエスはこれらの人々に忍耐するよう励まし、彼らが勝つと保証しました。なぜなら、神の天使たちが彼らの味方であり、彼らに勝利を与えるからです。

イエスは、徴税人たちの食卓に名誉ある客として着席し、その同情と社交的な親切さによって、人類の尊厳を認めていることを示しました。そして人々はイエスの信頼にふさわしい者になりたいと切望しました。イエスの言葉は、祝福された、命を与える力をもって、人々の渴いた

心に響きました。新たな衝動が目覚め、社会から追放された人々に新しい人生の可能性が開かれました。

イエスはユダヤ人であったが、サマリア人と自由に交わり、同国のパリサイ人の習慣を無視した。彼らの偏見を前にして、イエスはこの軽蔑された人々の歓待を受け入れた。イエスは彼らと一緒に屋根の下で眠り、彼らの食卓で共に食事をし、彼らの手で用意され、運ばれた食物を分け合い、彼らの通りで教え、最大限の親切と礼儀をもって彼らに接した。そしてイエスは人間的な同情の絆で彼らの心を自分に引き寄せ、神の恵みはユダヤ人が拒絶した救いを彼らにもたらした。 [27]

個人的な奉仕

キリストは救いの福音を宣べ伝える機会を決して逃しませんでした。サマリアのあの女に語ったすばらしい言葉に耳を傾けてください。イエスがヤコブの井戸のそばに座っていたとき、その女は水をくみに来ました。驚いたことに、イエスは彼女にお願いをしました。「水を飲ませてください」とイエスは言いました。イエスは冷たい水が欲しかっただけでなく、彼女に命の水を与える道を開きたいとも思っていました。女は言いました。「[28]あなたはユダヤ人なのに、どうしてサマリアの女の私に水を飲ませてほしいのですか。ユダヤ人はサマリア人と交渉を持たないのです。」イエスは答えました。「もしあなたが神の賜物のことを、また、『水を飲ませてください』と言っ

た者がだれであるか知っていたなら、あなたはその人に願い求め、その人はあなたに生ける水を与えたであろう。・・・この水を飲む者はだれでもまた渴く。しかし、わたしが与える水を飲む者は、いつまでも渴くことがない。しかし、わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠の命に至る水がわきあがるであろう。」ヨハネ4:7-14。

キリストはこの一人の女性にどれほどの関心を示したことか！ キリストの言葉はなんと真剣で雄弁だったことか！ それを耳にした女性は、水がめを置いて町に行き、友人たちに言った。「さあ、見に来てください。わたしのしたことをすべて言い当てた人がいます。この人がキリストではないでしょうか。」 29、39節には

、「その町のサマリア人の多くがイエスを信じた」と書かれています。そして、その後の年月で、これらの言葉が魂の救いにどれほどの影響を与えたかを、だれが推測できるでしょうか。

心が開かれて真理を受け入れられるところならどこでも、キリストは彼らを教える用意ができています。キリストは彼らに父なる神と、心を読む神に受け入れられる奉仕を明らかにされます。そのような人々に対しては、キリストはたとえ話をされません。井戸のそばの女に言われたように、キリストは彼らにこう言われます。「あなたに話している私がそれです。」 [29]

第2章 奉仕の日々

カペナウムの漁師の家で、ペテロの妻の母親が「高熱」で横たわっており、「人々は彼女のことをイエスに告げた」。イエスが「彼女の手に触れると、熱は引き」、彼女は起き上がって救い主と弟子たちに仕えた。ルカ 4:38、マルコ 1:30、マタイ 8:15。

知らせは急速に広まりました。奇跡は安息日に起こったため、人々はラビを恐れて日が沈むまで治療に来る勇気がありませんでした。それから、家や店、市場から、町の住民がイエスをかくまっている質素な住居に押し寄せました。病人は担架に乗せられ、杖に寄りかかって運ばれ、あるいは友人に支えられ、弱々しくよ

ろめきながら救世主の御前にやって来ました。

彼らは何時間も来ては去っていった。明日も癒し主が彼らの中にいるかどうかは誰にもわからないからだ。カペナウムがこのような日を経験したことはかつてなかった。空気は勝利の声と解放の叫びで満たされた。

最後の苦しみから解放されるまで、イエスは働きを止めなかった。群衆[30]が去り、シモンの家に静寂が訪れたのは夜も更けた頃だった。長くて興奮した一日が過ぎ、イエスは休息を求めた。しかし、町が眠りに包まれている間に、救い主は「夜明け前に起きて」寂しい所へ行き、「そこで祈った」。マルコ1:35。

朝早く、ペテロとその仲間たちがイエスのもとに来て、カペナウムの人々がすでにイエスを捜していると言った。 [31]彼らは驚きながら、キリストの言葉を聞いた。「わたしはほかの町々にも神の国を宣べ伝えなければなりません。わたしはそのためにつかわされたのです。」ルカ4:43。

当時カペナウムに広がった興奮の中で、イエスの使命の目的が見失われる危険がありました。イエスは、単に奇跡を行う人、あるいは身体の病気を治す人として注目を集めるだけでは満足しませんでした。イエスは人々を救世主として引き寄せようとしていました。人々はイエスが地上の統治を確立するために王として来たと信じたがっていましたが、イエスは

人々の心を地上から霊的なものへと向けたいと望んでいました。単なる世俗的な成功はイエスの働きの妨げになるからです。

そして、無頓着な群衆の驚きは、イエスの精神に衝撃を与えた。イエスの人生には自己主張はなかった。地位、富、才能に対する世間の敬意は、人の子にとって無縁のものだった。イエスは、人々が忠誠を勝ち取ったり、敬意を強要したりするために用いる手段を一切用いなかった。イエスの誕生の数世紀前に、イエスについて預言されていた。「彼は叫ばず、声を上げず、街路に声を聞かせない。傷んだ葦を折らず、かすかに燃える亜麻を消すことなく、真実に正義をもたらす。」イザヤ書 42:2, 3、欄外。

パリサイ人は、その厳格な儀式主義と、礼拝や慈善活動の誇示によって、際立った存在になろうとしました。彼らは、宗教を議論のテーマにすることで、宗教に対する熱意を示しました。対立する宗派間の論争は、騒々しく長く続き、街中で、学識のある法律学者たちの激しい論争の声を聞くことも珍しくありませんでした。

これらすべてと著しく対照的だったのが、イエスの生涯でした。その生涯において、騒々しい論争、派手な礼拝、拍手喝采を浴びるための行為は一度も見られませんでした。キリストは神の中に隠され、神は御子の性格において明らかにされました。イエスは人々の心がこの啓示に向けられることを望みました。

正義の太陽は、その栄光で人々の感覚を眩ませるために、輝きを放って世界に現れたのではありません。キリストについて、「彼の出で立ちは、朝のように整えられている」と書かれています。ホセア書6:3。静かに穏やかに日光が地上に差し込み、暗闇を払い、世界を目覚めさせます。正義の太陽も「その翼に癒しを携えて」昇りました。マラキ書4:2。 [33]

「わたしが支えるわたしの僕、
わたしの魂が喜ぶわたしの選びの者を見よ。」

イザヤ書 42:1。

「あなたは貧しい者の力、
苦難のときの困窮者の力、

嵐からの避難所、暑さからの影でした。
」

イザヤ 25:4。

「主なる神はこう言われる。
天を創造し、これを広げ、
地と、そこから出る物とを広げ、
その上の民に息を与え、その
上を歩く者に霊を与える。
主なるわたしは正義をもってあなたを呼び、
あなたの手を握り、
あなたを守り、あなたを民の契約とし、
諸国民の光とする。
わたしは、盲人の目を開き、
囚人を獄から引き出し、
暗やみに座する者を獄屋から連れ出す。
」

イザヤ書42:5-7。

「わたしは、盲人を彼らの知らなかった道に導き、
彼らの知らなかった道筋に導く。
わたしは彼らの前に暗黒を光とし、
曲がったものをまっすぐにする。
わたしはこれらのことを彼らに行い、彼らを見捨てない。」

16節。

海に下って行く者、海に住む者、
島々とその住民よ、
新しい歌を主に歌い、
地の果てから主を讃えよ。荒野とその町々、
ケダルに住む村々よ、
声をあげよ。
岩山に住む者よ、歌い、

山々の頂から叫べ。
主に栄光をささげ、
島々で主の賛美を告げよ。」

10-12節。

「天よ、歌え。主がこれをなされたからだ。

地の底よ、叫べ。山々よ、
森よ、その中にあるすべての木よ、
声をあげて歌え。

主がヤコブを贖い、
イスラエルで栄光を与えられたからだ。
」

イザヤ44:23。 [34]

洗礼者ヨハネは、救世主の働きに関して
失望と困惑を抱きながらヘロデの地下牢
で見守り、待ち構えていたが、そこから

二人の弟子をイエスのもとに遣わして、次のようなメッセージを授けた。

「あなたは来るべき方ですか。それとも、ほかの人を待つべきでしょうか。」マタイ11:3。

救世主は弟子たちの質問にすぐには答えなかった。弟子たちが主の沈黙に驚いて立っていると、苦しんでいる人々が主のもとにやって来た。偉大な癒し主の声が耳の聞こえない耳に届いた。主の言葉、主の手が触れると、盲人の目が開き、日の光、自然の風景、友人の顔、そして救世主の顔が見えるようになった。主の声は死にゆく人々の耳に届き、彼らは健康で力強く目覚めた。麻痺した悪霊にとりつかれた人々は主の言葉に従い、狂気が去り、主を崇拜した。ラビたちから不浄

として避けられていた貧しい農民や労働者たちが主の周りに集まり、 [35]主は彼らに永遠の命の言葉を語った。

こうして日が暮れ、ヨハネの弟子たちはすべてを見て聞いていた。ついにイエスは彼らを呼び寄せ、見聞きしたことをヨハネに伝えに行くように命じ、こう付け加えた。「わたしにつまずかない人は幸いである。」 6節。弟子たちはそのメッセージを受け入れ、それで十分だった。ヨハネはメシアに関する預言を思い出しました。「エホバはわたしに油を注いで、柔和な者に福音を宣べ伝えさせ、わたしを遣わして、心の傷ついた者を癒し、捕らわれ人に解放を、縛られている者に解放を告げ、エホバの恵みの年を告げ、…悲しむ者すべてを慰めさせられた。」

イザヤ書61:1, 2, ARV ナザレのイエスは約束された方でした。イエスの神性の証拠は、苦しむ人類の必要を満たす奉仕に見られました。イエスの栄光は、私たちの卑しい身分に対するイエスの謙遜に示されました。 [36]

キリストの働きは、彼が救世主であることを宣言しただけでなく、彼の王国がどのような方法で確立されるかを示しました。ヨハネには、荒野でエリヤに示されたのと同じ真理が明らかにされました。

「主の前で、大きな強い風が山々を裂き、岩を砕いた。しかし、主は風の中におられなかった。風後に地震が起こった。しかし、地震の中にも主はおられなかった。地震後に火が起こった。しかし、火の中にも主はおられなかった。」そ

して火の後、神は静かな細い声で預言者に語られました。列王記上19:11, 12。したがって、イエスは、王位や王国をひっくり返すことによってではなく、華やかさや外見的な見せかけによってではなく、慈悲と自己犠牲の生活によって人々の心に語りかけることによって、その働きを行うはずでした。

神の王国は外見上現れるものではありません。神の言葉の靈感の優しさ、神の霊の内なる働き、魂の命である神との交わりを通してやって来ます。その力の最大の顕現は、キリストの品性の完成に至った人間性の中に見られます。

キリストの信者は世の光となるべきですが、神は彼らに輝こうと努力するよう命じてはおられません。神は、優れた善良

さを見せようとする自己満足的な努力を認めません。神は、彼らの魂が天国の原理で満たされることを望んでおられます。そうすれば、彼らは世と接触したときに、彼らの中にある光を明らかにするでしょう。人生のあらゆる行為における彼らの揺るぎない忠誠心は、光明となるでしょう。

富や高い地位、高価な設備、建築物や家具は、神の仕事の発展に不可欠なものではありません。また、人々から賞賛され、虚栄心を満足させる業績も、不可欠なものではありません。世俗的な見せかけは、どれほど堂々としていても、[37]神の目には価値がありません。神は、目に見える一時的なものよりも、目に見えない永遠のものを重んじます。前者は、後

者を表現するときのみ価値があります。芸術の最高の作品でさえ、聖霊が魂に働いた結果である人格の美しさに匹敵する美しさはありません。

神は御子をこの世に与えて、人類に不滅の富を授けました。その富に比べれば、世が始まって以来の人類の宝物は無に等しいものです。キリストは永遠の愛を蓄えて地上に来られ、人々の前に立ちました。そして、これこそが、キリストとのつながりを通して私たちが受け取り、明らかにし、伝えるべき宝なのです。

人間の努力は、働く人の献身的な献身に応じて、人生を変えるキリストの恵みの力を明らかにすることによって、神の働きにおいて効果的になります。神が私たちに印を押してくださり、神が私たちの

中にご自身の愛の特質を現してくださっているのです、私たちは世界から区別されることになります。私たちの救い主は、私たちをその正義で覆ってくださいます。

神は、ご自分の奉仕のために男女を選ぶ際に、彼らが世俗的な富や学識や雄弁さを持っているかどうかは問いません。神はこう尋ねます。「彼らはわたしの道を教えることができるほど謙虚に歩んでいるか。わたしの言葉を彼らの口にすることができるか。彼らはわたしを代表するか。」

神は、御霊を魂の神殿に注ぐことができるのに応じて、すべての人をお使いになることができます。神が受け入れる仕事は、神のイメージを反映する仕事です。

神に従う者は、神の不滅の原理の消えることのない特徴を、世界に対する資格として担う必要があります。 [38]

「彼はその腕で子羊を集めるであろう」
イエスが町の通りで説教をなさる時、病
気や死に瀕した幼い子供を腕に抱いた母
親たちが群衆を押し分けて、イエスの目
に留まるよう努めます。

顔色が悪く、疲れ果て、絶望しそうにな
りながらも、決意を固めて忍耐強く頑張
っている母親たちを見てください。苦し
みの重荷を背負い、彼女たちは救い主を
求めています。押し寄せる群衆に押し戻
されるなか、キリストは一步ずつ彼女た
ちのもとへ進み、ついには彼女たちのす
ぐそばまで来られます。彼女たちの心
には希望が湧き上がります。キリストの注

意を引き、憐れみと愛があふれる瞳を見つめると、彼女たちは喜びの涙を流します。

救い主は、その集団の中の一人を指名し、彼女に「何をしてあげましょうか」と言って、自信を与えようとしています。彼女は泣きながら、自分の大きな願いを言います。「主よ、どうか私の子を癒してください」。キリストがその子を彼女の腕から引き離すと、その触れただけで病気は消え去ります。死の蒼白は消え、命を与える電流[39]が静脈を流れ、筋肉は力を取り戻します。慰めと平和の言葉が母親にかけられます。そして、同じように緊急の別の症例が提示されます。再びキリストは命を与える力を行使し、すべて

の人々は、素晴らしいことをなさる彼に
賛美と敬意を表します。

わたしたちはキリストの生涯の偉大さについてよく語ります。キリストが成し遂げたすばらしいこと、キリストが行った奇跡[40]について語ります。しかし、キリストが小さなことに気を配ったことは、キリストの偉大さのさらに大きな証拠です。

ユダヤ人の中では、子供たちをラビのもとに連れて行き、ラビが祝福のために手を置いてもらうのが習慣でした。しかし、弟子たちは救い主の働きはこのように邪魔されるにはあまりにも重要だと考えました。母親たちが子供たちを祝福して欲しいと頼みに来たとき、弟子たちは彼らを嫌悪の目で見ました。彼らは、これ

らの子供たちはイエスを訪問しても恩恵を受けるには幼すぎると考え、彼らがいるとイエスは不快に思われるだろうと結論しました。[41]しかし、救い主は、神の言葉に従って子供たちを訓練しようとしている母親たちの心配と重荷を理解していました。彼は彼らの祈りを聞いていました。彼自身が彼らを彼の前に引き寄せたのです。

ある母親が子供を連れて家を出て、イエス様を探しました。途中で彼女は隣人に用事を告げました。隣人はイエス様に子供たちを祝福してもらいたいと言いました。こうして数人の母親が子供たちを連れてここに来ました。子供たちの中には、幼児期を過ぎて子供時代や青年期に入っている子もいました。母親たちが自分

の願いを告げると、イエス様はその恥ずかしがり屋で涙ぐんだ願いを同情的に聞き入れられました。しかし、イエス様は弟子たちがどのように彼らを扱うかを見守られました。弟子たちが母親たちを叱って追い返したのは、イエス様に恩を売ろうと思ったからでした。イエス様は弟子たちの誤りを示してこう言われました。「幼子たちがわたしのところに来るのを許しなさい。止めてはならない。神の国はこのような者の国である。」マルコ10:14。イエス様は子供たちを腕に抱き、その上に手を置いて、彼らが来た目的の祝福を与えられました。

母親たちは慰められ、キリストの言葉によって力づけられ、祝福されて家に帰りました。新たな喜びをもって重荷を担い

、子供たちのために希望を持って働くよう励まされました。

もしその小さなグループの来世が私たちの前に開かれるなら、母親たちが子供たちの心にその日の光景を思い出させ、救い主の愛の言葉を繰り返し語るのを見るでしょう。また、後年、これらの言葉の記憶が、子供たちを主の贖われた者たちのために用意された道から迷わないようにどれほど頻繁に守ったかも見るでしょう。

キリストは今日も、人々の間で歩んでいたときと同じ慈悲深い救世主です。ユダヤで幼い子供たちを腕に抱きしめたときと同じように、今も確かに母親たちの助け手です。 [42]私たちの家庭の子供たち

は、昔の子供たちと同じように、彼の血によって買い取られたのです。

イエスはすべての母親の心の重荷を知っています。貧困と窮乏に苦しむ母親を持つイエスは、すべての母親の苦労に同情します。カナンの女性の不安な心を和らげるために長い旅をしたイエスは、現代の母親のためにも同じことをしてください。ナインの未亡人に一人息子を返し、十字架の上で苦しみながら自分の母親を思い出したイエスは、今日、母親の悲しみに心を打たれます。あらゆる悲しみとあらゆる必要において、イエスは慰め、助けてくださいます。

母親たちは困惑しながらイエスのもとに来なさい。彼女たちは、子どもの世話を
する上で助けとなる十分な恵みを見出す

でしょう。救い主の足元に重荷を置きたいすべての母親に門は開かれています。

「幼子たちがわたしのところに来るのを許しなさい。止めてはならない」（マルコ10:14）と言われたイエスは、今も母親たちに、幼子を連れて来てイエスの祝福を受けよう招いておられます。

イエスは、ご自身と接触した子供たちの中に、ご自身の恩寵を受け継ぎ、王国の臣民となるべき男女、そしてその中の何人かはご自身のために殉教するであろう男女を見ました。イエスは、これらの子供たちが、世俗的な知恵と冷酷さを持つ大人よりもはるかに容易に、ご自身の言うことに耳を傾け、救い主として受け入れることを知っていました。イエスは、教える際に、子供たちのレベルにまで降

りてこられました。天の威厳あるイエスは、子供たちの質問に答え、子供たちの理解力に合わせて重要な教訓を簡略化されました。イエスは、彼らの心に真理の種を植え、それが後年、芽を出し、永遠の命に至る実を結ぶことになるのです。イエスが弟子たちに、子供たちが自分のところに来るのを禁じてはならない[43]と言ったとき、イエスはあらゆる時代の追隨者たち、教会の役員、牧師、援助者、そしてすべてのクリスチャンに話していたのです。イエスは子供たちを引き寄せて、「彼らに来るのを許しなさい」と命じます。それはあたかも、「あなたがたが妨げなければ、子供たちは来るだろう」と言っているかのようです。

キリストらしくない性格でイエスを誤解してはなりません。冷たさや厳しさで子供たちをイエスから遠ざけないでください。あなたが天国にいたら、天国は子供たちにとって楽しい場所ではないだろうと感じさせるようなことを決してしないでください。宗教は子供には理解できないものであるかのように話したり、子供時代にキリストを受け入れることを期待されていないかのように振舞ったりしないでください。キリストの宗教は陰鬱な宗教であり、救い主のもとに行くには人生を喜びにするものをすべて放棄しなければならないという誤った印象を子供たちに与えないでください。

聖霊が子供たちの心に働きかけるとき、その働きに協力してください。救い主が

彼らを呼んでいること、彼らが人生の最も若く、最も美しい時期に主に身を捧げること以上に主を喜ばせるものはないことを彼らに教えてください。

親の責任

救い主は、その血で買い取った魂を限りなく優しく見守っておられます。彼らは救い主の愛の対象です。救い主は、言い表せないほどの切望をもって彼らを見つめておられます。救い主の心は、最もよく訓練され、最も魅力的な子供たちだけでなく、遺伝や怠慢によって好ましくない性格特性を持つ子供たちにも向けられています。多くの親は、子供たちのこうした特性にどれほど責任があるかを理解していません。自分たちが誤った性格にしてしまった子供たちを扱う優しさと知

恵を持っていません。しかし、イエスはこれらの子供たちを憐れみの目で見えています。イエスは原因から結果までをたどりま

ります。
キリストの働き手は、これらの欠陥のある誤った人々を救い主のもとに引き寄せるキリストの代理人となることができます。知恵と機転によって彼らを自分の心に結びつけ、勇気と希望を与え、キリストの恵みによって彼らの性格が変えられ、「神の国はこのような人々のものである」と言われるようになるのです。 [45]
5つの小さな大麦パンが群衆に食べさせました。

一日中、人々は海辺で教えを説くキリストと弟子たちの足元に群がっていた。人々はキリストの慈悲深い言葉に耳を傾け

ていた。その言葉はあまりにも単純で分かりやすく、彼らの魂にとってギレアデの香油のようだった。神の御手による癒しは病人に健康をもたらし、死にゆく人々に命をもたらしした。その日は彼らにとって地上の天国のようで、彼らは何時間も何も食べていなかったことに気づかなかった。

太陽は西に沈みつつあったが、人々はまだ留まっていた。ついに弟子たちがキリストのもとに来て、自分たちのために群衆を解散させるよう強く勧めた。遠くから来た者も多く、朝から何も食べていなかった。周囲の町や村では食べ物が手に入るかもしれない。しかしイエスは言われた。「あなたがたが彼らに食べ物を与えなさい。」マタイ14:16。それから、ピ

リポの方を向いて、「この人たちに食べさせるには、どこでパンを買えばよいのか。」と尋ねられた。ヨハネ6:5。

フィリップは頭の海を見渡し、こんなに大勢の人々に食事を提供するのとは不可能だと思った。そして、200ペニーのパンでは、各自が少しずつ食べるには十分ではないと答えた。

イエスは、群衆の中にどれだけの食物があるか尋ねました。アンデレは言いました。「ここに少年がいます。大麦のパン五つと、さかな二匹を持っていますが、こんなに大勢の人たちには、何になりましょうか。」9節。イエスは、これらを持って来るように指示されました。それから、弟子たちに、群衆を草の上に座らせるように命じました。これが終わると、

イエスは食物を取り、 [46] 「そして、天を仰いで祝福し、パンを裂いて、弟子たちに与えた。弟子たちは群衆に与えた。彼らはみな食べて満腹し、残ったパンくずを集めると、十二のかごいっぱいになった。」マタイ14:19, 20。

キリストが群衆に食事を与えたのは神の力による奇跡でした。しかし、提供された食事はなんと質素なものだったのでしょう。ガリラヤの漁師たちの日々の食事である魚と大麦のパンだけだったのです。

キリストは人々に豪華な食事を与えることもできたでしょうが、食欲を満たすためだけに用意された食べ物では、人々のためになる教訓は何も伝わらなかったでしょう。この奇跡を通して、キリストは

簡素さの教訓を伝えなかったのです。もし今日の人々が、アダムとイブが最初にそうしたように、自然の法則に従って生活する簡素な習慣を持っていたら、人類の必要を満たす十分な供給があったでしょう。しかし、利己主義と食欲の放縦は、一方では過剰から、他方では欠乏から、罪と悲惨をもたらしました。

イエスは贅沢への欲求を満足させることによって人々を自分のもとに引き寄せようとはしませんでした。長く刺激的な一日を終えて疲れて空腹の群衆にとって、質素な食事はイエスの力と、生活の一般的な必要に対するイエスの優しい配慮の両方を保証するものでした。救い主は追随者にこの世の贅沢を約束してはおられません。彼らの運命は貧困によって閉ざ

されているかもしれませんが、彼らの必要は満たされると主は約束しておられ、地上の善よりも優れたもの、すなわちご自身がそこにいることによる永続的な慰めを約束しておられます。

群衆に食事を与えた後、食べ物はたっぷりと残りました。イエスは弟子たちに、「残ったパンくずを集めて、少しも無駄にしないようにしなさい」と命じました。ヨハネ 6:12。この言葉は、食べ物を籠に入れる以上の意味がありました。教訓は2つあります。何も無駄にしてはいけません。一時的な利益を逃してはいけません。人間の利益となるものは何もないがしろにしてはいけません。地上の飢えた人々の必需品を救済するものはすべて集めましょう。同じ注意を払って、魂の必

要を満たすために天からのパンを大切に
しましょう。神の言葉一つ一つによって
私たちは生きなければなりません。神が
話されたことは何も無駄にしてはいけま
せん。永遠の救いに関係する言葉は、一
言も無視してはいけません。一言も無駄
に地に落ちてはいけません。

パンの奇跡は神への依存を教えています
。キリストが五千人に食事を与えたとき
、食べ物は手元にありませんでした。明
らかに彼には手段がなかったのです。イ
エスは五千人の男たちと女や子供たちと
ともに荒野にいました。イエスは群衆に
自分について来るようには招いていませ
んでした。イエスの御前に出たいと切望
していた彼らは、招待も命令もなしにや
って来ました。しかしイエスは、一日中

イエスの教えを聞いた後、彼らが空腹で弱っていることを知っていました。彼らは家から遠く離れており、夜が近づいていました。彼らの多くは食べ物を買う手段がありませんでした。彼らのために荒野で四十日間断食したイエスは、彼らが断食したまま家に戻ることを許さなかったのです。

神の摂理によりイエスはそこにおられ、イエスは天の父に頼って窮地から救われました。 [49] 私たちも苦境に陥ったときは神に頼らなければなりません。あらゆる緊急事態において、無限の資源を自由に使える神に助けを求めなければなりません。

この奇跡において、キリストは父から受け取られ、弟子たちに与えられ、弟子た

ちは人々に与えられ、人々は互いに与えられました。ですから、キリストと結ばれた者は皆、キリストから命の糧を受け、それを他の人々に与えるのです。キリストの弟子たちは、キリストと人々との間のコミュニケーションの手段として任命されたのです。

弟子たちは救い主の「彼らに食べ物を与えなさい」という指示を聞いたとき、あらゆる困難が彼らの心に浮かびました。彼らは「村々に食べ物を買に行きましようか」と尋ねました。しかし、キリストは何とおっしゃいましたか。「彼らに食べ物を与えなさい」。弟子たちは持っていたものをすべてイエスのもとに持ってきましたが、イエスは彼らに食べるようにとは言われませんでした。イエスは

彼らに人々に奉仕するように命じました。イエスの手の中で食べ物は増え、キリストに手を伸ばす弟子たちの手は決して満たされませんでした。小さな貯蔵庫は全員に十分でした。群衆に食べ物が与えられると、弟子たちはイエスと共に天から与えられた貴重な食べ物を食べました。

。貧しい人、無知な人、苦しんでいる人の窮状を見ると、どれほど心が沈むことでしょうか。私たちは「このひどい窮状を満たすのに、私たちの弱々しい力とわずかな資源が何の役に立つだろうか。もっと有能な人がこの仕事を指揮してくれるのを、あるいは何らかの組織がそれを引き受けてくれるのを待つべきではないだろうか」と自問します。キリストは「彼ら

に食べ物を与えなさい」と言われます。
あなたが持っている手段、時間、能力を
使ってください。大麦パンをイエスのも
とに持ってきてください。

皆さんの資産は何千人もの人々に食料を
与えるには十分ではないかもしれませんが、
一人の人々に食料を与えるには十分
かもしれません。キリストの手にあるな
ら、多くの人に食料を与えることができ
るでしょう。弟子たちのように、持って
いるものを捧げてください。キリストは
贈り物を増やしてくださいます。キリス
トは正直で単純な信頼に報いてくださ
います。 [50]わずかな供給にしか見えな
かったものが、豊かなごちそうとなるで
しょう。

「わずかしか蒔かない者は、わずかしか刈り取らない。恵みをもって蒔く者は、恵みをもって刈り取る。神は、あなたがたにあらゆる恵みを豊かに与え、あなたがたが常にすべてのことにおいて十分に満ち足りて、あらゆる善行に豊かに携わることができるようにしてくださる。こう書いてあるとおりである。

「彼は散らし、貧しい者に与えた。
彼の正義は永遠に続く。」

「種蒔きに種と食物のパンとを与えてくださる方は、あなたがたの種を蒔くのに十分与え、またあなたがたの義の実を増し加えてくださいます。あなたがたは、すべての点で豊かになり、惜しみなく与えてくださるのです。」コリント人への手紙第二9:6-11、RV、欄外[51]

第3章 自然と神とともに

救世主の地上での人生は、自然と神との交わりの人生でした。この交わりの中で、主は力強い人生の秘密を私たちに明らかにされました。

イエスは、熱心で、絶え間ない働き者でした。これほど重責を担って人々の間で生きた人は他にいません。これほど世の悲しみと罪という重荷を背負った人も他にいません。これほど人々の利益のために自分を消耗させるほどの熱意で働いた人も他にいません。しかし、イエスは健康な人生を送りました。肉体的にも霊的にも、イエスは「傷も汚れもない」犠牲の子羊として表されました。ペテロ第一 1:19。肉体と魂において、イエスは神が

すべての人類に神の法則への従順を通して設計した姿の模範でした。

人々がイエスを見ると、神の慈悲と意識的な力が融合した顔が見えました。イエスは霊的な生命の雰囲気にも包まれているようでした。イエスの態度は穏やかで控えめでしたが、イエスは人々に、隠された、しかし完全には隠し切れない力の感覚を印象づけました。

宣教活動中、イエスは、その命を狙う狡猾で偽善的な人々から絶えず追われました。スパイたちは[52]イエスの跡を追って、イエスの言葉を注視し、イエスに反抗する機会を探していました。国の最も鋭敏で教養の高い人々が論争でイエスを負かそうとしましたが、決して優位に立つことはできませんでした。彼らはガリ

ラヤの卑しい教師に打ち負かされ、恥をかかされて、戦場から退かなければなりませんでした。キリストの教えには、人々がかつて知らなかったような新鮮さと力がありました。敵でさえ、「この人のように語った人はかつていなかった」と告白せざるを得ませんでした。ヨハネ7:46。

貧困の中で過ごしたイエスの幼少時代は、墮落した時代の人工的な習慣によって汚されることはなかった。大工の作業台で働き、家庭生活の重荷を背負い、従順と労働の教訓を学び、イエスは自然の景色の中で気晴らしをし、自然の神秘を理解しようと努めながら知識を集めた。イエスは神の言葉を学び、労働の場から離れて野原に行ったり、静かな谷間で瞑想

したり、山腹や森の木々の中で神と交わったりする時が、イエスにとって最も幸福な時間であった。早朝には、イエスはしばしば人里離れた場所で瞑想したり、聖書を調べたり、祈ったりしていた。イエスは歌声で朝の光を迎えた。イエスは感謝の歌で労働時間を励まし、疲れ果てて落胆している人々に天国の喜びをもたらした。

イエスは宣教活動中、かなりの程度屋外で生活していました。各地への旅は徒歩で、教えの多くは屋外で行われました。弟子たちを訓練する際、イエスはしばしば町の喧騒を離れて静かな野原に退かれました。それは、イエスが弟子たちに教えたかった、単純さ、信仰、自己犠牲の教えにもっと合致していたからです。 [5

3]十二使徒が使徒職に召され、山上の説教が行われた場所は、ガリラヤ湖から少し離れた山腹の木陰でした。 [54]

キリストは、青空の下、草の茂った丘の中腹、または湖のほとりの浜辺に人々を集めるのが好きでした。ここで、キリストはご自身の創造物に囲まれて、人々の考えを人工的なものから自然なものへと変えることができました。自然の成長と発展の中に、神の王国の原理が明らかにされました。人々が神の山々に目を向け、神の御手の素晴らしい作品を見るとき、彼らは神の真実の貴重な教訓を学ぶことができます。将来、神の教師の教訓は、自然のものによって彼らに繰り返し伝えられるでしょう。心は高揚し、心は安らぎを見出すでしょう。 [55]

イエスは、自分の仕事に同行していた弟子たちを、しばしばしばらくの間解放し、彼らの家に帰って休ませた。しかし、イエスを仕事から引き離そうとする彼らの努力は無駄だった。イエスは一日中、自分のもとに来る群衆に仕え、夕方や早朝には、父との交わりのために山の聖所へ行かれた。

イエスは、絶え間ない労働と、ラビたちの敵意や偽りの教えとの闘いによって、しばしばひどく疲れ果て、母親や兄弟、さらには弟子たちでさえ、イエスの命が犠牲になるのではないかと恐れた。しかし、イエスが労苦に満ちた一日を終えて[56]時間の祈りから戻ったとき、彼らはイエスの顔に浮かぶ平安の表情、イエスの全身にみなぎる新鮮さと生命力と力に気

づいた。イエスは、神と二人きりで過ごした時間から、朝ごとに現れ、人々に天国の光を与えた。

イエスが弟子たちに「さあ、少し休んで来なさい」と命じたのは、最初の宣教旅行から帰った直後のことでした。福音の使者としての成功に喜びに満たされて帰ってきた弟子たちに、洗礼者ヨハネがヘロデの手によって死んだという知らせが届きました。それは苦い悲しみと失望でした。イエスは、洗礼者ヨハネを牢獄で死なせたことで弟子たちの信仰を厳しく試したことを知っていました。イエスは、彼らの悲しみに暮れ、涙に濡れた顔を憐れみのこもった優しさで見つめました。イエスの目と声には涙が浮かんでいま

した。「さあ、寂しい所へ行き、しばらく休みなさい」と。マルコ6:31。

ガリラヤ湖の北端、ベツサイダの近くには、春の新緑が美しい寂しい地域があり、イエスと弟子たちには心地よい隠れ家を提供しました。彼らはこの場所を目指して、船で湖を渡りました。ここで彼らは群衆の混乱から離れて休むことができました。ここで弟子たちは、パリサイ人の反論や非難に邪魔されることなく、キリストの言葉を聞くことができました。ここで彼らは、主との交わりを短期間楽しむことを望みました。

イエスが愛する者たちと二人きりで過ごせた時間はほんの短いものでしたが、その数分間は彼らにとってどれほど貴重なものだったことでしょう。彼らは福音の

働きについて、また人々に福音を伝えるために自分たちの働きをより効果的に行える可能性について語り合いました。イエスが彼らに真理の宝を明かすと、彼らは神の力によって活力づけられ、希望と勇気に鼓舞されました。 [57]

しかし、すぐに群衆がイエスを捜しに来ました。イエスがいつもの隠れ場所へ行ってしまったと思い、人々はイエスの後を追って行きました。イエスが一時間でも休息を取ろうとした望みは打ち砕かれました。しかし、羊の良き羊飼いであるイエスは、純粹で慈悲深い心の奥底で、これらの落ち着かない、渴いた魂に対して愛と憐れみだけを抱いていました。イエスは一日中彼らの必要を満たし、夕方

には彼らを家に帰らせて休ませました。

[58]

救い主は、他の人々の利益のために全力を尽くした人生の中で、絶え間ない活動や人間の必要への接触から離れ、隠遁生活と父との絶え間ない交わりを求める必要があると感じました。主に従っていた群衆が去ると、主は山に入り、そこで神と二人きりで、苦しみ、罪深く、困窮している人々のために祈りを捧げました。イエスが弟子たちに収穫は多いが働き手が少ないと言ったとき、イエスは弟子たちに絶え間ない労働の必要性を説き伏せたのではなく、「だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるよう祈りなさい」と命じたのです。マタイ 9:38。最初の弟子たちと同じように、

今日も苦勞して働く者たちにイエスは「さあ、離れて……しばらく休みなさい」と憐れみの言葉をかけておられます。

神の訓練を受けているすべての人々は、自分の心、自然、そして神との交わりのための静かな時間を必要としています。彼らの中には、世界、その習慣、慣習と調和しない人生が明らかにされ、神の意志を知るための個人的な経験が必要です。私たちは、神が心に語りかけるのを個別に聞かなければなりません。他のすべての声が静まり、静かに神の前に待つとき、魂の沈黙は神の声をより明確にします。神は私たちに「静まって、私が神であることを知れ」と命じます。詩篇 46:10。これは、神のために働くすべてのための効果的な準備です。慌ただしい群衆や

人生の激しい活動の緊張の中で、このようにリフレッシュした人は、光と平和の雰囲気にも包まれます。彼は肉体的および精神的な強さの両方の新しい賜物を受け取ります。彼の人生は香りを放ち、人々の心に届く神の力を明らかにするでしょう。 [59]

第4章 信仰の触れ合い

「もし、その着物に触れることができれば、私は癒されるでしょう。」マタイ 9:21。この言葉を語ったのは貧しい女性でした。彼女は 12 年間、人生を重荷にしていた病気に苦しんでいました。彼女は医者や治療に全財産を費やしましたが、結局、治癒不可能と宣告されました。しかし、偉大な治癒者について聞いたとき、彼女の希望は復活しました。彼女は、「もし私が彼に十分近づいて話すことができれば、癒されるかもしれない」と考えました。

キリストは、娘を癒して欲しいと懇願していたユダヤ人のラビ、ヤイロの家へ向かう途中でした。「私の幼い娘が今にも

死にそうです。どうか来て、娘の上に手を置いて癒してください」(マルコ5:23) という悲痛な願いは、キリストの優しく同情的な心を動かし、イエスはすぐに指導者ととともに彼の家へ向かわれました。

彼らはゆっくりと前進した。群衆が四方八方からキリストを押し寄せていたからである。群衆の中を進むうちに、救い主は苦しんでいる女性が立っているところに近づいた。彼女は何度も何度も主に近づこうとしたが無駄だった。今、彼女のチャンスが来た。彼女には主に話しかける方法が見当たらなかった。[60]彼女は主のゆっくりとした前進を妨げようとはしなかった。しかし、彼女は主の衣に触れるだけで癒されると聞いていた。そし

て、救われる唯一のチャンスを失うことを恐れて、彼女は前に進みながら、自分に言い聞かせた。「主の衣に触れることができれば、私は癒されるだろう。」

キリストは彼女の心の思いをすべて知っておられ、彼女が立っているところへ向かっておられました。キリストは彼女の大きな必要を理解し、彼女が信仰を働かせるのを助けておられました。

イエスが通り過ぎるとき、彼女は手を伸ばして、イエスの衣の縁にかろうじて触れることに成功しました。その瞬間、彼女は癒されたことを知りました。その一回の接触に彼女の生涯の信仰が集中し、瞬時に彼女の痛みと衰弱は消え去りました。瞬時に彼女は、自分の存在のあらゆる繊維に電流が流れるような興奮を感じ

ました。そして、完全な健康の感覚が彼女を襲いました。「彼女は、その疫病が癒されたことを体で感じました。」29節。

感謝の気持ちにあふれた女性は、医者たちが12年かけてやったことよりも多くのことを一度のタッチで彼女にしてくれた偉大な治癒者に感謝の意を表したいと思いましたが、勇気がありませんでした。彼女は感謝の気持ちで群衆から退こうとしました。突然、イエスは立ち止まり、あたりを見回して尋ねました。「だれがわたしに触れたのか？」

ペテロは驚いてイエスを見つめ、答えました。「先生、群衆があなたを取り囲んで迫っているのに、『だれがわたしにさ

わったのか』とおっしゃるのですか。」
ルカ8:45。

「誰かが私に触れた」とイエスは言いました。「力が私から出て行ったのが分かった。」46節。彼は信仰の接触と無頓着な群衆の何気ない接触を区別することができました。誰かが深い意図を持って彼に触れ、答えを受けたのです。

キリストは自分自身を知るためにこの質問をしたのではない。人々、弟子たち、そして[61]女性に教訓を与えたかったのだ。苦しんでいる人々に希望を与えたかったのだ。治癒の力をもたらしたのは信仰だということを示したかったのだ。女性の信頼を無条件で無視してはならない。彼女の感謝の告白によって神は栄光を受けなければならない。キリストは、彼

女の信仰行為を彼が承認したことを彼女に理解してもらいたいと願った。彼女が半分の祝福だけで去って行くことは望まなかった。彼女は、自分の苦しみを神が知っていることや、神の慈悲深い愛、そして神のもとに来る者すべてを完全に救う力に対する彼女の信仰を神が承認していることを知らないままではいべきではなかった。

キリストは、その女性に目を向けながら、誰が触ったのかを知りたいと言いました。彼女は隠しても無駄だとわかり、震えながら進み出て、イエスの足元にひれ伏しました。彼女は感謝の涙を流しながら、なぜイエスの衣に触れたのか、また、どのようにしてすぐに癒されたのかを、すべての人々の前で語りました。

彼女は、イエスの衣に触れたことが傲慢な行為だったのではないかと恐れましたが、キリストの口からは非難の言葉は出ませんでした。彼はただ賛同の言葉だけを話しました。それは、人間の苦しみに対する同情に満ちた、愛の心から出たものでした。「娘よ」と、彼は優しく言いました。「安心しなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。」48節。彼女にとって、この言葉はどれほど励みになったことでしょうか。今や、彼女は、自分が怒らせたのではないかと恐れることなく、喜びを増長しました。

イエスの周りに群がる好奇心旺盛な群衆には、生命力は与えられませんでした。しかし、信仰をもってイエスに触れた苦

しむ女性は、癒されました。靈的な事柄においても、偶然の接触は信仰の触れ合いとは異なります。キリストを単に世の救世主として信じるだけでは、魂に癒しをもたらすことはできません。救いに至る信仰は、福音の真理に単に同意することではありません。真の信仰とは、キリストを個人的な救世主として受け入れることです。神は独り子を与え、私が彼を信じることによって「滅びることなく、永遠の命を得る」ようにしてくださいました。ヨハネ 3:16。私は、キリストのもとに来るとき、彼の言葉に従って、彼の救いの恵みを受けると信じなければなりません。私が今生きている人生は、「私を愛し、私のためにご自身をお与えにな

った神の子の信仰によって生きる」べき
です。ガラテヤ 2:20。

多くの人々は信仰を意見として捉えています。
救いに至る信仰は、キリストを受け
入れる人々が神との契約関係を結ぶ行為
です。生きた信仰とは、活力の増大、信
頼を意味し、それによってキリストの恵
みを通して魂は征服力になります。

信仰は死よりも強力な征服者です。もし
病人が信仰をもって偉大な治癒者に目を
向けるよう導かれるなら、私たちは素晴
らしい結果を目にするでしょう。それは
肉体と魂に命をもたらすでしょう。

悪習慣の犠牲者のために働くとき、彼ら
が向かっている絶望と破滅を指摘する代
わりに、彼らの目をイエスに向けさせて
ください。彼らを天国の栄光に向けさせ

てください。これは、無力で一見絶望している人々の前に墓の恐怖をすべて示すよりも、体と魂の救いに大きく役立ちます。

「彼はその慈悲によって私たちを救った」

ある百人隊長の召使が中風で横たわっていた。ローマ人の間では召使は奴隷であり、市場で売買され、しばしば虐待や残酷な扱いを受けていた。しかし、百人隊長は召使に愛情を抱き、彼の回復を心から望んでいた。彼はイエスが彼を癒すことができるかと信じていた。彼は救世主を見たことはなかったが、聞いた話が彼に信仰を抱かせた。ユダヤ人の形式主義にもかかわらず、このローマ人は彼らの宗教が自分の宗教よりも優れていると確信

していた。彼はすでに、征服者と被征服者を隔てていた国民的偏見と憎しみの壁を打ち破っていた。彼は神への奉仕に敬意を表し、ユダヤ人を崇拜者として親切にしていた。彼は、伝えられていたキリストの教えの中に、魂の必要を満たすものを見出した。彼の中の霊的なものはすべて、救世主の言葉に応えた。しかし、彼はイエスに近づく資格がないと考え、ユダヤ人の長老たちに、自分のしもべの癒しを願い出るよう頼みました。

長老たちはイエスにこの件を説明し、「彼は私たちの国民を愛し、私たちのために会堂を建ててくださったので、このことをなさるにふさわしい方でした」と強く勧めました（ルカ7:4, 5）。

しかし、百人隊長の家へ向かう途中で、イエスは百人隊長自身から次のようなメッセージを受け取ります。「主よ、ご心配なさらないでください。私はあなたの屋根の下にお入りいただく資格がありません。」6節。

それでも救い主は道を進み続け、百人隊長が自らやって来て[64]、メッセージを完成させて言いました。「わたしも、みもとに行くにふさわしい者だとは思いませんでした。」 「ただ、御言葉を語ってください。そうすれば、しもべは癒されます。わたしは権威の下にある者ですが、わたしの下にも兵士たちがいます。この人に『行け』と言えば彼は行きます。ほかの人に『来い』と言えば彼は来ます。また、しもべに『これをしなさい』と

言えば彼はそれをします。」7節；マタイ8:8, 9。

「私はローマの権力を代表し、兵士たちは私の権威を至高のものと認めています。あなたも無限の神の力を代表し、すべての創造物はあなたの言葉に従います。あなたは病気を追い払うように命じることができ、病気はあなたに従います。ただ言葉を発するだけで、私のしもべは癒されるでしょう。」

「あなたの信じたとおりにになりますように」とキリストは言いました。そして、彼のしもべは、まさにそのとき癒されました。13節。

ユダヤ人の長老たちは、百人隊長が「私たちの国民」に示した恩恵のゆえに、彼をキリストに託した。彼らは、彼は「私

たちのために会堂を建ててくれた」ので、ふさわしいと言った。しかし、百人隊長は「私はふさわしくない」と言った。しかし、彼はイエスに助けを求めることを恐れなかった。彼は自分の善良さではなく、救い主の慈悲を頼りにした。彼の唯一の言い分は、彼が非常に困窮していたことだった。

同じように、すべての人間はキリストのもとに来ることができます。「私たちの行った義のわざによってではなく、神のあわれみによって、神は私たちを救ってくださいました。」テトス 3:5。あなたは自分が罪人であるために、神から祝福を受ける望みがないと感じていますか。キリストは罪人を救うためにこの世に来られたことを思い出してください。私た

ちは神に推薦するものは何にもありません。私たちが今もこれからも訴えることができる嘆願は、私たちのまったく無力な状態であり、そのために神の贖いの力が必要なのです。すべての自己依存を放棄して、私たちはカルバリの十字架を見てこう言うことができます。

「私は何の代価も持たず、ただあなたの十字架にすがるだけです。」

「信じることができれば、信じる者にはすべてできる。」マルコ 9:23。信仰は私たちが天国に結びつけ、闇の力に立ち向かう力を与えてくれます。キリストにおいて、神はすべての邪悪な性質を抑制し、どんなに強い誘惑にも抵抗する手段を与えてくださいました。しかし、多くの

人は信仰が欠けていると感じ、キリストから離れたままです。これらの魂は、無力で価値のないまま、慈悲深い救い主の憐れみに身を委ねましょう。自分自身ではなく、キリストに頼ってください。人々の間で歩んでいたときに病人を癒し、悪霊を追い出した彼は、今でも同じ力強い贖い主です。そして、彼の約束を命の木の葉のようにつかみなさい。「わたしに来る者を、わたしは決して捨てません。」ヨハネ 6:37。彼のもとに来るとき、彼があなたを受け入れることを信じてください。彼が約束したからです。そうしている間、あなたは決して滅びることはありません。

「私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださった

ことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしました。」ローマ5:8。そして、「もし神が私たちの味方であるなら、だれが私たちに対敵できますようか。私たちすべてのために、ご自分の御子をさえ惜しまずに引き渡された方が、どうして、御子と共にすべてのものを私たちに賜わらないはずがありませんか。」ローマ人への手紙第8章31節、32節。

「私はこう確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、今あるものも、後に来るものも、力あるものも、高い所も、深い所も、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。」38、39節、ARV、欄外。

[67]

「あなたは私を清くすることができます」

東洋で知られている病気の中で、ハンセン病は最も恐れられていた。不治で伝染性があり、患者に恐ろしい影響を与えるため、最も勇敢な者でさえも恐怖に襲われた。ユダヤ人の中では、ハンセン病は罪に対する審判とみなされていたため、

「打撃」、「神の指」と呼ばれていた。根深く、根絶できず、致命的であるため、罪の象徴とみなされていた。

儀式の律法では、らい病人は不浄とされた。彼が触れたものはすべて不浄だった。空気は彼の息で汚染されていた。すでに死んでいる人のように、彼は人々の住居から締め出された。病気の疑いのある者は、彼のケースを調べて決定を下す祭

司の前に出なければならなかった。らい病人と判定された場合、彼は家族から隔離され、イスラエルの会衆から切り離され、同じように苦しんでいる人々とのみ付き合う運命にあった。王や支配者でさえも例外ではなかった。この恐ろしい病気に襲われた君主は、王笏を手放して社会から逃げ出さなければならなかった。友人や親族から離れて、らい病人は病気の呪いに耐えなければならなかった。彼は自分の災難を公表し、衣服を引き裂き、警報を鳴らし、自分の汚れた存在から逃げるようにすべての人に警告しなければならなかった。孤独な追放者から悲しげな声で発せられる「汚れた！汚れた！」という叫びは、恐怖と嫌悪とともに聞こえた合図だった。 [68]

キリストの宣教活動の地域には、こうした苦しんでいる人々が大勢いました。そして、キリストの働きの知らせが彼らに届くと、一人の人の心に信仰が芽生え始めました。もしイエスのもとに行けたら、癒されるかもしれません。しかし、どうすればイエスを見つけられるのでしょうか。永遠の孤立を運命づけられているのに、どうやって癒し主の前に出ることができるのでしょうか。キリストは彼を癒すのでしょうか。パリサイ人や医者のように、キリストは彼に呪いをかけ、人々のたまり場から逃げるように警告するのではないのでしょうか。

彼はイエスについて聞かされたすべてのことを思い返します。イエスの助けを求めた者は誰一人として拒絶されませんで

した。この哀れな男は救い主を見つけようと決心しました。町からは締め出されても、山道沿いのどこかの小道で救い主に出会えるかもしれないし、町の外で教えを説いているイエスに出会うかもしれない。困難は大きいですが、これが彼の唯一の希望です。

遠くに立っていたハンセン病患者は、救い主の口からいくつかの言葉を聞き取った。彼は、主が病人に手を置いているのを見た。彼は、足の不自由な人、目の見えない人、麻痺した人、そしてさまざまな病気で死にかけている人々が健康を取り戻し、神の救いを讃えながら立ち上がるのを見た。彼の信仰は強まった。彼は、耳を傾けている群衆にますます近づいていった。彼に課せられた制約、人々の

安全、すべての人が彼に対して抱く恐れ[69]は、同じように忘れ去られた。彼は、治癒の祝福された希望だけを考えた。

彼は忌まわしい光景だ。病気は恐ろしいほどに進行し、彼の腐った体は見るも恐ろしい。人々は彼を見ると後ずさりする。彼らは恐怖のあまり、彼との接触を避けようと互いに群がる。中には彼がイエスに近づくのを阻止しようとする者もいるが、無駄だ。彼は彼らを見ることも聞くこともない。彼らの嫌悪の表情は彼には伝わらない。彼が見るのは神の子だけ、聞くのは死にゆく者に命を告げる声だけ。

彼はイエスに迫り、足元にひれ伏して叫びました。「主よ、あなたの御心ならば

、私を清くすることがおできになります。
。」

イエスは答えて、「そうする。清くなれ」と言い、彼の上に手を置きました。マタイ8:2, 3。

するとすぐに、らい病患者に変化が起こります。血液は健康になり、神経は敏感になり、筋肉は引き締まります。らい病特有の不自然な白さと鱗状の皮膚は消え、皮膚は幼児の肉のようになります。

祭司たちがらい病人の治癒に関する事実を知れば、キリストに対する彼らの憎しみから、不当な判決を下すことになるかもしれない。イエスは公平な判決が下されることを望んだ。そこでイエスは、その男に、治癒のことは誰にも言わず、奇跡に関する噂が広まる前に、供物を持っ

てすぐに神殿に来るようにと命じた。祭司たちは、そのような供物を受け取る前に、供物を捧げた人を診察し、完全に回復したと証明する必要があった。

この検査が行われました。このハンセン病患者を追放に処した司祭たちは、彼の治癒を証言しました。治癒した男は、家庭と社会に復帰しました。彼は健康の恩恵が非常に貴重であると感じました。彼は、男としての活力と家族との復帰を喜びました。 [70]イエスの警告にもかかわらず、彼は治癒の事実をもはや隠すことができず、喜んで、彼を完全に回復させた方の力を宣べ伝えて歩き回りました。この男がイエスのもとに来たとき、彼は「全身がらい病」で、その猛毒が彼の全身に染みわたりました。弟子たちは、主

が彼に触れるのを止めようと思いました。なぜなら、らい病人に触れる者は、自分自身が汚れるからです。しかし、イエスはらい病人に手を置くことで、汚れを受けませんでした。らい病は清められました。罪のらい病も同様です。それは根深く、致命的で、人間の力では清めることができません。「頭はすっかり病み、心もすっかり弱り果て、足の裏から頭に至るまで、健全なところはなく、傷と打ち傷と、化膿した腫れ物ばかりである。」イザヤ書 1:5, 6。しかし、人間の中に住まわれるために来られたイエスは、汚れを受けませんでした。イエスの存在は、罪人にとって癒しの力でした。だれでも、信仰をもって主の足もとにひれ伏し、「主よ、御心ならば、私を清くすること

がおできになります」と言う者は、「そういたします。あなたも清くなられてください」という答えを聞くでしょう。

癒しのいくつかの事例では、イエスはすぐには求めていた祝福を与えなかった。しかし、らい病の場合は、訴えるや否や、それが与えられた。私たちが地上の祝福を祈るとき、祈りの答えは遅れるか、あるいは私たちが求めているものとは違うものを神が与えてくれるかもしれない。しかし、罪からの解放を願うときはそうではない。私たちが罪から清め、神の子とし、聖なる生活を送れるようにすることが神の意志である。キリストは「私たちの罪のためにご自身をささげ、神であり私たちの父である方の意志に従って、この邪悪な世から私たちを救い出すた

めに」ガラテヤ1:4。「神に対する私たちの確信とは、何事でも神の御心にかなう願いをするなら、神は聞いてくださるということである。そして、神が私たちの願いを聞いてくださると知れば、神に願ったことは、かなえられたとわかる。」ヨハネの手紙一5:14, 15。 [71]

イエスは、苦悩し、心に重荷を負っている人々、希望が打ち砕かれた人々、そして地上の喜びで魂の渴望を静めようとしている人々に目を留め、彼の中で安らぎを見出すようすべての人を招きました。

「あなた方は安息を得るであろう」

イエスは労苦する民に優しくこう命じました。「わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、

あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。」マタイ11:29。

これらの言葉で、キリストはすべての人間に語りかけていました。知っているかどうかに関わらず、すべての人は疲れ、重荷を負っています。すべての人は、キリストだけが取り除くことのできる重荷に押しつぶされています。私たちが背負っている最も重い重荷は、罪の重荷です。この重荷を背負うままに放置されたら、私たちは押しつぶされてしまうでしょう。しかし、罪のない方が私たちの代わりになりました。「主は、私たちすべての咎を彼に負わせた。」イザヤ書 53:6。主は私たちの罪の重荷を負って下さった。疲れた私たちの肩から荷を降ろし、安らぎを与えてくださる。悩みや悲しみの

重荷も負って下さる。すべての悩みを主にゆだねるよう私たちに招いて下さる。主は私たちを心に抱いて下さるからである。

人類の長兄は永遠の王座のそばにおられます。彼は、救い主として彼に顔を向けるすべての魂を見ています。彼は経験によって、人間の弱さ、私たちの欲求、そして誘惑の強さがどこにあるかを知っておられます。なぜなら、彼は「すべての点で、私たちと同じように誘惑に会われましたが、罪は犯されませんでした」から。ヘブル人への手紙 4:15。彼は、震える神の子であるあなたを見守っています。あなたは誘惑されていますか？彼は解放してくださいます。あなたは弱いですか？彼は強くしてくださいます。あなた

は無知ですか？ 彼は啓発してくださいます。あなたは傷ついていますか？ 彼は癒してくださいます。主は「星の数を数え」、それでも「心の打ち砕かれた者を癒し、その傷を包みます」。詩篇 147:4, 3。
。 [72]

どのような不安や試練があっても、主の前にあなたの訴えを打ち明けてください。あなたの精神は忍耐力に鍛えられます。恥ずかしさや困難から抜け出す道が開かれます。自分が弱く無力だと知れば知るほど、主の力によってあなたは強くなります。あなたの重荷が重ければ重いほど、それをあなたの重荷を担う主に委ねることで、残り的人々はより祝福されます。

状況によって友人は引き離されるかもしれませんが、広い海の荒れ狂う波が私たちと彼らの間に押し寄せるかもしれませんが。しかし、いかなる状況も、いかなる距離も、私たちを救い主から引き離すことはできません。私たちがどこにいても、主は私たちの右にいて、支え、支え、励まし、励ましてくださいます。母親の子供に対する愛よりも大きなのは、キリストの贖われた者に対する愛です。主の愛に安らぎ、「主は私のために命をささげてくださいだったので、私は主を信頼します」と言うことは、私たちの特権です。

人間の愛は変わるかもしれませんが、キリストの愛は変わりません。私たちが助けを求めて叫ぶとき、キリストは救いのために手を差し伸べてくださいます。

「山々は去り、
丘々は移っても、
わたしの慈しみはあなたから去らず、
わたしの平和の契約は移らない、と
あなたに慈悲を注ぐエホバは言われる。
」

イザヤ書54:10、ARV [73]

第5章 魂の癒し

キリストに助けを求めた人々の多くは自ら病気を招いていましたが、キリストは彼らを癒すことを拒みませんでした。そして、キリストからの徳がこれらの魂に入ると、彼らは罪を悟り、多くの人が肉体の病だけでなく霊的な病も癒されました。

その中にはカペナウムの中風患者もいました。この中風患者も、らい病患者と同様に回復の望みを失っていました。この病気は罪深い生活の結果であり、彼の苦しみは後悔によってひどく苦しめられていました。彼はパリサイ人や医師に救いを求めて訴えましたが無駄でした。彼らは彼を不治の病と断言し、罪人として非

難し、神の怒りの下で死ぬだろうと宣言しました。

麻痺した男は絶望に陥っていた。その時、彼はイエスの働きについて聞いた。彼と同じように罪深く無力な人々が癒されたのだから、彼も救い主のもとに運ばれば治るかもしれないと信じる勇気を得た。しかし、自分の病気の原因を思い出して希望は薄れ、それでも治癒の可能性を捨てることはできなかった。 [74]

彼の最大の願いは、罪の重荷から解放されることでした。イエスに会って、赦しと天国との平和の保証を得たいと切望していました。そうすれば、神の意志に従って生きるか死ぬか、どちらでも満足できるでしょう。

無駄にできる時間はありませんでした。彼の衰弱した肉体はすでに死の兆候を示していました。彼は友人たちに、ベッドに横たわった自分をイエスのもとに運んでくれるよう頼み、友人たちは喜んでそうしました。しかし、救い主のいる家とその周囲に集まった群衆は非常に密集していたため、病人[75]とその友人たちがイエスのところまで行くことはおろか、声が聞こえる範囲に近づくことさえ不可能でした。イエスはペテロの家で教えておられました。彼らの習慣に従って、弟子たちはイエスの周りに寄り添って座り、「そこには、ガリラヤ、ユダヤ、エルサレムのすべての村から来たパリサイ人や律法学者たちが座っていました。」ルカ 5:17、ARV これらのうちの多くは、イ

エスを告発しようとしてスパイとして来ていました。これらの人々の外には、熱心な人、敬虔な人、好奇心のある人、不信者など、雑多な群衆が群がっていました。さまざまな国籍と社会階層の人々が代表されていました。「そして、主の力が現われて、癒やしを与えた。」 17節。いのちの御霊が会衆の上に臨んでいたが、パリサイ人と博士たちはその存在に気づかなかった。彼らは必要性を感じておらず、癒しは彼らには必要ではなかった。「神は飢えた者を良いもので満たし、富める者を空腹のまま追い払われた。」ルカ1:53。

中風の患者を担いだ人たちは、何度も群衆をかき分けて押しのけようとしたが、無駄だった。病人は言葉にできないほど

の苦悩で辺りを見回した。待ち望んでいた助けがすぐそばにあるのに、どうして希望を捨てることができようか？彼の提案で、友人たちは彼を家の屋上まで運び、屋根を壊してイエスの足元に降ろした。

説教は中断された。救い主は悲しそうな顔を見て、嘆願する目が自分に向けられているのを見た。主はその重荷を背負った魂の切なる思いをよく知っていた。彼がまだ家にいたころ、良心に確信を与えたのはキリストだった。彼が罪を悔い改め、自分を癒すイエスの力を信じたとき、救い主の慈悲が彼の心を祝福した。イエスは、信仰の最初のかすかな光が、自分こそが罪人の唯一の助け手であるという確信に成長していくのを見ていた。そ

して、イエスの前に出ようと努力するたびに、その確信がさらに強くなっていくのを見ていた。 [76]苦しむ者を自らに引き寄せたのはキリストだった。今、聞く者の耳に音楽のように響く言葉で、救い主はこう言った。「子よ、元気を出しなさい。あなたの罪は赦された。」マタイ 9:2。

罪の重荷が病人の魂から消え去りました。彼は疑う余地がありません。キリストの言葉は、心を読む彼の力を明らかにしています。誰が彼の罪を赦す力に反論できるのでしょうか？ 希望が絶望に取って代わり、喜びが重苦しい憂鬱に取って代わりました。男の肉体的な痛みは消え、彼の存在全体が変わりました。彼はそれ以

上何も求めず、言葉にならないほど幸せで、静かに横たわっていました。

多くの人々は、この奇妙な出来事のあらゆる動きを息を呑むほど興味深く見守っていました。キリストの言葉は自分たちへの招待であると感じた人々もいました。彼らは罪のせいで魂が病んでいたのではないですか。この重荷から解放されることを切望していなかったのでしょうか。

しかしパリサイ人たちは、群衆に対する影響力を失うことを恐れ、心の中で言いました。「彼は神を冒瀆している。神以外に誰が罪を赦すことができようか。」

マルコ2:7、RV

イエスは、彼らが身をすくめて後ずさりするのを見据えて言われた。「なぜ、心

の中で悪を思っているのか。『あなたの罪は赦された』と言うのと、『起きて歩きなさい』と言うのとでは、どちらが易しいだろうか。しかし、人の子は地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたに知らせるためである。」イエスは中風の人の方を向いて言われた。「起きて、床を担いで家に帰りなさい。」マタイ9:4-6。

すると、イエスのもとに担架で運ばれてきた男は、若さのしなやかさと力強さで立ち上がり、すぐに「床を取り上げて、みんなの前から出て行った。みんなは驚き、神を賛美して言った。『こんなふうは見たことがない』」マルコ 2:12。

朽ちかけた体を健康にするには、創造の力以外に何も必要ありませんでした。土

の塵から造られた人間に命を語った同じ声が、死に瀕した中風の人に命を語ったのです。そして、体に命を与えた同じ力が、心を新たにしたのです。創造のときに「語ると、それは存在し」、「命じると、それは堅く立った」（詩篇 33:9）方は、罪と過ちの中に死んだ魂に命を語ったのです。体の治癒は、心を新たにした力の証拠でした。キリストは中風の人に起き上がって歩きなさいと命じ、「人の子は地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたに知らせるためである」と言われました。

中風の方は、キリストに魂と肉体の両方の癒しを見出した。中風の方は、肉体の健康を理解する前に、魂の健康が必要だった。肉体の病が癒される前に、キリス

トは心に安らぎを与え、魂を罪から清めなければならない。この教訓を見逃してはならない。今日、中風の人のように肉体の病に苦しむ何千人もの人が、「あなたの罪は赦された」というメッセージを切望している。罪の重荷、その不安、満たされない欲望が、彼らの病の根底にある。彼らは魂の癒し主のもとに来るまで、救いを見いだすことができない。彼だけが与えることのできる平安は、心に活力を取り戻し、肉体に健康をもたらすだろう。 [78]

中風の病人の治癒が人々に与えた影響は、まるで天が開いてよりよい世界の栄光を現したかのようなようでした。治癒した男が群衆の中を通り抜けるとき、一歩ごとに神を祝福し、羽毛の重さのように重荷を

背負っていたので、人々は彼に場所を空けるために後ろに下がり、畏敬の念を抱いた顔で彼を見つめ、 [79]互いに小声でささやきました。「私たちは今日、不思議なものを見た。」ルカ5:26。

中風の人が、ほんの少し前にゆっくりと彼らの前から運び出された寝台を楽々と担いで家族の元へ戻ったとき、その家には大きな歓喜が起こった。人々は喜びの涙を流しながら集まり、自分たちの目が信じられなかった。彼は、成人の完全な活力で彼らの前に立っていた。彼らが生気のないと思っていたその腕は、すぐに彼の意志に従った。縮んで鉛色だった肉体は、今や新鮮で赤らんでいた。彼は、しっかりとした自由な足取りで歩いた。喜びと希望が彼の顔のあらゆるしぐさに

刻まれ、罪と苦しみの痕跡は、清らかさと平和の表情に取って代わられていた。その家からは喜びの感謝の声が上がり、神は、絶望した者に希望を、病んだ者に力を取り戻した御子を通して栄光を受けた。この男性とその家族は、イエスのために命を捧げる覚悟ができていた。彼らの信仰は疑いなく薄れ、彼らの暗い家庭に光をもたらしてくださった神に対する彼らの忠誠心は不信仰によって損なわれることはなかった。

「わが魂よ、主をほめたたえよ。
わが内に宿る者すべてよ、主の聖なる御名をほめたたえよ。
わが魂よ、主をほめたたえよ。
。主の恩恵をすべて忘れるな。
主はあなたのすべての咎を赦し、

あなたのすべての病を癒し、
あなたの命を滅びから救い出してくださる。…

あなたの若さは鷺のように新しくなる。

主は

、虐げられているすべての者のために
正義と裁きを行われる。…主は、
私たちの罪に応じて私たちを扱われず、
私たちの咎に応じて私たちに報いられる
こともない。…

父がその子をあわれむように、
主は主を恐れる者をあわれまれる。主
は私たちの成り立ちを知っておられ、
私たちが塵であることを覚えておられる
からだ。」

詩篇103:1-14。 [80] [81]

「あなたは癒されることを望みますか？」

「エルサレムの羊市場のそばに、ヘブライ語でベテスダと呼ばれる池があり、そこには五つの廊下があった。そこには、病気の人、盲人、足の不自由な人、体の衰えた人などが大勢横たわり、水が動くのを待っていた。」ヨハネ 5:2, 3。

ある季節になると、この池の水はかき回され、これは超自然的な力によるもので、池がかき回された後に最初に水に入った人は、どんな病気にかかっているにもかかわらず治癒する、と一般に信じられていた。何百人もの病人がこの場所を訪れたが、水がかき回されると群衆があまりに多くなり、自分たちより弱い男女や子供を踏みつけながら押し寄せた。池に近づくことの

できない人が多かった。なんとか池にたどり着いた人の多くは、池の岸で亡くなった。この場所の周囲にはシェルターが建てられ、病人が日中の暑さと夜の冷気から守られた。中には、このポーチで夜を過ごし、毎日、池の端まで這って行き、病気が治るという無駄な希望を抱いていた人もいた。

イエスはエルサレムにいました。瞑想と祈りをしながら一人で歩き、池に来ました。イエスは、みじめな苦しみに苦しむ人々が、唯一の治癒のチャンスだと思っているものを待ち望んでいるのを見ました。イエスは、自分の治癒力を行使して、すべての苦しみを癒したいと切望しました。しかし、その日は安息日でした。大勢の人々が礼拝のために神殿へ向かっ

ており、そのような治癒行為はユダヤ人の偏見を刺激し、イエスの働きを妨げてしまうことをイエスは知っていました。しかし、救い主は、この上なく悲惨な例を一つ見ました。それは、38年間、無力な障害者であった男のケースでした。彼の病気は、彼自身の悪い習慣の結果であることが多く、神の審判とみなされていました。孤独で友人もなく、神の慈悲から締め出されていると感じながら、この患者は長年の悲惨な年月を過ごしました。水が波立つことが予想される時、彼の無力さを哀れむ人々が彼を玄関まで運びました。しかし、好機になっても、彼を助けてくれる人は誰もいませんでした。彼は水の波紋を見ていましたが、プールの端より遠くまで行くことができませ

んでした。彼よりも強い他の人々が彼より先に飛び込んでいました。この哀れで無力な患者は、よじ登る利己的な群衆とうまく戦うことができませんでした。 [83]一つの目的に向けた彼の粘り強い努力と、彼の不安と絶え間ない失望は、彼の残りの力を急速に消耗させていった。

病人はマットの上に横たわり、時折頭を上げて池を眺めていた。すると、優しく同情的な顔が彼の上にかがみ、こう言った。「治りたいですか？」彼の注意をひいた。希望が心に湧き起こった。彼は何らかの方法で助けが得られるだろうと感じた。しかし、励ましの輝きはすぐに消えた。彼は池にたどり着こうと何度も試みたことを思い出し、再び水がかき乱されるまで生きられる見込みはほとんど

ないことを知った。彼は疲れて背を向け、こう言った。「主よ、水がかき乱されるとき、私を池に入れてくれる人がいません。私が入ろうとする間に、別の人が先に降りて行きます。」 [84]

イエスは彼に「起き上がり、床を取り上げて歩きなさい」と命じます（6-8節）。病人は新たな希望をもってイエスを見つめます。イエスの表情、声の調子は他に類を見ません。イエスの存在そのものから愛と力が吹き出ているようです。病人はキリストの言葉に信仰を抱きます。彼は疑いなく従う意志を固め、従うと全身が反応します。

すべての神経と筋肉が新たな生命に沸き立ち、不自由な手足に健康的な動きが戻ります。彼は立ち上がり、神を讃え、新

たに得た力に喜びながら、しっかりと自由な足取りで道を進みます。

イエスは、中風の男に神の助けを保証しませんでした。男は「主よ、もしあなたが私を癒して下さるなら、私はあなたの御言葉に従います」と言うこともできたでしょう。彼は立ち止まって疑っていたかもしれません。そうすると、治癒の唯一のチャンスを逃していたかもしれません。しかし、そうではありませんでした。彼はキリストの言葉を信じ、癒されたと信じたのです。すぐに努力し、神は彼に力を与えました。彼は歩くことを望み、そして実際に歩きました。キリストの言葉に従って行動し、彼は癒されたのです。

罪によって私たちは神の命から切り離されてしまいました。私たちの魂は麻痺しています。無力な人が歩くことができたのと同じように、私たち自身では聖なる生活を送ることはできません。多くの人々が自分の無力さに気づき、神と調和させてくれる霊的な命を切望し、それを得ようと努力しています。しかし、無駄です。絶望の中で彼らは叫びます。「私は何とみじめな人間なのでしょう。この死の体から、だれが私を救い出してくれるのでしょうか。」ローマ7:24、欄外。これらの落胆し、もがいている人々は見上げなさい。救い主は、その血の代価に身をかがめ、言い表せない優しさ[85]と憐れみをもって、「癒されたいのか。」とおっしゃっています。彼は、あなたが健康

と平安のうちに立ち上がるよう命じています。癒されたと感じるまで待つてはなりません。救い主の言葉を信じてください。あなたの意志をキリストの側に置きましょう。彼に仕える意志を持ち、彼の言葉に従って行動することで、あなたは力を得るでしょう。悪習が何であれ、長期間の耽溺によって魂と体を縛り付ける主たる情熱をキリストは解放することができ、また解放したいと願っておられます。キリストは「罪過によって死んでいる」魂に命を与えてくださいます。エペソ人への手紙 2:1。キリストは弱さと不幸と罪の鎖に捕らわれている者を解放してください。

罪の意識は生命の源を毒しています。しかし、キリストはこう言っています。「

わたしはあなたの罪を取り除き、あなたに平安を与える。わたしはあなたをわたしの血で買い取った。あなたはわたしのものである。わたしの恵みはあなたの弱った意志を強め、罪に対するあなたの悔悟の念を取り除く。」誘惑があなたを襲うとき、心配や困惑があなたを取り囲むとき、落ち込み落胆し絶望に屈しそうになったとき、イエスに目を向けなさい。そうすれば、あなたを包む暗闇は、イエスの存在の明るい輝きによって消え去るでしょう。罪があなたの魂を支配しようと奮闘し、良心に重荷を負わせるとき、救い主に目を向けなさい。イエスの恵みは罪を征服するのに十分です。感謝の気持ちで、不安に震える心を主に向けなさい。あなたの前に置かれた希望をしっか

りつかみなさい。キリストはあなたを神の家族に迎え入れようと待っています。彼の力があなたの弱さを助け、一步一步あなたを導いてくれるでしょう。あなたの手をイエスの手に置き、主に導いてもらいなさい。

キリストが遠くにいると決して思わないでください。彼はいつも近くにいます。彼の愛に満ちた存在があなたを取り囲んでいます。あなたに見つけてもらいたいと願う彼を求めてください。彼はあなたが彼の衣に触れるだけでなく、常に彼と交わりながら歩むことを望んでいます。

[86]

「行きなさい。そしてもう罪を犯さないようにしなさい」

仮庵の祭りがちょうど終わったところでした。エルサレムの祭司とラビたちはイエスに対する陰謀に敗れ、夕方になると、「人々はみな自分の家に帰って行きました。イエスはオリーブ山へ行かれました。」ヨハネ7:53; 8:1。

イエスは、町の騒ぎと混乱、熱狂的な群衆と裏切り者のラビたちから離れて、オリーブ畑の静けさの中に身を寄せ、そこで神と二人きりでいられた。 [87]しかし、朝早くに神殿に戻り、人々が彼の周りに集まると、座って彼らに教え始めた。すぐにイエスは中断された。パリサイ人と律法学者の一団が、恐怖に震える女を引き連れてイエスに近づき、激しい声でその女が第七戒を破ったと非難した。彼らはその女をイエスの前に押しやり、偽

善的な敬意をこめて言った。「先生、この女は姦淫の現場で捕まりました。モーセは律法の中で、このような女は石打ちにすべきだと命じています。しかしあなたは何とおっしゃるのですか」4, 5節。

[88]

彼らの見せかけの敬意は、イエスを破滅に導く根深い陰謀を隠していた。イエスがその女性を無罪放免にすれば、モーセの律法を軽蔑したとして告発されるかもしれない。イエスが彼女を死に値すると宣言すれば、ローマ人から、自分たちだけに属する権威を偽った者として告発されるかもしれない。

イエスはその光景を見つめた。恥辱に震える被害者、人間的な憐れみさえも感じられない厳しい表情の高官たち。イエス

の汚れのない純粹な精神はその光景から遠ざかった。イエスは質問を聞いた様子も見せず、身をかがめて地面を見つめ、土に何かを書き始めた。

告発者たちはイエスの遅れと無関心に我慢できなくなり、イエスにこの問題を指摘するよう迫りながら近づきました。しかし、イエスの視線を追ってイエスの足元の舗道に目を落とすと、彼らの声は止まりました。彼らの前には、彼ら自身の人生の罪深い秘密が描かれていたのです。

イエスは立ち上がり、陰謀を企む長老たちに目を留めて言われた。「あなたたちの中で罪のない者が、まず彼女に石を投げなさい。」 7節。そして、身をかがめて書き続けた。

イエスはモーセの律法を無視すること、ローマの権威を侵害することもなかった。告発者たちは敗北した。今や、偽りの聖性の衣をはぎ取られ、彼らは罪と断罪を受け、限りない清らかさの前に立った。自分たちの生活に隠された罪が群衆に露見することを恐れ、彼らは頭を垂れ、目を伏せて、哀れみ深い救世主のもとに犠牲者を残して立ち去った。

イエスは立ち上がって、その女性を見て言われた。「あなたを告発した人たちはどこにいるのか。あなたを罪に定めた人はいないのか。」彼女は言った。「だれもいません、主よ。」するとイエスは彼女に言われた。「わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。そしてもう罪を

犯さないようにしなさい。」10, 11節。[89]

その女性は恐怖に震えながらイエスの前に立っていました。イエスの「あなたたちのうちで罪のない者が、まず石を投げなさい」という言葉は、彼女にとって死刑宣告のように聞こえました。彼女は救い主の顔に目を上げる勇気もなく、黙って自分の運命を待ちました。彼女は驚き、告発者たちが言葉を失い困惑して立ち去るのを見ました。その時、希望の言葉が彼女の耳に届きました。「わたしもあなたを罪に定めない。行きなさい。これからはもう罪を犯さないように。」彼女の心は溶け、イエスの足元に身を投げ出し、感謝の気持ちをすすり泣き、苦い涙で自分の罪を告白しました。

これは彼女にとって、神に捧げられた清らかで平和な新しい人生の始まりでした。この墮落した魂を奮い立たせることで、イエスは最も重い肉体の病気を癒すよりも大きな奇跡を起こしました。イエスは永遠の死に至る精神的な病を治したのです。この悔い改めた女性はイエスの最も忠実な信者の一人になりました。彼女は自己犠牲的な愛と献身をもって、イエスの許しの慈悲に感謝を示しました。この過ちを犯した女性に対して、世間は軽蔑と侮蔑しか向けませんでした。罪のない方は彼女の弱さを憐れみ、救いの手を差し伸べました。偽善的なパリサイ人が非難する中、イエスは彼女に「行きなさい。もう罪を犯さないようにしなさい」と命じました。

イエスはすべての魂の状況を知っておられます。罪人の罪が大きければ大きいほど、救い主を必要とします。神の愛と同情の心[90]は、敵の罠に最も絶望的に絡みついている人のために最も引き出されます。イエスは自らの血をもって人類の解放の証書に署名されました。

イエスは、そのような代価を払って買い取られた者たちが敵の誘惑の餌食になることを望んでおられません。イエスは私たちが打ち負かされて滅びることを望んでおられません。ライオンを穴の中で抑え、忠実な証人たちとともに燃える炎の中を歩いたイエスは、同じように私たちのために働き、私たちの本性にあるあらゆる悪を鎮める用意があります。今日、イエスは慈悲の祭壇に立ち、神の助けを

求める人々の祈りを神の前に捧げています。イエスは泣き、悔いる者を拒みません。イエスは赦しと回復を求めてイエスのもとに来る者すべてを惜しみなく赦します。イエスは啓示するすべてのことを誰にも告げませんが、震えるすべての魂に勇気を持ってと命じます。望む者は誰でも神の力をつかみ、神と和解することができます。そうすれば、イエスは和解してください。

イエスは、彼に避難する魂を非難や舌の争いから解放します。いかなる人間も、邪悪な天使も、これらの魂を非難することはできません。キリストは、彼らを自身の神性と人間性とを結びつけます。彼らは、神の玉座から発せられる光の中で

、偉大な罪の担い手であるイエスの傍らに立っています。

イエス・キリストの血は「すべての罪から」清めます。ヨハネ第一 1:7。

「神に選ばれた者たちをだれが責めることができましょうか。義と認めるのは神です。罪に定めるのはだれですか。死んだキリスト、いや、よみがえられたキリスト、神の右に座して、わたしたちのために執り成しをして下さるキリストです。」ローマ人への手紙第8章33、34節。 [91]

キリストは、風や波、そして悪魔にとりつかれた人々に対して、自分が絶対的な支配力を持っていることを示しました。嵐を静め、荒れ狂う海を静めたキリスト

は、サタンによって惑わされ、圧倒された人々の心に平安を語りました。

カペナウムの会堂で、イエスは罪の奴隷を解放するという使命について語っていました。恐怖の叫び声がそれを遮りました。狂人が群衆の中から駆け寄ってきて叫びました。「私たちを放っておいてください。ナザレのイエスよ、私たちはあなたと何の関係があるのですか。あなたは私たちを滅ぼすために来たのですか。私はあなたがどなたであるか知っています。あなたは神の聖者です。」マルコ1:24。

イエスは悪魔を叱責して言われた、「黙れ、彼から出て行け。すると悪魔は彼を真ん中に投げ飛ばし、そこから出て行って、彼を傷つけなかった。」ルカ4:35。

この男の苦悩の原因は、彼自身の生活にもありました。彼は罪の快樂に魅了され、人生を盛大なカーニバルにしようと考えていました。無節制と輕薄さが彼の氣高い性質を歪め、サタンが彼を完全に支配しました。後悔は遅すぎました。失われた男らしさを取り戻すために富と快樂を犠牲にしようとした時、彼は悪魔の支配下で無力になっていました。

救い主の御前で、彼は目覚めて自由を切望したが、悪魔はキリストの力に抵抗した。男がイエスに助けを求めようとしたとき、悪靈は彼の口に言葉を入れ、彼は恐怖の苦しみの中で叫び声を上げた。悪魔にとりつかれた男は、自分を解放できる方がいるということをも部分的に理解していたが、その力強い御手の届く範囲に

近づこうとしたとき、別の者の意志が彼を捕らえ、別の者の言葉が彼を通して発せられた。 [92]

サタンの力と自由を求める彼自身の欲求との間の葛藤はひどいものでした。拷問を受けた男は、彼の男らしさを台無しにした敵との闘いで命を落とすしかないように思えました。しかし、救い主は権威をもって語り、捕らわれた男を解放しました。悪魔にとりつかれていた男は、自制心を取り戻し、驚く人々の前に立ちました。

彼は喜びの声で、救いを神に賛美した。つい先日まで狂気の炎で光っていた目は、今や知性に輝き、感謝の涙であふれていた。人々は驚きで言葉を失った。彼らは言葉を取り戻すとすぐに、互いに叫ん

だ。「これは何だ？新しい教えだ！権威をもって、汚れた霊にさえ命じられる。そして、彼らは従うのだ。」マルコ1:27、RV

今日、カペナウムの悪霊にとりつかれた人と同じように、悪霊の支配下にある人が大勢います。神の戒めから故意に離れる人は皆、サタンの支配下に置かれています。多くの人が、いつでも悪から逃れられると思って、悪に手を染めますが、誘惑され続け、ついには自分の意志よりも強い意志に支配されていることに気づきます。その神秘的な力から逃れることはできません。秘密の罪や支配的な情熱が、カペナウムの悪霊にとりつかれた人と同じように、無力な捕虜になっているのかもしれない。

しかし、彼の状態は絶望的ではありません。神は私たちの同意なしに私たちの心を支配しません。しかし、すべての人は、自分を支配するためにどのような力を持つかを選択する自由があります。キリストによって救われないほど墮落した者、卑劣な者はいません。悪魔にとりつかれた者は、祈りの代わりにサタンの言葉しか発することができませんでした。しかし、心の無言の訴えは聞き届けられました。困っている魂からの叫びは、たとえ言葉で発せられなくても、無視されることはありません。神との契約に入ることに同意する者は、サタンの力や自分自身の本性の弱さに任せられることはありません。

「勇士の獲物は奪われるだろうか。正当な捕虜は解放されるだろうか。主はこう言われる。勇士の捕虜は解放され、恐ろしい者の獲物は解放される。わたしは、あなたと争う者と争い、あなたの子供たちを救うからだ。」イザヤ書49:24, 25。信仰によって心の扉を救い主に開く人には、驚くべき変化がもたらされるでしょう。 [94]

「私はあなたに力を与える」

十二使徒と同様に、キリストが遣わした七十人の弟子たちも、後に彼らの使命の証として超自然的な賜物を受けました。彼らの働きが完了すると、彼らは喜びながら帰って来て言いました。「主よ、あなたの御名によって、悪魔さえも私たちに従います。」イエスは答えました。「

私はサタンが稲妻のように天から落ちるのを見ました。」ルカ10：17、18。

これからキリストの信者はサタンを征服された敵とみなす必要があります。十字架上でイエスは彼らのために勝利を得ることになりました。イエスは彼らがその勝利を自分のものとして受け入れることを望んでいました。「見よ」とイエスは言いました。「わたしはあなたがたに、蛇やさそりを踏みつけ、敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を与える。そして、あなたがたに害を及ぼすものは何一つないであろう」19節。

聖霊の全能の力は、悔い改めたすべての魂の守りです。悔い改めと信仰をもって神の保護を求めた者は、だれ一人として敵の力に屈することをキリストは許しま

せん。サタンが強力な存在であることは事実ですが、ありがたいことに、私たちには天国から悪魔を追い出した強力な救世主がいます。私たちがサタンの力を誇張すると、サタンは喜びます。なぜイエスのことを語らないのでしょうか。なぜイエスの力と愛を誇張しないのでしょうか。

天上の王座を取り囲む約束の虹は、「神はその独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである」という永遠の証しです。ヨハネ3:16。これは、神が悪との戦いにおいてその子供たちを決して見捨てないということを宇宙に証ししています。それは、王座

そのものが存続する限り、私たちに強さと保護を約束するものです。 [95]

第6章 奉仕するために救われる

ガリラヤ湖の朝。イエスと弟子たちは、嵐の夜を海上で過ごした後、岸に上陸した。昇る太陽の光が、平和の祝福のように海と陸に降り注いでいた。しかし、彼らが浜辺に足を踏み入れると、嵐に荒れ狂う海よりも恐ろしい光景が目飛び込んできた。墓場のどこかの隠れ場所から、2人の狂人が彼らに襲い掛かり、彼らをバラバラに引き裂こうとしている。この男たちの周りには、監禁から逃れる際に破った鎖の一部がぶら下がっている。彼らの肉は引き裂かれて血を流し、長くもつれた髪から目が光り、人間らしさは完全に消え去っているかのようだった。彼

らは人間というより野獣のように見えた。
。

弟子たちとその仲間が恐怖に駆られて逃げるが、すぐにイエスが一緒にいないことに気づき、振り向いてイエスを探す。イエスは彼らが置き去りにした場所に立っていた。嵐を静め、以前にサタンに出会ってこれを征服したイエスは、これらの悪魔の前では逃げない。男たちが歯ぎしりし、口から泡を吹きながらイエスに近づくと、イエスは波を静める手を上げ、 [96]男たちはそれ以上近づくことができなかつた。彼らは怒り狂いながらも無力でイエスの前に立っている。

イエスは権威をもって汚れた霊どもに彼らから出て行くように命じます。不幸な男たちは、自分たちを苦しめる悪魔から

救ってくれる方が近くにいと悟ります。彼らは救い主の足元にひれ伏して慈悲を乞います。しかし、彼らの唇が開かれると、悪魔が彼らを通して話し、「神の子イエスよ、あなたは私たちと何のかかわりがあるのですか。私たちに苦しめるためにここまで来たのですか」と叫びます。マタイによる福音書第8章29節。 [97]

悪霊たちは犠牲者を解放せざるを得なくなり、悪魔にとりつかれた者たちに素晴らしい変化が起こります。彼らの心に光が差し込み、彼らの目は知性に輝きます。長い間悪魔の姿に歪んでいた表情は突然穏やかになり、血まみれの手は静まり、男たちは神を讃える声を上げます。

その間、人間の住処から追い出された悪魔たちは豚の中に入り込み、豚を破滅に追いやった。豚飼いたちは急いでその知らせを広め、全住民がイエスに会いに集まった。この二人の悪魔にとりつかれた者たちは国中の恐怖だった。今やこの男たちは服を着て正気を取り戻し、イエスの足元に座り、イエスの言葉を聞き、自分たちを癒したイエスの名を讃えている。しかし、この素晴らしい光景を見た人々は喜ばない。豚を失ったことの方が、悪魔に捕らわれたこの人々の解放よりも彼らには重要に思えるのだ。彼らは恐怖に駆られ、イエスに自分たちから離れるよう懇願し、イエスはそれに従い、すぐに向こう岸へ船で向かった。 [98]

悪霊にとりつかれた回復者たちの気持ちは、それとは全く異なります。彼らは、救い主との交わりを望んでいます。救い主のそばにいとると、自分たちの人生を苦しめ、人間性を無駄にしてきた悪霊から守られると感じます。イエスが船に乗ろうとするとき、彼らはイエスのそばに寄り添い、イエスの足元にひざまずき、イエスの言葉を聞けるようにそばに留まりたいと懇願します。しかし、イエスは彼らに、家へ帰って主が彼らのためにどんなにすばらしいことをしてくださったかを告げるように命じます。

ここに彼らのなすべき仕事があります。異教徒の家に行って、イエスから受けた祝福について話すことです。彼らにとって、救い主から離れることはつらいこと

です。異教徒の同胞と関わることで、大きな困難が彼らを襲うでしょう。そして、彼らは長い間社会から孤立していたため、この仕事に不適格であるように思われます。しかし、イエスが義務を指摘すると、彼らはすぐに従います。

彼らは自分の家族や近所の人々にイエスのことを語っただけでなく、デカポリス中を歩き回り、至る所でイエスの救いの力を宣べ伝え、イエスがいかにして彼らを悪霊から解放してくださったかを語りました。

ゲルゲサの人々はイエスを受け入れなかったが、イエスは彼らを彼らを選んだ暗闇の中に放っておかなかった。彼らがイエスに立ち去るように命じたとき、彼らはイエスの言葉を聞いていなかった。彼

らは自分たちが拒絶していたことを知らなかった。そのためイエスは彼らに光を送り、彼らが聞くことを拒まない者たちを通して送った。

豚を滅ぼすことで、サタンは人々を救い主から遠ざけ、その地域で福音が宣べ伝えられるのを阻止しようとした。しかし、この出来事は、他の何物にもできないほど国を奮い立たせ、キリストに人々の注意を向けさせた。救い主自身は去られたが、彼が癒した人々は彼の力の証人として残った。闇の君主[99]の霊媒であった人々は、光の伝達者、神の子の使者となった。イエスがデカポリスに戻ったとき、人々は彼の周りに群がり、3日間、周囲のすべての地域から何千人もの人々が救いのメッセージを聞いた。

悪霊にとりつかれた二人は、キリストがデカポリス地方に福音を教えるために遣わした最初の宣教師でした。この二人がキリストの言葉に耳を傾けたのはほんの短い間だけでした。キリストの口から出た説教は一つも彼らの耳に届きませんでした。彼らは、キリストと毎日共にいた弟子たちのように人々を教えることはできませんでした。しかし、彼らは自分たちが知っていること、つまり救い主の力について自分たち自身が見聞きし感じたことを伝えることはできました。これは、神の恵みに心を動かされたすべての人ができることです。これが私たちの主が求めている証であり、それが欠けているために世界は滅びつつあります。

福音は、生気のない理論としてではなく、人生を変える生ける力として提示されるべきです。神は、神の恵みによって人々がキリストのような性格を持ち、神の偉大な愛の確信に喜ぶことができるという事実を、神の僕たちに証言してもらいたいのです。救いを受け入れるすべての人が改心し、神の息子、娘としての神聖な特権に復帰するまで、神は満足できないという事実を、私たちに証言してもらいたいのです。

主は、その行いが主にとって最も不快なものであった人々でさえも、喜んで受け入れます。彼らが悔い改めると、主は彼らに神の霊を与え、彼らを不忠実な者の陣営に送り出し、主の慈悲を宣言させます。悪魔の道具に墮落した魂は、キリス

トの力によって正義の使者に変えられ、
主が彼らのためにどれほど偉大なことを
し、彼らに慈悲をかけたかを告げるため
に送り出されます。 [100]

「わたしはあなたを絶えず讃えます」
カペナウムの女性が信仰の触れ合いによ
って癒された後、イエスは彼女が受けた
祝福を認めるよう望まれました。福音が
提供する賜物は、こっそりと手に入れた
り、秘密裏に享受したりするものではあ
りません。

「主は言われる。あなたがたはわたしの
証人である。

わたしは神である。」

イザヤ 43:12。

神の忠実さを告白することは、キリスト
を世界に明らかにするために天が選んだ

手段です。私たちは、昔の聖人を通して知らされた神の恵みを認めるべきですが、最も効果的なのは私たち自身の経験の証言です。私たちは、神の力の働きを自分自身の中に明らかにすることで、神の証人となります。すべての個人は、他のすべての人とは異なる生活を持ち、本質的に異なる経験を持っています。神は、私たちの賛美が私たち自身の個性を特徴として神に届くことを望んでおられます。キリストのような生活に支えられた神の恵みの栄光を称賛するこれらの貴重な承認は、魂の救いのために働く抗えない力を持っています。

神の賜物をすべて記憶に鮮明に留めておくことは、私たち自身の利益になります。こうすることで、信仰が強められ、ま

すます多くを要求し、受け取ることができるようになります。私たちが神から受けるほんのわずかな祝福は、他の人の信仰と経験について読むことのできるすべての話よりも、私たちにとって大きな励ましとなります。神の恵みに応える魂は、水を与えられた庭のようになります。その人の健康はすぐに芽生え、暗闇の中で光が輝き、主の栄光がその人に見られるでしょう。 [101]

「主が

私に対して与えてくださったすべての恩恵に対して、私は何を主に返したらよいのでしょうか。

私は救いの杯を取り、
主の御名を呼びます。

私は主に誓いを果たします。

そうです、主の民すべての前で。」

「私は生きている限り、主に歌いましょう。

私が生きている限り、私の神を讃える歌を歌いましょう。主

を思い巡らすことは甘美なことでしょう。

私は主にあって喜びます。」

「主の偉大な業を語れる者は誰か。主の賛美をことごとく語りえようか。」

「主の名を呼び求めよ。主の御業を諸国の民に知らせよ。

主に歌い、主に賛美を歌え。」

「主の不思議な御業をことごとく語り、主の聖なる御名を讃えよ。

主を求める者の心を喜ばせよ。」

「あなたの慈しみは命よりもすぐれているので、

私の唇はあなたを賛美します。

私の魂は骨髄と脂肪で満たされ、

私の口は喜びの唇であなたを賛美します

。

私が床の上であなたを思い出し、

夜更けにあなたを黙想するとき。

あなたは私の助けであり、あなた

の翼の陰で私は喜びます。」

「私は神を信頼しています。恐れることはありません。

人は私に何ができるのでしょうか。

神よ、あなたの誓いは私にかかっています

す

。私はあなたに感謝の捧げ物を捧げます

。

あなたは私の魂を死から救い出し、私の足を倒れることから救い出し、私が生ける者の光の中で神の前に歩めるようにしてくださいましたか。」

「イスラエルの聖なる方よ。わたしがあなたに歌うとき、わたしの唇は大いに喜びます。わたしの魂はあなたが贖われたのです。わたしの舌も一日中あなたの正義を語ります。」 [102]

「あなたは私が若い頃から信頼していた者です

。私は常にあなたを称賛します。」

「私はあなたの名を記憶に残します。…

それゆえ、人々はあなたを称賛するでしょう。」

詩篇 116:12-14、RV。 104:33、34; 106:2; 105:1、2 (ARV)、2、3; 63:3-7、ARV。 56:11-13、ARV。 71:22-24、5、6; 45:17。

「ただで受けたのだから、ただで与えなさい」

福音の招きは、それを受け入れれば私たちに敬意を表してくれるだろうと私たちが考える、選ばれた少数の人々にのみ限定して伝えられるべきものではありません。そのメッセージはすべての人に伝えられるべきものです。神がその子供たちを祝福されるとき、それは彼ら自身のためだけでなく、世界のためでもあります。神が私たちに賜物を授けるのは、私

たちが分け与えることによってそれを増やすためです。

ヤコブの井戸でイエスと話したサマリアの女は、救い主を見つけるとすぐに、他の人々をイエスのもとに連れてきました。彼女はイエスの弟子たちよりも有能な宣教師であることを証明しました。弟子たちはサマリアに、励みになる畑であることを示唆するものは何も見ませんでした。彼らの思いは、将来なすべき偉大な仕事に向けられていました。彼らは、自分たちのすぐ近くに収穫の収穫があることに気づいていませんでした。しかし、彼らが軽蔑していた女性を通して、町中の人々がイエスの話を聞くようになりました。彼女はすぐに光を同胞に伝えました。

この女性は、キリストに対する実践的な信仰の働きを象徴しています。真の弟子は皆、宣教師として神の王国に生まれます。救い主を知るようになるとすぐに、彼は他の人々にも救い主を知ってもらいたいと願います。救いと聖化の真理は、彼の心に閉じ込めておくことはできません。生ける水を飲む者は、命の泉となります。受け取る者は与える者となります。魂の中のキリストの恵みは、砂漠の泉のようで、すべての人を元気づけるために湧き上がり、 [103]滅びようとしている人々に、命の水を飲みたくなる気持ちにさせます。この働きを行うことで、私たちが単に自分の利益のために働く場合よりも大きな祝福を受けます。救いの良

い知らせを広めるために働くことで、私たちは救い主に近づくことができます。主は、恵みを受ける人々についてこう言われます。

「わたしは彼らとわたしの丘の周囲の場所を祝福する。わたしは季節にしたがって雨を降らせる。そこには祝福の雨が降るであろう。」エゼキエル書 34:26、ARV

「祭りの最後の日、すなわち大祭の日に、イエスは立ち上がって叫んで言われた。『渴いている人はだれでも、わたしのところに来て飲みなさい。わたしを信じる者は、聖書に書いてあるとおり、その人の心の奥から生ける水が川となって流れ出るであろう。』」ヨハネ7:37, 38、ARV

受け取った者は他の人に分け与えなければなりません。あらゆる方向から助けを求める声が聞こえてきます。神は人々に、喜んで同胞に奉仕するよう呼びかけています。不滅の冠を獲得し、天国を獲得し、無知に滅びつつある世界は啓発されなければなりません。

「あなたがたは、『まだ四か月あるから収穫期が来る』と言ってはならない。見よ、わたしはあなたがたに言う。目を上げて畑を見なさい。すでに白くなって刈り入れを待っている。刈る者は報酬を受け、永遠の命に至る実を集める。」ヨハネ4:35, 36. [104]

3年間、弟子たちはイエスのすばらしい模範を目の当たりにしました。日々、彼らはイエスと共に歩き、語り、疲れた人

や重荷を負った人に対するイエスの励まし
の言葉を聞き、病人や苦しむ人のため
にイエスの力が現れるのを見ました。イ
エスが弟子たちのもとを去る時が来た
とき、イエスは彼らに恵みと力を与え、イ
エスの名においてイエスの働きを推し進
めました。弟子たちはイエスの愛と癒し
の福音の光を広く伝えることになりました。
そして救い主は、ご自身が常に彼ら
とともにあることを約束されました。イ
エスは聖霊を通して、人々の間で目に見
える形で歩いていたときよりもさらに彼
らの近くにいるでしょう。

弟子たちがした働きを、私たちも行うべ
きです。すべてのキリスト教徒は宣教師
でなければなりません。私たちは、助け
を必要とする人々に同情と慈悲の心で奉

仕し、苦しむ人類の悲しみを軽くするために無私の熱意で努めるべきです。

誰もが何かやるべきことを見つけられるでしょう。キリストのために働ける場所がないと感じる必要はありません。救い主は人類のすべての子供と自分を同一視しています。私たちが天の家族の一員になれるように、救い主は地上の家族の一員になりました。救い主は人の子であり、アダムのすべての息子と娘の兄弟です。救い主に従う者は、自分たちが周囲の滅びゆく世界から切り離されていると感じる必要はありません。彼らは人類の偉大なネットワークの一部であり、天国は彼らを聖人だけでなく罪人の兄弟として見ています。

病気と無知と罪の中にいる何百万もの人々は、キリストが自分たちに愛を注いでいることを一度も聞いたことがありません。もし私たちと彼らの状態が逆だったら、私たちは彼らに何をしてほしいと思うのでしょうか。私たちは、できる限りのことを彼らにしてあげなければなりません。私たち一人一人が裁きの場で立つか倒れるかを決めるキリストの人生の規則は、[105] 「あなたがたは、人々にしてもらいたいと思うことは何でも、人々にもそのようにしなさい」です。マタイ7:12。

教育や洗練、気高い性格、キリスト教の訓練、宗教的経験など、私たちに他の人より優位性を与えているすべてのものによって、私たちは恵まれない人たちに恩

義を感じています。そして、私たちの力の及ぶ限り、私たちは彼らに奉仕しなければなりません。私たちが強いなら、弱い人たちの手を握らなければなりません。

栄光の天使たちは、天の父の顔を常に見つめ、神の子供たちに仕えることを喜びとしています。天使たちは、最も必要とされる場所、最も困難な自己との戦いを強いられている人々、最も落胆させられる環境にいる人々のところに常にいます。多くの好ましくない性格特性を持つ、弱く震える魂は、天使たちの特別な役割です。利己的な心を持つ者にとっては屈辱的な奉仕とみなされる、みじめであらゆる点で劣った性格の人々に仕えること

は、天の宮廷の純粹で罪のない存在たちの仕事です。

イエスは、私たちが迷っている間、天国を望ましい場所とは考えませんでした。イエスは天の宮廷を去り、非難と侮辱の人生、そして恥辱の死を迎えました。天の計り知れない宝物に富んでいたイエスは貧しくなられました。それは、イエスの貧しさを通して私たちが豊かになれるためです。私たちはイエスが歩んだ道に従うべきです。

神の子となる者は、今後、自分自身を世界を救うために下ろされた鎖の環とみなすべきであり、キリストの慈悲の計画においてキリストと一体となり、失われた者を捜し出して救うためにキリストとともに進むべきである。

キリストの地上での生活の場面を訪れ、キリストが歩いた場所を歩き、キリストが教えるのを好んだ湖や、キリストが何度も目を留めた丘や谷を見るのは、大きな特権であると多くの人を感じています。しかし、イエスの足跡をたどるために、ナザレやカペナウムやベタニアに行く必要はありません。病床の傍ら、貧困の小屋、大都市の混雑した路地、そして慰めを必要とする人々の心があるあらゆる場所に、キリストの足跡を見つけるでしょう。

私たちは飢えた人々に食事を与え、裸の人々に衣服を与え、苦しんでいる人々や苦しむ人々を慰めなければなりません。私たちは絶望している人に奉仕し、絶望

している人に希望を与えなければなりません。

キリストの愛は、無私の奉仕に表れ、悪人を改心させるのに剣や法廷よりも効果的です。これらは法律違反者に恐怖を与えるために必要ですが、愛ある宣教師はそれ以上のことをすることができます。叱責によってかたくなになる心は、キリストの愛によって溶けてしまうことがよくあります。

宣教師は肉体の病を治すだけでなく、罪人を偉大な医者のもとに導くことができます。医者は罪のらい病から魂を清めることができます。神は、その僕たちを通して、病人、不幸な人、悪霊にとりつかれた人々が神の声を聞けるように計画しています。神は、人間の代理人を通して

、世の知らないような慰め手になりたいと願っています。

救い主は、苦しむ人、悲しむ人、誘惑される人に仕える教会を設立するために、その尊い命を捧げられました。信者の集団は貧しく、教育を受けておらず、無名であるかもしれませんが、キリストにあって、彼らは家庭で、地域社会で、さらには「彼方の地」で働き、その結果は永遠に及ぶでしょう。

最初の弟子たちだけでなく、今日のキリストの信者たちにも、次の言葉が語られています。

「わたしは天においても地においても、いっさいの権威を授けられている。それゆえ、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として教えよ。」 「全世界に出

て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えなさい。」 マタイ28:18, 19; マルコ16:15。 [107]

そして、私たちにも、主が共にいてくださるという約束があります。「見よ、わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」 マタイ28:20。

今日、キリストを見聞きしようと、好奇心旺盛な群衆が砂漠地帯に集まることはありません。賑やかな通りでキリストの声は聞こえません。道端から「ナザレのイエスが通り過ぎる」という叫び声も聞こえません。ルカによる福音書 18:37。しかし、この言葉は今日も真実です。キリストは私たちの通りを人目につかずに歩いておられます。慈悲のメッセージを持って、私たちの家に来られます。キリ

ストの名において奉仕しようとするすべての人と協力するために、キリストは待っておられます。私たちがキリストを受け入れるなら、キリストは私たちの真ん中にいて、癒しと祝福を与えてくださいます。

「エホバはこう言われる。恵みの時にわたしはあなたに答え、救いの日にあなたを助けた。わたしはあなたを守り、あなたを民の契約として与え、国を復興させ、荒れ果てた嗣業を彼らに相続させる。縛られている者たちには『出よ』と言い、暗やみにいる者たちには『姿を現せ』と言う。」

「山々の上にいる者の足はなんと美しいことか。

良い知らせを伝え、平和を告げ知らせる

者。

良い知らせを伝え、救いを告げ知らせる者。

シオンに『汝の神は支配しておられる』
と言う者。』

イザヤ 49:8, 9、ARV; 52:7。

「荒れ地よ、喜びの声をあげ、共に歌え
。

主は民を慰められた。主は
すべての国々の目の前で、
その聖なる腕をあらわにされた。
そして、地の果てまでもが、
われらの神の救いを見るであろう。』

9節、10節。 [108] [109]

医師の仕事

[110]

「わたしがしたようにあなたがたもする
ように、わたしは模範を示したのです。

」 [111]

第7章 神と人間の共働

医師は癒しの働きにおいてキリストの協力者でなければなりません。救い主は魂と肉体の両方に働きかけました。彼が教えた福音は、靈的生命と肉体的回復のメッセージでした。罪からの解放と病気の治癒は結びついていました。同じ働きがクリスチャン医師に委ねられています。医師はキリストと一体となって、同胞の肉体的および靈的必要の両方を緩和しなければなりません。医師は病人にとって慈悲の使者となり、病んだ体と罪に苦しむ魂に治療薬を届けなければなりません。

キリストは医学界の真の長です。最高の医師であるキリストは、人間の苦しみを

和らげるために働く、神を畏れるすべての医師の傍らにいます。医師は身体の病気に自然の治療法を用いますが、患者を魂と身体の両方の病を和らげることができる神に導くべきです。医師が手助けすることしかできないことを、キリストは成し遂げます。医師は自然の治療の働きを手助けしようと努めます。キリスト自身が治療者です。医師は生命を維持しようとしませんが、キリストは生命を与えます。 [112]

癒しの源

救い主は奇跡によって、人間を支え、癒すために絶えず働いている力を明らかにされました。神は自然の力を通して、私たちを生かし、成長させ、回復させるために、日々、時間ごとに、瞬間ごとに働

いています。体のどの部分が傷ついたりしても、治癒の過程はすぐに始まります。自然の力が働いて、健全な状態に戻ろうとするのです。しかし、これらの力を通して働く力は神の力です。命を与える力はすべて神から来ています。人が病気から回復するとき、その人を回復させるのは神です。

病気、苦しみ、そして死は敵対する力の働きです。サタンは破壊者であり、神は回復者です。

イスラエルに語られた言葉は、今日、体の健康や魂の健康を取り戻した人々に当てはまります。「わたしはあなたを癒す主である。」出エジプト記 15:26。

神がすべての人間に対して抱いている願いは、「愛する者よ、わたしは何よりも

、あなたのたましいが栄えているように、あなたの健康も栄えることを願います」という言葉に表されています。ヨハネの手紙三 2 章。

主は「あなたのすべての咎を赦し、あなたのすべての病を癒し、あなたの命を滅びから救い出し、あなたに慈しみと優しいあわれみの冠を授けてくださる」方です（詩篇103:3, 4）。

キリストは病気を癒されたとき、多くの苦しむ人々に「もう罪を犯してはならない。さもないと、もっと悪いことがあなたに起こるであろう」と警告されました。ヨハネ5:14。このようにして、彼らは神の律法を破ることで自ら病気を招いており、従順によってのみ健康を保つことができるかと教えられました。

医師は患者に、回復の働きにおいて神に協力すべきであると教えるべきです。医師は、病気は罪の結果であるという事実を絶えず認識しています。十戒の戒律と同様に、自然の法則は神聖なものであり、それに従うことによってのみ健康を回復または維持できることを知っています。医師は、多くの苦しみが有害な習慣の結果であり、自分自身の回復のためにできることをすれば健康を回復できる可能性があると見ています。身体的、精神的、または霊的なエネルギーを破壊する習慣はすべて罪であり、健康は神が全人類の利益のために定めた法則に従うことによって確保されるべきであることを医師に教える必要があります。 [114]

医者が、不適切な飲食やその他の悪い習慣が原因で病気にかかっている患者を見ても、そのことを告げないなら、その医者は仲間を傷つけていることになります。酒飲み、狂人、放縦にふける人、皆医者に、苦しみは罪の結果であるとはっきりとはっきりと告げるよう訴えます。人生の原理を理解する人は、病気の原因を打ち消すために真剣に努力すべきです。痛みとの絶え間ない闘いを見て、苦しみを和らげるために絶えず努力している医者は、どうして平静を保てますか？病気の治療法として厳格な節制を教えない医者は、慈悲深いと言えるのでしょうか？神の戒めの道は命の道であるということを明らかにしましょう。神は自然の法則を定めましたが、神の法則は恣意的な強

制ではありません。物理的法であれ道徳的法であれ、「汝はしてはならない」というすべての言葉は約束を意味します。私たちがそれに従えば、祝福が私たちの歩みに伴ってきます。神は私たちに正しいことを強制することは決してありませんが、私たちが悪から救い、善へと導こうとされます。

イスラエルに教えられた律法に注目しましょう。神は彼らの生活習慣に関して明確な指示を与えました。神は彼らに肉体的および精神的な健康に関する律法を知らせ、従順を条件に「主はあなたからすべての病を取り去る」と保証しました。申命記 7:15。「私が今日あなたたちの中で証言するすべての言葉を心に留めなさい。」「それは、それを見つける人々に

とって命であり、全身に健康をもたらすからである。」申命記 32:46；箴言 4:22。

神は、キリストの賜物によって可能になった完全性の基準に私たちが到達することを望んでおられます。神は、私たちが正しい側を選択し、天の機関とつながり、私たちの中に神のイメージを回復させる原則を採用することを求めています。

[115]神は、書かれた言葉と自然の偉大な書物の中で、人生の原則を明らかにしました。これらの原則に関する知識を得て、従順によって、身体と魂の健康を回復するために神と協力することが私たちの仕事です。

人は、従順の祝福が完全に得られるのは、キリストの恵みを受けたときだけであ

るということを学ぶ必要があります。神の律法に従う力を人に与えるのは、キリストの恵みです。これによって、人は悪習慣の束縛を断ち切ることができます。これが、人を正しい道にしっかりと導き、保つことができる唯一の力です。福音を純粹に力強く受け入れるなら、それは罪から生じた病を治すものとなります。正義の太陽が昇り、「その翼には癒しの力」があります。マラキ書 4:2。この世が与えるものすべてが、傷ついた心を癒し、心の平安を与え、心配を取り除き、病気を消し去ることができるわけではありません。名声、天才、才能、すべては、悲しみに暮れる心を喜ばせたり、無駄にされた人生を回復したりする力が

ありません。魂の中の神の命こそが、人間の唯一の希望なのです。

キリストが全存在に浸透させる愛は、活力を与える力です。脳、心臓、神経など、すべての重要な部分に癒しを与えます。それによって、存在の最高のエネルギーが活性化されます。それは、生命力を押しつぶす罪悪感や悲しみ、不安や心配から魂を解放します。それとともに、平静さと落ち着きがもたらされます。それは、地上のいかなるものも破壊できない喜び、聖霊の喜び、健康と生命を与える喜びを魂に植え付けます。

「わたしのもとに来なさい。そうすれば、あなたがたを休ませてあげます」（マタイ11:28）という救い主の言葉は、肉体的、精神的、霊的な病を癒すための処方

箋です。人々は自らの悪行によって苦しみを招いていますが、主は彼らを憐れんでくださいます。彼らは主のもとに助けを見いだすことができます。主は、主に信頼する人々のために偉大なことをなさるでしょう。 [116]

罪は長年にわたり人類に対する支配力を強め、サタンは偽りと策略によって神の言葉に彼の解釈の暗い影を落とし、人々に神の善良さを疑わせてきましたが、それでも父なる神の慈悲と愛は豊かな流れとなって地上に流れ続けています。もし人類が神の賜物に感謝して魂の窓を天に開くなら、癒しの力が洪水のように流れ込むことでしょう。

キリストの協力者として受け入れられることを望む医師は、仕事のあらゆる面で

有能になろうと努力します。医師は、自分の職業の責任に十分対応できるよう熱心に勉強し、より高い水準に達するよう常に努力し、知識の増大、より優れた技術、より深い識別力を求めます。すべての医師は、無力で非効率的な仕事をする人は、病人に害を及ぼすだけでなく、同僚の医師に対しても不当な行為をしていることを認識する必要があります。低い水準の技術と知識に満足する医師は、医療専門家を軽視するだけでなく、最高の医師であるキリストを辱めます。

自分が医療の仕事に適していないと分かった人は、他の仕事を選ぶべきです。病人の世話に適していても、教育や医学的資格が限られている人は、看護婦として忠実に奉仕し、仕事の地味な部分を引き

受けるのが良いでしょう。熟練した医師のもとで患者に奉仕することで、彼らは絶えず学び、知識を得る機会を常に活用することで、やがて医師の仕事に十分適格になるでしょう。若い医師は、「主治医と共に働く者として、…神の恵みをむだに受けず、…何事にもつまずきを与えず、病人の奉仕が非難されることのないようにしなさい。かえって、すべてのことにおいて、神の奉仕者としてふさわしい者となりなさい。」コリント人への手紙第二6:1-4。 [117]

神が私たちに与えた目的は、私たちが常に向上することです。真の医療宣教師である医師は、ますます熟練した医師になるでしょう。優れた専門能力を持つ有能なクリスチャン医師は、他の人々を医療

宣教師として教育し訓練できる場所で神への奉仕に従事するよう求められ、奨励されるべきです。

医者、神の言葉の光を自分の魂に集めるべきです。彼は恵みにおいて絶えず成長すべきです。彼にとって、宗教は単に他のものの中の一つの影響力であってはなりません。それは他のすべてを支配する影響力でなければなりません。彼は高尚で神聖な動機から行動しなければなりません。その動機は、悪に打ち勝つ力を私たちに与えるために命を捧げた方から来るため、強力なのです。

医師が自分の職業において有能になるよう誠実かつ熱心に努力し、キリストの奉仕に身を捧げ、時間をかけて自分の心を探求するなら、彼は神聖な使命の神秘を

つかむ方法を理解するでしょう。彼は自らを鍛え、教育することで、彼の影響範囲内にいるすべての人が、知恵と力の神と繋がっている人が得た教育と知恵の素晴らしさを目にすることでしょう。

医師の仕事ほどキリストとのより密接な交わりが必要な場所はありません。医師の義務を正しく果たそうとする者は、毎日、毎時間、キリスト教徒としての生活を送らなければなりません。患者の命は医師の手の中にあります。重篤な症例での不注意な診断、間違った処方、あるいは手術中の手の動きがほんのわずかでも、命が犠牲になり、魂が永遠の世界に送り出される可能性があります。何と厳粛な考えでしょう。医師が常に神聖な医師

の支配下にあることは、何と重要なこと
でしょう。

知恵と思考の明晰さを彼に求めるすべて
の人を喜んで助けてくださいます。そし
て、多くの決定が左右される医師以上に
知恵と思考の明晰さを必要とする人がい
るでしょうか。命を延ばそうとしている
人は、信仰をもってキリストに頼り、あ
らゆる行動を導いてください。救い主は
、困難な症例に対処するための機転と技
術をその人に与えてくださいます。

病人の保護者に与えられる機会は素晴ら
しいものです。病人の回復のためになさ
れるすべてのことにおいて、医師は病氣
と闘うために神と協力するのを助けよう
としていることを保護者に理解させまし
ょう。神の法則に従って行われるすべて

のステップにおいて、神の力の助けを期待できると保護者が感じられるよう導いてください。

病人や苦しんでいる人々は、神を愛し、神を畏れていると確信している医師に対して、はるかに強い信頼を抱くでしょう。彼らは医師の言葉に頼ります。彼らはその医師の存在と治療に安心感を覚えます。

主イエスを知っているなら、祈りによって病室に主の臨在を招くことは、キリスト教徒の医師の特権です。重大な手術を行う前に、医師は偉大な医師の助けを求めましょう。苦しんでいる患者に、神は試練を無事に切り抜けることができる、苦難の時には常に神は神を信頼する者にとっての確実な避難所である、と確信さ

せましよう。これができない医師は、そうでなければ救えたかもしれない症例を次々と失います。苦しみの鼓動をすべて感じ、祈りの中で魂の必要を主に伝えることのできる同情深い救い主への信仰を鼓舞する言葉を医師が話すことができれば、危機はより安全に切り抜けられるでしょう。

心を読む者だけが、多くの患者がどんなに震え、恐怖しながら外科医の手による手術に同意するかを知ることができます。彼らは自分の危険を認識しています。彼らは医師の技術に信頼を置いているかもしれませんが、それが[119]絶対確実ではないことを知っています。しかし、医師が頭を下げて神の助けを求める祈りをしているのを見ると、彼らは自信に駆ら

れます。感謝と信頼は神の治癒力に心を開き、全存在のエネルギーが活性化され、生命力が勝利します。

医師にとっても、救い主の存在は強さの要素です。医師の仕事の責任と可能性は、しばしば精神に恐怖をもたらします。不確実性と恐怖の熱狂は、手を不器用にします。しかし、神の助言者が傍らにいて、導き支えてくれるという確信は、静けさと勇気を与えます。医師の手にキリストが触れると、活力、安らぎ、自信、そして力がもたらされます。

危機が無事に過ぎ去り、成功が明らかになったら、患者と一緒に少しの間祈りを捧げましょう。命が助かったことへの感謝の気持ちを伝えましょう。患者から医師へ感謝の言葉が伝わるときには、神に

賛美と感謝を捧げましょう。患者に、天の医師の保護のもとで命が助かったことを伝えましょう。

このような方針に従う医師は、患者を、その命を託すお方、彼のもとに来る者すべてを完全に救うことができるお方のもとへ導いているのです。

医療伝道活動には、魂に対する深い憧れが込められるべきです。医師には福音伝道者と同等に、人間に託された最高の信頼が託されています。自覚の有無にかかわらず、すべての医師には魂の治療が託されています。

病気や死を扱う仕事において、医師は来世の厳粛な現実を見失いがちです。肉体の危険を回避しようと真剣に努力するあまり、魂の危険を忘れてしまいます。医

師が治療している患者[120]は、生命を失っているかもしれません。最後の機会が彼の手から逃げ去ろうとしています。医師はキリストの審判の座でこの魂と再会しなければなりません。

しばしば、時宜を得た言葉を発しないことで、最も貴重な祝福を逃してしまいます。絶好の機会を見逃すと、その機会は失われます。病人のベッドサイドでは、信条や論争の言葉を口にすべきではありません。信仰をもって神のもとに来る者すべてを救おうとするお方に、苦しんでいる人を導きましょう。生と死の狭間で揺れ動く魂を助けるために、真剣に、優しく努めましょう。

キリストが自分の個人的な救い主であることを知っている医師は、自分自身が避

難所に導かれたので、助けを求めて彼に頼る、震え、罪に苦しみ、罪に苦しんでいる魂をどう扱うべきかを知っています。彼は、「救われるためには何をしなければなりませんか」という質問に答えることができます。彼は救い主の愛の物語を語ることができます。彼は悔い改め[121]と信仰の力について経験から話すことができます。彼は簡単で真剣な言葉で、祈りの中で魂の必要を神に伝えることができ、病人が慈悲深い救い主の憐れみを求め、それを受け入れるように励ますことができます。彼がこのように病人のベッドサイドで奉仕し、助けと慰めをもたらす言葉を話そうと努めるとき、主は彼とともに、彼を通して働きます。苦しんでいる人の心が救い主に向けられると、

キリストの平和がその心を満たし、彼にもたらされる霊的な健康は、身体を回復するための神の助けの手として用いられます。

病人を診る際、医師はしばしば、苦しんでいる人の友人に奉仕する機会を見出すでしょう。彼らは、苦しみの床のそばで、苦痛の激痛を少しでも防ぐことのできない無力感を感じながら見守っていると、心が和らぎます。他の人には隠された悲しみが医師に表明されることもしばしばあります。そのとき、これらの苦しんでいる人々を、疲れた人や重荷を負っている人を招いておられる神に導く機会が生まれます。多くの場合、彼らのために、また彼らと共に祈りを捧げ、すべての災いを癒し、すべての悲しみを和らげて

くださる方に彼らの必要を告げることができます。

神の約束

医師には、患者を神の言葉の約束に導く貴重な機会があります。医師は宝庫から古いものや新しいものを持ってきて、あちこちで切望されている慰めと教えの言葉を語らなければなりません。医師は自分の心を新鮮な考えの倉庫にしましょう。神の言葉を熱心に研究し、その約束をよく知るようにしましょう。キリストが地上での宣教活動中に、教えを与えたり病人を癒したりする際に語った慰めの言葉を繰り返すことを学びましょう。医師はキリストによってなされた癒しの業、その優しさと愛について語るべきです。医師は患者の心を主治医であるキリスト

に導くことを決して怠ってはいけません。
[122]

キリストが人々の間を歩いていたときに行使したのと同じ力が、彼の言葉の中にあります。イエスは彼の言葉によって病気を癒し、悪霊を追い出しました。彼の言葉によって海を静め、死者を蘇らせました。そして人々は彼の言葉が力あるものであることを証言しました。彼は旧約聖書のすべての預言者や教師に語ったように、神の言葉を語りました。聖書全体がキリストの現れです。

聖書は、単に書かれたものではなく、語られた神の言葉として受け取るべきです。苦しむ人々がキリストのもとに来たとき、キリストは助けを求める人々だけでなく、時代を超えて同じような必要を抱

え、同じような信仰を持ってキリストのもとに来るすべての人々を見つめました。中風の人に「子よ、元気を出しなさい。あなたの罪は赦された」と言われた時、またカペナウムの女に「娘よ、安心しなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい」と言われた時、キリストは、助けを求めるべき、罪に苦しむ他の人々に話しかけたのです。マタイ 9:2; ルカ 8:48。

神の言葉の約束のすべても同様です。その中で、神は私たち一人ひとりに語りかけ、私たちが神の声を聞くことができるかのように直接語りかけます。これらの約束の中で、キリストは私たちに神の恵みと力を伝えます。それらは「諸国民を癒す」木の葉です。黙示録 22:2。受け取

られ、吸収されれば、それらは人格の強さ、人生のインスピレーションと支えとなるはずです。そのような癒しの力を持つものは他にありません。他の何ものも、存在全体に活力を与える勇気と信仰を与えることはできません。

墓の縁で恐怖に震えている人、苦しみと罪の重荷に疲れた魂に対して、医師は機会があるたびに救い主の言葉を繰り返して聞かせなさい。聖書の言葉はすべて主の言葉だからです。

あなたの名を呼んだ。あなたはわたしのものである。あなたが水の中を渡るときも、わたしはあなたとともにいる。川の中を渡るときも、川はあなたを越えない。あなたが火の中を歩いても、あなたは焼かれず、炎はあなたの上に燃え上がる

ことはない。わたしはあなたの神、主、イスラエルの聖者、あなたの救い主である。…あなたはわたしの目に尊ばれ、わたしはあなたを愛した。」 「わたしは、わたし自身のためにあなたのそむきの罪を消し去り、あなたの罪を思い出さない者だ。」 「恐れるな。わたしはあなたとともにいる。」 イザヤ書 43:1-4, 25, 5。

「父がその子をあわれむように、主は主を恐れる者をあわれまれる。主はわたしたちの成り立ちを知っておられ、わたしたちが塵であることを覚えておられる。」 詩篇103:13, 14。

「ただ、あなたの罪を認め、あなたの神、主に背いたことを認めなさい。」 「もし私たちが自分の罪を告白するならば、

神は真実で正しい方であるから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。」 エレミヤ書 3:13; ヨハネ第一 1:9。

「わたしはあなたの背きを厚い雲のように消し去り、あなたの罪を雲のように消し去った。わたしに立ち返れ。わたしはあなたを贖ったのだ。」 イザヤ書44:22。

「さあ、われわれは共に論じよう、と主は言われる。たといあなたがたの罪は緋のようであっても、雪のように白くなる。たといあなたがたの罪は紅のように赤くても、羊の毛のようになる。もしあなたがたが進んで従うなら、地の良いものを食べることができる。」 イザヤ書 1:18, 19。

「わたしは永遠の愛をもってあなたを愛し、慈しみをもってあなたを引き寄せた。」 「わたしはしばらくの間、あなたから顔を隠したが、永遠の慈しみをもってあなたをあわれむ。」 エレミヤ書 31:3; イザヤ書 54:8。

「心を騒がせるな。」 「わたしは平和をあなたがたに残して行く。わたしの平和をあなたがたに与える。わたしが与えるのは、世が与えるようなものとは異なる。心を騒がせるな、またおじけるな。」 ヨハネ14:1, 27。

「人は風を免れる隠れ場、暴風雨を免れる隠れ場のようになる。乾いた所の水の流れのようになり、疲れた地にある大きな岩の陰のようになる。」 イザヤ書32章2節。

「貧しい者や乏しい者が水を求めても、それもなく、渇きのために舌が枯れるとき、主なるわたしは彼らに答える。イスラエルの神であるわたしは彼らを見捨てない。」イザヤ書41:17。

「あなたを造った主はこう言われる。」

「わたしは渇いた者に水を注ぎ、乾いた地に洪水を注ぐ。わたしはわたしの霊をあなたの子孫に注ぎ、わたしの祝福をあなたの子孫に注ぐ。」イザヤ書 44:2, 3。

「地の果てに至るすべての人々よ、わたしを仰ぎ見て救われ。」イザヤ書45:22。

「彼は私たちの弱さを負い、私たちの病を負われた。」 「彼は私たちの背きのために刺され、私たちの咎のために打ち砕かれた。私たちに平安をもたらさず懲らし

めが彼に与えられ、彼の傷によって私たちは癒された。」 マタイ8:17; イザヤ53:5。 [125]

第8章 医師であり教育者でもある

真の医師は教育者です。医師は、直接治療する病人だけでなく、自分が住む地域社会に対する責任も認識しています。医師は、身体的および精神的健康の守護者としての立場にあります。医師の使命は、病人の治療に正しい方法を教えるだけでなく、正しい生活習慣を奨励し、正しい原則の知識を広めることです。

健康原則に関する教育の必要性

健康原理の教育が今ほど必要とされたことはありません。生活の快適さや便利さ、さらには衛生面や病気の治療など、多くの分野で素晴らしい進歩が見られるにもかかわらず、体力や持久力の低下は憂慮すべきものです。これは、同胞の幸福

を心から願うすべての人々の注意を喚起するものです。

我々の人工文明は健全な原則を破壊する悪を助長している。習慣や流行は自然と対立している。習慣や流行が強制する習慣や流行が助長する放縦は、着実に肉体的、精神的強さを弱め、[126]人類に耐え難い重荷をもたらしている。無節制と犯罪、病気と悲惨さは至る所にある。

多くの人が無知から健康法則に違反しており、指導を必要としています。しかし、大多数の人々は彼らよりもよく知っています。彼らは、自分の知識を人生の指針とすることの重要性を深く認識する必要があります。医師には、健康の原則に関する知識を伝え、それを実践することの重要性を示す機会がたくさんあります

。医師は、正しい指導によって、計り知れない害をもたらしている悪を正すのに大いに役立ちます。

大量の病気と、さらに深刻な悪の根底にある習慣は、毒薬の乱用です。病気にかかっても、多くの人々は病気の原因を突き止めようとはしません。彼らの最大の関心事は、痛みや不便から逃れることです。そこで、本当の効能をほとんど知らない特効薬に頼ったり、自分の悪行の結果を打ち消す何らかの治療法を求めて医師に頼ったりしますが、不健康な習慣を変えることは考えていません。すぐに効果が実感できないと、別の薬を試し、さらに別の薬を試します。こうして悪は続きます。

人々は、薬が病気を治すわけではないことを教わる必要があります。確かに、薬は時々一時的に症状を和らげ、薬の使用の結果、患者が回復したように見えることがあります。これは、自然には毒を排出し、病気の原因となった状態を正すのに十分な生命力があるからです。薬を服用しても健康は回復します。しかし、ほとんどの場合、薬は病気の形と場所を変えるだけです。毒の影響は一時的には治ったように見えますが、その結果は体内に残り、後になって大きな害を及ぼすことがよくあります。

毒薬の使用により、多くの人が一生の病気にかかり、自然療法で救えたかもしれない多くの命が失われています。多くのいわゆる治療薬に含まれる毒は、魂と体

の両方を破滅させる習慣と食欲を生み出します。特許薬と呼ばれる人気の特効薬の多く、さらには医師が処方する薬の一部でさえ、社会にとって恐ろしい呪いである酒癖、アヘン癖、モルヒネ癖の基礎を築く役割を果たしています。

より良いものへの唯一の希望は、正しい原則を人々に教えることです。医師は人々に、回復力は薬ではなく自然にあることを教えましょう。病気は、健康法則の違反から生じる状態からシステムを解放しようとする自然の努力です。病気の場合、原因を突き止めなければなりません。不健康な状態は変え、間違った習慣は修正する必要があります。そして、不純物を排出し、システム内の正しい状態を

回復しようとする自然の努力を助けます。
。

自然療法

清らかな空気、日光、節制、休息、運動、適切な食事、水の使用、神の力への信頼、これらが真の治療法です。すべての人が自然の治癒力とその応用法についての知識を持つべきです。病人の治療にかかわる原理を理解することと、この知識を正しく活用できるようにするための実践的な訓練を受けることが不可欠です。

自然療法には、多くの人が喜んで与えないような注意と努力が必要です。自然の治癒と成長のプロセスは徐々に進むため、せっかちな人には遅いように思われます。有害な嗜好を断つには犠牲が必要です。しかし、最終的には、自然は、束縛

されずに、賢明かつうまくその働きをすることが分かります。自然の法則に従い続ける人は、身体と心の健康という報酬を得るでしょう。 [128]

健康の維持にはあまり注意が払われていません。病気になったときに治療方法を知るよりも、病気を予防する方がはるかに優れています。自分自身のために、そして人類のために、生命の法則について知識を持ち、誠実にそれに従うことは、すべての人の義務です。すべての人は、すべての有機体の中で最も素晴らしい人体について知る必要があります。さまざまな器官の機能と、すべての器官が健康に活動するために互いに依存していることを理解する必要があります。心が身体に及ぼす影響、身体が心に及ぼす影響、

およびそれらを支配する法則を研究する
必要があります。

人生の葛藤に備える訓練

健康は偶然によるものではないということ
を、私たちは何度も思い起こさせられ
ます。それは法則に従うことの結果です
。これは、運動競技や力比べの参加者に
よって認識されています。これらの人々
は、最も入念な準備をします。彼らは徹
底した訓練と厳しい規律に従います。あ
らゆる身体的習慣は注意深く規制されま
す。彼らは、身体の器官や機能を弱めたり
不自由にしたりする怠慢、過剰、不注意
は、敗北を確実にすることを知っています。

人生の戦いで成功を確実にするためには
、このような注意深さがどれだけ重要か

。私たちが従事しているのは、模擬戦ではない。私たちは永遠の結果を賭けた戦いを繰り広げている。目に見えない敵と対峙しなければならない。悪の天使たちは、すべての人間の支配を狙っている。健康を害するものは何でも、肉体的な活力を低下させるだけでなく、精神的、道徳的な力を弱める傾向がある。不健康な習慣に耽溺すると、善悪の区別がつきにくくなり、悪に抵抗するのが難しくなる。失敗や敗北の危険が増す。 [129]

「競技場で走る者はみな走りますが、賞を受けるのはひとりだけです。」 コリント人への第一の手紙 9:24。私たちが従事している戦いでは、正しい原則に従って自分を鍛える人はみな勝つことができます。生活の細部でこれらの原則を実践す

ることは、あまりに些細なこと、つまり注意を払う必要のないことだと見なされるのがよくあります。しかし、問題を考えると、私たちがしなければならないことは何一つ小さなことではありません。すべての行為は、人生の勝敗を決める秤にその重みを投じます。聖書は私たちに、「あなたがたも獲得するために走りなさい」と命じています。24節。

私たちの最初の両親は、節度のない欲望のためにエデンを失いました。すべてのことにおいて節度を保つことは、人々が考える以上に、エデンへの復帰と関係があります。

使徒パウロは、古代ギリシャの競技会の参加者が実践した自己否定を指摘して、次のように書いています。「勝利を得よ

うとする者はみな、すべてのことに節制を守ります。彼らは朽ちる冠を得るためにそうしますが、私たちは朽ちない冠を得るためにそうします。ですから、私は、不安に駆られて走らず、空を打つ者のように戦わず、自分の体を制して服従させます。それは、他の人に宣べ伝えておきながら、自分自身が見捨てられることのないためです。」25-27節。

改革の進展は、根本的な真実を明確に認識することにかかっています。一方では、狭い哲学と冷たく厳しい正統主義に危険が潜んでいる一方で、不注意な自由主義には大きな危険があります。すべての永続的な改革の基盤は神の法です。私たちは、この法に従う必要性を明確かつ明確に示さなければなりません。その原則

は人々の前に示されなければなりません。それらは神自身と同様に永遠かつ容赦のないものです。

最初の背教の最も嘆かわしい影響の一つは、人間の自制心の喪失でした。この力が回復されて初めて、真の進歩がもたらされるのです。 [130]

肉体は、精神と魂を発達させて人格を磨く唯一の媒体です。魂の敵は、肉体の力を弱め、墮落させることに誘惑を向けるのです。ここでの敵の成功は、全存在が悪に屈することを意味します。私たちの肉体の性質は、より高い力の支配下にならない限り、必ず破滅と死をもたらします。肉体は服従させられるべきである。存在のより高い力が支配するべきである。情熱は意志によって制御されるべきであり

、意志自体も神の制御下にあるべきである。神の恩寵によって神聖化された理性の王権が私たちの生活を支配するべきである。

神の要求を良心に刻み込まなければなりません。男性も女性も、自制の義務、純潔の必要性、あらゆる墮落した欲望や汚れた習慣からの解放に目覚めなければなりません。彼らは、自分の精神と肉体の力はすべて神からの賜物であり、神に奉仕するために可能な限り最良の状態で保存されるべきであるという事実を心に刻む必要があります。

福音の象徴であった古代の儀式では、傷のない供え物を神の祭壇に捧げることは許されませんでした。キリストを表す供え物は汚れのないものでなければなりません。

せんでした。神の言葉は、神の子供たちが「生きた供え物」、「聖なる、傷のない」、「神に喜ばれる」存在であるべきことの例としてこれを示しています。ローマ12:1、RV、欄外；エペソ5:27。

神の力なしには、真の改革は成し遂げられません。自然および培われた傾向に対する人間の障壁は、激流に対する砂州に過ぎません。キリストの命が私たちの生活に活力を与える力となるまで、私たちは内外から襲いかかる誘惑に抵抗することはできません。

キリストはこの世に来られ、神の律法を生きられました。それは、人が魂を墮落させる自然の性向を完全に制御できるようにするためです。[131]魂と体の医者であるキリストは、戦う欲望に勝利を与

えます。キリストは、人が完全な性格を持つことができるように、あらゆる手段を用意しました。

人がキリストに従うとき、心は法の支配下に置かれます。しかし、それはすべての捕虜に自由を宣言する王の法です。キリストと一体になることで、人は自由になります。キリストの意志に従うことは、完全な人間性への回復を意味します。神に従うことは、罪の束縛からの解放であり、人間の情熱と衝動からの解放です。人は自分自身に打ち勝ち、自分の性癖に打ち勝ち、支配と権力に打ち勝ち、「この世の暗黒の支配者たち」と「天上の悪の霊」に打ち勝つことができます。エペソ6:12。

家庭ほど、このような教えが必要な場所はなく、またそれがより大きな善を生み出す場所もありません。親は習慣と性格の根幹に関わっています。改革運動は、神の律法の原則を肉体的および道徳的健康の両方に関係するものとして彼らに提示することから始めなければなりません。神の言葉に従うことだけが、世界を破滅に導いている悪に対する唯一の防御策であることを示してください。親の責任を、自分自身だけでなく、子供たちに対しても明らかにしてください。親は子供たちに従順か違反かのどちらかの模範を示しています。彼らの模範と教えによって、その家庭の運命が決まります。子供たちは、親が育てたものになります。

もし親たちが自分たちの行動の結果をたどり、自分たちの模範と教えによって罪の力や正義の力が永続し、増大することを理解できれば、必ず変化がもたらされるでしょう。多くの人が伝統や慣習を捨て、人生の神聖な原則を受け入れるでしょう。 [132]

模範の力

人々の家で奉仕し、病人のベッドサイドで見守り、彼らの苦しみを和らげ、彼らを墓場から連れ戻し、死にゆく人々に希望を語る医師は、他のほとんどの人に与えられないような信頼と愛情を獲得します。福音の牧師でさえ、委ねられた可能性はそれほど大きくなり、影響力もそれほど広範囲に及びません。

医師の模範は、その教えと同様に、正義の側に積極的な力となるべきです。改革の大義は、自制心を示す生活習慣を持つ男女を求めています。教え込んだ原則を実践することで、その原則に重みが生まれます。神の恵みが人類に失われた王権を回復させ、自らをコントロールする力を与えるという実践的な実証が、世界に必要なのです。 [133]キリストのような生活に現れる福音の救いの力に関する知識ほど、世界に必要なものはないのです。

医師は、正しい模範の力と励ましを必要とする人々と絶えず接します。多く的人是道徳心が弱く、自制心が欠け、誘惑に負けやすいのです。医師がこれらの魂を助けることができるのは、自らの人生に

において、あらゆる有害な習慣や汚れた欲望に打ち勝つことができる信念の強さを示すときだけです。医師の人生には、神の力が働いていることが見て取れます。医師がここで失敗すると、たとえ言葉がいかに力強く説得力があっても、医師の影響は悪影響を及ぼすでしょう。

自分の悪い習慣のせいで道徳的に破綻した多くの人々が、医師の助言や治療を求めています。彼らは傷つき、弱り、傷つき、自分の愚かさや克服できない無力さを感じています。そのような人々は、自分を今の自分たらしめている考えや感情を継続させるようなものを周囲に一切置くべきではありません。純粹で高尚な考えの雰囲気を呼吸する必要があります。彼らに正しい模範を示すべき人々が有害

な習慣にとらわれ、その影響が誘惑をさらに強くしているとしたら、それはなんと恐ろしい責任でしょう。

医師と禁酒運動

タバコやアルコール飲料の使用によって心身を蝕んでいる患者が医師の診察を受けることが多い。責任を果たそうとする医師は、こうした患者に苦しみの原因を指摘しなければならない。しかし、医師自身がタバコやアルコール飲料の使用であれば、その言葉にどれほどの重みが与えられるだろうか。自分の放縦を自覚しながら、患者の生活における病変を指摘することをためらわないだろうか。自分でもこれらのものを使用しながら、どうして若者にそれらの有害な影響を納得させることができるだろうか。 [134]

医師自身が下劣な習慣にふけているのに、どうして社会で純潔と自制心の模範となり、禁酒運動の有能な働き手となることができるでしょうか。息が酒やタバコの臭いで不快な臭いを放っているのに、どうして病人や死にかけの患者のベッドサイドで、好意的に医療行為ができるでしょうか。

麻薬を使って神経を混乱させ、脳を曇らせながら、腕のいい医師としての信頼に応えられるだろうか。素早く判断したり、正確に実行したりするのは、彼にとって不可能なことだ。

もし彼が自分自身の存在を支配する法則を守らず、心身の健全さよりも利己的な満足を選ぶならば、それによって彼は人間の命に対する責任を託される資格がな

いことを宣言していることになるのではないだろうか。

医者がどんなに熟練し、忠実であっても、明らかに落胆したり、敗北したりする経験は数多くあります。医者の仕事は、自分が成し遂げたいと切望していることを達成できないことがよくあります。患者の健康は回復しますが、それは患者にとっても世界にとっても実際には何の利益にもならないかもしれませぬ。健康を取り戻しても、病気を招くような放縦を繰り返す人が多くいます。以前と同じ熱意で、彼らは再び放縦と愚行の輪に陥ります。彼らにとって、医者の仕事は無駄な努力のように思えます。

キリストも同じ経験をされましたが、苦しむ一人の魂のために努力を止めませぬ

でした。清められた十人のらい病人のうち、その恵みに感謝したのは一人だけでした。その人は異邦人でサマリア人でした。その一人のために、キリストは十人を癒されました。医者が救い主よりも成功しなかったとしても、主治医から教訓を学びましょう。キリストについては、「彼は衰えず、落胆しない」と書かれています。「彼は自分の魂の苦しみを見て、満たされる」。イザヤ書 42:4; 53:11。
[135]

もしたった一人でもキリストの恵みの福音を受け入れたなら、キリストはその人を救うために、苦労と屈辱の人生と恥辱の死を選んだことでしょう。私たちの努力によって、一人の人間が高められ、高貴になり、主の宮廷で輝くにふさわしい

者となれば、私たちは喜ぶべきではないでしょうか。

医師の職務は困難で、つらいものです。その職務を最もうまく遂行するためには、強健な体質と健康が必要です。虚弱な人や病気の人、医師の職務に伴う過酷な労働に耐えることはできません。完全な自制心を持たない人は、あらゆる種類の病気に対処する資格を得ることはできません。

睡眠不足に陥り、食事さえも怠り、社会的な楽しみや宗教的特権から大きく切り離された医師の生活は、常に影に覆われているように思われる。医師が目にする苦悩、助けを求める依存的な人間、墮落した人々との接触は、心を病ませ、人間性に対する信頼をほとんど破壊する。

病気や死との戦いでは、あらゆるエネルギーが耐えられる限界まで駆り立てられます。この恐ろしい緊張からの反応は、人格を極限まで試します。そのときこそ、誘惑が最大の力を発揮するのです。他の職業の人間以上に、医師は自制心、精神の清らかさ、そして天国に通じる信仰を必要とします。他人のため、そして自分自身のために、医師は物理的な法則を無視することはできません。身体的な習慣の無謀さは、道徳の無謀さにつながります。

医師の唯一の安全は、いかなる状況下でも、神にのみ見出される確固とした目的意識によって強められ高貴な原則に従って行動することです。医師は神の品性の道徳的卓越性に立つべきです。医師は日

々、時間ごとに、瞬間ごとに、目に見えない世界[136]を見ているかのように生きなければなりません。モーセがしたように、医師は「目に見えない神を見ているかのように」耐えなければなりません。正義は敬虔さに根ざしています。自分の命がキリストとともに神に隠されていない限り、人は同胞の前で純粹で力強い人生を着実に維持することはできません。人々の間の活動が活発になればなるほど、心と天との交わりはより緊密にならなければなりません。

医師の義務が緊急であればあるほど、また責任が大きければ大きいほど、医師は神の力を必要とします。時間は、永遠の事柄について瞑想するために、一時的なものから解放されなければなりません。

医師は、迫りくる世界に抵抗しなければなりません。迫りくる世界は、医師を力の源から引き離すほどに迫ってきます。医師は、他の誰よりも、祈りと聖書の学習によって、神の保護の盾の下に身を置くべきです。医師は、魂の中に神の特質を明らかにする真実、正義、慈悲の原理と常に接触し、意識的に交わりながら生きなければなりません。

神の言葉が受け入れられ、従われる度合いに応じて、その力強さと生命力は、あらゆる行動の原動力、あらゆる性格の局面に刻み込まれます。神の言葉はあらゆる考えを浄化し、あらゆる欲望を規制します。神の言葉を信頼する人々は、男らしく自分を捨て、強くなります。彼らは

、あらゆる卑しいものから抜け出し、汚れのない環境へと昇ります。

人間が神と交わりを持つとき、異教の宮廷の腐敗の中でヨセフとダニエルを守ったあの揺るぎない決意が、彼の人生を汚れのない純粋なものにするでしょう。彼の人格の衣は汚れのないものとなるでしょう。彼の人生においてキリストの光は曇らないでしょう。明るい明けの明星が彼の上に不動の輝きを放ち、変わることのない栄光を放つでしょう。

そのような生活は、共同体の強さの要素となるでしょう。それは悪に対する障壁となり、誘惑に陥った人々への保護となり、困難や落胆の中で正しい道を求めている人々への導きの光となるでしょう。

[137]

医療宣教師とその活動

[138]

彼らは「多くの人々の中にあって主から
出る露のようになる」 [139]

第9章 教えと癒し

キリストは12人の弟子たちを最初の宣教旅行に送り出すとき、彼らにこう命じました。「行って宣べ伝えなさい。『天の国は近づいた。病人を癒し、重い皮膚病を患っている人を清め、死人を生き返らせ、悪霊を追い出さなさい。ただで受けたのだから、ただで与えなさい。』」マタイ10:7, 8。

後に派遣された七十人に対して、イエスはこう言われました。「どの町に入っても、…そこの病人をいやし、そして、『神の国はあなたがたに近づきました』と言いなさい。」ルカ10:8, 9。キリストの臨在と力が彼らとともにあり、「七十人は喜んで帰って来て言った。『主よ、あ

「あなたの名によって、悪霊さえも私たちに従います。』」17節。

キリストの昇天後も同じ働きが続けられました。キリスト自身の宣教の場面が繰り返されました。「周囲の町々から」群衆が「病人や汚れた霊に悩まされている人々を連れてエルサレムにやって来て、皆癒された。」使徒行伝 5:16。

そして弟子たちは「出て行って、至る所で宣べ伝えた。主は彼らとともに働いておられた。」 「ピリポはサマリアの町に下って行って、キリストを宣べ伝えた。人々はピリポの話すことばに心をこめて耳を傾けた。…汚れた霊が…取りつかれている多くの人々から出て行き、中風や足の不自由な多くの人々が癒された。そ

してその町に大きな喜びが広がった。」
マルコ16:20; 使徒行伝8:5-8。

弟子たちの働き

ルカは、その名を冠した福音書の著者であり、医療宣教師でした。聖書では、彼は「愛された医者」と呼ばれています。コロサイ 4:14。使徒パウロは、彼の医者としての腕前を聞き、主が特別な仕事を任せた人として彼を探し出しました。彼は彼の協力を得て、しばらくの間、ルカは彼とともに各地を旅しました。 [141] しばらくして、パウロはマケドニアのピリピにルカを残しました。彼はここで、医者として、また福音の教師として数年間働き続けました。医者としての仕事では、彼は病人を助け、それから、苦しんでいる人々に神の癒しの力が宿るよう祈

りました。こうして、福音のメッセージへの道が開かれました。ルカは医者として成功し、異教徒の間でキリストを宣べ伝える多くの機会を得ました。弟子たちが働いたように、私たちも働くことが神の計画です。肉体の癒しは、福音の使命と密接に結びついています。福音の働きにおいては、教えることと癒すことは決して切り離されるべきではありません。弟子たちの仕事は福音の知識を広めることでした。彼らには、キリストが人々にもたらした良い知らせを全世界に宣べ伝える仕事が託されました。彼らはその仕事を当時の人々のために成し遂げました。福音は一世代のうちに天の下のすべての国々に伝えられました。

福音を世界に伝えることは、神がその名を冠する者たちに託した仕事です。地上の罪と悲惨に対する唯一の解毒剤は福音です。神の恵みのメッセージを全人類に知らせることは、その癒しの力を知る者たちの最初の仕事です。 [142]

キリストが福音のメッセージとともに弟子たちを遣わしたとき、神とその言葉への信仰は、この世からほとんど消え去っていました。エホバの知識があると公言していたユダヤ人の間でも、神の言葉は伝統と人間の思索のために無視されていました。利己的な野心、見せびらかしへの愛、金銭欲が人々の思考を支配していました。神への畏敬の念が消え去ると、人々への思いやりも消え去りました。利己主義が支配的な原理となり、サタンは

人類を悲惨で墮落させるという意志を働かせました。

悪魔の力が人間を支配した。神の住処として造られた人間の体は悪魔の住処となった。人間の感覚、神経、器官は、最も卑劣な欲望を満たすために超自然的な力によって操作された。悪魔の刻印そのものが人間の顔に刻み込まれた。人間の顔は、人間が支配する悪の軍団の表情を反映していた。

今日の世界の状況はどうなっているのでしょうか。聖書への信仰は、キリストの時代の伝統とラビ主義によって破壊されたのと同じように、今日の高等批評と思索によっても破壊されているのではないのでしょうか。貪欲と野心と快樂への愛は、当時と同じように今も人々の心を強く捕

らえているのではないでしようか。キリスト教を標榜する世界、キリスト教を標榜する教会でさえ、キリスト教の原則に従っている人はいかに少ないことでしょう。ビジネス、社交、家庭、宗教界でさえ、キリストの教えを日常生活の規範としている人はいかに少ないことでしょう。「正義は遠く離れ、公平は入り込むことができない。悪から離れる者は自らをえじきとする」というのは本当ではないでしようか。イザヤ書 59:14, 15。

私たちは「犯罪の蔓延」の真っ只中に生きており、神を畏れる思慮深い人々はどこにいても愕然としています。蔓延する腐敗は、人間の筆力ではとても描写できません。毎日、政治的争い、賄賂、詐欺の新たな暴露がもたらされます。毎日、

暴力と無法、 [143]人間の苦しみへの無関心、残忍で残忍な人命の破壊という、胸が痛くなるような記録がもたらされます。毎日、狂気、殺人、自殺が増加していることが証明されています。悪魔の力が人々の間で働き、精神を乱し腐敗させ、体を汚し破壊する活動がますます活発になっていることを疑う人がいるのでしょうか。

そして、世界がこれらの悪に満ちている一方で、福音はあまりにも無関心な方法で提示されることが多すぎて、人々の良心や生活にほとんど影響を与えません。どこにでも、手に入らないものを切望する心があります。彼らは、罪を克服する力、悪の束縛から解放する力、健康と命と平和を与える力を切望しています。か

つて神の言葉の力を知っていた多くの人々は、神の存在が認識されない場所に住み、神の存在を切望しています。

今日の世界には、1900年前に必要とされていたもの、つまりキリストの啓示が必要です。偉大な改革の働きが求められており、キリストの恵みを通してのみ、肉体的、精神的、霊的な回復の働きが達成されるのです。

キリストの方法だけが、人々への働きかけにおいて真の成功をもたらします。救い主は人々の幸せを願う者として人々と交わりました。彼らに同情を示し、彼らの必要を満たし、彼らの信頼を獲得しました。そして、彼らに「わたしに従いなさい」と命じました。

個人的な努力によって人々に近づく必要
があります。説教に費やす時間を減らし
、個人的な奉仕に費やす時間を増やすと
、より大きな成果が見られるでしょう。
貧しい人は安心し、病人は世話され、悲
しんでいる人や遺族は慰められ、無知な
人は教えられ、経験の浅い人は助言され
なければなりません。私たちは泣く人と
ともに泣き、喜ぶ人とともに喜ばなけれ
ばなりません。 [144]説得の力、祈りの
力、神の愛の力を伴うこの仕事は、実を
結ばないはずがありません。

医療伝道活動の目的は、罪に苦しむ男女
を、世の罪を取り去るカルバリの人へと
導くことであるということ、私たちは
常に覚えておくべきです。イエスを仰ぎ
見ることによって、彼らはイエスの似姿

に変えられるのです。私たちは、病人や苦しんでいる人々がイエスを仰ぎ見て生きるよう励ますべきです。肉体と魂の病で落胆している人々の前に、働く人々が常に偉大な医者であるキリストを置きましょう。肉体的、霊的病の両方を癒すことのできるお方に彼らを導きましょう。彼らの弱さに心を動かされるお方について彼らに伝えましょう。彼らが永遠の命を得られるよう、命を捧げてくださったお方の世話に身を委ねるよう、彼らを励ましましょう。主の愛について語り、救うお方の力について伝えましょう。

これは医療宣教師の高い義務であり、貴重な特権です。そして個人的な奉仕が、このための道を整えることがよくあります。神は、肉体的な苦痛を和らげようと

する私たちの努力を通して、しばしば人々の心を動かします。

医療宣教活動は福音の先駆的な活動です。言葉の宣教と医療宣教活動において、福音は宣べ伝えられ、実践されなければなりません。

ほとんどすべてのコミュニティには、神の言葉の説教を聞かず、いかなる宗教儀式にも出席しない人々が大勢います。もし彼らに福音が届くなら、福音を彼らの家に届けなければなりません。多くの場合、彼らの肉体的必要の救済が彼らに近づく唯一の手段です。病人を世話し、貧しい人々の苦しみを和らげる宣教師の看護婦は、彼らとともに祈り、神の言葉を読み、救い主について語る機会を数多く見つけるでしょう。彼らは、情熱によっ

て墮落した欲望を制御する意志の強さを持たない無力な人々とともに、また彼らのために祈ることができます。彼らは、敗北し落胆している人々の生活に一筋の希望をもたらすことができます。彼らの無私の愛は、私心のない親切な行為として表され、これらの苦しんでいる人々がキリストの愛を信じることを容易にするでしょう。

多くの人は神を信じず、人間への信頼を失っています。しかし、彼らは同情や助けの行為を高く評価します。彼らは、地上の賞賛や報酬を誘因としない人が自分の家を訪れ、病人を助け、飢えた人に食事を与え、裸の人に衣服を与え、悲しむ人を慰め、すべての人を神へと優しく導くのを見て、人間の働き手は神の愛と憐

れみの使者にすぎないのだと、心を打たれます。感謝の気持ちが湧き上がり、信仰が燃え上がります。彼らは神が自分たちを気遣ってくださっていることを知り、神の言葉が明かされるとき、耳を傾ける用意ができます。

外国での宣教であろうと、国内の宣教師であろうと、男女を問わずすべての宣教師は、病人に奉仕することができれば、人々とより容易に接することができ、その有用性は大いに増すでしょう。宣教師として異教の地に赴く女性は、他のあらゆる扉が閉ざされているときに、その地の女性たちに福音を伝える機会を得られるかもしれません。福音を伝える働き手は皆、痛みを和らげ、病気を取り除くの

に大いに効果のある簡単な治療法のやり方を知っておくべきです。

健康の原則を教える

福音伝道者は、健康的な生活の原則についても指導できる必要があります。病気はどこにでもありますが、そのほとんどは健康の法則に注意を払えば予防できます。人々は、健康の原則が現世と来世の両方において自分たちの幸福にどのような影響を与えるかを理解する必要があります。創造主が住まいとして用意した人間の住居に対する責任に目覚める必要があります、創造主は彼らに忠実な管理者となるよう望んでいます。彼らは、聖書の言葉に伝えられる真実に感銘を受ける必要があります。

「あなたがたは生ける神の宮である。神が言われたとおり、わたしは彼らの間に住み、また彼らの間に歩む。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。」コリント人への手紙第二6:16。

何千人もの人々が、病人を治療する簡単な方法、つまり有毒な薬の使用に代わる方法に関する指導を必要としており、喜んで受け取ろうとしています。食生活改革に関する指導が大いに必要とされています。間違った食習慣や不健康な食物の摂取は、世界を呪う無節制、犯罪、惨めさの大きな原因となっています。

健康の原則を教える際には、改革の最大の目的、つまりその目的は身体と精神と魂の最高の発達を確保することであるということを心に留めてください。自然の

法則は神の法則であり、私たちの利益のために設計されていることを示してください。それに従うことは、この人生での幸福を促進し、来世への準備に役立ちます。 [147]

人々が自然の営みに表れる神の愛と知恵について研究するように導いてください。人々がその驚異的な有機体、人間の組織、そしてそれを支配する法則について研究するように導いてください。神の愛の証拠を認識し、神の法則の知恵と恩恵、そして従順の結果についてある程度理解する人々は、自分の義務と責任をまったく異なる観点から見るとなるでしょう。健康の法則の遵守を犠牲や自己否定の問題として見るのではなく、彼らは

それを実際のところ計り知れない祝福として見るでしょう。

福音伝道者なら誰でも、健康的な生活の原則を教えることは自分に与えられた仕事の一部であると感じるべきです。この仕事は大いに必要とされており、世界はそれを求めています。

どこにでも、個人の努力を組織の仕事に置き換える傾向があります。人間の知恵は、統合、中央集権化、そして大きな教会や組織の建設へと向かいます。大勢の人々は慈善活動を組織や組織に任せ、世界との接触を避け、心が冷たくなります。自己中心的になり、感動しなくなります。神と人間への愛は魂から消え去ります。

キリストは、信者たちに個人的な仕事を託しています。それは代理人ではできない仕事です。病人や貧しい人々への奉仕、失われた人々に福音を伝えることは、委員会や慈善団体に任せておくべきものではありません。個人の責任、個人の努力、個人の犠牲こそが、福音の要求なのです。

「大通りや垣根の外に出て行って、人々を無理やり連れて来なさい。そうすれば、私の家は満たされる。」これはキリストの命令です。彼は、人々が恩恵を与えたいと思う人々と接触するように導きます。「追い出された貧しい人々をあなたの家に連れて来なさい」と[148]彼は言います。「裸の人を見たら、それを着せなさい。」「彼らは病人に手を置けば、彼

らは癒される。」ルカ14:23、イザヤ58:7、マルコ16:18。直接の接触、個人的な奉仕を通して、福音の祝福は伝えられるべきです。

神は古代、神の民に光を与えるにあたり、特定の階級だけを通して働いたわけではありません。ダニエルはユダの王子でした。イザヤも王家の出身でした。ダビデは羊飼いの少年、アモスは牧者、ゼカリヤはバビロンの捕虜、エリシャは土地を耕す者でした。主は預言者や王子、高貴な者や卑しい者を代表者として立て、彼らに世界に伝える真理を教えました。主は、その恵みにあずかる者すべてに、他の人々のために仕事を任命します。私たちはそれぞれ自分の分と場所に立って、「ここに私がおります。私をお遣わし

ください」と言うべきです。イザヤ書 6:8。御言葉の牧師、宣教師の看護婦、クリスチャンの医師、個々のクリスチャン、商人であろうと農夫であろうと、専門職の人であろうと機械工であろうと、すべての人に責任があります。人々に救いの福音を明らかにするのが私たちの仕事です。私たちが従事するすべての事業は、この目的を達成するための手段であるべきです。

与えられた仕事を引き受ける人は、他の人々に祝福を与えるだけでなく、自分自身も祝福されます。義務をきちんと果たしたという意識は、反射的に彼ら自身の魂に影響を与えます。落胆している人は落胆を忘れ、弱い人は強くなり、無知な人は賢くなり、すべての人は、彼らを召

した神の中に、頼りになる助け手を見出すでしょう。

キリスト教会は奉仕のために組織されています。その標語は奉仕です。そのメンバーは兵士であり、彼らの救いの指揮官の下で戦闘のために訓練されます。キリスト教の牧師、医師、教師は、多くの人々が認識しているよりも広い仕事をしています。彼らは人々に奉仕するだけでなく、人々に奉仕することを教える必要があります。彼らは正しい原則を教えるだけでなく、聞き手にこれらの原則を伝えるように教育する必要があります。生きられず、伝えられない真理は、その命を与える力、その治癒力を失います。その祝福は、共有されて初めて保持されます。

神への奉仕の単調さを打破する必要があります。教会員は皆、主への奉仕に何らかの形で従事する必要があります。他の人ほど多くのことはできない人もいますが、世界を席卷している病気や苦悩の波を食い止めるために、全員が全力を尽くすべきです。多く的人是、始め方を教えられれば喜んで働くでしょう。彼らは指導され、励まされる必要があります。

すべての教会は、キリスト教の働き手のための訓練学校であるべきです。そのメンバーは、聖書朗読の仕方、安息日学校の授業の指導と指導の仕方、貧しい人々を助け病人を世話する最善の方法、未改宗者のために働く方法などを教えられるべきです。健康学校、料理学校、キリスト教のさまざまな分野の援助活動のクラ

スがあるべきです。教えるだけでなく、経験豊富なインストラクターの下で実際の仕事をするべきです。人々の間で働く際には、教師が先導し、他の人々は彼らと団結して、彼らの模範から学ぶべきです。一つの模範は多くの教訓よりも価値があります。

皆が自分の肉体と精神力を最大限まで鍛え、神の摂理が彼らを呼ぶところで神のために働けるようにしなさい。パウロとアポロにキリストから与えられた、彼らの霊的卓越性を際立たせた同じ恵みが、今日、献身的なキリスト教宣教師たちにも与えられるでしょう。神は、その子供たちが知性と知識を持ち、紛れもない明瞭さと力で神の栄光が私たちの世界に現れることを望んでおられます。 [150]

神に献身している教育を受けた働き手は、教育を受けていない人よりも、より多様な方法で奉仕し、より広範な仕事を成し遂げることができます。彼らは精神を鍛えているので有利な立場にいます。しかし、大きな才能も教育も受けていない人でも、他の人に受け入れられる奉仕ができるかもしれません。神は、喜んで用いられる人を用います。最も優秀で才能のある人の働きが、最も大きく、最も永続的な結果を生み出すわけではありません。天からのメッセージを聞いた男女が必要です。最も効果的な働き手は、「わたしのくびきを負って、わたしに学びなさい」という招きに応じる人です。マタイ 11:29。

必要なのは心の伝道師です。神に触れられた人は、神の愛を一度も知らなかった人々への深い思いで満たされます。彼らの状況は、彼に個人的な悲しみの念を抱かせます。彼は自分の命をかけて、天から遣わされ、天から啓示された使者として、天使たちが協力できる働きをするために出かけて行きます。

神が偉大な知性の才能を託した人々が、その賜物を利己的に使うなら、試練の期間の後、彼らは自分の道を歩むことになるでしょう。神は、それほど豊かに恵まれているようには見えない人々、大きな自信を持たない人々を受け入れ、弱い人々を強くします。なぜなら、彼らは神を信頼して、自分ではできないことをして

くれるからです。神は心からの奉仕を受け入れ、自ら欠点を補います。

主はしばしば、限られた学校教育しか受けられなかった人々を、その協力者として選んでこられました。これらの人々は、その力を非常に熱心に発揮し、主は彼らの仕事への忠誠心、勤勉さ、知識への渴望に報いてくださいました。主は彼らの涙を目撃し、彼らの祈りを聞いてこられました。バビロンの宮廷の捕虜に主の祝福が与えられたように、主は今日も働く人々に知恵と知識を与えておられます。
。 [151]

学校教育を受けておらず、社会的地位も低い人々が、キリストの恵みによって、時にはキリストのために魂を獲得することに驚くほど成功しました。彼らの成功

の秘訣は、神への信頼でした。彼らは、助言が素晴らしく、力強い神について日々学んでいました。

そのような働き手は励まされるべきです。主は彼らを、他の人が残した穴を埋めるために、より優れた能力を持つ人々とのつながりに導いてくださいます。彼らは何をすべきかを素早く見抜き、困っている人を喜んで助け、親切な言葉と行いをすることで、そうでなければ閉ざされたままだったであろう役に立つ扉を開きます。彼らは困っている人に近づき、その言葉の説得力のある影響力は、多くの震える魂を神に引き寄せせる力を持っています。彼らの働きは、彼らがそうするならば、他の何千人もの人々が何をするかを示しています。

より広い人生

他人のために働くことほど、自己犠牲の熱意を呼び起こし、人格を広げ、強めるものはない。多くの自称キリスト教徒は、教会の関係を求めるにあたり、自分のことしか考えない。彼らは教会の交わりと牧会的な世話を楽しまたいと願う。彼らは大きく繁栄した教会の会員になり、他人のためにほとんど何もしないことに満足する。このようにして、彼らは最も貴重な祝福を自分から奪っている。多く人は、快適で気楽な交わりを犠牲にすることで大いに恩恵を受けるだろう。彼らは、キリスト教の働きで自分のエネルギーが発揮され、責任を負えるようになる場所に行く必要がある。 [152]

密集した木々は、健康に、そして丈夫に育ちません。庭師は、木々が成長できる余地を与えるために、木々を移植します。同様の作業は、大きな教会の多くの信者にも役立つでしょう。彼らは、活発なキリスト教の活動にエネルギーが注がれる場所に植えられる必要があります。彼らは、他人のために自己犠牲的な労働をしないために、霊的な命を失い、矮小化され、非効率的になっています。どこかの宣教地に移植すれば、彼らは強く、元気に育つでしょう。

しかし、他の人を助け始める前に、どこか遠い場所に呼ばれるまで待つ必要はありません。奉仕の扉はどこにでも開かれています。私たちの周りには、助けを必要としている人々があります。未亡人、孤

児、病人、死に瀕した人、心を病む人、落胆した人、無知な人、追放された人が至るところにいます。

近所に住む人々のために働くことは、私たちの特別な義務であると感じるべきです。宗教的なことに関心のない人々を最もよく助ける方法を学びましょう。友人や近所の人を訪問するときは、彼らの霊的幸福と現世的幸福に関心を示しましょう。罪を赦す救い主としてのキリストについて彼らに話しましょう。近所の人を家に招き、彼らと一緒に貴重な聖書や聖書の真理を解説する本を読んでもください。歌と祈りであなたと一緒にいるよう、彼らを招いてください。これらの小さな集まりには、約束されたようにキリスト

ご自身がおられ、人々の心はキリストの恵みに触れるでしょう。

、外国の無知な魂を救うのと同じくらい重要なことである。遠く離れた魂の重荷を感じている人がいる一方で、国内にいる多くの人々は、自分たちの周囲にいる貴重な魂の重荷を感じ、彼らの救いのために同じように熱心に働くべきである。

多く人は、自分の狭い人生を生きていることを後悔しています。彼ら自身が望めば、人生を広く影響力のあるものにすることができます。心と精神と魂を込めてイエスを愛し、隣人を自分自身のように愛する人々は、自分の能力と影響力を活かす広い分野を持っています。

小さなチャンス

大きな仕事を探すための小さな機会を逃してはいけません。小さな仕事はうまくいっても、大きな仕事にはまったく失敗し、落胆してしまうかもしれません。やるべきことを全力でやってこそ、大きな仕事の素質を養うことができます。日々の機会を軽視し、目の前の小さなことを無視すると、多くの人が実を結ばず、枯れてしまいます。

人間の援助に頼ってはいけません。人間を超えて、私たちの悲しみを担い、私たちの苦しみを担い、私たちの必要物を供給するために神によって任命された方に目を向けてください。神の言葉を信じ、どこで仕事を見つけたとしても始め、揺るぎない信仰をもって前進してください。キリストの存在への信仰が強さと堅固

さを与えてくれます。利他的な関心と、骨身を惜しまない努力と、粘り強いエネルギーをもって働いてください。

状況があまりに不快で落胆させられるため、多くの人が行きたがらない分野では、自己犠牲的な[154]労働者の努力によって驚くべき変化がもたらされました。彼らは忍耐強く粘り強く働き、人間の力ではなく神に頼り、神の恵みが彼らを支えました。このようにして達成された善の量は、この世では決してわかりませんが、祝福された結果は偉大な来世で見られるでしょう。

自立宣教師

多くの場所で、自給自足の宣教師はうまく働くことができます。使徒パウロは自給自足の宣教師として、キリストの知識

を世界中に広めるために働きました。パウロはアジアやヨーロッパの大都市で毎日福音を教えながら、自分と仲間の生活を支えるために職人として働きました。パウロがエペソの長老たちに残した別れの言葉は、彼の働きぶりを示しており、福音伝道者すべてにとって貴重な教訓となっています。

「あなたがたは知っているとおおり、わたしはいつもあなたがたといっしょにいた。…わたしはあなたがたの益となることを何一つ隠さず、公にも家々でも、あなたがたに示し、教えてきた。…わたしはだれからも金や銀や衣服をむさぼり食ったことはなかった。あなたがた自身も知っているとおおり、この手はわたしとわたしと一緒にいた人たちの必要を満たすた

めに尽くしてきた。わたしは、このように労苦するあなたがたが、弱い者を助けるべきであること、また、主イエスが言われた『受けるよりは与える方が幸いである』という言葉の思い起こすべきであることを、あなたがたにすべて教えたのだ。」使徒行伝 20:18-35。

今日、同じ自己犠牲の精神を身に付ければ、多くの人が同じように良い働きをすることができます。二人以上で一緒に伝道活動を始めてください。人々を訪問し、祈り、歌い、教え、聖書を解説し、病人を世話してください。ある人は勧誘員として生計を立てることができます。また、使徒のように、手工芸品[155]やその他の分野で働くこともできます。彼らは自分の無力さを自覚しながらも、謙虚に

神に頼りながら活動を進めていくと、祝福された経験を得ます。主イエスが彼らの前を歩み、富める者も貧しい者も、彼らは恵みと助けを見いだします。

外国で医療宣教師として働くための訓練を受けた人々は、自分が働きたいと思う場所に遅滞なく行き、人々の間で働き始め、働きながらその国の言語を学ぶように励まされるべきです。彼らはすぐに神の言葉の単純な真理を教えることができるようになるでしょう。

世界中で、慈悲の使者が必要です。キリスト教徒の家族は、暗闇と誤りの中にあるコミュニティーに行き、外国の現場に行き、同胞の必要を知り、主の目的のために働くように求められています。そのような家族が、人々が霊的な暗闇に包ま

れている地上の暗い場所に定住し、キリストの[156]命の光を彼らを通して輝かせるなら、なんと崇高な仕事が成し遂げられることでしょう。

この仕事には自己犠牲が必要です。多くの人があるゆる障害が取り除かれるのを待っている間に、彼らが行うべき仕事は未完成のまま残され、多くの人々が希望も神もなく死んでいきます。商業上の利益のため、あるいは科学的知識を得るために、未開拓の地域に足を踏み入れ、喜んで犠牲と苦難に耐える人もいます。しかし、同胞のために、福音を必要としている地域に家族を移住させようとする人はどれほど少ないことでしょう。

人々がどこにいても、どのような立場や状況であっても、彼らに手を差し伸べ、

あらゆる可能な方法で彼らを助けること、これが真の奉仕です。そのような努力によって、あなたは人々の心をつかみ、滅びゆく魂に近づくための扉を開くことができるでしょう。

あらゆる仕事において、あなたはキリストと結ばれ、偉大な救済計画の一部であることを忘れないでください。キリストの愛は、癒しと命を与える流れとなって、あなたの人生に流れます。他の人々をキリストの愛の輪の中に引き入れようと努めるとき、あなたの言葉の純粹さ、奉仕の無私さ、態度の喜びが、キリストの恵みの力の証しとなるようにしてください。キリストの純粹で義なる姿を世に示し、人々がキリストの美しさを目にするようにしてください。

間違った習慣とみなすものを攻撃して他人を改めさせようとするのは、あまり役に立ちません。そのような努力は、しばしば良いことよりも害を及ぼす結果になります。サマリアの女との会話の中で、キリストはヤコブの井戸をけなす代わりに、もっと良いものを提示しました。「もしあなたが神の賜物を知り、また、『水を飲ませてください』と言う者がだれであるか知っていたなら」とイエスは言いました。「あなたはその人に願い求め、その人はあなたに生ける水を与えたであろう。」ヨハネ4:10。イエスは、授けなければならない宝について会話をし、その女性が持っているものよりも良いもの、すなわち生ける水、福音の喜びと希望をその女性に提供しました。

これは、私たちがどのように働くべきかを示す例です。私たちは人々に、彼らが持っているものよりも優れたもの、つまり、すべての理解を超えたキリストの平和を提供しなければなりません。神の聖なる律法、神の性格の写し、そして神が人々に望んでいるものの表現について彼らに伝えなければなりません。天国の不滅の栄光が、この世のつかの間の喜びや楽しみよりもどれほど無限に優れているかを彼らに示してください。救い主の中に見出される自由と安息について彼らに伝えてください。「わたしが与える水を飲む者は、いつまでも渴くことがない」と主は宣言されました（14節）。

イエスを高く掲げて叫びなさい。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。」ヨハネ1

:29、ARV 彼だけが心の渴望を満たし、魂に平和を与えることができます。

世界中の人々の中で、改革者とは最も利他的で、最も親切で、最も礼儀正しい人でなければなりません。彼らの生活には、利他的な行為の真の善良さが見られるべきです。礼儀を欠いた態度を見せたり、他人のわがままな行動に対する無知に苛立ちを見せたり、性急に話したり、思慮なく行動したりする労働者は、人々の心への扉を閉ざし、決して彼らに届くことができないかもしれません。

枯れかけた植物に露と静かな雨が降るように、人々を誤りから救い出そうとするときには、言葉は優しく降り注ぎましょう。神の計画は、まず心に届くことです。私たちは愛をもって真実を語り、神が

その言葉に人生を改革する力を与えてくださることを信じなければなりません。聖霊は愛をもって語られた言葉を魂に与えます。

わたしたちは生まれつき自己中心的で、自分の意見に固執します。しかし、キリストが教えようと望んでおられる教訓を学ぶとき、わたしたちはキリストの性質にあずかる者となり、それ以後はキリストの人生を生きるのです。キリストのすばらしい模範、すなわち、他の人の気持ちに寄り添い、泣く者とともに泣き、喜ぶ者とともに喜ぶというキリストの比類ない優しさは、誠実にキリストに従うすべての人の性格に深い影響を与えます。彼らは親切な言葉と行いによって、疲れ

た足に道を楽にするよう努めるでしょう。

「永遠の主はわたしに教えるための舌を与えた。」 「疲れた者に時宜にかなった言葉を語る方法をわたしに知らせるためである。」 イザヤ書 50:4、リーザー、A V

私たちの周りには苦しむ魂がいます。あちこち、どこにでもそのような魂がいます。苦しむ人々を探し出し、彼らの心を慰めるために適切な言葉を掛けましょう。私たちは常に、慈悲の清らかな水が流れる水路であり続けましょう。

あらゆる交際において、他人の経験の中には人間の目から封印された章があることを忘れてはなりません。記憶のページには、好奇心の目から神聖に守られた悲

しい歴史があります。そこには、家庭生活のトラブルなど、困難な状況との長く厳しい戦いが記録されており、日々勇気、自信、信念を弱めています。大きな困難を抱えて人生の戦いを戦っている人々は、愛情のこもった努力さえ払えば、ちょっとした気遣いで強くなり、励まされるかもしれません。そのような人にとって、真の友人の力強く助けになる握手は、金や銀よりも価値があります。親切な言葉は、天使の微笑みと同じくらい歓迎されます。

貧困と闘っている人々は大勢います。わずかな賃金で懸命に働かざるを得ず、最低限の生活必需品しか確保できません。より良い生活への希望もなく、労苦と貧困が彼らの重荷を非常に重くしています

。痛みと病気が加わると、重荷はほとんど耐えられないものになります。彼らは疲れ果て、抑圧され、救いを求める場所を知りません。彼らの試練、心痛、失望に同情してください。そうすれば、彼らを助ける道が開かれます。彼らに神の約束を語り、彼らと共に、また彼らのために祈り、彼らに希望を与えてください。

[159]

魂が病み、勇気が湧かないときに発せられる励ましの言葉は、救い主にとっては、あたかも自分自身に語られているかのように思われます。心が元気づけられると、天使たちは喜んで見守ります。

主は時代を超えて、人々の魂の中に神聖な兄弟愛の意識を呼び覚まそうと努めてこられました。主の協力者になりましょ

う。不信と疎外が世界に蔓延する中、キリストの弟子たちは天に君臨する精神を明らかにしなければなりません。

主が話されるとおりに話し、主が行動されるとおりに行動してください。主の性格の優しさを常に明らかにしてください。主の教えすべてと人々への接し方すべてに根底にある愛の豊かさを明らかにしてください。キリストと協力して、最も謙虚な働き手でも、その振動が地の果てまで響き渡り、永遠の時代を通して旋律を奏でる弦に触れることができるでしょう。

天の知性は、人間という道具と協力し、人間がどのような存在になるか、そして神との結合によって、滅びようとしている魂を救うために何が達成されるかを世

界に明らかにしようと待ち構えています。自己を脇に置き、聖霊が自分の心に働きかける余地を作り、完全に神に捧げられた生活を送る人の有用性には限界がありません。身体、魂、精神を神に捧げる人は皆、肉体、精神、霊的力の新たな賜物を絶えず受けます。天の尽きることのない供給は彼らの意のままです。キリストは彼らに、ご自身の霊の息吹、ご自身の命の命を与えます。聖霊は、その最高のエネルギーを精神と心に注ぎ込みます。私たちは、与えられた恵みによって、私たち自身の誤った先入観、性格の欠陥、信仰の小ささのために不可能とされていた勝利を達成することができます。

[160]

何も惜しまずに主に奉仕するために自分自身を捧げるすべての人には、計り知れない成果を得る力が与えられます。神はこれらの人々のために偉大なことをなさるでしょう。神は人々の心に働きかけ、この世にあっても、彼らの生活の中に来世の約束の実現が見られるようになさるでしょう。

「荒野と寂しい所は彼らのために喜び、砂漠は喜び、バラのように花を咲かせる。それは豊かに花を咲かせ、喜びと歌で喜ぶ。

レバノンの栄光と、カルメルとシャロンの美しさが与えられ

、
彼らは主の栄光

と、私たちの神の美しさを見る。」

「弱った手を強くし、
弱った膝を固めよ。
心の恐れる者たちに言え。強くあれ、恐
れるな。

見よ、あなたたちの神は...」

「そのとき、盲人の目は開かれ、
耳の聞こえない人の耳は開けられる。
そのとき、足の不自由な人は鹿のように
跳びはね、
口のきけない人の舌は歌う。
荒野に水がわき、
砂漠に川が流れる。」

「乾いた地は池となり、
渇いた地は水の湧き出る。
そこには大路と道があり、
それは聖なる道と呼ばれ、
汚れた者はそこを通ることができない。

それはそれらの者のためのものである。
旅人は愚か者であっても、そこで迷うこと
はない。」

「そこにはライオンもおらず、
貪欲な獣もそこに登らず、
そこには何も見られない。
しかし、贖われた者たちはそこを歩き、
主に贖われた者たち
は歌いながらシオンに帰って来る。
彼らの頭には永遠の喜びがある。
彼らは喜びと楽しみを得て、
悲しみと嘆きは逃げ去る。」

イザヤ書35:1-10。 [161]

第10章 誘惑に陥った人々を助ける

キリストが私たちが愛したのは、私たちがまず彼を愛したからではありません。私たちがまだ罪人であったとき、彼は私たちのために死んでくださったのです。彼は私たちが、私たちの報いに応じて扱うことはありません。私たちの罪は非難に値しますが、彼は私たちが非難しません。彼は何年も私たちの弱さと無知、私たちの恩知らずとわがままに耐えてきました。私たちがさまよい、心がかたくなになり、神の聖なる言葉を軽視しているにもかかわらず、彼の手は今も差し伸べられています。

恵みは、それに値しない人間に対して行使される神の特質です。私たちはそれを

求めたのではなく、恵みは私たちを探しに送られたのです。神が私たちに恵みを与えることを喜ばれるのは、私たちがふさわしいからではなく、私たちがまったく値しないからです。私たちが神の慈悲を求める唯一の理由は、私たちが大いに必要としているからです。

主なる神はイエス・キリストを通して、罪深く墮落した者たちを一日中招き、手を差し伸べておられます。彼はすべてを受け入れ、歓迎します。罪人の長を赦すことは彼の栄光です。彼は強者から獲物を奪い、捕虜を解放し、燃える火の中から燃えさしを抜き取ります。彼は慈悲の黄金の鎖を人間の悲惨さの最も深いところまで下ろし、罪に汚れた墮落した魂を引き上げます。 [162]

人間は皆、人々を神のもとに連れ戻すために命を捧げた神にとって、愛情の対象です。罪深く無力で、サタンの策略や罠によって滅ぼされそうな魂は、羊飼いが羊の群れを世話するように世話されます。

救い主の模範は、誘惑され、過ちを犯した人々に対する私たちの奉仕の基準となるべきです。主が私たちに対して示してくださったのと同じ関心と優しさと忍耐を、私たちも他の人々に対して示さなければなりません。「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい」と主は言われます。ヨハネ 13:34。キリストが私たちの内に住んでくださるなら、私たちは関わるすべての人に対してキリストの無私の愛を示す

でしょう。同情と助けを必要としている男性や女性を見たとき、私たちは「彼らはふさわしいか」ではなく「私は彼らにどう役立てることができるか」と尋ねるでしょう。

富める者も貧しい者も、身分の高い者も低い者も、自由人も奴隷も、みな神の遺産です。人類を救うために命を捧げた神は、すべての人間の中に有限の計算を超えた価値を見出しています。十字架の神秘と栄光によって、私たちは魂の価値に対する神の評価[163]を見極めなければなりません。そうすると、人間はどんなに墮落していても、冷たく軽蔑して扱われるには代償が大きすぎると感じるでしょう。私たちは、同胞が神の王座に高めら

れるように、彼らのために働くことの重要性に気づくでしょう。

救い主のたとえ話にある失われたコインは、土とゴミの中にあったが、それでも銀貨であった。その持ち主がそれを探したのは、それが価値あるものだったからだ。だから、どんなに罪によって墮落した魂でも、神の目には貴重なものとみなされる。コインに統治権の象徴と銘が刻まれていたように、人間も創造されたとき、神の象徴と銘を刻まれていた。今は罪の影響で傷つき、かすんでいるが、この銘の痕跡はすべての魂に残っている。神はその魂を取り戻し、正義と神聖さにおいて神自身の象徴を再び刻むことを望んでいる。

私たちとキリストを結びつける最も強い絆であるべきもの、つまり罪と過ちで死んでしまった墮落した、罪深い、苦しむ魂に対する同情について、私たちはキリストにどれほど共感していないことか。人間の人間に対する非人道性は、私たちの最大の罪です。多くの人々は、神の正義を代表していると考えていますが、神の優しさと偉大な愛を代表していません。彼らが厳しく厳しく接する人々は、誘惑のストレス下にあることがよくあります。サタンはこれらの魂と格闘しており、厳しく同情のない言葉は彼らを落胆させ、誘惑者の力の餌食にさせます。心を扱うのは繊細な問題です。心を読む神だけが、人を悔い改めさせる方法を知っています。神の知恵だけが、失われた

人々に手を差し伸べる成功を与えることができます。あなたは「私はあなたよりも聖なる者だ」と感じて、固く立っているかもしれませんが、あなたの推論がどれだけ正しく、言葉がどれだけ真実であっても、それらは決して心に触れません。言葉と行為で表されたキリストの愛[164]は、教訓や議論を繰り返しても何も達成されないときに、魂に勝ちます。

私たちにはキリストのような同情心をもっと必要です。単に欠点がないように見える人への同情ではなく、しばしば欠点に陥り、罪を犯して悔い改め、誘惑され落胆する、貧しく、苦しみ、もがいている魂への同情です。私たちは、慈悲深い大祭司のように、同胞の弱さを感じながら、同胞のもとに行くべきです。

キリストが召し、慈愛の心で彼のもとに来るよう強いたのは、追放された者、徴税人、罪人、諸国民から軽蔑された者たちでした。キリストが決して認めなかった唯一の階級は、自尊心において孤立し、他人を見下す者たちでした。

「大通りや垣根の向こうへ出て行って、人々を無理やり連れて来なさい。そうすれば私の家は満たされる。」キリストは私たちに命じます。この言葉に従って、私たちは近くにいる異教徒や遠くにいる異教徒のもとへ行かなければなりません。「取税人や遊女」は救い主の招きを聞かなければなりません。主の使者の優しさと忍耐を通して、招きは罪の最も深い淵に沈んでいる人々を引き上げる強力な力となります。

キリスト教の動機は、サタンが破壊しようとしている魂のために、私たちが確固とした目的、尽きることのない関心、絶えず増大する執拗さを持って働くことを要求します。失われた人々の救いに対する真剣な切望のエネルギーを冷やすものは何もありません。

神の言葉の全体を通して、男性と女性がキリストに来るように懇願する緊急の精神がどのように現れているかに注目してください。私たちは、人々を救い主に引き寄せるために、私的にも公にも、あらゆる機会をとらえ、あらゆる議論を提示し、無限の重みを持つあらゆる動機を主張しなければなりません。私たちは全力を尽くして、人々がイエスに目を向け、
[165]自己否定と犠牲の彼の人生を受け入

れるように勧めなければなりません。私たちは、彼らがキリストの名をたたえるために彼の賜物すべてを用いてキリストの心に喜びを与えることを期待していることを示さなければなりません。

希望によって救われる

「私たちは希望によって救われているのです。」ローマ 8:24。墮落した者たちは、大人になるにはまだ遅くないと感じるように導かれなければなりません。キリストは信頼をもって人を尊び、その栄誉にあずかりました。最も落ちぶれた者たちでさえ、キリストは敬意をもって扱われました。敵意、墮落、不純と接することはキリストにとって絶え間ない苦痛でしたが、キリストは、その感性が衝撃を受けたとか、その洗練された趣味が傷つ

けられたといったような表現を一度も口にされませんでした。人間の悪習、強い偏見、あるいは激しい情熱が何であれ、キリストはそれらすべてに同情的な優しさをもって接しました。キリストの御霊を受けるとき、私たちはすべての人を兄弟とみなすでしょう。彼らは同じような誘惑や試練を受け、しばしば倒れては再び立ち上がろうともがき、落胆や困難と闘い、同情と助けを切望しています。そして、私たちは彼らを落胆させたり拒絶したりするのではなく、彼らの心に希望を呼び起こすような方法で彼らに接するでしょう。このように励まされるので、[166]彼らは自信を持ってこう言うことができます。「敵よ、わたしに敵対して喜ぶな。わたしが倒れても、わたしは起き

上がる。わたしが暗闇に座しても、主はわたしの光となる。」主は「わたしの訴えを弁護し、わたしのために裁きを下し、わたしを光に導き出される。わたしは主の義を見るであろう」。ミカ7:8, 9。

神は「地球に住むすべての者を見て、彼らの心を同じように形作られる」。

詩篇 33:14, 15。

誘惑され、過ちを犯している人々を扱う際、主は私たちに「あなた自身も誘惑されないように、自分自身をよく考えなさい」と命じています。ガラテヤ6:1。私たちは自分の弱さを認識しながら、他人の弱さに対しても思いやりを持つべきです。

「だれがあなたを他の人と区別しているのですか。あなたの持っているもので、

もらったものでないものがありますか。
あなたの先生はただひとりです。…あなたがたはみな兄弟です。」 「なぜ兄弟を裁くのですか。なぜ兄弟を軽んじるのですか。」 「ですから、私たちは互いに裁いてはいけません。…むしろ、兄弟の前につまずきや倒れるきっかけとなるようなことをしないように、裁きなさい。」
コリント第一 4:7。マタイ 23:8。ローマ 14:10、13。

自分の過ちを指摘されるのは常に屈辱的なことです。不必要な非難によって、その経験をさらにつらいものにしてはいけません。非難によって改心した人はいませんが、多くの人々が非難によって反発し、罪を認めないよう心固めるようになりました。優しい心、穏やかで人を引

き付ける態度は、過ちを犯した人を救い、多くの罪を隠すことができるかもしれませんが。

使徒パウロは、悪を戒める必要があると感じていましたが、自分が過ちを犯した人たちの友であることを示そうと、どれほど注意深く努めたことでしょう。彼は、自分の行動の理由をどれほど熱心に彼らに説明したことでしょう。彼は、彼らに苦痛を与えるには、自分自身も苦痛を伴わなければならないことを理解させました。彼は、克服しようと奮闘している人たちに、信頼と同情心を示しました。

「私は、多くの苦しみと心の苦しみの中から、多くの涙をもってあなたがたに手紙を書きました。それは、あなたがたを悲しませるためではなく、私があなたが

たに対して豊かに抱いている愛を、あなたがたに知ってもらうためです。」コリント人への手紙第二2章4節。「私は、この手紙によってあなたがたを悲しませましたが、それを悔いていません。しかし、私は、あなたがたが悲しんだことではなく、あなたがたが悲しんで悔い改めに至ったことを、今は喜んでいます。・ ・ ・

・ 見よ、あなたがたが敬虔な態度で悲しんだこと、そのことが、あなたがたのうちに、どんなに心を砕き、どんなに悔悟を正し、どんなに憤り、どんなに恐れ、どんなに熱心になり、どんなに復讐したことか。あなたがたは、すべてのことにおいて、そのことに関して、自分たちが清い者であると認めただのです。・ ・ ・そ

れで、私たちは慰められました。」コリ
ントの信徒への手紙二 7:8-13、ARV

「私は、あなたがたのことで、すべての
ことに勇気をもっていることを喜んでい
ます。」 「私は、あなたがたのことを覚
えるたびに、また、あなたがた一同のた
めに祈るたびに、いつも、喜びをもって
願い求め、最初の日から今に至るまで、
福音にあずかっていることを、神に感謝
しています。」 「私は、あなたがたのう
ちに良い働きを始められた方は、イエス
・キリストの日までそれを完成して下さ
ると確信しています。あなたがた一同の
ために、このように心を向けるのは、私
が心からあなたがたを思うからこそ当然
のことです。」 「ですから、私の愛する
兄弟たち、私の喜びであり冠である人た

ち、私の愛する者たちよ。ですから、主にあって堅く立ちなさい。」「あなたがたが主に堅く立つなら、私たちは生きるのです。」 16節、ARV; ピリピ1:3-5; 1:6, 7、ARV; 4:1; 1テサロニケ3:8。

パウロはこれらの兄弟たちを「キリスト・イエスにあって聖徒たち」として書き送っていますが、彼は性格が完璧な人たちに書いたのではありません。誘惑と闘い、墮落の危険にさらされている男女として彼らに書き送ったのです。パウロは彼らを「羊の大牧者、わたしたちの主イエスを死人の中からよみがえらせた平和の神」に引き付けました。そして彼らに、「永遠の契約の血によって」神が「御旨を行うために、あらゆる良いわざにおいてあなたたちを完全な者とし、御前に

かなうことを、イエス・キリストによってあなたたちのうちに行わせてくださる」と保証しました。ヘブル人への手紙 13:20, 21。

過ちを犯した人が自分の過ちに気づいたとき、その人の自尊心を傷つけないように注意しなさい。[168]無関心や不信感でその人を落胆させてはいけません。「その人に信頼を寄せる前に、その人が最後まで耐えるかどうか見てみよう」と言っただけではいけません。この不信感こそが、誘惑に陥った人をつまづかせる原因となることがよくあります。

わたしたちは他人の弱さを理解するよう努めるべきです。暗闇の鎖に縛られ、決意と道徳的力に欠ける人々の心の試練について、わたしたちはほとんど知りませ

ん。最も哀れなのは、後悔に苦しんでいる人の状態です。その人は呆然とし、よろめき、塵の中に沈んでいく人のようです。何もはっきりと見えません。心は曇り、どのような手段を講じるべきか分かりません。多くの哀れな魂は誤解され、評価されず、苦悩と苦悩に満ちています。迷い、迷う羊のようです。神を見つけることはできませんが、赦しと平和を強く切望しています。

ああ、より深い痛みを引き起こすような言葉を発してはいけません。罪深い人生に疲れ果て、救いの場がどこにあるのかわからない魂に、慈悲深い救い主を差し出してください。その人の手を取って、持ち上げ、勇気と希望の言葉をかけてあ

げてください。救い主の手を握れるように助けてください。

私たちは、努力にすぐに応えてくれない魂に対して、あまりにも簡単に落胆してしまいます。一筋の希望がある限り、魂のために努力することを決してやめるべきではありません。貴重な魂は、自己犠牲の救い主にとって、誘惑者の力に簡単に引き渡されるには高すぎる代価を払ったものです。

わたしたちは誘惑を受ける人々の立場に立つ必要があります。遺伝の力、悪い交わりや環境の影響、間違った習慣の力について考えてみましょう。そのような影響によって多くの人が墮落するのも不思議ではありません。向上させるための努

力になかなか応じないのも不思議ではありません。

福音に引き入れられると、粗野で見込みがないように見えた人々も、しばしば最も忠実な信者や擁護者になります。彼らは完全に墮落しているわけではありません。外見の威圧感の下には、触れることができる良い衝動があります。助けがなければ、多くの人々は決して立ち直ることはできませんが、忍耐強く粘り強く努力することで、元気づけられるかもしれません。そのような人には、優しい言葉、親切な配慮、具体的な助けが必要です。彼らには、魂のかすかな勇気の輝きを消さないような助言が必要です。彼らと接触する働き人は、このことを考慮してください。

長い間心が墮落し、より恵まれた状況下ではなれたはずの姿にこの人生では決してなれない人々もいるでしょう。しかし、正義の太陽の明るい光線が魂を照らすかもしれません。神の命に匹敵する命を得るのは彼らの特権です。彼らの心に高揚させ、気高い考えを植え付けてください。あなたの人生を通して、彼らに悪と純潔、闇と光の違いをはっきりと示してください。あなたの模範を通して、彼らにクリスチャンであることの意味を学ばせてください。キリストは最も罪深い者を高め、神の子、キリストと共に不滅の遺産の共同相続人として認められる場所に置くことができます。

神の恵みの奇跡により、多くの人々が役に立つ人生を送ることができるでしょう

。軽蔑され、見捨てられ、彼らは完全に落胆し、ストイックで無感情に見えるかもしれませんが。しかし、聖霊の働きにより、彼らの向上を絶望的に見せている愚かさは消え去ります。鈍く曇った心は目覚めます。罪の奴隷は解放されます。悪徳は消え、無知は克服されます。愛によって働く信仰を通して、心は清められ、精神は啓発されます。 [170] [171]

第11章 節制のない人々のために働く

真の改革はすべて福音の働きの中に位置づけられ、魂を新たな、より高貴な生活へと高めるものです。特に禁酒改革はキリスト教活動家の支援を必要とします。彼らはこの活動に注目し、それを生きた問題にすべきです。彼らはどこでも人々に真の禁酒の原則を示し、禁酒誓約書への署名者を呼びかけるべきです。悪習に縛られている人々のために真摯な努力がなされるべきです。

節制のなさから墮落した人々のためになすべきことはどこにでもあります。教会、宗教施設、そしてクリスチャンと称する家庭の中で、多くの若者が破滅への道を選んでいきます。節制のなさから病気を

招き、罪深い楽しみのための金銭欲から不正行為に陥ります。健康と人格が台無しになります。神から疎外され、社会から追放されたこれらの哀れな魂は、この世にも来世にも希望がないと感じています。親の心は打ち砕かれています。人々はこれらの誤った者たちを絶望的だと語りますが、神は彼らをそう見ていません。神は彼らをそのような状態にしたすべての状況を理解し、憐れみの目で彼らを見ています。これは助けを必要とする階級です。彼らに「私の魂を気にかける人は誰もいない」と言う機会を決して与えてはなりません。

節制のなさの犠牲者には、あらゆる階級、あらゆる職業の人々がいます。高い地位、卓越した才能、大きな業績を持つ人

々が、食欲に溺れ、誘惑に抵抗する力を失いました。かつては富を所有していた人々の中には、家も友人もなく、苦しみ、悲惨、病気、屈辱の中にいる人もいます。彼らは自制心を失っています。彼らに救いの手を差し伸べない限り、彼らはどんどん落ちぶれていくでしょう。彼らにとって、自己満足は道徳的な罪であるだけでなく、身体的な病気でもあります。

酒に溺れる人を助けるには、キリストが何度もしたように、まず彼らの身体状態に気を配らなければなりません。彼らには、健康的で刺激のない食べ物や飲み物、清潔な衣服、身体を清潔に保つ機会が必要です。彼らは、助けになり、元気づけてくれるキリスト教の影響の雰囲気

困まれている必要があります。あらゆる都市に、悪習慣の奴隷が、彼らを縛る鎖を断ち切るための助けを受けられる場所を用意する必要があります。強い酒は、苦難のときの唯一の慰めと多くの人に考えられていますが、司祭やレビ人の役割を演じる代わりに、自称キリスト教徒が善良なサマリア人の例に従うなら、そうする必要はありません。

飲酒の犠牲者を扱う際、私たちは正気の間人ではなく、今のところ悪魔の支配下にある人々を扱っていることを忘れてはなりません。忍耐強く、寛容でいてください。不快で威圧的な外見ではなく、キリストが贖うために命を捧げた尊い命について考えてください。酔っぱらいが自分の墮落の感覚に目覚めたとき、あなた

が彼の友人であることを示すために全力を尽くしてください。非難の言葉は口にしないでください。非難や嫌悪を表すような行動や表情をしてはいけません。おそらく、その哀れな魂は自分自身を呪っているでしょう。彼が立ち上がれるように助けてください。信仰を鼓舞する言葉を話してください。彼の性格にあるすべての良い特性を強化するよう努めてください。上を目指す方法を教えてください。仲間の尊敬を勝ち得るような生き方が可能であることを示してください。神から与えられたが、彼が磨くことを怠ってきた才能の価値を彼が理解できるように助けてください。

意志が墮落し弱くなっているとしても、キリストには希望があります。心の中に高次の

衝動とより神聖な願望を呼び覚まします。福音の中にある希望をつかむよう励ましてください。誘惑され、苦しんでいる人の前で聖書を開き、神の約束を何度も何度も読み聞かせてください。これらの約束は、その人にとって命の木の葉のようになります。震える手が感謝の喜びとともにキリストによる救済の希望をつかむまで、忍耐強く努力を続けてください。

助けようとしている人たちをしっかりとつかまなければなりません。そうしないと、勝利は決して得られません。彼らは絶えず悪に誘惑されます。何度も何度も強い酒への渴望に負けそうになります。何度も何度も彼らは倒れるかもしれませ

ん。しかし、そのために努力をやめない
てください。

彼らはキリストのために生きる努力をし
ようと決心しましたが、意志の力が弱ま
っており、魂を監視する人たちが、責任
を負わなければならない者として彼らを
注意深く監視しなければなりません。彼
らは男らしさを失っており、それを取り
戻さなければなりません。多くの人が悪
への強い遺伝的傾向と戦わなければなり
ません。不自然な渴望、官能的な衝動は
、彼らが生まれたときから受け継いだも
のです。これらに対して注意深く警戒し
なければなりません。内と外では、善と
悪が支配しようとして奮闘しています。その
ような経験をしたことのない人は、ほと
んど圧倒するような食欲の力や、放縦の

習慣とすべてのことに節度を保つ決意との間の激しい葛藤を知ることはできません。何度も何度も戦いを繰り返さなければなりません。

キリストに引き寄せられた多くの人々は、欲望と情熱との戦いを続ける道徳的勇気を持っていません。しかし、[174]働く人はこれによって落胆してはいけません。墮落するのは、どん底から救われた人々だけなのではないでしょうか。

あなた方は一人で働いているのではないことを覚えておいてください。奉仕する天使たちは、神の誠実な息子、娘たち全員と一体となって奉仕します。そしてキリストは回復者です。偉大な医者御自身が忠実な働き人の傍らに立ち、悔い改める魂にこう言います。「子よ、あなたの

罪は赦された。」マルコ 2:5、ARV 欄外。

追放された者の多くは福音の中で彼らの前に置かれた希望をつかみ、天国に入るでしょう。一方、大きな機会と大きな光に恵まれたにもかかわらず、それを改善しなかった他の人々は外の暗闇の中に取り残されるでしょう。

悪習慣の犠牲者は、自分自身のために努力する必要性に気づかなければなりません。他の人々が彼らを励ますために最も熱心な努力を払うかもしれませんし、神の恵みが惜しみなく提供されるかもしれませんし、キリストが懇願するかもしれませんし、彼の天使が奉仕するかもしれません。しかし、彼ら自身が自分自身の

ために戦うよう奮い立たない限り、すべては無駄になるでしょう。

当時は若者で、間もなくイスラエルの王位を受けるソロモンへのダビデの最後の言葉は、「強くあれ、男らしくあれ」でした。列王記上 2:2。不滅の王位を継ぐ候補者である人類のすべての子供たちに、この靈感に満ちた言葉が語られています。「強くあれ、男らしくあれ」

自己満足に陥った者たちは、男らしく生きたいなら、道徳の大いなる改革が必要であると理解し、感じなければなりません。神は彼らに、罪深い放縦によって犠牲にされた神から与えられた男らしさを目覚めさせ、キリストの力によって取り戻すよう呼びかけておられます。

誘惑の恐ろしい力、放縦に導く欲望の引き寄せ力を感じて、多くの人が絶望して「私は悪に抵抗できない」と叫びます。その人に、抵抗できる、抵抗しなければならないと伝えてください。その人は何度も打ち負かされてきたかもしれませんが、いつもそうである必要はありません。その人は道徳心が弱く、[175]罪深い生活の習慣に支配されています。その人の約束や決意は砂の縄のようなものです。約束を破ったり、誓約を失ったりしたことを知ると、自分の誠実さに対する自信が弱まり、神は自分を受け入れたり、自分の努力に協力したりできないと感じてしまいます。しかし、絶望する必要はありません。

キリストを信頼する者は、いかなる遺伝的または培われた習慣や性向にも縛られるべきではありません。低俗な性質に束縛されるのではなく、あらゆる欲望と情熱を支配しなければなりません。神は、私たちが自分の限られた力で悪と戦うことを放っておかれています。私たちが受け継いだ、または培われた悪への性向が何であれ、神が与えてくださる力によって克服することができます。

意志の力

誘惑に遭った人は、意志の真の力を理解する必要があります。これは人間の本質を支配する力、つまり決断力、選択力です。すべては意志の正しい行動にかかっています。善良さと清らかさを求めることは、その限りでは正しいことですが、

ここで止まってしまえば何の役にも立ちません。多くの人が、自分の邪悪な性癖を克服したいと望みながら、破滅に陥ります。彼らは神に意志を委ねません。神に仕えることを**選びません**。

神は私たちに選択の力を与えました。それは私たちが行使するものです。私たちは自分の心を変えることはできませんし、自分の考え、衝動、愛情を制御することもできません。私たちは自分自身を清くし、神に仕えるのにふさわしい者になることはできません。しかし、私たちは神に仕えることを**選び**、神に自分の意志を捧げることができます。そうすれば、神は私たちの中に働きかけて、神の喜びに従って意志し、行動するようになさるでしょう。こうして、私たちの全

性質はキリストの支配下に置かれるのです。

意志を正しく行使することで、人生に完全な変化をもたらすことができます。意志をキリストに委ねることで、私たちは神の力と同盟を結びます。私たちは上から力を得て、確固たる地位を得ます。弱く揺らぐ人間の意志を、全能で揺るぎない神の意志に結びつけるなら、純粹で高貴な人生、食欲と情欲に打ち勝った人生は誰にでも可能なのです。

食欲の力と闘っている人々は、健康的な生活の原則について教えを受けるべきです。健康の法則に違反し、病的な状態や不自然な渴望を生み出すことが、飲酒習慣の基盤となることを彼らに示すべきです。健康の原則に従って生活することに

よってのみ、彼らは不自然な刺激物への渴望から解放されることを望みます。彼らは食欲の束縛を断ち切るために神の力に頼る一方で、道徳的および物理的両方の神の法則に従うことによって神と協力しなければなりません。

改心を目指す人々には雇用の機会を与えるべきです。労働能力のある者は、衣食住を無料で受けることを期待してはなりません。彼ら自身のためだけでなく、他の人々のためにも、彼らが受け取ったものと同じだけのものを返せるような方法を考案すべきです。自立に向けたあらゆる努力を奨励してください。これは自尊心と気高い独立心を強めます。そして、誘惑に対する防御策として、心身を有用な仕事に従事させることが不可欠です。

失望、危険

墮落した人々のために働く人々は、改心すると約束する多くの人々に失望するでしょう。多くは習慣や行動において表面的な変化しか行いません。彼らは衝動に動かされ、一時的に改心したように見えるかもしれませんが、本当の心の変化はありません。彼らは同じ自己愛を大事にし、愚かな快樂に飢え、同じ自己満足の欲求を持っています。彼らは人格形成の働きを知らず、原則を重んじる人として頼りにすることはできません。彼らは欲望と情熱の満足によって精神力と靈力を低下させ、それが彼らを弱くしています。彼らは移り気で変わりやすいです。彼らの衝動は官能的になりがちです。これらの人々はしばしば他人にとって危険の

源です。改心した男女と見なされ、責任を託され、彼らの影響で無実の人々を墮落させる場所に置かれます。 [178]

真剣に改心しようとしている人々でさえ、墮落の危険から逃れることはできません。彼らは、優しさだけでなく、大きな知恵をもって扱われる必要があります。どん底から救出された人々をへつらい、称賛する性向は、時として彼らを破滅に導きます。罪深い生活の経験を公の場で語るよう男性や女性に求める習慣は、話す側と聞く側の両方にとって危険に満ちています。邪悪な場面にこだわることは、心と魂を墮落させます。そして、救出された人々に与えられる注目は、彼らにとって有害です。多く的人是、罪深い生活が彼らにある種の名誉を与えたと感じ

るように導かれます。悪名を愛することと自己信頼の精神が奨励されますが、これは魂にとって致命的です。自己不信とキリストの慈悲への依存においてのみ、彼らは立ち上がることができます。

真の回心の証拠を示す人は皆、他の人のために働くよう励まされるべきです。サタンへの奉仕を捨ててキリストへの奉仕に身を投じる魂を、だれも拒んではなりません。神の御霊が彼とともに働いている証拠を示す人には、主の奉仕に入るようあらゆる励ましを与えてください。「ある人たちをあわれみ、助けなさい。」ユダ 22 節。神から来る知恵に通じた賢い人は、助けを必要としている魂、心から悔い改めた魂、励ましがなければ希望を抱く勇気のほとんどない魂を見るでし

よう。主は、震えながら悔い改めたこれらの人々を愛に満ちた交わりに迎え入れるよう、そのしもべたちの心に思いを起こさせてくださるでしょう。彼らの身に付きまとっていた罪が何であれ、どれほど落ちぶれていたとしても、悔い改めてキリストのもとに来るなら、主は彼らを受け入れてくださいます。そして、主のために何かをさせてください。もし彼らが、自分たちが救い出された破滅の穴から他の人々を引き上げるために働きたいと望むなら、彼らに機会を与えてください。彼らを経験豊かなクリスチャンと交わらせ、霊的な強さを得させてください。 [179]主のために働くことで心と手を満たしなさい。

魂に光が差し込むと、罪に完全に身を委ねているように見えた人の中にも、かつては自分たち自身もそうであったように、罪人のために働く有能な人が現れます。キリストへの信仰を通して、奉仕の高位に昇進し、魂を救う仕事の責任を託される人もいます。彼らは自分の弱点がどこにあるのかを知り、自分の本性の墮落に気づきます。罪の強さ、悪い習慣の力を知ります。キリストの助けなしには克服できないことを悟り、絶えず「無力な魂をあなたに委ねます」と叫びます。

これらは他の人々を助けることができます。誘惑され、試練を受け、希望がほとんど失われていたが、愛のメッセージを聞いて救われた人は、魂を救う科学を理解することができます。救世主に捜し出

され、群れに戻されたため、心がキリストへの愛で満たされている人は、失われた者を捜す方法を知っています。彼は罪人を神の子羊に導くことができます。彼は神に無条件で自分自身を捧げ、愛する者の中で受け入れられました。弱さの中で助けを求めて差し出された手は握られました。そのような人々の奉仕によって、多くの放蕩息子が父のもとに連れて来られるでしょう。

罪深い生活から清い生活へと立ち上がろうと奮闘するすべての魂にとって、偉大な力の要素は「天の下で人々に与えられた唯一の名、それによって私たちは救われる」というものです。使徒行伝 4:12。安らかな希望、罪深い性癖からの解放に「渴いている人は、わたしのもとに来て

飲みなさい」とキリストは言っています。ヨハネ 7:37。悪徳に対する唯一の治療法は、キリストの恵みと力です。

自分の力で立てた善い決意は、何の役にも立ちません。この世のすべての誓いが、悪い習慣の力を打ち破るわけではありません。神の恵みによって心が新たにされるまで、人はすべてのことにおいて節制を実践することはできません。私たちは一瞬たりとも罪から逃れることはできません。私たちは常に神に依存しています。

真の改革は魂の浄化から始まります。墮落した人々に対する私たちの働きは、キリストの恵みによって人格が再形成され、魂が神との生きたつながりに導かれて初めて、真の成功を収めます。

キリストは神の律法に完全に従う人生を送り、その点ですべての人類に模範を示しました。キリストがこの世で生きた人生を、私たちはキリストの力と教えに従って生きるべきです。

墮落した人々のための私たちの仕事では、神の法の要求と神への忠誠の必要性を心と心に刻み込む必要があります。神に仕える者と仕えない者の間には明らかな違いがあることを必ず示してください。神は愛ですが、神の命令を故意に無視することを許すことはできません。神の統治の制定法は、人々が不忠の結果から逃れられないようにするものです。神を敬う者だけを神は敬うことができます。この世での人の行いが、その人の永遠の運命を決定します。人は蒔いた種を刈り取

らなければなりません。原因には結果が伴います。

完全な従順以外に、神の要求の基準を満たすものはありません。神はその要求を曖昧にしてはおられません。神は、人間を神と調和させるために必要でないことは何も命じておられません。私たちは罪人を神の理想の性格に導き、キリストに導くべきです。キリストの恵みによってのみ、この理想に到達できるのです。

救い主は人類の弱さを自ら引き受け、罪のない人生を生きました。それは、人間性の弱さゆえに克服できないという恐れを人々が抱かないようにするためです。キリストは私たちを「神性にあずかる者」にするために来られ、その生涯は、神

性と結びついた人間性は罪を犯さないことを宣言しています。 [181]

救い主は、人間がどうしたら克服できるかを示すために、克服されました。サタンの誘惑すべてに、キリストは神の言葉で対抗しました。神の約束を信頼することで、キリストは神の戒めに従う力を受け、誘惑者は何の利益も得られませんでした。すべての誘惑に対して、キリストの答えは「と書いてあります」でした。ですから、神は悪に抵抗するための御言葉を私たちに与えてくださいました。私たちは、非常に大きく尊い約束を受けています。その約束によって、「私たちは、世にある欲による滅びから逃れ、神の性質にあずかる者となるのです」。ペテロの手紙二第1章4節。

誘惑に遭った者は、状況や自分の弱さ、誘惑の力ではなく、神の言葉の力に目を向けるよう命じてください。その力はすべて私たちのものです。詩篇作者は「あなたの言葉を心に秘め、あなたに罪を犯さないようにしました」と言っています。「あなたの唇の言葉によって、私は滅ぼす者の道から身を守りました」。詩篇 119:11; 17:4。

人々に勇気を語り、祈りの中で神に彼らを導きなさい。誘惑に打ち負かされた多くの人々は、失敗に屈辱を感じ、神に近づくのは無駄だと感じています。しかし、この考えは敵の示唆です。彼らが罪を犯し、祈ることができなと感じるとき、その時が祈る時であると彼らに伝えなさい。彼らは恥ずかしく思い、深く謙虚

になるかもしれませんが、彼らが罪を告白すると、忠実で正しい彼は彼らの罪を赦し、すべての不義から彼らを清めます。

自分の無力さを感じ、救い主の功績に全面的に頼る魂ほど、一見無力でありながら、実際には無敵なものはありません。祈りによって、主の言葉を学ぶことによって、主が常に存在してくださるという信仰によって、最も弱い人間でも生けるキリストと触れ合って生きることができます。そして、キリストは彼らを決して離さない手で握ってくださるでしょう。これらの貴重な言葉を、キリストにとどまるすべての魂が自分のものとすることができます。彼はこう言うことができます。

「私は主を仰ぎ、
私の救いの神を待ちます
。私の神は私の声を聞き入れてくださる
でしょう。私
の敵よ、私に対して喜ばないで。
私が倒れても、私は起き上がります。
私が暗闇に座しても、
主は私の光となるでしょう。」

ミカ 7:7, 8。

「主は再びわれらをあわれみ、
われらの咎を消し去り、
われらの罪をことごとく海の深みに投げ
捨ててくださるであろう。」

ミカ7:19、ノイズ。

神は約束されました：

「わたしは人を純金よりも尊くし、
オフィルの金のくさびよりも尊くする。
」

イザヤ 13:12。

「あなたたちは鍋の中に横たわっていた
としても、
銀で覆われた鳩の翼と、
黄金で覆われた羽のようになる。」

詩篇 68:13。

キリストに最も赦された人々は、最もキ
リストを愛するでしょう。最後の日にキ
リストの王座に最も近い位置に立つのは
、これらの人々です。

「彼らは御顔を見、御名が彼らの額に刻
まれるであろう。」黙示録22:4。 [183]

第12章 失業者とホームレスへの支援

貧しい人々の状態と、彼らを救う手段を懸命に考えている心の広い男女がいます。失業者やホームレスが神の摂理による共通の祝福を享受し、神が人間に望んだ人生を送れるようにするにはどうしたらよいかという問いは、多くの人が真剣に答えを見つけようと努めている問題です。しかし、教育者や政治家の間でさえ、現在の社会状態の根底にある原因を理解している人は多くありません。政府の権力者たちは、貧困、窮乏、犯罪の増加という問題を解決できず、事業運営をより安定した基盤の上に置こうと無駄な努力をしています。

もし人々が神の言葉の教えにもっと注意を払うならば、彼らを困惑させているこれらの問題の解決策が見つかるでしょう。労働問題と貧者の救済に関しては旧約聖書から多くのことが学べるでしょう。

イスラエルに対する神の計画

イスラエルに対する神の計画では、すべての家族が土地に家を持ち、耕作するのに十分な土地を持っていました。こうして、有益で勤勉で自給自足の生活を送るための手段と動機が与えられました。そして、人間のどんな考案も、この計画を上回ったことはありません。今日存在する貧困と悲惨さは、世界がこの計画から逸脱したことに大きく起因しています。

イスラエルがカナンの地に定住したとき、土地は全民に分割されましたが、聖所

の奉仕者であるレビ人だけが平等な分配から除外されました。部族は家族ごとに数えられ、各家族にはその数に応じて相続地が分配されました。

たとえ一時的に所有物を処分できたとしても、子供たちの相続財産を永久に手放すことはできませんでした。土地を買い戻すことができるようになったら、いつでもそうする自由がありました。負債は7年ごとに免除され、50年目、つまりヨベルの年には、すべての土地の財産が元の所有者に返還されました。

「土地は永久に売ってはならない」と主は命じられました。「土地はわたしのものである。あなたたちはわたしのもとで寄留者であり、異国人だからである。あなたたちの所有するすべての土地におい

て、土地の買い戻しをしなければならない。もしあなたの兄弟が貧しくなり、その所有地の一部を売り払った場合、親族の誰かがそれを買い戻すために来たなら、その人は兄弟が売ったものを買い戻さなければならない。もしその人自身がそれを買い戻すことができれば、その人は自分の所有地に戻ることができる。しかし、もしそれを返還することができないなら、売ったものはそれを買った人の手にヨベルの年まで残される。」レビ記 25:23-28。

「あなたたちは五十年目を聖別し、その地の全域にわたってそこに住むすべての人々に解放を宣言しなければならない。それはあなたたちにとってヨベルの年となる。あなたたちはそれぞれ自分の所有

地に帰り、それぞれ自分の家族のもとに帰りなさい。」10節。

このようにして、すべての家族は財産を安全に保持することができ、極端な富や貧困に対しても保護が与えられました。

産業研修

イスラエルでは、職業訓練は義務とみなされてきました。すべての父親は息子に何らかの有用な職業を教えることが求められていました。イスラエルの偉大な男性は、職業訓練を受けていました。主婦業に関する義務の知識は、すべての女性にとって不可欠であると考えられていました。そして、これらの義務のスキルは、最高の地位にある女性にとって名誉とみなされてきました。

預言者の学校ではさまざまな産業が教えられ、生徒の多くは肉体労働で生計を立てていました。

貧困者への配慮

しかし、これらの取り決めは貧困を完全になくしたわけではありません。貧困を完全になくすことは神の目的ではありませんでした。貧困は人格を発達させるための神の手段の 1 つです。神はこう言っています。「貧しい者は国から絶えることはない。それゆえ、わたしはあなたに命じて言う。あなたの国にいるあなたの兄弟、あなたの貧しい者、あなたの乏しい者に、あなたの手を広く開かなければならない。」申命記 15:11。

「あなたの神、主があなたに与える土地のどの町内にも、あなたの同胞のひとり

の貧しい人がいれば、あなたは心をかたくなにしてはならない。また、その貧しい兄弟に手を閉ざしてはならない。むしろ、彼に対して手を大きく開き、彼の必要を満たすものを必ず貸さなければならない。」7、8節。

「もしあなたの兄弟があなたと共に貧しくなり、衰え果てたならば、あなたは彼を助けなければならない。たとえ彼が旅人、寄留者であっても、彼はあなたと共に住むことができる。」レビ記25:35。

「あなたがたは、自分の畑の収穫を刈り取るとき、畑の隅まで刈り取ってはならない。」 「あなたがたは、自分の畑で収穫物を刈り取るとき、束を畑に忘れたときは、それを再び取りに行ってはならない。…あなたがたは、オリーブの木を刈

り取るとき、枝を再び巡ってはならない。…あなたがたは、ぶどう畑のぶどうを摘み取るとき、あとでそれを拾い集めてはならない。それは寄留者、孤児、寡婦のものとなる。」 レビ記 19:9; 申命記 24:19-21. [187]

気前よく与えれば困窮するのではないかと心配する必要はありません。神の戒めに従うなら、必ず繁栄がもたらされます。神はこう言われました。「このことのために、あなたの神、主は、あなたのすべてのわざと、あなたが手ずから行うすべてのことに、あなたを祝福されるであろう。」 「あなたは多くの国々に貸すが、借りることはない。あなたは多くの国々を治めるが、彼らはあなたを治めることはない。」 申命記 15:10, 6。

ビジネス原則

神の言葉は、ある階級を抑圧し、別の階級を苦しめることによって、ある階級を豊かにするような政策を容認していません。すべての商取引において、神の言葉は、私たちが取引相手の立場に立って考えること、自分のことだけでなく、他人のことにも目を向けることを教えています。他人の不幸を利用して自分の利益を得ようとする人、または他人の弱さや無能さを利用して利益を得ようとする人は、神の言葉の原則と戒律の両方に違反しています。

「寄留者や孤児の裁判を曲げてはならない。寡婦の着物を質にしてはならない。」 「兄弟に何かを貸すときは、質物を取りに彼の家に入ってはならない。あなた

は外に立っていなければならない。貸した人は質物を外からあなたのところに持ち出す。その人が貧しいなら、あなたはその質物を持って寝てはならない。」 「隣人の着物を質に取るときは、日の入るころに渡さなければならない。それは彼の身を覆うものだけである。…彼はどこで寝ればよいのか。彼がわたしに叫ぶなら、わたしは聞く。わたしは恵み深いからである。」 「もし隣人に何かを売ったり、隣人から何かを買うときは、互いに圧迫し合ってはならない」 申命記 24:17, 10-12; 出エジプト記 22:26, 27; レビ記 25:14。

「長さ、重さ、量のはかりに関して不正を行ってはならない。」 「袋の中に、大きいのと小さいのとで異なる重りをいれ

てはならない。家の中に、大きいのと小さいのとで異なるはかりをいれてはならない。」 「正しいはかり、正しい重り、正しいエパ、正しいヒンを備えなければならない。」 レビ記 19:35、ARV；申命記 25:13, 14、ARV；レビ記 19:36、ARV

「求める者には与えよ。借りようとする者を断ってはならない。」 「悪人は借りても返さない。正しい者はあわれんで与える。」 マタイ5:42；詩篇37:21。

「助言を与え、正義を執行せよ。真昼の真夜のように、あなたの陰を造れ。追放された者を隠し、逃亡者を裏切ってはならない。」 「わたしの追放された者たちをあなたとともに住ませよ。…あなたは彼らの隠れ場所となり、略奪者の顔から守れ。」 イザヤ書 16:3 (ARV)、4。

神がイスラエルに与えた命の計画は、全人類への教訓として意図されたものでした。これらの原則が今日実行されたら、この世界はどれほど違ったものになるでしょう。

自然の広大な境界の中には、苦しんでいる人や困っている人が住む場所がまだあります。自然の懐の中には、彼らに食糧を供給するのに十分な資源があります。地球の奥深くには、勇気と意志と忍耐力を持って自然の宝物を集めるすべての人への祝福が隠されています。 [189]

土を耕すことは、神がエデンで人間に与えられた仕事であり、多くの人々が生計を立てる機会となる分野を切り開きます。

「主を信頼し、善を行え。
そうすれば、あなたは地に住み、確かに
養われるであろう。」

詩篇 37:3。

何千、何万人もの人々が、わずかな金を稼ぐ機会をうかがいながら、都市に群がって土地で働いているかもしれない。多くの場合、このわずかな金はパンを買うために使われるのではなく、魂と肉体を破壊するものを得るために、酒屋の金庫に詰め込まれる。

多くの人々は労働を苦役とみなし、正直に働くよりも陰謀を企てることで生計を立てようとしています。働かずに生計を立てたいというこの願望は、ほとんど際限なく悲惨と悪徳と犯罪への扉を開きます。

都市のスラム街

大都市には、口のきけない動物よりも少ない配慮と配慮しか受けていない人々が大勢います。みじめなアパートに押し込められた家族のことを考えてみてください。その多くは暗い地下室で、湿気と汚物の悪臭が充満しています。 [190]これらのみじめな場所で子供たちは生まれ、成長し、死んでいきます。子供たちは、感覚を喜ばせ、魂を高揚させるために神が創造した自然の美しさをまったく見ていません。ぼろぼろの服を着て半分飢えながら、彼らは悪徳と墮落の中で暮らし、周囲のみじめさと罪によって性格を形作られています。子供たちは神の名を冒瀆的な言葉でしか聞きません。汚い言葉、呪い、ののしりが彼らの耳に満ちています。酒とタバコの煙、不快な悪臭、道

徳的退廃が彼らの感覚を歪めます。こうして、多くの人々が犯罪者、彼らを悲惨と退廃の中に捨てた社会の敵になるように訓練されます。

都市のスラム街の貧困層は皆この階級に属するわけではない。敬虔な男女が病気や不幸で貧困のどん底に落ちたが、それは多くの場合、同胞を食い物にして生きる人々の不正な陰謀による。誠実で善意のある人でも、産業訓練を受けていないために貧しくなる人が多い。無知のため、人生の困難に立ち向かうのに不向きである。都市に流れ込んでも、仕事が見つからないことが多い。悪徳の光景や音に囲まれて、恐ろしい誘惑にさらされる。群れをなして、しばしば悪徳で墮落した者と同列に扱われるが、超人的な闘争、

限界を超えた力によってのみ、同じどん底に落ちずに済む。多くの人には誠実さを堅持し、罪を犯すよりも苦しむことを選ぶ。この階級の人々は特に、助け、同情、励ましを必要としている。

もし現在都市に押し寄せている貧困層が土地に家を見つけることができれば、生計を立てられるだけでなく、今まで知らなかった健康と幸福を見つけることができるかもしれない。彼らの運命は、重労働、質素な食事、厳しい節約、そしてしばしば困難と窮乏となるだろう。しかし、悪への誘惑、騒乱と犯罪、悲惨と汚らしさのある都市を離れ、田舎の静けさと平和と純粹さを求めて移住することは、彼らにとってどんなに素晴らしいことだろう。

足を踏み入れる緑の芝生がまったくなく、何年もの間、汚い中庭や狭い路地、レンガの壁や舗道、ほこりや煙で曇った空を眺めてきた都市生活者の多くにとって、もしこれらを緑の野原や森や丘や小川に囲まれ、澄んだ空と田舎の新鮮で清らかな空気のある農村地帯に持っていくことができれば、そこはほとんど天国のように思えるだろう。

人間との接触や人間への依存から大幅に切り離され、この世の墮落した格言や慣習や興奮から切り離された彼らは、自然の核心に近づくでしょう。神の存在は彼らにとってより現実的になるでしょう。多くの人が神への依存の教訓を学ぶでしょう。自然を通して彼らは神の平安と愛を心に語りかける神の声を聞き、心と魂

と体が癒しと生命を与える力に反応するでしょう。

彼らが勤勉になり、自立するようになったとしても、非常に多くの人々は援助、励まし、指導を必要とします。土地に定住し、生計を立てる方法を学ぶのを助けること以上に良い宣教活動はない、貧しい家族が数多くいます。

こうした援助と指導が必要なのは、都市部に限られるわけではない。より良い生活を送る可能性を秘めた田舎でさえ、大勢の貧しい人々が大きな支援を必要としている。コミュニティ全体が産業や衛生に関する教育を受けていない。家族は小屋に住み、家具や衣服は乏しく、道具も本もなく、快適さや便利さ、教養の手段も欠いている。野蛮な魂、弱く不健康な

体は、悪しき遺伝と間違った習慣の結果を示している。これらの人々は基礎から教育を受ける必要がある。彼らは怠惰で怠惰で墮落した生活を送っており、習慣を正すよう訓練される必要がある。 [193]

どうすれば、改善の必要性に気付かせることができるでしょうか。どうすれば、より高次の理想の人生に導くことができるでしょうか。どうすれば、彼らの向上を助けられるでしょうか。貧困が蔓延し、あらゆる段階で貧困と闘わなければならない状況で、何ができるでしょうか。確かに、その仕事は困難です。男性と女性が、自分以外の力によって助けられなければ、必要な改革は決して行われません。神の目的は、富める者と貧しい者が

、同情と助け合いの絆で密接に結びつくことです。財力、才能、能力のある者は、これらの賜物を、同胞を祝福するために使うべきです。

キリスト教徒の農民は、貧しい人々が土地に家を見つけるのを助け、土地を耕して生産力を高める方法を教えることにより、真の宣教活動を行うことができます。農業用具の使い方、さまざまな作物の栽培方法、果樹園の植え付けと管理の方法を教えましょう。

土地を耕す人の多くは、怠慢のせいで十分な収益を得られない。果樹園は適切に手入れされず、作物は適切な時期に植えられず、耕作は表面的な作業しか行われない。彼らは、その不成功の原因を土地の生産性の低さに求める。適切に耕作す

れば豊かな収益をもたらす土地を非難する誤った証言は、しばしばなされる。狭い計画、投入される力の少なさ、最良の方法についての研究の少なさは、改革を強く要求する。

学ぶ意志のあるすべての人に、正しい方法を教えましょう。もし、あなたが高度な考えを話してほしくない人がいるなら、静かに教えましょう。自分の土地の文化を維持しましょう。できるときには、隣人に一言伝え、収穫が正しい方法を支持する雄弁なものとなるようにしましょう。土地が適切に耕作されれば、何ができるかを示しましょう。 [194]

貧しい家庭が仕事を見つけられるように、さまざまな産業の設立に注意を払う必要があります。大工、鍛冶屋、そして実

際に何らかの有用な労働を理解しているすべての人は、無知な人や失業者に教え、助ける責任を感じるべきです。

貧しい人々への奉仕には、男性だけでなく女性にも幅広い奉仕の分野があります。有能な料理人、家政婦、裁縫師、看護婦など、すべての人の助けが必要です。貧しい家庭の人々に、料理の仕方、衣服の縫製や修繕の仕方、病人の看護の仕方、家庭の適切な世話の仕方を教えましょう。男の子も女の子も、役に立つ商売や職業を徹底的に教えましょう。

宣教師家族

荒廃した土地に定住するために宣教師の家族が必要です。農民、金融家、建築業者、そしてさまざまな芸術や工芸に熟練した人々が、放置された畑に行き、土地

を改良し、産業を立ち上げ、自分たちのために質素な家を準備し、隣人を助けましょう。

神は、自然の荒々しい場所、荒れ果てた場所を、最も見苦しいものの中に美しいものを置くことで、魅力的な場所にされました。これが、私たちが求められている仕事です。見通しが悪く見える地球上の砂漠でさえ、神の庭園のようになるかもしれません。「その日には、耳の聞こえない者は書物の言葉を聞き、目の見えない者は暗やみから見えるようになる。柔和な者は主によって喜びを増し、貧しい者はイスラエルの聖者によって喜ぶ。」イザヤ書 29:18, 19。

実践的な指導によって、私たちは貧しい人々を最も効果的に助けることができる

ことが多い。一般的に、働く訓練を受けていない人々は勤勉、忍耐、儉約、 [195] 自己犠牲の習慣を持っていない。彼らはやりくりの仕方を知らない。慎重さと正しい判断力の欠如により、注意深く経済的に使用すれば家族を上品で快適に維持できるはずのものが、しばしば無駄になっている。「貧しい人々の耕作地には多くの食物があるが、判断力の欠如のために滅ぼされるものがある」箴言 13:23。貧しい人々に施しをすると、彼らに依存を教えることで、彼らを傷つけることになるかもしれません。そのような施しは利己主義と無力感を助長します。怠惰、浪費、節制の欠如につながることがあります。自分で生計を立てられる人には、他人に頼る権利はありません。「世

界は私に生計を立てる義務がある」という諺には、虚偽、詐欺、強盗の本質が含まれています。自分で働いて生計を立てられる人には、世界は生計を立てる義務はありません。

真の慈善は、人々が自助努力するのを助けます。誰かが私たちの家に来て食べ物を求めてきたら、私たちはその人を空腹のまま追い返すべきではありません。その人の貧困は不運の結果かもしれません。しかし、真の善行は単なる贈り物以上のものを意味します。それは、他人の幸福に対する純粹な関心を意味します。私たちは、貧しい人や困窮している人のニーズを理解し、彼らに最も役立つ援助を与えるよう努めるべきです。考え、時間、そして個人的な努力を捧げることは、

単にお金を寄付するよりもはるかに費用がかかります。しかし、それが最も真の慈善なのです。

自分が受け取るものを稼ぐように教えられた人は、それを最大限に活用することをより容易に学ぶでしょう。そして自立することを学ぶことで、彼らは自立できるようになるだけでなく、他の人を助けることができるようになるのです。機会を無駄にしている人たちに、人生の義務の大切さを教えましょう。聖書の教えは決して人を怠け者にしないということを彼らに示してください。キリストは常に勤勉を奨励しました。「なぜ一日中何もせずにここに立っているのか？」彼は怠惰な人に言いました。「私は昼間働かなければなりません。夜が来ると、誰も働

けなくなくなります。」マタイ20:6；ヨハネ9:4。 [196]

福音に従う人々に福音が何をもたらすかという証拠を、家庭生活、習慣、慣習、秩序の中で世に伝えることは、すべての人の特権です。キリストは、私たちがどのような人間になれるかの模範を示すためにこの世に来られました。キリストは、従者が人生のあらゆる関係において正しさの模範となることを期待しています。キリストは、外面的な物事に神の手が触れることを望んでおられます。

私たち自身の家や環境は、改善の方法を教える実物教材であるべきです。そうすれば、怠惰、不潔、粗野、無秩序に代わって、勤勉、清潔、趣味、洗練がもたらされるでしょう。私たちの生活や模範に

よって、他の人が自分の性格や環境の中にある不快なものを見分けられるよう助け、キリスト教の礼儀をもって改善を促すことができます。彼らに関心を示すとき、彼らのエネルギーを最も有効に活用する方法を教える機会が見つかるでしょう。

希望と勇気

勇気と忍耐がなければ何もできません。貧しい人や落胆している人に希望と勇気の言葉をかけてあげてください。必要であれば、彼らが苦境に陥ったときに助けて、あなたの関心を具体的に示してください。多くの恵まれた境遇にある人々は、自分たちもまだ多くの点で間違いを犯していること、そして間違いを指摘され、あるべき姿の模範を目の前に示される

ことが彼らにとって苦痛であることを覚えておくべきです。親切は非難よりも多くのことを成し遂げるということを覚えておいてください。他の人を教えようとするとき、あなたが彼らが最高の水準に達することを望んでいること、そして彼らに援助を与える用意があることを彼らに見せてください。彼らが何かで失敗しても、すぐに彼らを非難してはなりません。

簡素さ、自己否定、儉約といった、貧しい人々が学ぶべき非常に重要な教訓は、しばしば彼らには難しく、歓迎されないものに思われます。 [197]この世の模範と精神は、常に高慢、見せびらかし、放縦、浪費、怠惰を刺激し、助長します。これらの悪は何千もの人々を極貧に陥れ

、さらに何千もの人々が墮落と惨めさから抜け出すのを妨げます。キリスト教徒は、これらの影響に抵抗するよう貧しい人々を励ますべきです。

イエスは謙虚にこの世に来られました。彼は身分の低い生まれでした。天の威厳、栄光の王、天使軍団の指揮官である彼は、人間性を受け入れるために自らを謙虚にし、その後、貧困と屈辱の人生を選びました。貧しい人々が手にできない機会は彼にはありませんでした。労苦、困難、窮乏は、毎日の経験の一部でした。

「狐には穴があり、空の鳥には巣がある。しかし、人の子には枕する所がない」とイエスは言われました。ルカ 9:58。

イエスは人々の称賛や賞賛を求めませんでした。軍隊を指揮しませんでした。地

上の王国を統治しませんでした。世の富裕層や名誉ある人々の好意を求めませんでした。国の指導者の地位を主張しませんでした。身分の低い人々の間で暮らしました。社会の人為的な区別を軽視しました。生まれ、富、才能、学識、地位による貴族階級をイエスは無視しました。イエスは天の君であったが、弟子を学識のある律法学者、統治者、書記官、パリサイ人の中からは選ばなかった。イエスはこれらの人々を無視した。なぜなら、彼らは学識と地位を誇りにしていたからである。彼らは伝統と迷信に固執していた。すべての人の心を読むことができるイエスは、喜んで教えを受ける謙虚な漁師を選んだ。イエスは取税人や罪人たちと一緒に食事をし、一般の人々と交わっ

たが、それは彼らと共に卑しく俗的なものとなるためではなく、教訓と模範によって彼らに正しい原則を示し、彼らを俗的なものと卑しいものから引き上げるためであった。

イエスは、人間の価値を判断する世の誤った基準を正そうとしました。イエスは貧しい人々の側に立って[198]、世が貧困に与えた汚名を取り除こうとしました。イエスは、神の王国の相続人である貧しい人々を祝福することによって、貧困から永遠に軽蔑の非難を取り除いてくださいました。イエスは、ご自身が歩まれた道を私たちに示して、こう言っています。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字

架を負って、わたしに従ってきなさい」
(23節)。

キリスト教の働き手は、人々がいる場所で彼らに会い、誇りではなく人格形成について教育しなければなりません。キリストがどのように働き、自らを否定したかを彼らに教えましょう。キリストから自己否定と犠牲の教訓を学ぶのを助けましょう。流行にのって自己満足に陥らないように彼らに教えましょう。人生はあまりにも貴重で、厳粛で神聖な責任に満ちているので、自分を満足させることで無駄にしてはいけません。

人生最高のもの

男性も女性も、人生の真の目的をほとんど理解し始めていません。彼らはきらびやかなものに惹かれ、世俗的な優位性に

野心を抱いています。そのために、人生の真の目的が犠牲になっています。人生で最も良いもの、つまり、単純さ、正直さ、誠実さ、純粹さ、高潔さは、買うことも売ることもできません。それらは、無知な人にも教育のある人にも、謙虚な労働者にも名譽ある政治家にも同じように無料で手に入ります。神は、金持ちも貧乏人も同じように楽しめる喜びをすべての人に与えています。それは、純粹な考えと利他的な行動を培うことから得られる喜びであり、思いやりのある言葉を話し、親切な行為を行うことから得られる喜びです。そのような奉仕を行う人々からキリストの光が輝き、多くの影で暗くなった人生を明るくします。

貧しい人々を物質的な面で助ける一方で、彼らの霊的な必要を常に念頭に置いてください。あなた自身の生活が救い主の守りの力を証しするようにしてください。すべての人が到達できる高い標準をあなたの人格が示すようにしてください。福音を簡単な実物を使って教えてください。あなたがしなければならないすべてのことが人格形成のレッスンとなるようにしてください。

謙虚な労働の中で、最も弱く、最も目立たない者でさえ、神と共に働き、神の存在と支えとなる恵みの慰めを受けることができるかもしれません。彼らは、多忙な不安や不必要な心配で疲れ果ててはなりません。神の摂理が割り当てた仕事を忠実に遂行しながら、日々働き続けまし

よう。そうすれば、神は彼らを世話してください。彼はこう言っています。

「何事にも思い煩ってはならない。何事にも感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。」 「そうすれば、人の考えではとうてい測り知ることのできない神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守るであろう。」 ピリピ人への手紙4:6、ARV; 4:7。

主はすべての被造物に気を配っています。主はすべての被造物を愛し、区別しません。ただ、人生で最も重い重荷を背負わされる人々に対しては、最も優しい憐れみを抱くのです。神の子らは試練や困難に遭遇しなければなりません。しかし

、彼らは、この世が与えてくれないすべてのものに対して、神自身が最高の恩恵で埋め合わせをしてくれることを忘れず、明るい気持ちで運命を受け入れるべきです。

困難な状況に陥ったとき、神は謙虚な祈りに応えてその力と知恵を現します。祈りを聞き、祈りに答える神として神を信頼してください。神は、あらゆる緊急事態に助けを与えることができる方として、あなたにご自身を現してくださいます。人間を創造し、人間に素晴らしい肉体的、精神的、霊的能力を与えた神は、神が与えた命を維持するために必要なものを差し控えたりはしません。神の言葉、すなわち命の木の葉を私たちに与えてくださった神は、神の困っている子供たち

に食物を与える方法に関する知識を私たちから差し控えたりはしません。

鋤を持ち、牛を追う者は、どのようにして知恵を得ることができるでしょうか。

銀を求めるように知恵を求め、隠された宝を探すように知恵を捜すのです。「神は彼に分別を教え、教えられるからです。

。」イザヤ書 28:26。「これもまた[200]万軍の主から出る。主は計り知れない計略を持ち、知恵に優れている。」29節、A

RV

エデンでアダムとイブに園の手入れの仕方を教えた神は、今日の人々にも教えたいと願っています。鋤を運転し種を蒔く人には知恵があります。神を信頼し従う人々の前に、神は前進の道を開いてくださいます。神が豊かな慈悲によって彼ら

の必要を満たしてくださることを信じ、
勇敢に前進しましょう。

五つのパンと二匹の魚で群衆を満たした
神は、今日、私たちに労働の成果を与え
ることができます。ガリラヤの漁師たち
に「網をおろして漁をなさい」と言い
、彼らがそれに従うと網が破れるまで網
をいっぱいにできた神は、今日、神が彼
らのためになさることの証拠を、このこ
との中に見てほしいと願っておられます
。荒野でイスラエルの民に天からのマナ
をお与えになった神は、今も生きて統治
しておられます。神は、ご自分の民を導
き、召された仕事において技能と理解力
を与えてくださいます。神は、誠実に、
そして知的に義務を果たそうと努める人
々に知恵を与えてくださいます。世界を

所有する神は資源に富んでおり、他者を祝福しようとするすべての人を祝福してください。

私たちは信仰をもって天を仰ぐ必要があります。一見失敗しているように見えても落胆したり、遅れているからといって意気消沈したりすべきではありません。地球には忠実な労働者が蓄えるべき豊かな宝物、金や銀よりも豊かな蓄えがあると信じて、明るく、希望を持って、感謝の気持ちを持って働くべきです。山や丘は変わり、地球は衣服のように古びていきます。しかし、神の民のために荒野に食卓を用意してくださる神の祝福は、決して絶えることはありません。 [201]

第13章-無力な貧者

貧しい人々の自立を助けるためにできることはすべてやったとしても、同情と世話を必要とする未亡人や孤児、老人、無力な人、病人がまだ残っています。これらの人々を決して無視してはいけません。神ご自身が、神がその管理者に任命したすべての人々に対して、慈悲と愛と優しい世話を託しておられるのです。

信仰の家族

「ですから、私たちは機会のあるごとに、すべての人に対して、特に信仰の家族に対して善を行おうではありませんか。」ガラテヤ6:10。

特別な意味で、キリストは教会に、教会員の中の困っている人々を世話する義務を課しました。キリストは、教会の境界内に貧しい人々がいることを許しています。彼らは常に私たちの中にあるべきであり、キリストは教会員に彼らを世話する個人的な責任を課しています。

真の家族のメンバーが互いに思いやり、病人を助け、弱者を支え、無知な人を教え、未熟な人を訓練するのと同じように、「信仰の家族」も困窮者や無力な人を思いやります。これらを決して無視してはなりません。 [202]

未亡人と孤児

未亡人と孤児は主の特別な配慮の対象です。

神は、その聖なる住まいにおられる、みなしごの父、やもめの審判者です。」

「あなたの造り主はあなたの夫。
その名は万軍の主。
イスラエルの聖なる方はあなたの贖い主。
。全地の神と呼ばれるであろう。」

「あなたの孤児を残しておきなさい。わたしは彼らを生かそう。
あなたのやもめたちはわたしに信頼しなさい。」

詩篇 68:5; イザヤ 54:5, ARV; エレミヤ 49:11。

多くの父親は、愛する家族と別れを告げられたとき、神が彼らを世話するという約束を信じて亡くなりました。主が未亡

人と孤児を養うのは、天からマナを送る奇跡や、食べ物を運ぶカラスを送る奇跡によるのではなく、人間の心に奇跡を起こし、利己心を追い出し、キリストのような愛の泉を開くことによってです。主は、苦しむ人々や遺族を、貴重な信託として信者に託します。彼らは、私たちの同情を最も強く求める権利があります。生活の快適さが備わった家、豊かな収穫物で満たされた貯蔵庫や穀倉、織機の製品が貯蔵された倉庫、金銀が貯蔵された金庫室に、神はこれらの困窮者の生活を支える手段を与えておられます。神は私たちに、神の恵みの伝達者となるよう求めておられます。 [203]

父親のいない子どもを抱えた未亡人の母親の多くは、二重の重荷を担おうと勇敢

に努力しており、幼い子どもたちをそばに置き、彼らの必要を満たすために、しばしば自分の力を超えた苦勞をしています。母親には子どもたちの訓練や指導に割ける時間はほとんどなく、子どもたちの生活を明るくするような影響力で彼らを取り囲む機会もほとんどありません。母親には励まし、同情、そして具体的な助けが必要です。

神は私たちに、できる限り、父親の世話に欠けているこれらの子供たちの世話をするように求めています。孤立したり、彼らの欠点や彼らが引き起こすかもしれない問題に文句を言ったりするのではなく、できる限りのあらゆる方法で彼らを助けてください。心配事に悩む母親を助け、彼女の重荷を軽くしてください。

また、親の指導やクリスチャン家庭の抑制的な影響から完全に奪われた子供たちが大勢います。クリスチャンは、これらの無力な子供たちに心と家を開きましょう。神が彼らに個人の義務として託した仕事は、慈善団体に委ねられたり、世間の慈善活動の成り行きに任せられたりすべきではありません。子供たちに世話をできる親戚がない場合は、教会のメンバーが子供たちに家を提供してください。私たちが創造した神は、私たちが家族と結びつくように定められました。そして、子供の性質はクリスチャン家庭の愛情あふれる雰囲気の中で最もよく発達します。

自分の子どもを持たない多くの方は、他人の子どもの世話をすることで良い働き

ができるでしょう。ペットに注意を向ける代わりに、口のきけない動物に愛情を惜しみなく注ぐ代わりに、神の似姿に似せて性格を形作ることのできる小さな子どもたちに注意を向けてください。人類家族の家のない人々にあなたの愛を注いでください。これらの子どもたちのうち、どれだけ多くの子どもを主の教えと訓戒の中で育てることができるかを考えてください。そうすれば、多くの人が大きな恩恵を受けるでしょう。

高齢者

高齢者もまた、家族の助けを必要としています。キリスト教徒の兄弟姉妹の家庭では、自分の家を失ったことをほとんど補うことができます。家庭内の関心事や仕事に加わるよう励まされれば、高齢者

は自分の役目が終わっていないと感じるでしょう。高齢者に、自分の助けが評価されていること、他の人々に奉仕する上でまだやるべきことがあることを感じさせれば、高齢者の心は元気づけられ、生活に関心が持てるでしょう。

頭が白くなり、足取りが弱くなり、墓場に近づいている人々は、できる限り友人や親しい仲間の中に留まるようにしてください。彼らが知り、愛した人々の中で礼拝するようにしてください。愛情深く優しい手で世話をしてもらいましょう。

できるときはいつでも、自分の親族に奉仕することは、各家族のメンバーの特権であるべきです。それができない場合は、その仕事は教会に属し、特権として、また義務として受け入れられるべきです

。キリストの精神を持つ人は皆、弱者や年老いた人に対して優しい思いやりを持つでしょう。

私たちの家庭にこのような無力な人が一人いるということは、キリストの慈悲の奉仕に協力し、キリストのような性格を培う貴重な機会です。老人と若者の交わりには祝福があります。若者は老人の心と生活に太陽の光をもたらすかもしれません。生きる力を失いつつある人々は、若者の希望と活力に触れることの恩恵を必要としています。そして若者は老人の知恵と経験によって助けられるかもしれません。何よりも、彼らは利他的な奉仕の教訓を学ぶ必要があります。同情と忍耐と自己犠牲的な愛を必要としている人の存在は、多くの家庭にとって計り知れ

ない祝福となるでしょう。それは家庭生活
を甘美で洗練されたものにし、老人と
若者の内にキリストのような恵みを呼び
起こし、彼らを神聖な美しさで美しくし
、天の不滅の宝物に富ませるでしょう。

性格のテスト

「貧しい人たちはいつもあなたがたと一
緒にいる」とキリストは言いました。「
あなたがたはいつでも彼らに善行をした
いと思う。」 「父なる神のみ前に清く汚
れのない信心とは、苦しんでいる孤児や
やもめを訪問し、自らは世の汚れに染ま
らずにいること。」 マルコ14:7; ヤコブ
1:27。

キリストは、彼らの中に無力な者や貧し
い者を置き、彼らの世話に頼らせること
で、自らを信奉者と称する者たちを試し

ています。キリストの困っている子供たちへの愛と奉仕によって、私たちはキリストへの愛が本物であることを証明します。彼らを見無視することは、私たちが偽りの弟子であり、キリストとその愛に疎い者であると宣言することになります。孤児の子供たちに家庭的な居場所を提供するためにできることをすべてやっても、それでもなお、世話を必要とする子供たちが大勢いるでしょう。彼らの多くは悪を受け継いでいます。彼らは見込みがなく、魅力がなく、邪悪ですが、キリストの血によって買い取られたものであり、キリストの目には私たちの子供たちと同じくらい貴重です。彼らに救いの手を差し伸べなければ、彼らは無知のまま成長し、悪徳や犯罪に陥るでしょう

。これらの子供たちの多くは、孤児院の活動を通じて救われる可能性があります。

このような施設は、最も効果的であるためには、クリスチャンの家庭の計画にできるだけ近いモデルにすべきである。大勢の人々を集める大きな施設の代わりに、さまざまな場所に小さな施設を設けるべきである。 [206]町や大都市の中や近くではなく、耕作のための土地を確保でき、子供たちが自然と触れ合い、産業訓練の恩恵を受けることができる田舎に施設を設けるべきである。

このような家庭の責任者は、寛大で教養があり、自己犠牲的な男女でなければなりません。キリストへの愛から仕事を引き受け、キリストのために子供たちを教

育する男女です。このような配慮のもと、多くのホームレスや無視された人々が、社会の有用な一員となり、キリストの名誉となり、そして今度は他の人々を助ける者となる準備ができるでしょう。

多く的人是は儉約を軽蔑し、それをけちや狭量と混同します。しかし、儉約は最も広い寛大さと矛盾しません。実際、儉約なしに真の寛大さはあり得ません。私たちは与えるために節約しなければなりません。

自己否定なしに真の慈悲を実践できる人はいません。質素で自己否定的で儉約的な生活を送ることによってのみ、キリストの代表者として与えられた仕事を成し遂げることができます。プライドと世俗的な野心は心から捨て去らなければなり

ません。すべての仕事において、キリストの生涯に示された無私の原則を実践しなければなりません。家の壁、絵画、家具には、「追い出された貧しい者をあなたの家に連れて来なさい」と書いてあるべきです。洋服ダンスには、神の指で「裸の者に着せなさい」と書いてあるべきです。ダイニングルームの、たくさんの食べ物が積まれたテーブルには、「飢えた者にパンを与えることは、あなたのパンを与えることではないか」と書いてあるべきです。イザヤ書 58:7。

私たちの前には、役に立つ千の扉が開かれています。私たちはしばしば、利用できる資源の少なさを嘆きますが、クリスチャンが徹底的に真剣であれば、資源を千倍に増やすことができます。私たちの

役に立つ道を妨げるのは、利己主義と自己満足です。 [207]

単なる偶像にすぎないもの、もっと有意義に使うべき思考や時間や力を奪うものに、どれほどの財産が費やされていることか。高価な家や家具、利己的な快樂、贅沢で不健康な食べ物、有害な放縱に、どれほどのお金が浪費されていることか。誰の役にも立たない贈り物に、どれほどのお金が浪費されていることか。今日、キリスト教徒と自称する人々は、誘惑者から魂を救おうとするよりも、不必要で、しばしば有害なものに、より多く、何倍も費やしている。

クリスチャンであると公言する人の多くは、衣服に多額のお金を使うため、他人の必要のために使える余裕がありません

。彼らは、質素な衣服さえ手に入れるのが困難な人々の必要を無視して、高価な装飾品や高価な衣服を必ず手に入れなければならないと考えています。

姉妹の皆さん、もし皆さんが服装を聖書に記された規則に従えば、貧しい姉妹たちを助けるための十分な資金が得られるでしょう。資金だけでなく時間も得られるでしょう。多くの場合、これが最も必要です。皆さんの提案、機転、技術で助けられる人はたくさんいます。シンプルでありながら上品な服装の仕方を彼らに示してください。みすぼらしくてサイズの合わない衣服が他の人の服装とあまりにも対照的であるため、神の家から遠ざかっている女性が多くいます。この対照的なため、多くの感受性の強い人が苦い

屈辱感と不公平感を抱いています。そして、そのために多くの人が宗教の現実性を疑い、福音に対して心を固くするようになります。

キリストは私たちにこう命じています。

「残ったかけらを集めなさい。何も失われないように。」毎日何千人もの人々が飢餓、流血、火災、疫病で亡くなっていますが、何も無駄にせず、不必要に消費せず、それによって人類に利益をもたらすことが、同類の愛好者なら誰でもすべきことです。 [208]

時間を無駄にするのは間違っています。考えを無駄にするのは間違っています。利己的なことに費やすすべての瞬間を無駄にしています。すべての瞬間が価値あるものとされ、正しく使われるなら、自

分自身や世界のために行う必要があるすべてのことに時間を割くことができるはずでず。お金を使うとき、時間、体力、機会を使うとき、すべてのクリスチャンは神に導きを求めましょう。「あなたがたのうち、知恵に不足している人は、とがめもせず、惜しみなくすべての人に与える神に、願い求めなさい。そうすれば、与えられます。」ヤコブ1:5。

「与えよ、そうすればあなたにも与えられるであろう」

「善を行ない、また何も期待せずに貸しなさい。そうすれば、あなたがたの報いは大きくなり、いと高き方の子となるであろう。主は、恩を知らぬ者にも、悪人にも、慈悲深いからである。」ルカ6:35。

「目を隠す者は多くの呪いを受ける。」
しかし、「貧しい人に施す者は乏しいこ
とがない。」箴言28:27。

「与えなさい。そうすれば、あなたにも
与えられるであろう。人々は、押し入れ
、揺すり入れ、あふれさせるほどの量り
を、あなたのふところに与えるであろう
。」ルカ6:38。 [209]

第14章 富裕層への奉仕

ローマの百人隊長コルネリウスは裕福で高貴な生まれの男でした。彼の地位は信頼と名誉のものでした。生まれも教育も異教徒でしたが、ユダヤ人との接触を通して真の神についての知識を得て、神を崇拜し、貧しい人々への思いやりで信仰の誠実さを示しました。彼は「人々に施しを与え、常に神に祈りを捧げました」。使徒行伝 10:2、ARV

コルネリウスはキリストの生と死に啓示された福音を知らなかったもので、神は天から直接彼にメッセージを送り、別のメッセージによって使徒ペテロに彼を訪ねて教えるよう指示しました。コルネリウスはユダヤ教会に属していなかったもので

、ラビたちからは異教徒で汚れた者とみなされていたでしょう。しかし神は彼の心の誠実さを読み取り、神の玉座から使者を遣わして、地上の神の僕と結び付け、ローマのこの役人に福音を教えさせました。

ですから、今日、神は身分の低い者だけでなく、身分の高い者の中にも魂を求めておられます。コルネリウスのような、神が教会と結び付けたいと願う人々はたくさんいます。彼らは主の民に同情しています。しかし、彼らをこの世と結びつける絆は彼らをしっかりと縛り付けています。これらの人々が身分の低い者と共に立つには、道徳的な勇気が必要です。責任と交わりのために非常に危険にさら

されているこれらの魂のために、特別な努力[210]がなされるべきです。

無視されている貧しい人々に対する私たちの義務については多くのことが語られていますが、無視されている富裕層にもいくらか注意を払うべきではないでしょうか。多くの人々、この階級を絶望的とみなし、地上の栄光のきらめきに目がくらみ、幻惑され、計算から永遠を失った人々の目を開くためにほとんど何もしていません。何千人もの裕福な人々が警告を受けずに墓に向かいました。しかし、彼らは無関心に見えても、金持ちの中には魂に重荷を負っている人が多くいます。「銀を愛する者は銀に飽きることなく、富を愛する者は富の増加に飽きることはない。」純金に向かって「あなたは私

の頼みの綱です」と言う者は、「上にある神を否定しています。」 「彼らは兄弟を贖うことも、彼の身代金を神に差し出すこともできません。彼らの魂の贖いは尊く、永遠に絶えるからです。」伝道の書 5:10。ヨブ 31:24、28。詩編 49:7、8。

富や世俗的な名誉は魂を満足させることはできません。富裕層の多くは、神の保証や精神的な希望を切望しています。目標のない単調な生活に終止符を打つ何かを切望している人も多くいます。公務員の多くは、持っていないものを必要だと感じています。彼らのうち教会に行く人はほとんどいません。なぜなら、彼らは恩恵をほとんど受けていないと感じているからです。彼らが聞く教えは心を動か

しません。私たちは彼らに個人的に訴えかけるべきではないでしょうか。

貧困と罪の犠牲者の中には、かつては富を持っていた人々もいます。さまざまな職業やさまざまな身分の人々が、この世の汚れ、強い酒、欲望の耽溺に打ち負かされ、誘惑に陥っています。これらの墮落した人々は憐れみと助けを求めています。まだそのような深みには落ちていないが、同じ道に足を踏み入れている人々にもいくらか注意を払うべきではないでしょうか。 [211]

信頼と名誉ある地位にある何千人もの人々が、魂と肉体を破滅させる習慣にふけています。福音の牧師、政治家、作家、富と才能のある人々、大きなビジネス能力と役に立つ力を持つ人々は、すべて

のことにおいて自制心の必要性を理解していないため、致命的な危険にさらされています。彼らは、狭いまたは恣意的な方法ではなく、人類に対する神の偉大な目的に照らして、節制の原則に注意を向ける必要があります。真の節制の原則がこのように彼らの前に提示されれば、その価値を認識し、心から受け入れる上流階級の人々が数多くいます。

私たちは、これらの人々に、有害な耽溺が肉体的、精神的、道徳的力を弱めるという結果を示すべきです。彼らが神の賜物の管理者としての責任を自覚できるように助けてください。彼らが現在、彼らに害しか与えないものに費やしているお金で、どんな良いことができるかを示してください。完全な禁欲の誓約を提示し

、彼らが酒、タバコ、または同様の耽溺に費やすはずだったお金を、病気の貧しい人々の救済や、世の中で役立つ子供や若者の教育に充てるよう求めてください。このような訴えに耳を傾けない人は多くないでしょう。

富裕層が特にさらされるもう一つの危険があり、これも医療宣教師の活躍の場です。世の中で繁栄し、決して一般的な悪徳に陥らない多くの人々が、富への愛によって破滅に至ります。運ぶのが最も難しいコップは、空のコップではなく、縁まで満たされたコップです。最も注意深くバランスを取る必要があるのは、これです。苦難と逆境は失望と悲しみをもたらしますが、霊的生活にとって最も危険なのは繁栄です。

逆境に苦しんでいる人々は、モーセが砂漠で見た茂みに代表されます。それは燃えていましたが、消えることはなかったのです。主の天使は茂みの真ん中にいました。ですから、貧困と苦難のときに、目に見えない存在の輝きが私たちを慰め、支えてくれます。病気や逆境に苦しんでいる人々のために祈りが求められることはよくありますが、私たちの祈りを最も必要としているのは、繁栄と影響力を託された人々なのです。

屈辱の谷では、人々は自分の必要性を感じ、神に歩みを導いてもらうことに頼っているのです。比較的安安全です。しかし、いわば高い頂上に立ち、その地位ゆえに偉大な知恵を持っているとみなされている人々は、最も危険な状態にあります。

そのような人々は、神に頼らない限り、必ず落ちてしまいます。

聖書は、もし人が正直に富を得たのなら、金持ちであることを非難していません。金銭ではなく、金銭への愛がすべての悪の根源です。富を得る力を人間に与えたのは神です。そして、神の管理人として行動し、利己心なく自分の資産を使う人の手にある富は、その所有者にとっても世界にとっても祝福です。しかし、多くの人は世俗的な宝物への関心に没頭し、神の要求や同胞の必要に無関心になります。彼らは自分の富を自らを称える手段とみなします。彼らは家に家、土地に土地を増やし、家を贅沢品で満たしますが、周りには悲惨と犯罪、病気と死に陥った人々がいます。このように自分の人

生を利己的なものに捧げる人々は、神の属性ではなく、邪悪な者の属性を自らの中に育んでいます。

これらの男性は福音を必要としています。彼らは物質的な物のむなしさから目をそらし、永続する富の尊さに目を向ける必要があります。彼らは与えることの喜び、神と共に働くことの祝福を学ぶ必要があります。

主は私たちにこう命じておられます。「この世で富んでいる人たちに命じなさい。彼らは、不確かな富にではなく、すべてのものを豊かに与えて私たちに楽しみを与えてくださる生ける神に信頼し、善を行ない、良い行いに富み、喜んで施し、喜んで与え、永遠の命を得るために、

来るべき時のために良い土台を自分のために積みなさい。」 1テモテ6:17-19。
裕福で、世を愛し、世を崇拜する魂がキリストに引き寄せられるのは、偶然の接触によってではありません。これらの人々は、しばしば最も近づくのが難しい人々です。彼らのために、失敗したり落胆したりしない、宣教師の精神にあふれた男女が個人的な努力をしなければなりません。

中には、上流階級の人々のために働くのに特に適した人もいます。そのような人々は、これらの人々にどう接したらよいかを知るために神の知恵を求め、単に彼らと知り合いになるだけではなく、個人的な努力と生きた信仰によって、彼らの

魂の必要に目覚めさせ、イエスにある真理の知識へと導くべきです。

上流階級に届くためには、彼らのきびしい好みに合った生活様式や仕事の方法をとらなければならないと多くの人が考えています。富裕な外見、高価な建物、高価な衣服、装備、環境、世俗的な習慣への順応、流行社会の人工的な洗練、古典文化、雄弁さが不可欠であると考えられています。 [214]これは誤りです。世俗的な政策の方法は、神が上流階級に届く方法ではありません。彼らに効果的に届くのは、キリストの福音を一貫して利他的に伝えることです。

使徒パウロがアテネの哲学者たちと会った経験は、私たちに教訓を与えてくれます。アレオパゴスの宮廷で福音を説く際

、パウロは論理を論理で、科学を科学で、哲学を哲学で示しました。彼の話聞いた最も賢明な人たちは驚き、沈黙しました。彼の言葉に反論することはできませんでした。しかし、その努力はほとんど実を結びませんでした。福音を受け入れるよう導かれた人はほとんどいませんでした。それ以降、パウロは別の働き方を採用しました。彼は複雑な議論や理論の議論を避け、男性と女性にキリストを罪人の救い主として簡潔に示しました。コリント人への手紙の中で、彼は次のように書いています。

「兄弟たちよ。私があなたがたのところに行ったとき、私は優れた言葉や知恵をもってではなく、神の証しをあなたがたに告げ知らせました。私は、あなたがた

の間では、イエス・キリスト、しかも十字架につけられた方のほかは、何も知るまいと決心したからです。・・・私の言葉や説教は、人の知恵の言葉に惑わされることなく、御霊と力の証明によって行われたのです。それは、あなたがたの信仰が人の知恵にではなく、神の力によるものとなるためです。」 1コリント2:1-5

。

また、ローマ人への手紙の中で彼はこう言っています。

「私はキリストの福音を恥じません。福音は、ユダヤ人をはじめギリシア人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力なのです。」ローマ1:16。

上流階級のために働く人々は、天使が仲間であることを忘れず、真の威厳をもつ

て振る舞いましょう。心と心の宝庫を「こう書いてある」という言葉で満たしましょう。キリストの貴重な言葉を記念ホールに掲げましょう。それらは金や銀よりもはるかに価値があるものです。

キリストは、金持ちが神の国に入るよりラクダが針の穴を通る方が簡単だと言いました。このクラスの作業では、多くの落胆が示され、多くの悲痛な啓示が与えられます。しかし、神にはすべてのことが可能です。神は、人間の手段を通して、金儲けに人生を捧げてきた人々の心に働きかけることがおできになり、またそうされます。 [216]

真の改心には奇跡が起こりますが、それは今は見分けがつかない奇跡です。地上の偉大な人々も、奇跡を起こす神の力の

及ばないところにいるわけではありません。神とともに働く人々が勇敢に、そして忠実に義務を果たせば、神は責任ある地位にある人々、知性と影響力のある人々を改心させます。聖霊の力によって、多くの人々が神の原則を受け入れるよう導かれるでしょう。

主が彼らに、苦しむ人類を救うために、神の代表者として期待しておられることが明らかになると、多くの人々がそれに応え、貧しい人々のために自分の財産と同情心を与えるでしょう。このようにして、彼らの心が自分の利己的な利益から離れると、多くの人々がキリストに身を委ねるでしょう。彼らは、影響力と財産という才能をもって、彼らの改宗において神の代理人であった謙虚な宣教師と慈善活

動に喜んで加わるでしょう。彼らは、地上の財産を正しく使用することで、「尽きることのない天の宝。そこには盗人も近寄らず、虫も食い荒らさない」でしょう。

キリストに改宗すると、多くの人が神の御手の中の代理人となり、自分と同じ階級の人たちのために働くようになります。彼らは、この世を自分のすべてとした人たちのために福音の分配が自分たちに委ねられていると感じるでしょう。時間とお金は神に捧げられ、才能と影響力は魂をキリストに導く仕事に捧げられるでしょう。

この種の奉仕によって何が成し遂げられたか、つまり、疑いに苦しみ、世俗と不安に疲れた何人の魂が、彼のもとに来る

者すべてを完全に救いたいと願う偉大な回復者のもとに導かれたかは、永遠だけが明らかにするでしょう。キリストは復活した救い主であり、その翼には癒しがあります。 [217]

病人のケア

[218]

「彼らは病人に手を置けば、彼らは回復するであろう。」 [219]

第15章 病室で

病人を看護する人は、健康法則に細心の注意を払う重要性を理解する必要があります。病室ほどこれらの法則に従うことが重要な場所はありません。看護人の小さなことに対する誠実さがこれほど重要になる場所は他にありません。重病の場合、ちょっとした怠慢、患者の特別な要求や危険に対するわずかな不注意、恐怖、興奮、不機嫌の表れ、さらには同情の欠如が、生死を左右する天秤をひっくり返し、回復したかもしれない患者を墓場に送り込む原因となることがあります。看護婦の効率は、肉体的な活力に大きく依存する。健康状態が良ければ、病人の世話の負担に耐えることができ、職務を

よりうまく遂行できる。病人の世話をする人は、食事、清潔さ、新鮮な空気、運動に特別な注意を払うべきである。同様に、家族が注意を払うことで、家族も余分な負担に耐えることができ、病気にかかるのを防ぐことができる。 [220]

病気が重く、昼夜を問わず看護師の付き添いが必要な場合、少なくとも 2 人の有能な看護師が仕事を分担し、それぞれが屋外で休息と運動の機会を持てるようにする必要があります。これは、病室内に十分な新鮮な空気を確保することが難しい場合に特に重要です。新鮮な空気の重要性を知らないために換気が制限され、患者と付き添い者の両方の命が危険にさらされることがよくあります。

適切な予防措置を講じれば、伝染しない病気を他人が患う必要はありません。正しい習慣を身につけ、清潔さと適切な換気で病室を有毒物質から守りましょう。このような状況であれば、病人は回復する可能性ははるかに高くなり、ほとんどの場合、付き添い人も家族も病気に感染しません。

日光、換気、温度

患者が回復するのに最も好ましい条件を与えるためには、患者が過ごす部屋は広く、明るく、陽気で、十分な換気ができるものでなければならない。家の中でこれらの条件を最も満たす部屋を病室として選ぶべきである。多くの家には適切な換気のための特別な設備がなく、換気を確保するのは困難である。しかし、病室

を昼夜を問わず新鮮な空気が流れるように配置するために、あらゆる可能な努力をすべきである。 [221]

病室の温度はできる限り一定に保つべきです。温度計を参考にしてください。病人の世話をする人は、睡眠不足になったり、夜中に患者の世話をするために起こされたりすることがよくあるので、寒がりになりやすく、健康的な温度の判断ができません。

ダイエット

看護師の重要な職務の 1 つは、患者の食事の世話です。患者が栄養不足で苦しんだり過度に衰弱したりしないようにし、弱った消化力を過度に酷使しないようにする必要があります。食事は美味しくなるように準備して提供する必要がありま

すが、量と質の両方で患者のニーズに合わせて賢明な判断を下す必要があります。特に回復期には食欲が旺盛で消化器官が回復する前に、食事の誤りによって傷害を受ける危険性が高くなります。

付き添い人の義務

看護婦や病室に関わるすべての人は、明るく、落ち着いて、落ち着いていなければなりません。急いだり、興奮したり、混乱したりすることは避けなければなりません。ドアは慎重に開け閉めし、家族全員を静かにしておく必要があります。発熱の場合、危機が訪れ、熱が下がっているときには特別な注意が必要です。そのときには、絶え間ない監視がしばしば必要です。賢明で思慮深い看護婦から適切なケアを受けていれば生きていたかも

しれない多くの人々が、無知、忘却、無謀さによって死亡しています。

病人を訪問する

病人を何度も見舞うのは、間違った親切心、間違った礼儀の考えによるものです。重病の患者には見舞い客は来るべきではありません。患者は静かで邪魔されない休息を最も必要としているときに、訪問客を迎えることに伴う興奮で疲れ果ててしまいます。

回復期にある人や慢性疾患に苦しむ患者にとって、自分が親切に覚えておいてもらえることは喜びであり、有益であることが多い。しかし、同情のメッセージやちょっとした贈り物で伝えられるこの安心感は、直接訪問するよりも効果的であり、危害を加える危険もない。

施設看護

療養所や病院では、看護師は絶えず多数の病人と接するため、常に快活で明るく、言葉や行動のすべてに思慮深い配慮を示すよう、断固たる努力が必要です。これらの施設では、看護師が賢明かつ適切に職務を遂行するよう努めることが最も重要です。看護師は、日々の職務を遂行する際に主キリストに仕えていることを常に覚えておく必要があります。 [223] 病人には賢明な言葉が必要です。看護師は毎日聖書を学び、苦しんでいる人々を啓発し助ける言葉を話せるようにすべきです。神の天使は、苦しんでいる人々が治療を受けている部屋にいます。治療にあたる人の魂を取り巻く雰囲気は、清らかで芳しいものでなければなりません。

医師と看護師はキリストの教えを大切にすべきです。彼らの生活の中にキリストの美德が見られるべきです。そうすれば、彼らの行いと言葉によって、病人を救い主に引き寄せることができるでしょう。

キリスト教徒の看護婦は、健康回復のための治療を施す際に、患者の心を、肉体だけでなく魂の治癒者であるキリストに心地よく、そしてうまく導くでしょう。少しずつ、あちらこちらに思いを寄せることで、患者は影響を受けるでしょう。年配の看護婦は、病人の注意をキリストに向ける好機を逃してはいけません。彼らは、霊的治癒と肉体的治癒を融合させる用意を常にしておくべきです。

看護師は、最も親切で優しい方法で、治癒を望む者は神の法に背くことをやめなければならぬことを教えなければなりません。罪深い人生を選択することをやめなければなりません。天の法を故意に破り、病気や苦しみを自ら招き続ける者を神は祝福できません。しかし、悪事をやめて善行を学ぶ者には、聖霊を通してキリストが治癒の力として来られます。神への愛を持たない人々は、魂と体の最善の利益に反して常に行動します。しかし、この現在の邪悪な世界で神に従って生きることの重要性に目覚めた人々は、あらゆる悪い習慣から離れる意志を持ちます。感謝と愛が彼らの心を満たします。彼らはキリストが彼らの友人であることを知っています。多くの場合、そのよう

な友人がいるという認識は、病気から回復しようとしている苦しむ人々にとって、与えられる最善の治療よりも大きな意味を持ちます。しかし、両方の奉仕の道は不可欠です。それらは手を取り合って進むべきです。 [225]

第16章 病人のための祈り

聖書には「人は絶えず祈るべきであり、弱り果ててはならない」とあります（ルカ18:1）。祈りの必要を感じる時があるとすれば、それは力が尽き、命そのものが手に負えなくなるように思えるときです。健康な人は、日々、年々受け続けている素晴らしい恵みを忘れ、神の恩恵に対して賛美の捧げ物をしません。しかし、病気になる、神は思い出されます。人間の力が尽きると、神の助けが必要だと感じます。慈悲深い神は、心から神に助けを求める魂から決して背を向けません。神は、健康なときも病んでいるときも私たちの避難所です。

「父がその子供を憐れむように、
主は主を畏れる者を憐れまれる。
主は私たちの成り立ちを知っておられ、
私たちが塵であることを覚えておられる
。」

詩篇 103:13, 14。

「彼らはその背き
と不義のために苦しむ。
彼らの心はあらゆる食物を忌み嫌い、
死の門に近づいている。」

詩篇 107:17, 18、ARV

「そのとき、彼らは苦難の中で主に呼び
求める
。主は彼らを苦難から救い出し、
御言葉を送って彼らを癒し、
滅びから救い出す。」

19、20節、RV [226]

聖霊が詩篇作者を通してこれらの言葉を語ったときと同じように、神は今も病人を健康に回復させようと望んでおられます。そしてキリストは、地上での宣教活動のときと同じように、今も慈悲深い医師です。キリストにはあらゆる病気を癒す香油があり、あらゆる弱さを回復させる力があります。この時代のキリストの弟子たちは、昔の弟子たちが祈ったのと同じように、病人のために祈るべきです。そして回復が続きます。「信仰の祈りは病人を救う」からです。私たちには聖霊の力、神の約束を主張できる信仰の静かな確信があります。「彼らが病人に手を置けば、彼らは回復する」（マルコ16:18）という主の約束は、使徒の時代と同じように今も信頼できます。それは神の

子供たちの特権を示しており、私たちの信仰はそれが包含するすべてをつかむべきです。キリストのしもべはキリストの働きの経路であり、キリストは彼らを通してその治癒力を行使したいと望んでおられます。病人や苦しんでいる人々を信仰の腕の中に神に差し出すのが私たちの仕事です。彼らに偉大なる治癒者を信じるように教えるべきです。

救い主は、病人、絶望した人、苦しんでいる人に、主の力を頼るよう励ますよう、私たちに望んでおられます。信仰と祈りを通して、病室はベテルに変貌するかもしれません。医師や看護婦は言葉と行いで、誤解のないようにはっきりと「神はここにおられる」と言えばよいのです。滅ぼすためではなく、救うためです。

キリストは病室にご自身の存在を現し、
医師や看護婦の心をキリストの愛の優し
さで満たしたいと願っておられます。病
人の世話をする人たちの生活が、キリス
トが患者のベッドサイドまで一緒に行け
るようなものであれば、慈悲深い救い主
がそこにおられるという確信が生まれ、
この確信自体が魂と体の癒しに大いに役
立つでしょう。

そして神は祈りを聞いてくださいます。
キリストは「あなたがたがわたしの名に
よって何事でも願うなら、わたしはそれ
をかなえてあげよう」と言われました。
また「わたしに仕える人なら、わたしの
父はその人を尊んでくださる」とも言わ
れます。ヨハネ14:14; 12:26。もし私た
ちが神の言葉に従って生きるなら、神が

与えてくださったすべての尊い約束[227]は私たちに成就されます。私たちは神の慈悲を受けるに値しませんが、私たちが神に身を捧げるなら、神は私たちを受け入れてくださいます。神は、神に従う人々のために、また神に従う人々を通して働かれるでしょう。

しかし、神の言葉に従って生きることによってのみ、私たちは神の約束が成就すると主張することができます。詩篇作者は「もし私が心に不義を思うなら、主は私に耳を傾けてくださらない」と言っています。詩篇 66:18。もし私たちが神に部分的、中途半端な従順しか示さないなら、神の約束は成就されないでしょう。神の言葉には、病人の回復のための特別な祈りに関する教えがあります。しかし

、そのような祈りを捧げることは最も厳粛な行為であり、慎重に検討せずに行うべきではありません。病人の治癒のための祈りの場合、多くの場合、信仰と呼ばれるものは単なる思い上がりにはなりません。

多くの人は、放縦によって病気を招いています。彼らは自然法則や厳格な清浄の原則に従って生活していません。また、飲食、服装、仕事の習慣において健康の法則を無視している人もいます。心身の衰弱の原因は、しばしば何らかの悪徳です。これらの人々が健康の祝福を得たとしても、彼らの多くは、祈りに応えて神が癒して下さるなら、不健康な習慣を続け、抑制なく異常な食欲を満足させても構わないと考えて、神の自然法則と霊的

法則を軽率に破る同じ道を追求し続けるでしょう。神がこれらの人々を健康に回復させる奇跡を起こすとしたら、神は罪を奨励することになります。

人々に神を病気の治癒者として頼るように教えることは、不健康な習慣をやめるように教えなければ、無駄な努力です。祈りの答えとして神の祝福を受けるためには、悪事をやめて善行を学ばなければなりません。彼らの環境は衛生的でなければならず、生活習慣[228]は正しくなければなりません。彼らは自然と霊の両方において神の法と調和して生活しなければなりません。

罪の告白

健康の回復のために祈りを捧げたい人々にとって、自然の法則であれ霊的な法則

であれ、神の法則に違反することは罪であり、神の祝福を受けるためには罪を告白し、捨て去らなければならないということが明確にされるべきです。

聖書は私たちにこう命じています。「互いに罪を告白し合い、互いのために祈りなさい。そうすれば、癒されるでしょう。」ヤコブ5:16。祈りを求める人には、次のような考えを伝えましょう。「私たちはあなたの心を読むことも、人生の秘密を知ることもできません。それは、あなたと神だけが知っていることです。罪を悔い改めたなら、それを告白するのはあなたの義務です。」個人的な罪は、神と人との間の唯一の仲介者であるキリストに告白する必要があります。「もし人が罪を犯したなら、私たちに父のもと

に弁護者、義なるイエス・キリストがいます。」ヨハネの手紙一2:1。すべての罪は神に対する背きであり[229]、キリストを通して神に告白する必要があります。すべての公然とした罪は、公に告白されるべきです。同胞に対して行われた不正は、怒られた人との和解でなければなりません。健康を求めている人が、悪口を言ったり、家庭や近所や教会で不和をまき散らしたり、疎外や不和を引き起こしたり、あるいは、何らかの悪い行いによって他の人を罪に導いたりしたなら、これらのことを神の前と、傷つけられた人たちの前で告白すべきです。「もし私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、

すべての悪から私たちをきよめてくださいます。」ヨハネの手紙一第1章9節。

不当な扱いが正されたら、神の霊が示すように、静かな信仰をもって病人の必要を主に伝えることができます。神は一人ひとりの名前を知っており、地上に他の誰もいないかのように、一人ひとりを気遣っておられます。神の愛はあまりにも大きく、尽きることがないものですから、病人は神を信頼し、明るくあるように励まされるべきです。自分自身のことと心配することは、弱さと病気の原因になりがちです。彼らが憂鬱と陰鬱から抜け出すなら、回復の見込みはより良くなります。なぜなら、「主の目は彼らの上にある」「そのあわれみを待ち望む者たち」だからです。詩篇 33:18。

病人のために祈るときには、「私たちは、どのように祈ったらよいか分からない」ということを覚えておく必要があります。ローマ 8:26。私たちは、自分が願う祝福が最善のものかどうかは分かりません。ですから、私たちの祈りには、次の思いを含めるべきです。「主よ、あなたは魂の秘密をすべてご存じです。あなたはこれらの人々をよくご存じです。彼らの弁護者であるイエスは、彼らのために命を捧げられました。彼らに対するイエスの愛は、私たちの愛よりも大きいのです。ですから、もしあなたの栄光のため、また苦しんでいる人々の幸せのためであれば、私たちはイエスの名において、彼らが健康に回復するように祈ります。もし、彼らが回復することがあなたの意

志でなければ、私たちは、あなたの恵みが彼らを慰め、あなたの臨在が彼らの苦しみを支えるように祈ります。」

神は初めから終わりを知っておられます。神はすべての人の心を知っています。魂の秘密をすべて読み取られます。祈りを捧げられた人々が生きていれば、彼らに降りかかる試練に耐えられるかどうか、神はご存知です。彼らの人生が彼ら自身と世界にとって祝福となるか呪いとなるか、神はご存知です。これが、私たちが熱心に願いを捧げるときに、「しかし、私の思いではなく、みこころが成るようにしてください」と言うべき理由の1つです。ルカ 22:42。イエスはゲッセマネの園で、「わが父よ、もしできることでしたら、この杯をわたしから過ぎ去ら

せてください」と嘆願されたとき、神の知恵と意志に従うこの言葉を加えられました。マタイ 26:39。そして、それが神の子であるイエスにふさわしい言葉であるなら、有限で過ちを犯す人間の口に、どれほどふさわしい言葉となることでしょう。

一貫した道は、全知全能の天の父に私たちの願いを託し、それから完全な信頼をもってすべてを神に委ねることです。神の意志に従って求めるなら、神は私たちの願いを聞いてくださると私たちは知っています。しかし、従順な心なしに願いを強要するのは正しくありません。私たちの祈りは命令の形ではなく、執り成しの形を取らなければなりません。

神がその神聖な力によって健康回復にはっきりと働きかける場合もあります。しかし、病人全員が癒されるわけではありません。多く的人是イエスにあって眠りにつきます。パトモス島のヨハネは次のように書くように命じられました。「今より後、主にあって死ぬ人々は幸いである。しかり、と御霊は言われる。彼らはその労苦を解かれて休み、そのわざは彼らについて行く。」黙示録 14:13。このことから、人が健康によみがえらなくても、そのために信仰が欠けていると判断されるべきではないことがわかります。わたしたちは皆、祈りに対して即座に直接の答えを望み、 [231] 答えが遅れたり、予期しない形で与えられたりすると、落胆しがちです。しかし、神は非常に賢

く、善良であるため、祈りにいつも望みどおりの時に望みどおりの方法で答えてくださるわけではありません。神は、わたしたちの願いをすべてかなえるよりも、もっと多くのことを、より良くしてくださるでしょう。そして、わたしたちは神の知恵と愛を信頼できるので、自分の意志に屈するように神に求めるのではなく、神の目的に入り、それを成し遂げるよう努めるべきです。わたしたちの望みや関心は、神の意志の中に埋もれるべきなのです。信仰を試すこれらの経験は、わたしたちの利益になります。それによって、わたしたちの信仰が真実で誠実なもので、神の言葉だけに基づいているのか、それとも状況によって不確かが変わりやすいものなのかが明らかになります

。信仰は訓練によって強められます。わたしたちは、主を待ち望む人々のために聖書の中に貴重な約束があることを覚えておき、忍耐を完全に働かせなければなりません。

すべての人がこれらの原則を理解しているわけではありません。主の癒しの慈悲を求める人の多くは、祈りに対して直接的かつ即時の答えが得られなければ信仰が欠けていると考えます。このため、病気で弱っている人は賢明な助言を受け、慎重に行動する必要があります。彼らは、生き延びるかもしれない友人に対する義務を無視したり、健康回復のために自然の力を利用することを怠ったりすべきではありません。

しばしば、ここで誤りを犯す危険があります。祈りの答えとして癒されると信じて、信仰の欠如を示すようなことをするのが恐れる人もいます。しかし、死によって取り去られると予想した場合に望むように、自分の身の回りの整理を怠ってはなりません。また、別れの時に愛する人たちに伝えたい励ましの言葉や助言を口にすることを恐れてはなりません。

祈りによる治癒を求める人々は、自分の手の届く範囲にある治療手段を利用することを怠ってはならない。神が痛みを和らげ、自然の回復を助けるために用意した治療手段を利用することは、信仰を否定するものではない。神と協力し、回復に最も適した状態に身を置くことは、信仰を否定するものではない。神は、私た

ちが生命の法則に関する知識を得る力を与えてくれた。この知識は、私たちが利用できるように用意されている。私たちは健康回復のためにあらゆる手段を活用し、可能な限りの利点を活用し、自然法則と調和して働くべきである。病人の回復を祈った後、私たちは神と協力する特権があることに感謝し、神自身が用意した手段に神の祝福を求めながら、さらに精力的に働くことができる。

治療手段の使用については、神の言葉の承認があります。イスラエルの王ヒゼキヤは病気で、神の預言者が彼に死ぬという知らせを伝えました。彼は主に叫びました。主は彼のしもべに聞き入れ、彼の命を15年延ばすという知らせを彼に伝えました。さて、神の一言でヒゼキヤはす

ぐに癒されたでしょう。しかし、特別な指示が与えられました。「いちじくの塊を取って、腫れ物に塗りつけなさい。そうすれば彼は回復する。」イザヤ書38:21。
。 [233]

あるとき、キリストは盲人の目に粘土を塗り、「シロアムの池に行って洗いなさい。…そこで彼は行って洗い、見えるようになって帰ってきた。」と命じました。ヨハネ 9:7。治癒は偉大な治癒者の力によってのみ可能でしたが、キリストは自然の単純な作用を利用しました。薬物療法は認めませんでした。単純で自然な治療法の使用は認めました。

病人の回復を祈った後、その結末がどうであろうと、神への信仰を失わないようにしよう。もし死別を余儀なくされたら

、父なる神の手がそれを口元に当てていることを思い出しながら、苦い杯を受け入れよう。しかし、健康が回復したとしても、癒しの慈悲を受けた者は創造主に対する新たな義務を負うことを忘れてはならない。十人のらい病人が清められたとき、イエスを探し出して栄光をささげるために戻ったのは一人だけだった。私たちは、神の慈悲に心を動かされなかった無思慮な九人のようであってはならない。「すべての良い賜物、すべての完全な賜物は上から来る。光の父から下って来る。父には、移り変わるものも、移り変わる影もない。」ヤコブ1:17。 [234]

第17章 救済策の使用

病気は原因なしに起こることはありません。健康の法則を無視することで、病気は招かれ、道が開かれず。親の違反の結果、多くの人が苦しんでいます。親の行為に責任はありませんが、健康の法則に違反しているかどうかを見極めるのは親の義務です。親の間違った習慣を避け、正しい生活を送ることで、より良い状態に身を置くべきです。

しかし、大多数の人々は、自らの誤った行動方針のために苦しんでいます。彼らは、食べること、飲むこと、着ること、働くことの習慣によって、健康の原則を無視しています。彼らが自然の法則に違反すると、確実な結果が生じます。そし

て、病気にかかったとき、多くの人は、その苦しみが本当の原因によるものだとは思わず、その苦しみのために神に不平を言います。しかし、神は、自然の法則を無視した結果生じる苦しみの責任を負っていません。

神は私たちにある程度の生命力を授けました。また、神は私たち、生命のさまざまな機能を維持するのに適した器官を造り、これらの器官が調和して機能するように設計しました。 [235] 生命力を注意深く維持し、体の繊細なメカニズムを秩序正しく保てば、健康が得られます。しかし、生命力が急速に消耗すると、神経系は現在の使用のためにその力の源から力を借りることになり、1つの器官が損傷すると、すべての器官が影響を受けま

す。自然は多くの虐待に抵抗することなく耐えます。すると、自然は目覚め、受けた虐待の影響を取り除くために断固とした努力をします。これらの状態を改善しようとする自然の努力は、しばしば発熱やその他のさまざまな病気として現れます。

合理的な救済策

健康を乱用しすぎて病気になった場合、患者は他の人にはできないことを自分でできることがよくあります。まず最初にすべきことは、病気の本当の性質を突き止め、その原因を取り除くために賢明な行動をとることです。過労、過食、その他の不規則性によってシステムの調和のとれた働きが不均衡になった場合は、有

害な薬を服用して困難を調整しようとし
ないでください。

不摂生はしばしば病気の原因となり、自
然が最も必要としているのは、過度の負
担から解放されることである。多くの病
気の場合、患者が1食か2食断食し、酷使
された消化器官に休息の機会を与えるこ
とが最善の治療法である。数日間果物だ
けを食べると、頭脳労働者に大きな安ら
ぎがもたらされることが多い。短期間、
完全に食事を断ち、その後、シンプルで
適度な食事を摂ると、自然自身の回復力
によって回復することが多い。1、2か月
の節制した食事は、多くの患者に自己否
定の道こそが健康への道であることを納
得させるだろう。 [236]

治療薬としての休息

こうした人にとって、休息、心配事からの解放、質素な食事は健康回復に欠かせません。絶え間ない労働と厳しい監禁生活で頭が疲れて神経質になっている人にとっては、田舎を訪れて、自然と触れ合いながら、シンプルで気楽な生活を送ることが最も助けになります。野原や森を歩き回り、花を摘み、鳥のさえずりを聞くことは、他のどんな方法よりも回復に効果的です。

健康にも病気にも、清らかな水は天から与えられた最高の恵みのひとつです。水を正しく使えば健康が増進します。水は動物や人間の渇きを癒すために神が与えた飲み物です。自由に飲めば、体内の必需品を補給し、病気に抵抗する自然の力になります。水を体外に出すことは、血

液の循環を調節する最も簡単で効果的な方法のひとつです。冷水浴は優れた強壯剤です。温水浴は毛穴を開き、不純物の除去に役立ちます。温水浴と中性浴はどちらも神経を落ち着かせ、血液の循環を均一にします。

しかし、多くの人には、水の適切な使用がもたらす有益な効果を経験によって学んだことがなく、水を恐れています。水療法は、本来あるべきほど評価されておらず、それを巧みに適用するには、多くの人々がやりたがらない作業が必要です。しかし、この問題について無知または無関心であることは、誰にとっても許されることではありません。痛みを和らげ、病気を抑えるために水を利用する方法は数多くあります。誰もが、簡単な家庭療法

で水を使用する方法を習得する必要があります。特に母親は、健康時と病気時の両方で家族をケアする方法を知っておく必要があります。

行動は私たちの存在の法則です。身体のあらゆる器官には定められた仕事があり、その働きによって器官の発達と強さが左右されます。すべての器官の正常な活動は強さと活力を与え、一方、使わないと衰えや死に向かいます。数週間でも片方の腕を縛り、その後縛りを解いてみると、同じ期間に適度に使っていた腕よりも弱くなっているのがわかります。不活動は筋肉系全体に同じ影響を及ぼします。

運動不足は病気の大きな原因です。運動すると血液の循環が速くなり、血液の循

環が均一になりますが、怠惰な状態では血液は自由に循環せず、生命と健康に不可欠な血液の変化が起こりません。皮膚も不活発になります。激しい運動で血液の循環が速くなり、皮膚が健康な状態に保たれ、肺に純粹で新鮮な空気がたっぷりと供給されていた場合のように、不純物が排出されません。このような状態は排泄器官に二重の負担をかけ、その結果病気になるります。

病人は活動しないことを勧めるべきではありません。何らかの方向で深刻な過度の負担がかかった場合、しばらくの間完全に休むことで重病を回避できることがあります。しかし、病弱であると診断された場合、すべての活動を中断する必要はほとんどありません。

精神労働で疲れ果てた人々は、疲れ果てた思考から休むべきです。しかし、精神力を使うことが危険であると信じ込ませてはいけません。多くの人は、自分の状態を実際よりも悪いと考える傾向があります。このような精神状態は回復に不利であり、奨励されるべきではありません。

牧師、教師、学生、その他の頭脳労働者は、身体的な運動では軽減されない過酷な精神的負担の結果として病気に悩まされることが多い。これらの人々に必要なのは、より活動的な生活である。厳格な節度ある習慣と適切な運動を組み合わせることで、精神的および肉体的な活力が確保され、すべての頭脳労働者に忍耐力を与えることができる。

肉体的に疲れ果てた人々に、肉体労働を完全にやめるように勧めるべきではない。しかし、労働は、最も大きな利益を得るためには、計画的かつ快適なものでなければならない。屋外での運動が最良である。運動は、弱った器官を鍛えるように計画されるべきであり、心を込めて行うべきである。手作業が単なる重労働に墮落してはならない。

病人は、時間や注意を費やすものが何もないと、自分のことばかり考えてしまい、病的になり、いらいらしてしまいます。多くの場合、病人は自分の悪い感情にとらわれ、実際よりもずっと悪い状態にあると思い込み、何もできない状態に陥ってしまいます。

これらすべての場合において、適切に指導された身体運動は効果的な治療薬となるだろう。場合によっては、健康回復に不可欠である。意志は手作業で動くものであり、これらの病弱者に必要なのは意志を喚起することである。意志が休眠状態にあると、想像力は異常になり、病気に抵抗することは不可能である。 [240] 活動しないことは、ほとんどの病人に降りかかる最大の災難です。役に立つ仕事に就くことは、心身に負担をかけず、両方に良い影響を与えます。筋肉が強化され、血行が良くなり、病人は忙しいこの世界で自分が全く役に立たないわけではないという満足感を得られます。最初は少ししかできないかもしれませんが、す

ぐに体力が増し、それに応じて仕事量を増やすことができます。

運動は消化器官に健康な調子を与えるので、消化不良の人を助けます。食後すぐに厳しい勉強や激しい運動をすると消化の働きが妨げられますが、食後に頭を高くして肩を後ろに引いて少し歩くと大きな効果があります。

運動の重要性について語られ、書かれていることにもかかわらず、運動を怠る人は依然として多くいます。体内の詰まりにより太り、過剰な食物を排出するのに生命力が消耗し、痩せて虚弱になる人もいます。肝臓は血液中の不純物を浄化する努力に負担がかかり、その結果病気になるります。

座りっぱなしの習慣のある人は、天候が許せば、夏でも冬でも毎日屋外で運動すべきです。歩くことは、乗馬や運転よりも、より多くの筋肉を運動させるので望ましいです。肺を膨らませずに活発に歩くことは不可能なので、肺は健康的な動きを強いられます。

このような運動は多くの場合、薬よりも健康に良いでしょう。医師は患者に海を航海したり、鉱泉に行ったり、気候を変えるためにさまざまな場所を訪れるように勧めることが多いですが、ほとんどの場合、節度のある食事をし、楽しく健康的な運動をすれば、健康を回復し、時間とお金の節約にもなります。 [241]

第18章 心の治癒

心と体の関係は非常に密接です。一方が影響を受けると、もう一方もそれに同調します。心の状態は、多くの人々が認識しているよりもはるかに大きな程度で健康に影響を及ぼします。人々が患う病気の多くは、精神的な鬱状態の結果です。悲しみ、不安、不満、後悔、罪悪感、不信感はすべて、生命力を弱め、衰弱と死を招く傾向があります。

病気は、時には想像によって生み出され、またしばしばひどく悪化します。一生病弱な人の多くは、そう考えさえすれば健康になれるかもしれませぬ。少しでも接触すると病気になると思い込む人が多く、それが予想されるため、悪影響が生

じます。完全に想像上の原因による病気で亡くなる人もたくさんいます。

勇気、希望、信仰、同情、愛は健康を促進し、寿命を延ばします。満足した心、明るい精神は、身体を健康にし、魂を強くします。「喜びの心は薬のように効く。」箴言 17:22。

病人の治療において、精神的な影響の効果を見逃してはならない。この影響は正しく利用すれば、病気と闘うための最も効果的な手段の一つとなる。 [242]

心に対する心のコントロール

しかし、悪に対して最も効果的な手段の一つである精神治療の形があります。このいわゆる科学を通じて、ある精神が別の精神の制御下に置かれ、弱い精神の個性が強い精神の個性と融合します。ある

人が他の人の意志を実行します。こうして、思考の傾向を変えたり、健康をもたらす衝動を与えたり、患者が病気に抵抗し、病気を克服できるようにしたりできると言われています。

この治療法は、その本当の性質と傾向を知らず、病人に利益をもたらす手段だと信じていた人々によって使われてきました。しかし、いわゆる科学は誤った原理に基づいています。それはキリストの性質と精神とは無関係です。それは生命であり救いであるキリストに導くものではありません。心を自分に引き寄せせる者は、心をその強さの真の源から引き離すように導きます。

人間が自分の心と意志を他人の支配に明け渡し、他人の手の中で受動的な道具と

なることは、神の意図ではありません。誰も自分の個性を他人の個性と融合させてはいけません。癒しの源として人間に頼ってはいけません。人間は神に頼らなければなりません。神から与えられた人間としての尊厳において、人間は人間の知性ではなく、神自身によって支配されるべきです。

神は人間を神と直接関係させることを望んでおられます。人間と関わるすべての場面で、神は個人的責任の原則を認識しておられます。神は個人的依存の感覚を奨励し、個人的指導の必要性を印象づけようとされます。神は人間を神と関係させ、人間が神の似姿に変えられることを望んでおられます。サタンはこの目的を妨害しようとします。サタンは人間への

依存を奨励しようとしします。人々の心が神から離れると、誘惑者は彼らを自分の支配下に置くことができます。サタンは人類を支配することができます。

心が心をコントロールするという理論は、サタンが自らを主たる働き手として紹介し、神の哲学があるべきところに人間の哲学を置くために考案されました。キリスト教徒と自称する人々の間で受け入れられているすべての誤りの中で、これより危険な欺瞞、そして神から人間を引き離す確実なものは他にありません。一見無害に見えますが、患者に適用される場合は、回復ではなく破滅につながります。これは扉を開き、サタンが侵入して、他人にコントロールされる心とコントロールする心の両方を掌握します。

邪悪な心を持つ男女にこのように与えられた力は恐ろしいものです。他人の弱点や愚かさを利用して生きる人々には、なんと大きなチャンスが与えられることでしょう。弱々しい心や病んだ心をコントロールすることで、どれほど多くの人が好色な情熱や貪欲な利益を満足させる手段を見つけるのでしょう。

人間による人間支配よりも、私たちが従事すべきもっとよいことがあります。医師は、人間から神へと目を向けるよう人々を教育すべきです。病人に魂と身体の治療を人間に頼るよう教える代わりに、彼は、神のもとに来るすべての人を完全に救うことができるお方に彼らを導くべきです。人間の心を造られたお方は、心に何が必要かを知っておられます。神だ

けが治癒できるお方です。心と身体が病んでいる人々は、キリストに回復者を見出すべきです。「私が生きているので、あなたがたも生きる」と主は言われます。ヨハネ14:19。これが、私たちが病人に示すべき命です。もし彼らが回復者としてのキリストを信じ、健康の法則に従い、主を畏れて聖性を完成しようと努めるなら、キリストは彼らに命を与えてくださると告げます。このようにしてキリストを彼らに示せば、私たちは力、強さを与えていることになります。それは価値あるものです。なぜなら、それは上から来るからです。これは身体と魂を癒す真の科学です。

同情

精神によって引き起こされる病気に対処するには、偉大な知恵が必要です。傷ついた、病んだ心、意気消沈した心には、穏やかな治療が必要です。多くの場合、生活上の問題は、口内炎のように、魂そのものを蝕み、生命力を弱めます。そして、時には、罪に対する後悔が体質を蝕み、精神のバランスを崩すこともあります。この種の病人は、優しい同情を通して恩恵を受けることができます。医師は、まず彼らの信頼を得てから、彼らを偉大なる治療者に導くべきです。彼らの信仰が真の医師に向けられ、彼らが真の医師が彼らのケースを引き受けたと確信できれば、これは精神に安らぎをもたらし、多くの場合、身体に健康をもたらします。

思いやりと気配りは、冷たく無関心な方法で施される最も優れた治療よりも、病人にとって大きな利益となることがしばしばある。医者が無気力で無頓着な態度で病床にやって来て、患者をほとんど気にかけず、言葉や行動で、この病気はそれほど注意を払う必要のないものであるという印象を与え、患者を放っておいて自分の考えに任せると、その医者はその患者に確実に害を与えている。医者の無関心によって生じる疑念と落胆は、医者が処方するかもしれない治療のよい効果を打ち消すことが多い。 [245]

もし医師が、苦しみにによって心がへりくだり意志が弱まり、同情と励ましの言葉を切望している人の立場に立つことができれば、その人の気持ちをよりよく理解

できるようになるでしょう。キリストが病人に対して示した愛と同情が医師の知識と結びつくと、医師の存在そのものが祝福となるでしょう。

患者に率直に接することは患者に自信を与え、回復の重要な助けとなる。患者が患っている病気の性質と原因を患者に隠すことが賢明な方針であると考ええる医師もいる。真実を述べることで患者を興奮させたり落胆させたりすることを恐れる医師の多くは、回復の誤った希望を抱き、危険を警告せずに患者が墓場に落ちるのを許すことさえある。これらはすべて賢明ではない。患者に危険の全容を説明することが常に安全または最善であるわけではない。患者を驚かせ、回復を遅らせたり、回復を妨げることも

しれない。また、病気の大部分が想像上のものである人々には、常に真実をすべて伝えることはできない。これらの人々の多くは理不尽で、自制心を発揮することに慣れていない。彼らは奇妙な空想を持ち、自分自身や他人に関して多くの誤ったことを想像する。彼らにとってこれらは現実であり、彼らの世話をする人は絶え間ない親切とたゆまぬ忍耐と機転を示す必要がある。もしこれらの患者に彼ら自身に関する真実を告げたら、ある者は気分を害し、他の者は落胆するでしょう。キリストは弟子たちに言いました。

「私にはあなたがたに言うべきことがまだたくさんあるが、あなたがたは今はそれに堪えられない。」ヨハネ16:12。しかし、すべての場合に真実を語ることは必

ずしもできないかもしれませんが、欺くことは決して必要でも正当化されることでもありません。医者や看護婦は決してごまかしに屈してはいけません。ごまかしをする者は、神が協力できない場所に身を置くことになり、患者の信頼を失うことで、回復のための最も効果的な人間の助けの一つを放棄しているのです。 [246]

意志の力は、本来あるべきほど評価されていません。意志を覚醒させ、正しく方向づけておけば、それは全身にエネルギーを与え、健康維持の素晴らしい助けとなります。意志は病気に対処する力でもあります。正しい方向に働かせれば、想像力を制御し、心身の病気に抵抗し、克服する強力な手段となります。意志の力

を働かせて人生と正しい関係を築くことで、患者は医師の回復への努力に大いに協力することができます。望めば健康を取り戻せる人は何千人もいます。神は彼らが病気になることを望んでおられません。神は彼らが健康で幸せになることを望んでおられ、彼らは健康になる決心をすべきです。病人は病気に屈せず、活動しない状態に落ち着くことを拒むだけで、病気に抵抗できることがよくあります。痛みや苦痛を乗り越えて、体力に合った有用な仕事に従事しましょう。そのような仕事と空気と日光の自由な利用によって、衰弱した病人は多くが健康と体力を回復するかもしれませぬ。

聖書の治癒の原則

健康を取り戻したい、あるいは健康を維持したい人にとって、聖書の言葉には教訓があります。「酒に酔ってははいけません。そこには放縦があります。むしろ御霊に満たされなさい。」エペソ5:18。不自然で不健康な刺激物によって生じる興奮や忘却を通してではなく、低次の欲望や情熱に耽溺することによってでもなく、身体や魂の真の癒しやリフレッシュは見出されます。病人の中には、神も希望もない人がたくさんいます。彼らは満たされない欲望、乱れた情熱、そして自分自身の良心の呵責に苦しみ、この世での自分の力を失いつつあり、来世の見込みはありません。病人の世話をする人は、軽薄で刺激的な耽溺を与えることで、これらの患者に利益をもたらそうと期待し

てはなりません。 [247]これらは彼らの人生の呪いでした。飢え渴いた魂は、この世で満足を見つけようとする限り、飢え渴き続けるでしょう。利己的な快樂の泉から水を飲む者は騙されている。彼らは陽気さを強さと勘違いしており、興奮が止むとインスピレーションもなくなり、不満と落胆に陥る。

永続する平和、真の心の安息には、ただ一つの源があります。キリストは「すべて、疲れた人、重荷を負う人は、わたしのもとに来なさい。あなたがたを休ませてあげます」とおっしゃったとき、このことを話されました。マタイ 11:28。「わたしは平和をあなたがたに残します。わたしの平和をあなたがたに与えます。わたしが与えるのは、世が与えるような

ものとは異なります」ヨハネ 14:27。この平和は、キリストがご自身とは別に与えるものではありません。それはキリストの中にあり、私たちはキリストを受け入れることによってのみそれを受け取ることができます。

キリストは生命の源です。多くの人が必要としているのは、キリストについてより明確な知識を持つことです。彼らは、忍耐強く、親切に、しかし真剣に、どのようにすれば全存在が天の治癒力に開かれるかを教えられる必要があります。神の愛の陽光が魂の暗い部屋を照らすと、落ち着かない疲労感や不満はなくなり、満足のいく喜びが心に活力を与え、体に健康とエネルギーを与えます。

私たちは苦しみの世界にいます。天国への道の途中では、困難、試練、悲しみが私たちを待ち受けています。しかし、絶えず困難を予想することで、人生の重荷を倍増させる人がたくさんいます。逆境や失望に遭遇すると、すべてが台無しになる、自分は誰よりもつらい運命にある、自分はきっと困窮するだろうと考えます。こうして彼らは自らに惨めさをもたらし、周囲に影を落とします。人生そのものが彼らにとって重荷になります。しかし、そうである必要はありません。彼らの思考の流れを変えるには、断固たる努力が必要です。しかし、変化は可能です。彼らの幸福は、この人生と来世の両方において、明るい事柄に心を向けることにかかっています。彼らは、空想の暗

い絵から目を離し、神が彼らの道に撒き散らした恩恵に目を向け、さらにその向こうにある目に見えない永遠のものに目を向けましょう。

神はあらゆる試練に対して助けを与えてこられました。イスラエルが砂漠でマラの苦い水に来たとき、モーセは主に叫び求めました。主は何か新しい治療法を与えたのではなく、手近にある方法に注意を向けさせました。水を純粹で甘いものにするために、主が創造した灌木を泉に投げ入れることになりました。これが行われると、人々はその水を飲んで元気を取り戻しました。あらゆる試練において、主を求めるなら、キリストは助けを与えてくださいます。私たちの目は開かれ、主の御言葉に記された癒しの約束を見

分けることができるようになります。聖霊は、悲しみの解毒剤となるあらゆる祝福を適切に活用する方法を教えてください。口に運ばれる苦い飲み物ごとに、癒しの枝が見つかるでしょう。

困難な問題や不満足な見通しを伴う将来に心を弱らせたり、ひざを震わせたり、手を垂れさせたりしてはなりません。全能の神はこう言われます。「彼はわたしの力を捕らえ、わたしと和解する。そうすれば、彼はわたしと和解する。」イザヤ書 27:5。神の導きと奉仕に自分の人生を委ねる人は、神が備えておられない地位に置かれることはありません。どのような状況にあっても、神の言葉を行う者であれば、道を導く導き手がいます。どのような困惑にあっても、確かな助言者

がいます。どのような悲しみ、死別、孤独にあっても、共感してくれる友がいます。

無知ゆえに誤った行動をしても、救い主は私たちを見捨てません。孤独を感じる必要はありません。天使が私たちの仲間です。キリストが御名において遣わすと約束された慰め主が私たちと共におられます。神の都に至る道において、主に信頼する者が克服できない困難はありません。逃れられない危険はありません。主が救済策を備えてくださらない悲しみ、不満、人間の弱さはありません。

誰も落胆や絶望に身を任せる必要はありません。サタンは残酷な提案を持ってやって来て、「あなたは救いようがない。救いようがない」と言うかもしれませ

。しかし、キリストにはあなたに希望があります。神は私たちに自分の力で打ち勝つように命じてはおられません。神の側に近づくようにと私たちに求めます。私たちがどんな困難に苦しみ、魂と体を圧迫しても、神は私たちを解放するために待っておられます。

人間性を身に受けた彼は、人類の苦しみに共感する方法を知っています。キリストはすべての魂とその魂の特別な必要性や試練を知っているだけでなく、心をいらだたせ困惑させるすべての状況も知っています。彼は、苦しむすべての子供に同情の手を差し伸べます。最も苦しんでいる人々に、彼は最も多くの同情と哀れみを持っています。彼は私たちの弱さを感じ、私たちが困惑と悩みを彼の足元に

置いてそこに置いてくれることを望んでいます。

自分自身に目を向け、自分の感情を研究するのは賢明ではありません。もしそうするなら、敵は信仰を弱め、勇気を破壊する困難や誘惑をもたらすでしょう。自分の感情を注意深く研究し、自分の感情に屈することは、疑いを抱き、当惑に陥ることです。私たちは自分から目を離してイエスに目を向けるべきです。 [250] 誘惑に襲われたとき、心配や困惑、暗闇があなたの魂を包んでいるように思えるとき、最後に光を見た場所を見つめてください。キリストの愛と彼の保護のもとで安らぎましょう。罪が心の中で支配しようとして奮闘しているとき、罪悪感が魂を圧迫し良心に重荷を負わせているとき、

不信仰が心を曇らせているとき、キリストの恵みは罪を鎮め暗闇を消し去るのに十分であることを思い出してください。救い主との交わりに入ることで、私たちは平和の領域に入ります。

癒しの約束

「主はそのしもべたちの魂を贖われる。主に信頼する者は一人も滅びることはない。」

詩篇 34:22。

「主を畏れることは強い確信であり、その子らには避難所がある。」

箴言 14:26。

「シオンは言った。『エホバはわたしを見捨て、主はわたしを忘れた。女が自分の乳飲み子を忘れ、自分の

胎内

の子を憐れまないことがあるか。
確かに、これらの者は忘れるかもしれな
いが、わたしはあなたを忘れない。
見よ、わたしはあなたをわたしの手のひ
らに刻み込んだ。」

イザヤ書49:14-16、ARV [251]

「恐れるな、わたしはあなたと共にいる
。
落胆するな、わたしはあなたの神である
。
わたしはあなたを強くし、あなたを助け
、
わたしの正義の右の手であなたを支える
。」

イザヤ 41:10。

「あなたがたは生まれたときからわたしに抱かれ、
あなたがたが息をひきとったときからわたしに抱かれ、
あなたがたが老いてもわたしは同じである。
あなたがたの髪が白くなるまでもわたしはあなたがたを抱く。わたしはそれを成し遂げたし、これからもあなたがたを抱く。
わたしはあなたがたを抱き、そして救う。」

イザヤ 46:3, 4、ノイズ訳。

感謝と賛美の精神ほど、体と心の健康を促進するものではありません。憂鬱で不満な考えや感情に抵抗することは、祈ることと同じくらい積極的な義務です。私た

ちが天国に行くのであれば、どうして嘆き悲しむ一団として、父の家までの道中ずっとうめき声や不平を言いながら行くことができるでしょうか。

絶えず不平を言い、陽気さと幸福を罪だと考えているような自称クリスチャンは、真の信仰を持っていません。自然界の憂鬱なものすべてに悲しげな喜びを感じる人、美しい生花を摘むよりも枯れ葉を眺めることを選ぶ人、雄大な山々の高さや生い茂る緑に覆われた谷に美しさを見出さない人、自然の中で語りかけてくる、耳に心地よく音楽のように響く喜びの声に感覚を閉ざす人、こうした人はキリストの中にいません。彼らは、正義の太陽が光となって癒しをともなって心に昇

る輝きさえも得られるはずなのに、暗がり
と暗闇を身に集めているのです。

痛みのために心が曇ってしまうことがよく
あるかもしれません。そんなときは考
えないでください。イエス様があなたを
愛しておられることをあなたは知ってい
ます。イエス様はあなたの弱さを理解し
ておられます。ただイエス様の腕の中で
休むだけで、イエス様の御心を行うこと
ができます。

自然の法則として、私たちの考えや感情
は、言葉にすることで励まされ、強めら
れます。 [252]言葉は考えを表現しま
すが、考えは言葉に従うのも事実です。私
たちが信仰をもっと表現し、私たちが持
っていると知っている祝福、つまり神の
大いなる慈悲と愛をもっと喜ぶなら、私

私たちはもっと信仰を[253]、もっと大きな喜びを持つはずです。神の慈悲と愛に感謝することから生じる祝福は、どんな言葉でも表現できず、どんな有限の心でも思い描くことはできません。地上にいても、私たちは神の玉座から流れ出る流れによって養われているので、決して尽きることのない泉のような喜びを持つことができます。

それでは、神の比類なき愛を讃えるために、心と唇を教育しましょう。希望を持ち、カルバリの十字架から輝く光の中に留まるように魂を教育しましょう。私たちは天の王の子供であり、万軍の主の息子、娘であることを決して忘れてはなりません。神に安らぎを保つことは私たちの特権です。

「神の平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。…感謝しなさい。」コロサイ 3:15。自分の困難や悩みを忘れて、神の御名の栄光のために生きる機会を与えてくださった神を賛美しましょう。毎日、新鮮な祝福が、神の愛ある配慮のしるしに対する賛美を心の中に呼び覚まします。朝目を開けたら、神が一晩中あなたを守ってくれたことに感謝しましょう。あなたの心に神の平和を与えてくださったことに感謝しましょう。朝、昼、夜、感謝の気持ちが甘い香りのように天に昇りますように。

誰かがあなたの気分を尋ねたとき、同情を得るために何か悲しいことを話そうとしないでください。信仰の欠如や悲しみや苦しみについて話さないでください。

誘惑者はそのような言葉を聞くのを喜びます。暗い話題について話すとき、あなたは彼を賛美しています。私たちは、私たちが征服するサタンの偉大な力について考え続けるべきではありません。私たちはしばしば、彼の力について話すことで自分自身を彼の手に乗せています。代わりに、私たちのすべての利益を神自身の利益と結び付ける神の偉大な力について話しましょう。キリストの比類のない力について語り、彼の栄光について語りましょう。天国全体が私たちの救いに関心を持っています。神の天使は、何千、何万倍も、救いの相続人となる人々に仕えるよう任命されています。彼らは私たちを悪から守り、私たちが破滅させようとしている闇の力を押し戻します。私た

ちは、道に明らかな困難があるときでさえ、常に感謝する理由を持っていませんか？

賛美を歌う

賛美と感謝を歌で表現しましょう。誘惑に遭ったとき、自分の感情を言葉にするのではなく、信仰によって神に感謝の歌を捧げましょう。

神よ、私たちはあなたを讃えます。あなたの愛する子のために、死んで今は天国にいるイエスのために。

神よ、あなたの光の霊を讃えます。あなたの霊は私たちに救い主を示し、私たちの夜を吹き飛ばしてくださいました。

、私たちのすべての罪を負い、すべての汚れを清めてくださった、屠られた子羊に捧げられます。

私たちを買い取り、探し出し、私たちの道を導いてくださった、すべての恵みの神に、すべての栄光と賛美を。

私たちを再び蘇らせてください。あなたの愛で私たち一人一人の心を満たしてください。

天からの火で私たち一人一人の魂が再び燃え上がりますように。

コーラス：ハレルヤ！ あなたの栄光よ、ハレルヤ！
アーメン；ハレルヤ！ あなたの栄光よ、私たちを再び生き返らせてください。

歌は、私たちが落胆に対していつでも使える武器です。このようにして、救い主の御前にある光に心を開くとき、私たちは健康と主の祝福を得るでしょう。 [255]

「主に感謝せよ。主は慈しみ深い。
その慈しみはとこしえに続く。
主に贖われた者たちはこう言え。
主が敵の手から贖われた者たち。」

「主に歌い、主に賛美歌を歌い、
主の不思議な業を語り、
主の聖なる御名を讃え、
主を求める者の心を喜ばせよ。」

「主は渴望する魂を満たし、
飢えた魂を善で満たす。
暗闇と死の陰に座り、
苦しみと鉄で縛られている者たち。…

彼らは苦難の中で主に叫び、
主は彼らを苦難から救い出された。
主は彼らを暗闇と死の陰から連れ出し、
彼らの鎖を断ち切った。
ああ、人々が主の善良さと、
人々の子らに対する主の素晴らしい業の
ために主を賛美すればいいのに！」

「わが魂よ、なぜ落ち込んでいるのか。
なぜ心の中で不安になっているのか。
神に望みを置きなさい。
私はなおも神をほめたたえるだろう。
神は私の顔の健康
と私の神である。」

詩篇 107:1, 2; 105:2, 3; 詩篇 107:9-1
5; 42:11。

「すべての事について感謝しなさい。こ
れが、キリスト・イエスにおいて神があ

なたがたに望んでおられることです。」
1テサロニケ5:18。この戒めは、一見私たちに不利に働くものでさえ、私たちにとって益となるという保証です。神は、私たちに害を及ぼすものに対して感謝するよう命じたりはしません。

「主はわたしの光、わたしの救い。

わたしはだれを恐れようか。

主はわたしの命の力。

わたしはだれを恐れようか。」

「苦難の日には、主はわたしをその天幕の中にひそかに守ってください、

その幕屋の陰にわたしを隠してください

、…

わたしは主の幕屋で喜びのいけにえをささげ、

主に歌い、まことに賛美を歌います。」

[256]

「私は忍耐強く主を待ち望んだ。
主は私に寄りかかり、私の叫びを聞かれ
た。主は私を恐ろしい穴、
泥沼
から引き上げ、
私の足を岩の上に置き、私の歩みを安定
させた。そして私の口に新しい歌、われ
ら
の神への
賛美を授けられた。」

「主は私の力、私の盾です。
私の心は主に信頼し、私は助けられました。
それゆえ、
私の心は大いに喜び、
私は歌をもって主を賛美します。」

詩篇 27:1; 27:5, 6、RV; 40:1-3; 28:7

。病人の回復を妨げる最も確実な原因の一つは、自分自身に注意を集中することです。多くの病人は、誰もが同情し、助けてあげるべきだと感じていますが、彼らに必要なのは、自分自身から注意をそらし、他の人のことを考え、気遣うことなのです。

苦しんでいる人、悲しんでいる人、落胆している人のために祈りが求められることがよくありますが、これは正しいことです。私たちは神が暗い心に光を当て、悲しんでいる心を慰めてくださるよう祈るべきです。しかし、神は、神の祝福の流れの中に身を置く人々の祈りに応えてくださいます。私たちはこれらの悲し

んでいる人々のために祈りを捧げると同時に、彼らが自分よりも困っている人々を助けようと努力するよう励ますべきです。彼らが他の人を助けようと努力するとき、彼らの心から暗闇が消えるでしょう。私たちが慰められた慰めで他の人を慰めようと努めるとき、祝福は私たちに戻ってきます。

イザヤ書第 58 章は、肉体と魂の病に対する処方箋です。健康と人生の真の喜びを望むなら、この聖句に記されている規則を実践しなければなりません。主は、主に受け入れられる奉仕とその祝福について次のように語っています。

*追い出された貧しい者を家に連れて来る
ことで
はないか。*

裸の者を見たら、それを着せ、
自分の肉体から身を隠さないことではな
いか。」 [257]

そのとき、あなたの光は暁のように輝き
出し、

あなたの健康はすみやかに芽生え、
あなたの正義はあなたの前に進み、
主の栄光はあなたの背後にある。

そのとき、あなたが呼べば、主は答え、
あなたが叫べば、「わたしはここにいる
」と言われる。あなたが、くびきと、
指を出すことと、むなしい言葉を
あなたの中から取り除き

、あなたの魂を飢えた者に引き寄せ、
苦しむ魂を満たせば、

そのとき、あなたの光は暗闇の中に輝き
出し、

あなたの暗黒は真昼のようになる。
主は常にあなたを導き、
干ばつの際にあなたの魂を満たし
、あなたの骨を太らせる。
あなたは潤された園のようになり、
水の絶えることのない泉のようになる
。」

イザヤ書58:7-11。

善行は、与える側と受ける側の両方に恩恵をもたらし、二重の祝福となります。正しい行いをするという意識は、病んだ体と心に最もよい薬の一つです。義務を果たしたという感覚と、他人に幸せを与えるという満足感から心が解放され、幸せになると、元気づけられ、高揚する影響が、存在全体に新たな生命をもたらします。

病人は、常に同情を求めるのではなく、同情を与えるよう努めなさい。あなた自身の弱さ、悲しみ、痛みの重荷を、慈悲深い救い主にゆだねなさい。主の愛に心を開き、それを他の人々に注ぎ出しましょう。すべての人が耐え難い試練や、抵抗し難い誘惑に遭うことを覚えておき、これらの重荷を軽くするために何かできるかもしれません。あなたが受けている祝福に感謝し、受けている配慮に感謝を示しましょう。心を神の貴重な約束で満たし、その宝から他の人々にとって慰めと力となる言葉を引き出せるようにしてください。そうすれば、助けになり、元気づけられる雰囲気があなただを取り囲むでしょう。あなたの周りの人々を祝福することを目標にしてください。そうすれ

ば、あなた自身の家族と他の人々の両方に役立つ方法を見つけるでしょう。

病気に苦しんでいる人々が、他人への関心のために自分を忘れるなら、そして自分よりも困っている人々に仕えるようにという主の命令を実行するなら、彼らは「そのとき、あなたの光は暁のように輝き出し、あなたの健康はすみやかに回復する」という預言の約束の真実性を実感するでしょう。

マラとエリム

今日はエリム、ヤシの木と井戸、
砂漠の疲れを癒す心地よい日陰。

昨日はマラ、岩と砂ばかり、
日陰のない孤独と陰鬱。

しかし、どちらも同じ砂漠に覆われ、同じ

熱いそよ風が寂しい大地を吹き抜ける。
どちらも同じ低い谷間が守ってくれ、
同じ山々が周囲を取り囲んでいる。
地球上の我々もそうであり、
これまでもそうであったと私は覚えています。

苦さと甘さ、悲しみと喜びは、
一日の隔たりを除けば、隣り合って横た
わっています。

神は時に苦いものを甘く変え、
時に心地よい泉を与え、
時に柱のような雲で日陰を作り、
時に祝福されたヤシの木に陰をもたらし
ます。 [259]

それがどうしたというのでしょうか。時間
は長くありません。

マラもエリムも同じように通り過ぎます

。

砂漠の井戸やヤシの木もすぐに終わり、
ついに「神の都」に着きます。

ああ、幸福な土地！孤独な丘の向こうに

、

永遠の泉が喜びにあふれています。

ああ、聖なる楽園！この天空の上に、
砂漠の放浪を終える場所があります。

—ホラティウス・ボナー。

祝福された確信

祝福された確信、イエスは私のものです

！

ああ、何という神の栄光の予感でしょう

！

救いの相続人、神の買い取り人、

神の霊によって生まれ、神の血によって
洗われた者。

コーラス：

これは私の物語、これは私の歌、
一日中私の救い主を賛美する。

これは私の物語、これは私の歌、
一日中私の救い主を賛美する。

完全な服従、完全な歓喜、
歓喜の光景が今私の視界に現れます。

天使が降りてきて、
慈悲の響きと愛のささやきを天から届け
ます。

完全な服従、すべては安らぎ、
私は救い主の中で幸せで祝福されていま
す。

見守り、待ち、上を見上げ、
彼の善良さに満たされ、彼の愛に夢中にな
っています。

-ファニー・J・クロスビー [260] [261]

第19章 自然との触れ合い

創造主は、私たちの最初の両親のために、彼らの健康と幸福に最も適した環境を選びました。彼らを宮殿に住ませたり、今日多くの人が手に入れるのに苦勞している人工的な装飾品や贅沢品で困ませたりはしませんでした。彼らを自然と密接に触れ合い、天の聖なる者たちと密接に交わる場所に置きました。

神が子供たちの住まいとして用意した庭園では、至る所で優美な低木や繊細な花が目飛び込んできます。あらゆる種類の木々があり、その多くは香りのよいおいしい果実を実らせています。枝の上で鳥たちが賛美の歌を歌っています。鳥た

ちの影の下では、地球上の生き物たちが恐れることなく一緒に遊んでいます。アダムとエバは、汚れのない純潔さで、エデンの光景や音を楽しんでいました。神は二人に園での仕事を命じ、「園を耕し、守る」ように命じました。創世記 2:15。毎日の労働は二人に健康と喜びをもたらし、幸せな二人は、涼しい日中に創造主が二人と歩き、語り合うのを喜んで迎えました。神は毎日二人に教えを授けました。

神が私たちの最初の両親のために定められた人生の計画は、私たちにも教訓を与えてくれます。罪が地球に影を落としています。神はその子供たちが神の御手の業に喜びを見出すことを望んでおられます。神の人生の計画に忠実に従うほど

、神は苦しむ人類を回復するためにさらに素晴らしい働きをなさるでしょう。病人は自然と密接に触れ合う必要があります。自然に囲まれた屋外生活は、多くの無力でほとんど希望のない病人にとって奇跡的な効果をもたらすでしょう。

都市の喧騒や興奮や混乱、そしてその制約された人工的な生活は、病人にとっては最も退屈で消耗させるものである。煙や埃、有毒ガス、病原菌が充満した空気は生命を脅かすものである。病人は、ほとんどの場合、四方の壁の中に閉じ込められ、まるで自分の部屋に閉じ込められた囚人のように感じるようになる。彼らは、青空や太陽の光、草や花や木々を一瞥することさえないかもしれないが、家や歩道、慌ただしい群衆を眺める。この

ように閉じ込められた病人は、自分の苦しみや悲しみについて思い悩み、自分自身の悲しい考えの餌食になる。

そして、道徳心が弱い人にとって、都市は危険に満ちています。都市では、克服すべき不自然な欲望を持つ患者が絶えず誘惑にさらされています。彼らは、思考の流れが変わるような新しい環境の中に置かれる必要があります。彼らは、人生を破壊してきた影響とはまったく異なる影響の下に置かれる必要があります。彼らを神から遠ざける影響から、より純粹な雰囲気の中へとしばらく連れて行きましょう。

病人をケアする施設は、都市から離れた場所に設立できれば、はるかに効果的でしょう。そして、健康回復を目指す人は

、可能な限り、屋外生活の恩恵を受けられる田舎の環境に身を置くべきです。自然は神の医者です。 [264] 清らかな空気、明るい日差し、花や木々、果樹園やブドウ園、そしてこれらの環境の中での屋外運動は、健康を、生命を育みます。

医師や看護師は患者に屋外で過ごすよう勧めるべきです。屋外での生活は多くの病人が必要とする唯一の治療法です。屋外での生活には、身体、精神、魂の力を弱め破壊する流行の生活の興奮と過剰によって引き起こされる病気を治す素晴らしい力があります。

都会の生活、多くの光のまぶしさ、通りの喧騒に疲れた病人にとって、田舎の静けさと自由はなんとありがたいことでしょうか。彼らはどれほど熱心に自然の景

色に目を向けることでしょう。戸外に座り、太陽の光を楽しみ、木や花の香りを吸い込めたらどんなに嬉しいことでしょう。松の香油、杉やモミの香りには生命力があり、他の木にも健康を回復させる性質があります。

慢性病患者にとって、魅力的な田舎の環境の中で暮らすことほど健康と幸福を取り戻すのに効果的なものはありません。ここでは、どんなに無力な人でも、日光の下や木陰に座ったり横になったりすることができます。目を上げるだけで、頭上に美しい葉が見えます。そよ風のささやきに耳を傾けると、心地よい安らぎと爽快感が襲ってきます。落ち込んでいた精神は回復し、衰えていた体力が回復します。無意識のうちに心は穏やかになり

、熱っぽい脈はより穏やかで規則的になります。病人が回復するにつれて、彼らはあえて数歩踏み出して、地上で苦しむ神の家族への神の愛の貴重な使者となる美しい花を摘みに行きます。

患者を屋外に連れ出さないための計画を考案すべきである。働くことができる人には、楽しくて楽な仕事を用意する。屋外での仕事がいかに快適で役に立つかを示す。新鮮な空気を吸うように勧める。深呼吸をするように教え、呼吸と[265]話すときに腹筋を鍛えるように教える。これは患者にとって非常に貴重な教育となる。

屋外での運動は、生命維持に必要なものとして処方されるべきです。そして、そのような運動には、土を耕すことに勝る

ものはありません。患者に花壇の手入れをさせたり、果樹園や菜園で仕事をさせたりしましょう。患者が部屋から出て屋外で時間を過ごし、花を育てたり、その他の軽くて楽しい仕事をするように勧められると、患者は自分自身や自分の苦しみから注意をそらされるでしょう。

患者を屋外に留めておけるほど、介護は少なくて済みます。患者を取り巻く環境が明るいほど、患者はより助けになります。家の中に閉じこもっていると、たとえばそれがどんなに豪華な家具で飾られていたとしても、患者は不機嫌で陰気になります。患者を自然の美しいもので囲み、花が咲き、鳥のさえずりが聞こえる場所に患者を置けば、患者は鳥のさえずりに合わせて心の中で歌い出すでしょう。

身体と心に安らぎが訪れます。知性が目覚め、想像力が刺激され、神の言葉の美しさを理解できる心構えが整います。

自然の中には、病人の注意を自分自身からそらし、彼らの思いを神に向けさせるものが常に見つかるかもしれません。神の素晴らしい作品に囲まれて、彼らの心は目に見えるものから目に見えないものへと高められます。自然の美しさは、彼らを天国の家に思いを馳せます。そこには美しさを損なうもの、汚したり破壊したりするもの、病気や死を引き起こすものは何もありません。

医師や看護師は、自然の物事から神の教えを学びましょう。患者を、高木や草、花を創造した神に導き、すべての芽や花の中に神の子供たちへの愛の表れを見る

ように励ましましょう。鳥や花を大切に
する神は、神に似せて造られた生き物を
大切にするでしょう。

屋外で、神が造られた物に囲まれ、新鮮
で健康をもたらす空気を呼吸することで
、病人はキリストにおける新しい命につ
いて最もよく知ることができます。ここ
で神の言葉を読むことができます。ここ
でキリストの正義の光が罪によって暗く
なった心に輝くことができます。 [267]

ああ、もし私が日々
神の近くにいることができたなら、
神の言葉に頼りながら、私の時間は甘く
過ぎていくだろう。

主よ、私はあなたとともに
日々新たに生きることを望みます。

世界が与えることも、
奪うこともできない喜びの中で。
祝福されたイエスよ、来て私の心を支配
してください。
そして私を完全にあなたのものにして
ください。
そうすれば私はもう離れることはなく、
あなたの神聖な愛を悲しむこともなくな
ります。

—ベンジャミン・クリーブランド。
肉体的、精神的な癒しを必要とする男女
は、言葉と行為によってキリストに引き
寄せられる人々と接触することになりま
す。彼らは、魂と肉体の両方を癒すこと
ができる偉大な医療宣教師の影響下に置
かれることになります。彼らは、救い主
の愛、罪を告白して主のもとに来るすべ

ての人に自由に与えられる赦しの物語を聞くことになります。

このような影響のもとで、苦しんでいる多くの人々が命の道へと導かれるでしょう。天使たちは人間の手段と協力し、病氣や苦しんでいる人々の心に励ましと希望と喜びと平和をもたらします。このような状況のもとで、病人は二重の祝福を受け、多くの人が健康を取り戻します。弱々しい足取りは弾力を取り戻します。目は輝きを取り戻します。絶望していた人々は希望を持ちます。かつては落胆していた顔は喜びの表情を浮かべます。不平を言うような声は、明るく満足した声に変わります。

肉体の健康が回復すると、男性も女性も、魂の健康を保証するキリストへの信仰

をよりよく実践できるようになります。
罪が赦されたという意識の中には、言い
表せないほどの平安と喜びと安らぎがあ
ります。 [268]クリスチャンの曇った希
望は明るくなります。この言葉は、「神
はわれらの避け所、われらの力、苦難の
ときのいつもそばにいる助け」という信
仰を表現しています。「たといわたしは
死の陰の谷を歩むことがあっても、わざ
わいを恐れません。あなたがわたしとと
もにおられ、あなたのむちと、あなたの
杖がわたしを慰めてくださるからです」

「主は弱った者に力を与え、勢いのない
者に力を増し加えてくださる」詩篇 46:1
; 23:4; イザヤ 40:29。

私の信仰はあなたを仰ぎ見ます、
カルバリの子羊、

神聖なる救世主よ。
今、私の祈りを聞いてください、
私の罪をすべて取り去ってください、
どうか今日から私を
完全にあなたのものにしてください。
あなたの豊かな恵みが
私の弱り果てた心に力を与え、
私の熱意を奮い立たせますように。
あなたが私のために命を捨ててくださったように、
あなたへの私の愛が
純粹で、温かく、そして不変で、
生きた炎となりますように。
人生の暗い迷路を歩き、
悲しみが周囲に広がる時、どうか
私の導き手となってください。
闇を明け方に変えるよう命じ、

悲しみの涙を拭い、私を
あなたから決して遠ざけないでください
。

—レイ・パーマー[269]

健康の原則

[270]

「健康の原則に関する知識がなければ、誰も人生の責任を果たすことができません。」 [271]

第20章 一般的な衛生

人間は神の神殿であり、神の栄光を現すための住まいであるという認識は、我々の肉体的能力の配慮と発達に対する最大の動機となるはずです。創造主は人間の身体に恐ろしくも素晴らしい働きをなさっており、我々にそれを研究し、その必要性を理解し、危害や汚れから守る役割を果たすよう命じておられます。

血液の循環

健康を保つには、良い血液が必要です。血液は生命の流れです。老廃物を修復し、体を養います。適切な栄養成分を摂取し、清浄な空気と接触して浄化され活性化されると、血液は体のあらゆる部分に生命と活力を運びます。血液の循環が完

壁であればあるほど、この働きはより良く達成されます。

心臓が鼓動するたびに、血液は体のあらゆる部分に素早く容易に流れなければなりません。血液の循環は、きつい衣服やベルト、あるいは四肢の不十分な衣服によって妨げられてはいけません。循環を妨げるものは何でも、血液を重要な臓器に押し戻し、 [272] うっ血を引き起こします。その結果、頭痛、咳、動悸、消化不良などが起こることがよくあります。

呼吸

良い血液を得るためには、よく呼吸しなければなりません。肺に酸素を満たす、きれいな空気をたっぷりと深く吸い込むと、血液が浄化されます。血液に明るい色を与え、生命力を与える流れを体の隅

々まで送ります。良い呼吸は神経を落ち着かせ、食欲を刺激し、消化をより完璧にし、ぐっすりと爽やかな眠りを誘います。

肺は可能な限り自由であるべきです。肺の容量は自由な動きによって発達します。肺が窮屈で圧迫されると容量は減少します。そのため、特に座りっぱなしの仕事では、仕事にかがむという習慣がよく見られますが、これが悪影響を及ぼします。[273]この姿勢では、深く呼吸することはできません。浅い呼吸がすぐに習慣になり、肺は拡張する力を失います。同様の影響は、きつく締め付けることでも生じます。胸の下部に十分なスペースが与えられず、呼吸を助けるために設

計された腹筋が十分に機能せず、肺の働きが制限されます。

こうして酸素の供給が不十分になり、血液の動きが鈍くなります。肺から吐き出すべき老廃物や毒物が体内に留まり、血液が汚れます。肺だけでなく、胃、肝臓、脳も影響を受けます。皮膚は黄ばみ、消化が遅れ、心臓は落ち込み、脳は曇り、思考は混乱し、精神は憂鬱になり、全身が落ち込み、活動が鈍くなり、特に病気にかかりやすくなります。 [274]

肺は絶えず不純物を排出しており、新鮮な空気を絶えず供給する必要があります。不純な空気では必要な酸素が供給されず、血液は活性化されないまま脳やその他の臓器に送られます。そのため、徹底した換気が必要です。密閉された換気の

悪い部屋で生活すると、空気が死んで汚染されているため、全身の組織が弱まります。組織は特に寒さの影響に敏感になり、少しでも寒さにさらされると病気になります。多くの女性が顔色を悪くし、衰弱するのは、屋内に閉じ込められているためです。同じ空気を何度も何度も吸い込むと、空気は肺や毛穴から放出された有毒物質で満たされ、不純物が血液に逆流します。

換気と日光

建物を建設する際には、公共の目的であろうと住居であろうと、換気と十分な日光を確保するよう注意する必要があります。教会や学校の教室は、この点でしばしば欠陥があります。適切な換気を怠ると、多くの説教の効果を損ない、教師の

仕事を骨の折れる非効率的なものにする眠気や退屈さの原因となります。

可能な限り、人間の居住を目的とした建物はすべて、高所の排水のよい土地に建てるべきです。こうすることで、乾燥した土地が確保され、湿気や瘴気による病気の危険を防ぐことができます。この問題は、しばしば軽視されすぎています。低地の排水の悪い状況の湿気やマラリアが原因で、継続的な健康障害、深刻な病気、多くの死者が出ています。

家を建てる際には、徹底した換気と十分な日光を確保することが特に重要です。家のどの部屋にも空気の流れと十分な光があるようにしましょう。寝室は昼夜を問わず空気が自由に循環するように配置する必要があります。毎日空気と日光に

開放できない部屋は、寝室として使うのに適していません。ほとんどの国では、寒い天候や雨天時に寝室を完全に暖め、乾燥させられるように、暖房設備を備える必要があります。

ゲストルームは、常時使用する部屋と同様に注意が必要です。他の寝室と同様に、ゲストルームにも風通しと日光が確保され、常時使用していない部屋に常に溜まる湿気を乾燥させる暖房設備が備え付けられている必要があります。日光の当たらない部屋で眠ったり、十分に乾燥および換気されていないベッドを使用したりすると、健康を害し、場合によっては命を落とす危険があります。

建物を建てる際、多くの方は植物や花のために細心の注意を払います。植物専用

の温室や窓は暖かく、日当たりが良いです。暖かさ、空気、日光がなければ、植物は生きられず、繁茂しません。これらの条件が植物の生命に必要なならば、私たち自身や家族、ゲストの健康にとってどれほど必要なことでしょうか。

家庭を健康と幸福の永続的な場所にしたいなら、低地の瘴気と霧から家庭を守り、天の生命を与える存在が自由に入ることができるようにしなければなりません。重いカーテンはやめ、窓とブラインドを開け、どんなに美しい蔓植物でも窓を遮らないようにし、日光を遮るほど木を家の近くに置かないようにしてください。日光はカーテンやカーペットを色あせさせ、額縁を曇らせるかもしれませんが

、子供たちの頬に健康的な輝きをもたらすでしょう。

高齢者を養う人は、高齢者には特に暖かくて快適な部屋が必要であることを覚えておく必要があります。年を重ねるにつれて活力は衰え、不健康な影響に抵抗する活力も低下します。そのため、高齢者には十分な日光と新鮮で清浄な空気が不可欠です。 [276]

徹底した清潔さは、肉体的、精神的健康の両方に不可欠です。不純物は絶えず皮膚を通して体から排出されます。頻繁に入浴して清潔に保たなければ、何百万もの毛穴はすぐに詰まってしまい、皮膚から排出されるべき不純物は他の排泄器官にさらなる負担をかけてしまいます。

ほとんどの人は、毎日、朝か夕方に冷たいまたはぬるめのお風呂に入ることによって恩恵を受けるでしょう。適切に入浴すると、風邪をひきやすくなるどころか、循環が良くなり、血液が表面に出て、よりスムーズで規則的な流れが得られるので、風邪に強くなります。心と体は同じように元気になります。筋肉はより柔軟になり、知性はより明晰になります。入浴は神経を落ち着かせる効果があります。入浴は腸、胃、肝臓に役立ち、それぞれに健康と活力を与え、消化を促進します。衣服を清潔に保つことも重要です。着用した衣服は毛穴から排出される老廃物を吸収します。頻繁に交換したり洗濯したりしないと、不純物が再び吸収されてしまいます。

あらゆる不潔は病気の原因になります。死をもたらす細菌は、暗くて放置された隅、腐敗したゴミ、湿気、カビ、カビ臭の中にたくさんあります。野菜くずや落ち葉の山を家の近くに放置して、腐敗させて空気を汚染させてはいけません。家の中に不潔なものや腐敗したものを置いてはいけません。完全に健康的とみなされている町や都市で、熱病の流行が何度も発生していますが、その原因は不注意な家主の住居周辺の腐敗物にあることがわかっています。

完璧な清潔さ、十分な日光、家庭生活のあらゆる細部にわたる衛生への細心の注意は、病気を予防し、家庭の住人の明るさと活力を保つために不可欠です。 [277]

第21章 イスラエル人の衛生

神がイスラエルに与えた教えでは、健康の維持が細心の注意を払われていました。奴隷制度から解放され、不潔で不健康な習慣を身につけた人々は、カナン之地に入る前に荒野で最も厳しい訓練を受けました。健康の原則が教えられ、衛生法が施行されました。

病気の予防

宗教的な儀式だけでなく、日常生活のあらゆる場面で、清潔と不潔の区別が守られました。伝染病や汚染病にかかった人は全員、野営地から隔離され、身体と衣服の両方を徹底的に清めない限り戻るとは許されませんでした。汚染病にかか

った人の場合、次のような指示が与えられました。

「彼が寝た寝床はすべて汚れている。また、彼が座ったものもすべて汚れている。彼の寝床に触れる者は、衣服を洗い、水に身を浸さなければならない。夕方まで汚れたままである。彼が座ったものに座る者も、衣服を洗い、水に身を浸さなければならない。夕方まで汚れたままである。彼の肉に触れる者も、衣服を洗い、 [278]水に身を浸さなければならない。夕方まで汚れたままである。彼の下にあったものに触れる者も、夕方まで汚れたままである。これらのものを運ぶ者も、衣服を洗い、水に身を浸さなければならない。夕方まで汚れたままである。彼が触れる者で、手を水ですすがない者は

、衣服を洗い、水に身を浸さなければならぬ。夕方まで汚れたままである。」
彼が触れた土の器は砕かれ、木の器はすべて水で洗われなければならない。」レビ記15:4-12。

ハンセン病に関する法律は、これらの規制がどれほど徹底して施行されていたかを示す例でもあります。

「その病変が彼（らい病人）に残っている間は、彼は汚れ、汚れた者となる。彼は独りで住み、宿営の外に住まわなければならない。また、らい病の病変のある衣服は、それが毛糸の衣服であろうと、亜麻の衣服であろうと、縦糸であろうと横糸であろうと、亜麻の衣服であろうと、毛糸であろうと、皮であろうと、皮で作ったものでであろうと、…祭司はその病

変を見なければならぬ。…その衣服に、縦糸であろうと横糸であろうと、皮であろうと、皮で作ったものでであろうと、その病変が広がっているなら、その病変はらい病であり、汚れている。祭司は、その病変のある衣服を、縦糸であろうと横糸であろうと、毛糸であろうと亜麻の衣服であろうと、皮で作ったものでであろうと、その衣服を焼き払わなければならない。それはらい病であるからである。火で焼かなければならぬ。」レビ記13:46-52。

同様に、もし家が居住に適さない状態にある証拠があれば、その家は破壊されました。祭司は「その家とその石材、木材、そして家のすべてのモルタルを壊し、それらを町の外の汚れた場所に運び出さ

なければならない。 [279]また、家が閉ざされている間にその家に入る者は夕方まで汚れている。家の中で寝る者は衣服を洗わなければならない。家の中で食事をする者も衣服を洗わなければならない。」レビ記14:45-47。

清潔さ

個人の清潔さの必要性は、最も印象的な方法で教えられました。神の声による律法の宣言を聞くためにシナイ山に集まる前に、人々は身体と衣服の両方を洗うよう求められました。この指示は死刑を条件に強制されました。神の前ではいかなる不潔も許されませんでした。

荒野での滞在期間中、イスラエル人はほとんど常に屋外にいたため、密室の住居に住む人々よりも不浄なものが害を及ぼ

すことは少なかった。しかし、テント内外ともに清潔さを厳格に守ることが求められた。宿営地内やその周囲にゴミを放置することは許されなかった。主はこう言われた。 [280]

「あなたの神、主は、あなたを救い、あなたの敵をあなたの前に引き渡すために、あなたの陣営の中を歩まれる。それゆえ、あなたの陣営は聖なる場所となる。」申命記 23:14。

ダイエット

食事に関するあらゆる事柄において、清いものと不浄なものとの区別がなされました。

「わたしはあなたの神、主である。わたしはあなたを他の民から区別した。それゆえ、清い獣と汚れた獣、汚れた鳥と清

い鳥を区別しなければならない。獣や鳥、あるいはどんな生き物によっても、あなたの魂を忌まわしいものにしてはならない。…わたしはそれらを汚れたものとしてあなたから区別した。」レビ記 20:24, 25。

周囲の異教徒が自由に食べていた多くの食物は、イスラエル人には禁じられていました。それは恣意的な区別ではありませんでした。禁じられたものは不健康でした。そして、それらが不浄であると宣言されたという事実は、有害な食物の使用は汚れであるという教訓を与えました。体を腐敗させるものは、魂を腐敗させる傾向があります。それは、使用者を神との交わりに不適格にし、高貴で神聖な奉仕に不適格にします。

約束の地では、荒野で始まった規律が、正しい習慣の形成に好ましい環境のもとで継続されました。人々は都市に密集して生活することはなく、各家族が独自の土地を所有し、自然で乱れのない生活をもたらす健康の恵みをすべての人に保証していました。

イスラエルによって土地を追われたカナンの人の残酷で放縦な習慣に関して、主はこう言われました。

「あなたがたは、わたしがあなたがたの前から追い払った国民の習慣に従って歩んではならない。彼らはこれらすべてのことを行っただので、わたしは彼らを忌み嫌ったのだ。」23節。「また、忌まわしいものを自分の家に持ち込んではいならない。そうしないと、あなたもそれと同じ

ように呪われたものとなるからである。
」申命記7:26。

イスラエル人は日常生活のあらゆる場面で、聖霊によって示された教訓を教えられました。

「あなたがたは神の宮であり、神の御霊があなたがたのうちに宿っていることを知らないのか。もしだれかが神の宮を汚すなら、神はその人を滅ぼすであろう。神の宮は聖なるものであり、そしてあなたがたはその宮なのだから。」 1コリント3:16, 17。

喜び

「喜びの心は薬のように効く」箴言 17:22。感謝、喜び、慈悲、神の愛と配慮への信頼は、健康の最大の守りです。イスラ

エル人にとって、これらはまさに人生の基調となるべきものでした。

エルサレムの年中行事のために年に 3 回旅をし、仮庵の祭りの期間中に 1 週間仮小屋に滞在することは、屋外でのレクリエーションと社交の機会でした。これらの祭りは歓喜の機会であり、外国人、レビ人、貧しい人々への温かい歓迎によって、より甘く、より優しいものとなりました。

「あなたの神、主があなたとあなたの家に与えられたすべての良いものを、あなたもレビ人も、またあなたのうちにいる寄留者も喜びなさい。」申命記26:11。

それで、後年、エルサレムでバビロンから帰還した捕虜たちに神の律法が読み上げられ、人々が自分たちの罪のために泣

いたとき、恵み深い言葉が語られました。

「悲しむな。行って、肥えたものを食べ、甘いものを飲み、何も用意されていない人々に分け与えよ。この日は主にとって聖なる日だからだ。悲しむな。主を喜ぶことがあなたたちの力だからだ。」ネヘミヤ8:9, 10. [282]

そして、そのことは彼らのすべての町々とエルサレムに宣べ伝えられ、「山へ出て行って、オリーブの枝、松の枝、ミルトスの枝、しゅろの枝、茂った木の枝を取ってきて、書いてあるとおり仮小屋を造れ」と言われた。そこで民は出て行って、それを携えて来て、おのおの自分の家の屋根の上、庭、神の宮の庭、水の門の通り、エフライムの門の通りなどに仮

小屋を造った。捕囚から帰ってきた人々の会衆は皆仮小屋を造り、仮小屋の下に座った。…そして非常に大きな喜びがあった。」15-17節。

神はイスラエルに、肉体的および道徳的健康に不可欠なすべての原則を教えました。そして、神は道徳律の原則と同様に、これらの原則についても彼らに命じました。

「私が、きょう、あなたに命じるこれらの言葉を、あなたの心に留め、あなたの子供たちによく教え、あなたが家に座しているときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときも、これを語らなければならない。また、これをしるしとして手に結び、目の間に額飾りとしてつけなければならない。また、これをあなたの

家の柱と門に書きしるさなければならぬ。」申命記 6:6-9。

「後日、あなたの子があなたに尋ねて、『私たちの神、主があなたに命じられた証しと掟と裁判とは、どういう意味ですか』と言うとき、あなたはあなたの子にこう言いなさい。…主は私たちに、これらのすべての掟を守り、私たちの神、主を畏れ敬うように命じられました。それは、私たちの永遠の幸せのためであり、今日のように、主が私たちを生き長らえさせてくださろうとするためです。」20-24節。

イスラエル人が受けた教えに従い、その利点を生かしていたなら、彼らは健康と繁栄の模範となっていたでしょう。もし彼らが神の計画に従って生きていたなら

、他の国々を苦しめていた病気から守られていたでしょう。彼らは他のどの民族よりも体力と知力に優れていたでしょう。彼らは地上で最も強い民族となっていたでしょう。神はこう言いました。

「あなたはすべての民よりも祝福されるであろう。」申命記7:14。 [284]

「主は、あなたがたに約束されたとおりに、きょう、あなたがたを神の特別な民とすることを宣言された。また、あなたがたは主のすべての戒めを守り、主が造られたすべての国民よりも、称賛と名声と誉れにおいて高く上げ、あなたがたの神、主が言われたとおりに、主の聖なる民となるようにと約束された。」申命記 26:18, 19。

「もしあなたが、あなたの神、主の声に聞き従うならば、これらの祝福はみなあなたに臨み、あなたに臨むであろう。あなたは町で祝福され、野で祝福されるであろう。あなたの身から生まれるもの、土地の産物、家畜の産物、牛の群れ、羊の群れは祝福されるであろう。あなたの籠と倉庫は祝福されるであろう。あなたが入る時も祝福され、出る時も祝福されるであろう。」申命記 28:2-6。

「主はあなたの倉と、あなたが手がけるすべてのものに祝福を授け、あなたの神、主があなたに与える土地であなたを祝福される。あなたが、あなたの神、主の戒めを守り、その道を歩むなら、主はあなたに誓われたとおり、あなたを聖なる民として立てられる。地のすべての民は

、あなたが主の名で呼ばれているのを見て、あなたを恐れるであろう。主は、主があなたの先祖に与えると誓われた土地で、財産、あなたの身から生まれるもの、家畜の産むもの、土地の産物を豊かに与えてくださる。」主はあなたのためにその良い宝物、すなわち天を開き、季節に応じてあなたの地に雨を降らせ、あなたの手のすべての働きを祝福される。…主はあなたを頭となさし、尾となさらない。あなたはただ上にあり、下にはないであろう。もしあなたが、私が今日あなたに命じるあなたの神、主の戒めに聞き従い、これを守り行えばよい。」8-13節。

大祭司アロンとその息子たちには次のような指示が与えられました。

「このようにイスラエルの子らを祝福しなさい。

「エホバがあなたを祝福し、あなたを守られますように。

エホバが御顔をあなたに向け、あなたに恵みを与えられますように。

エホバがあなたに顔を向け、あなたに平安を与えられますように。

こうして彼らはわたしの名をイスラエルの子らの上に置くであろう。

そしてわたしは彼らを祝福する。」

「あなたの日数に応じて、あなたの力も増す。

エシュルンよ、あなたの助けのために天を駆け巡り、その威厳をもって天空を駆け巡る神に並ぶ者はいない。

永遠の神があなたの住まいであり、
その下には永遠の腕がある。
イスラエルは安全に住み、
ヤコブの泉だけがそこにあり、
「穀物とワインの地、
まことに主の天は露を垂らす。
イスラエルよ、あなたは幸いだ。
主に救われた民、あなたのような者はい
るだろうか。それは
あなたの助けの盾、
それはあなたの卓越性の剣だ。」

民数記 6:23; 6:24-27、ARV; 申命記 33:
25-29、RV

イスラエル人は神の目的を果たせなかつたため、本来受けるべき祝福を受けることができませんでした。しかし、ヨセフやダニエル、モーセやエリシャ、その他

多くの人々の中に、真の生活計画の結果の崇高な例があります。今日も同じように忠実であれば、同じような結果が生まれます。私たちにはこう書かれています。
[286]

「あなたがたは、選ばれた種族、王なる祭司、聖なる国民、神の神に属せられた民です。それは、あなたがたを暗やみの中から驚くべき光の中に招き入れてくださった方の栄光を、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。」 1ペテロ2:9。

「主に信頼し、
主を望みとする人は幸いである。」
彼は「なつめやしの木のように栄え、
レバノンの杉のように成長する。
主の家に植えられたものは、
私たちの神の庭で栄える。」

彼らは老いてもなお実を結ぶ。」

「彼らは力強く、葉で覆われる。」

「わたしの戒めを心に留めよ。

そうすれば、あなた

の日々は長くなり、いのちは長くなり

、平和が増す。」

「そうすれば、あなたは安全にあなたの道を歩み、

あなたの足はつまづくことはない。あなたが伏して寝るとき、あなたは恐れることはない。

まことに、あなたは伏して寝ると、あなたの眠りは安らかである。

突然の恐怖を恐れるな。

悪者の破滅が来ても、それを恐れるな。

主があなたの信頼となり、

あなたの足が捕らわれないように守って
くれるからだ。」

エレミヤ 17:7。詩篇 92:12-14。 92:14
、リーザー。箴言 3:1、2、23-26。 [287
]

第22章 服装

聖書は服装において慎み深さを教えています。「同じように、女も慎み深い服装で身を飾りなさい。」テモテへの第一の手紙 2:9。この手紙は、派手な服装、派手な色、過剰な装飾を禁じています。神の言葉が命じる慎み深い服装からは、注目をひきつけたり、賞賛を呼ぶための工夫は一切排除されています。

私たちの服装は安価なものでなければなりません。「金や真珠や高価な衣装」を着る必要はありません。9節。

お金は神からの信託です。プライドや野心を満たすために使うものではありません。

ん。神の子供たちの手にあるお金は、飢えた人々への食料、裸の人々への衣服です。抑圧された人々への防御、病人への健康の手段、貧しい人々に福音を宣べ伝える手段です。現在見せかけのために費やされているお金を賢く使うことで、多くの人々の心に幸福をもたらすことができます。キリストの生涯を考えてください。キリストの性格を学び、キリストの自己否定にあずかってください。

キリスト教を自称する世界では、飢えた人すべてに食事を与え、裸の人に衣服を与えるのに十分なほどの宝石や不必要に高価な衣服が費やされています。ファッションと見せびらかしは、貧しい人や苦しんでいる人を慰める手段を奪っています。それらは[288]救い主の愛の福音を世

界から奪っています。宣教は衰退しています。キリスト教の教えがないため、多くの方が死んでいます。私たちの家のすぐ近くや外国では、異教徒は教えられておらず、救われていません。神がその恵みを地球に積み、その倉庫を生活の快適さで満たし、神が私たちに救いの真理の知識を惜しみなく与えてくださったのに、未亡人や孤児、病人や苦しんでいる人、教えられておらず救われていない人々の叫びが天に昇るのを許すために、私たちはどんな言い訳ができるのでしょうか。神の日に、これらの困窮者のために命を捧げた神と対面するとき、神が禁じた放縦に時間とお金を費やしている人々は、どんな言い訳をするのでしょうか。そのような人々に対して、キリストはこう言わ

ないでしょうか。「わたしは飢えていたのに、あなたがたはわたしに食べ物を与えず、渴いていたのに、あなたがたはわたしに飲み物を与えず、裸であったのに、わたしに着せてくれず、病気であり、獄にいたのに、わたしを見舞ってくれなかった。」マタイ 25:42, 43。

しかし、私たちの衣服は、質素でシンプルでありながら、上質で、似合う色で、奉仕に適したものでなければなりません。見た目よりも耐久性を重視して選ぶべきです。暖かさと適切な保護を提供するものでなければなりません。箴言に描かれている賢い女性は、「彼女の家のために雪を恐れない。彼女の家の者は皆、二重の衣服を着ているからである」。箴言 31:21、欄外。

服装は清潔であるべきです。服装が不潔だと不健康で、体と魂を汚します。「あなたがたは神の宮なのです。…もし神の宮を汚す者がいれば、神はその人を滅ぼされます。」コリント人への第一の手紙第3章16、17節。

服装はあらゆる点で健康的であるべきです。神は「何よりも」私たちが「健康であること」を望んでおられます。つまり、体と魂の健康です。そして私たちは、魂と体の健康のために神と共に働くべきです。健康的な服装は、その両方を促進します。 [289]

それは、自然の簡素さの優美さ、美しさ、適切さを備えているべきです。キリストは私たちに人生の高慢さに対して警告しましたが、その優美さと自然の美しさ

に対しては警告しませんでした。彼は野の花、清らかに咲き誇るユリを指して言いました。「栄華を極めたソロモンでさえ、これらの花の一つほどにも着飾ってはいなかった」マタイ6:29。このように、キリストは自然の物によって、天が評価する美しさ、控え目な優美さ、簡素さ、純粹さ、適切さ、それが私たちの装いを神に喜ばれるものにするということを例示しています。

主は私たちに、最も美しい衣服を魂に着るように命じておられます。外面的な装飾は、その価値や美しさにおいて、主の目に「非常に尊い」「柔和で静かな心」に匹敵するものではありません。ペテロの手紙一 3:4。

救い主の原則を導きとする人々にとって、主の約束の言葉は何と貴重でしょう。

「なぜ着るもののことで思い煩うのか。…神は、きょうは生えていて、あすは炉に投げ込まれる野の草でさえ、このように装って下さるのなら、あなたがたにはなおさらのこと、装って下さらないはずがあるか。…だから、何を着たらよいのか、などと言って思い煩うな。…あなたがたの天の父は、これらのものがみな、あなたがたに必要であることを知っておられる。まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。」マタイ6:28-33、RV

「あなたは、心をあなたに定めて頼む者を、全き平安のうちに守られます。彼は

あなたに信頼するからです。」イザヤ書
26:3。

これは、流行の支配から生じる疲労、不安、病気、惨めさとは、何と対照的でしょう。流行が定める服装の多くは、聖書に記されている原則に反しています。過去数百年、あるいは過去数十年にわたって流行してきたスタイルについて考えてみてください。流行していないのに慎みがないと宣言されるものがどれだけあるでしょうか。洗練され、神を畏れ、自尊心のある女性にはふさわしくないと断言されるものがどれだけあるでしょうか。流行のために服装を変えることは、神の言葉によって認められていません。スタイルの変更や、手の込んだ高価な装飾は、金持ちの時間と財産を浪費し、心と魂

のエネルギーを無駄にします。それらは中流階級や貧困層に重い負担を課します。生計を立てるのがやっとで、簡単な方法で自分で服を作れる人の多くは、流行に合わせるために洋裁店に頼らざるを得ません。多くの貧しい娘が、おしゃれなガウンのために暖かい下着を諦め、その代償として命を落としました。また、金持ちの見栄えや優雅さを切望して、不正と恥辱の道に誘い込まれた人もたくさんいます。多くの家庭は快適さを奪われ、多くの男性は妻や子供たちの贅沢な要求を満たすために横領や破産に追い込まれました。

多くの女性は、流行に左右されるおしゃれな衣装を自分や子供のために用意せざるを得ず、終わりのない重労働を強いら

れる運命にある。多くの母親は、神経がズキズキし、指が震えながら、夜遅くまで子供の服に、健康や快適さ、本当の美しさにはまったく貢献しない装飾を加えるために苦勞している。流行のために、母親は健康と、子供を正しく導くために不可欠な心の平穩を犠牲にしている。心と精神の育成はなおざりにされ、魂は矮小化されている。 [291]

母親には、子供の健康に気を配る方法を知るために、身体の発達の原因を学ぶ時間がありません。子供の精神的、靈的な必要を満たす時間も、子供のちょっとした失望や試練に同情する時間も、子供の興味や追求を共有する時間ありません。

子供たちはこの世に生を受けるとすぐに、ファッションの影響にさらされます。救い主の話よりも服装の話をよく聞きます。母親が聖書よりもファッション雑誌に熱心に目を通すのを見ます。服装の見せかけは人格の形成よりも重要視されます。親も子供も人生で最も素晴らしく、最も甘美で、最も真実なものを奪われます。ファッションのために、彼らは来世への準備を奪われます。

絶えず変化するファッションの発明を扇動したのは、すべての善の敵でした。彼は、人類の悲惨と破滅を働きかけて神に悲しみと不名誉をもたらすことほど望んでいることはありません。彼がこれを最も効果的に達成する手段の 1 つは、体を

弱めるだけでなく、心を弱め、魂を卑しめるファッションの仕掛けです。

女性は深刻な病気にかかりやすく、服装によって苦しみが著しく増大します。女性は、必ずやってくる困難な緊急事態に備えて健康を維持する代わりに、間違った習慣によって健康だけでなく命も犠牲にすることが多すぎます。そして、壊れた体質、歪んだ習慣、誤った人生観という悲惨な遺産を子供たちに残します。

無駄が多くて有害なファッションの1つは、地面をなびくスカートです。不潔で、不快で、不便で、不健康です。これらすべて、そしてそれ以上のことが、裾をなびかせるスカートに当てはまります。余分な素材が必要なことと、その長さのために不必要な摩耗が発生することの両方

の点で、それは贅沢です。そして、裾をなびかせたスカートをはき、手に荷物を詰めた女性が、階段を上り下りしたり、路面電車に乗ったり、人混みを通り抜けたり、雨の中やぬかるんだ道を歩いたりするのを見たことがある人なら、その不便さと不快感について他に証拠は必要ありません。

もう一つの重大な弊害は、スカートを履くことでその重さを腰で支えなければならないことです。この重い重さは内臓を圧迫し、内臓を下方に引きずり、胃の弱さと倦怠感を引き起こし、着用者は前かがみになり、さらに肺が圧迫されて正しい呼吸が困難になります。

近年、ウエストを圧迫することから生じる危険性が十分に議論されているため、

その危険性について知らない人はほとんどいません。しかし、ファッションの力は非常に大きいため、悪は続いています。この習慣により、女性や少女は計り知れない害を自分に与えています。肺が十分に息を吸い込めるように、胸部が最大限に広がる余地があることは健康にとって不可欠です。肺が圧迫されると、肺に取り込まれる酸素の量が少なくなります。血液は適切に活性化されず、肺から排出されるべき老廃物や有毒物質が保持されます。これに加えて、循環が妨げられ、内臓が窮屈で定位置から外れた状態になり、適切に機能できなくなります。きつく締めても形は良くなりません。肉体美の主要素の一つは、対称性、つまり各部分の調和のとれたバランスです。肉

体の発達の良いモデルは、フランスのモディストが示す体型ではなく、自然界の神の法則に従って発達した人間の形の中に見出されます。神はすべての美の創造者であり、神の理想に従うことによつてのみ、私たちは真の美の基準に近づくことができるのです。 [293]

習慣が育むもう一つの弊害は、衣服の不均衡な分配です。そのため、身体の一部は必要以上に着ている一方で、他の部分是不十分に着ていることとなります。足と手足は重要な臓器から遠いため、特に厚着をして寒さから守る必要があります。四肢がいつも冷たい状態では健康であることはできません。四肢の血液が少なすぎると、身体の他の部分に多すぎるからです。完全な健康には完全な循環が必

要ですが、重要な臓器がある身体に足や手足の3~4倍もの衣服を着ていると、健康は得られません。

多くの女性が神経質になり、心配しています。なぜなら、純粋な血液を作る清浄な空気と、静脈を通して血液を躍動させ、生命、健康、エネルギーを与える運動の自由を奪われているからです。健康を享受できたはずなのに、多くの女性が確実に病弱になり、健康原則に従って服を着て、屋外で自由に運動していれば、与えられた寿命を全うできたはずなのに、結核やその他の病気で亡くなっています。

最も健康的な衣服を確保するには、身体のあるあらゆる部分のニーズを注意深く研究する必要があります。気候、環境、健康

状態、年齢、職業の特性をすべて考慮する必要があります。衣服はすべて、血液の循環や自由で完全な自然呼吸を妨げない、体にフィットするものでなければなりません。着用するものはすべて、腕を上げると衣服もそれに応じて持ち上がるほどゆったりしたものでなければなりません。

健康を害している女性は、賢明な服装と運動によって、多くのことを自分で行うことができます。屋外で楽しむのにふさわしい服装をしているときは、最初は慎重に屋外で運動させてください。しかし、耐えられる限り運動量を増やしてください。この方法を取ることで、多くの人々が健康を取り戻し、世界の仕事に参加できるようになるかもしれません。

ファッションに左右されない

女性たちは、ファッションの要求に応えようと必死になるのではなく、健康的でシンプルな服装をする勇気を持つべきです。妻や母親は、単なる家事の重労働に陥るのではなく、読書をしたり、知識を深めたり、夫の伴侶になったり、子供たちの発達する心と触れ合ったりする時間を持つべきです。今、自分の愛する人たちに、より高潔な生活を送るよう影響を与える機会を賢く活用しましょう。愛する救い主を日々の伴侶、親しい友人にするために時間を取るべきです。神の言葉を学ぶ時間を取り、子供たちと一緒に野原に出かけ、神の美しい御業を通して神について学ぶ時間を取るべきです。

彼女を明るく元気にさせてください。毎分毎分を裁縫に費やす代わりに、一日の仕事を終えた家族との再会、楽しい社交の時間にしてください。そうすれば、多くの男性がクラブハウスや酒場よりも家庭での付き合いを選ぶようになるでしょう。多くの少年が街頭や角の食料品店に行かなくなるでしょう。多くの少女が軽薄で誤解を招く交際から救われるでしょう。家庭の影響は、神が意図したとおり、親と子にとって生涯の祝福となるでしょう。 [295]

第23章 食事と健康

私たちの体は、私たちが食べる食物から作られます。体の組織は常に分解されています。すべての臓器の動きには老廃物が伴い、この老廃物は私たちの食物から修復されます。体の各臓器は、それに応じた栄養を必要とします。脳にはその分の栄養が供給されなければなりません。骨、筋肉、神経もそれに応じた栄養を必要とします。食物を血液に変え、この血液を使って体のさまざまな部分を作るのは素晴らしいプロセスです。しかし、このプロセスは絶えず進行し、それぞれの神経、筋肉、組織に生命と力を与えます。

食品の選択

体を作るのに必要な要素を最も多く含む食品を選ぶべきです。この選択において、食欲は安全な指針ではありません。間違った食習慣により、食欲は歪んでしまいます。食欲は健康を害し、強さではなく弱さをもたらす食品を求めることがよくあります。私たちは社会の習慣に安全に導かれることはできません。どこにでも蔓延している病気や苦しみは、主に食事に関する一般的な誤りが原因です。

最良の食物が何かを知るためには、人間の食事に関する神の本来の計画を研究しなければなりません。人間を創造し[296]、その必要性を理解している神は、アダムを食物と決めました。「見よ」と神は言いました。「わたしは、種をもつすべての草と、種をもつ木の実をもつすべて

の木とをあなたに与えた。それはあなたの食物となる。」創世記1:29、ARV 罪の呪いの下で地球を耕して生計を立てるためにエデンを去ったとき、人間は「野の草」を食べることも許可されました。創世記3:18。

穀物、果物、ナッツ、野菜は、創造主が私たちのために選んだ食事です。これらの食品は、できるだけシンプルで自然な方法で調理されており、最も健康的で栄養価の高いものです。これらの食品は、より複雑で刺激的な食事では得られない強さ、忍耐力、知性の活力を与えてくれます。

しかし、それ自体は健康に良い食べ物が、どんな状況でも同じように私たちの必要に合うわけではありません。食べ物の

選択には注意が必要です。私たちの食事は、季節、私たちが住んでいる気候、従事している職業に適したものでなければなりません。ある季節や気候に適した食べ物でも、別の季節や気候には適さないものがあります。したがって、職業が異なれば、最も適した食べ物も異なります。肉体労働に従事する人が有益に利用できる食べ物が、座りっぱなしの仕事や集中的な精神作業を行う人には適さないことがよくあります。神は私たちに健康に良い食べ物を豊富に与えてくださっています。各人はその中から、経験と健全な判断によって自分の必要に最も適しているとわかるものを選ぶべきです。

果物、ナッツ、穀物は自然界に豊富に存在し、輸送手段の発達により、毎年、あ

らゆる土地の産物はより広くすべての人に届けられるようになっていきます。その結果、数年前には高価な贅沢品とみなされていた多くの食品が、今では日常の食品としてすべての人の手の届く範囲にあります。特に乾燥果物や缶詰果物がそうです。 [298]

ナッツやナッツ食品は、肉の代わりに広く使われるようになっていきます。ナッツに穀物、果物、根菜類を混ぜて、健康的で栄養のある食品を作ることができます。ただし、ナッツをあまり多く使用しないように注意する必要があります。ナッツ食品の使用による悪影響を認識している人は、この予防措置に注意することで問題が解消されるかもしれません。ナッツの中には、他のナッツほど健康に良く

ないものもあることを覚えておく必要があります。アーモンドはピーナッツよりも好ましいですが、穀物と一緒に少量のピーナッツを使用すると、栄養があり消化しやすいです。

オリーブは、適切に調理すれば、ナッツのようにバターや肉の代わりとなります。オリーブから摂取されるオイルは、動物性オイルや脂肪よりもはるかに優れています。下剤としても役立ちます。結核患者に効果があり、炎症を起こした胃を癒します。

濃厚で刺激の強い食事に慣れた人は、味覚が不自然で、味の無いシンプルな食べ物をすぐには楽しめません。味覚が自然になり、胃が受けた酷使から回復するには時間がかかります。しかし、健康的な

食べ物を根気よく食べ続ける人は、しばらくすると、それがおいしいと感じるようになります。その繊細でおいしい味が評価され、不健康な珍味から得られるものよりも大きな喜びを持って食べられるようになります。そして、胃は、熱を帯びたり、過度に負担がかかったりしていない健康な状態では、その仕事をスムーズにこなすことができます。

健康を維持するためには、良質で栄養のある食べ物を十分に摂取することが必要です。

賢明に計画すれば、健康に最も役立つものは、ほとんどどの国でも確保できます。米、小麦、トウモロコシ、オート麦のさまざまな加工品が、豆、エンドウ豆、レンズ豆も、あらゆる場所に輸出されて

います。これらと、地元産または輸入の果物、各地域で育つさまざまな野菜を組み合わせることで、肉を使わない完全な食事を選ぶことができます。

果物が豊富に栽培できる場所では、缶詰にしたり乾燥させたりして、冬に向けてたっぷりと用意しておく必要があります。スグリ、グーズベリー、イチゴ、ラズベリー、ブラックベリーなどの小さな果物は、あまり利用されず、栽培が怠られている多くの場所で、効果的に栽培できます。

家庭で缶詰を作る場合は、できるだけブリキ缶ではなくガラス缶を使うべきです。缶詰にする果物は、特に状態が良いものでなければなりません。砂糖は少量しか使わず、果物は保存がきく程度の長さ

だけ調理します。このようにして作った果物は、新鮮な果物の優れた代替品になります。

干しぶどう、プルーン、リンゴ、ナシ、モモ、アプリコットなどのドライフルーツが手頃な価格で入手できる場所では、それらを主食として通常よりはるかに自由に使用することができ、あらゆる階層の労働者の健康と活力に最善の結果をもたらすことがわかります。

一度の食事で多種多様なものを食べるべきではありません。食べ過ぎを促し、消化不良を引き起こします。

両方を食べると、しばしば苦痛と精神的な努力を怠ることになります。果物を1回の食事で、野菜を別の食事で食べる方がよいでしょう。

食事は多様であるべきです。同じ料理を同じ方法で調理し、毎日のように食卓に並べるべきではありません。食事に多様性があれば、食事はよりおいしく食べられ、体もよりよく栄養を摂取できます。

食事の準備

食欲を満たすためだけに食べるのは間違っていますが、食べ物の質や調理法に無関心であってはなりません。食べた食べ物がおいしくなければ、体は十分に栄養を摂取できません。食べ物は注意深く選び、知恵と技術をもって調理する必要があります。

パン作りに使う場合、極細小麦粉は最適ではありません。その使用は健康的でも経済的でもありません。極細小麦粉のパンには、全粒小麦から作られたパンに含

まれる栄養素が欠けています。便秘やその他の不健康な症状の原因となることがよくあります。

パン作りにソーダやベーキングパウダーを使うのは有害で不必要です。ソーダは胃の炎症を引き起こし、全身に毒を及ぼすことがよくあります。多くの主婦[301]はソーダなしではおいしいパンは作れないと考えていますが、これは間違いです。もっと良い方法を学ぶ努力をすれば、パンはもっと健康的で、自然な味でもっとおいしくなるでしょう。

発酵パンやイーストパンを作るとき、水の代わりに牛乳を使うべきではありません。牛乳を使うと余分な出費がかかり、パンの栄養価も大幅に下がります。牛乳パンは水で作ったパンほど長く甘さが保

たれず、胃の中で発酵しやすくなります。

パンは軽くて甘いものでなければなりません。酸味の汚れはほんの少しでも許されるべきです。パンは小さく、十分に焼いて、できる限り酵母菌を死滅させるべきです。熱々のパンや出来立てのパンは、どんな種類のパンでも消化しにくいので、決して食卓に並べてはいけません。ただし、このルールは無酵母パンには当てはまりません。酵母や酵母を使わず、よく熱したオーブンで焼いた新鮮なロールパンは、健康に良く、口当たりもよいものです。

粥や「マッシュ」に使う穀物は、数時間調理する必要があります。しかし、柔らかい食べ物や液体の食べ物は、よく噛む

必要がある乾いた食べ物よりも健康的ではありません。ツヴィーバック、つまり二度焼きのパンは、最も消化しやすく、最もおいしい食べ物の 1 つです。通常の発酵パンをスライスし、温かいオーブンで水分がなくなるまで乾燥させます。その後、全体に軽く焦げ目がつくまで焼きます。乾燥した場所であれば、このパンは通常のパンよりもずっと長く保存でき、使用前に再加熱すれば、新品同様に新鮮です。

食品には通常、砂糖が多量に使用されています。ケーキ、甘いプリン、ペストリー、ゼリー、ジャムは消化不良の原因となります。特に有害なのは、牛乳、卵、砂糖を主成分とするカスタードやプリン

です。牛乳と砂糖を自由に摂取することは避けるべきです。

牛乳を使用する場合は、完全に殺菌する必要があります。この予防措置を講じると、牛乳の使用によって病気にかかる危険性が少なくなります。バターは、調理に使用する場合よりも、冷たいパンに塗って食べる方が害は少ないですが、原則として、まったく使用しない方がよいでしょう。チーズはさらに好ましくありません。チーズは食品としてはまったく適していません。[乳製品由来のすべての食品の純度の保護は、最も重要な事項です。乳牛の頻繁な検査、徹底した低温殺菌と冷蔵は、この目的に役立ちますが、そのような食品は、出所が不明な場合、または不注意に取り扱われた場合、健康に

深刻な脅威となります。米国農務省の農業広報第1705号で政府の専門家であるロウェナ・シュミット・カーペンターが述べているように、「牛乳を人間の食品として推奨するのと同じ化学成分と物理的特性が、牛乳を細菌の優れた食品にしている」からです。読者は、ここで言及されているチーズにはカッテージチーズやそれに似た性質の食品は含まれていないことを理解するだろう。著者はこれらを健康に良いと認識していた。-出版社。

不十分な調理の食物は、血液を作る器官を弱め、血液を悪くします。それは体内を混乱させ、病気を引き起こし、神経の過敏化や不機嫌を伴います。不十分な調理の犠牲者の数は数千、数万人にのぼります。多くの墓に「不十分な調理のせい

で死んだ」「胃腸を酷使して死んだ」と刻まれているかもしれません。

料理をする人にとって、健康的な食事の作り方を学ぶことは神聖な義務です。下手な料理のせいで多くの魂が失われています。おいしいパンを作るには考えと注意が必要ですが、おいしいパンには多くの人が考える以上に深い意味があります。本当に料理が上手な人はほとんどいません。若い女性は料理やその他の家事はつまらないものだと考えており、このため結婚して家族の世話をする多くの女性は妻と母親に課せられた義務についてほとんど理解していません。

決して取るに足らない科学ではなく、実生活で最も重要な科学の一つです。料理は、すべての女性が学ぶべき科学であり

、貧しい階級の人々に利益をもたらすような方法で教えられるべきです。食べ物をおいしくすると同時に、シンプルで栄養のあるものにするには、技術が必要ですが、それは可能です。料理人は、シンプルな食べ物をシンプルで健康的な方法で調理する方法を知っておく必要があります。そうすれば、そのシンプルさゆえに、より美味しく、より健康的であることがわかります。

一家の長でありながら、健康的な料理の技術を理解していない女性は、家族の幸福に欠かせない料理を学ぶ決心をすべきです。多くの場所で、衛生的な料理学校がこの分野の指導の機会を提供しています。そのような施設の助けを得られない女性は、腕のいい料理人の指導を受け、

料理の達人になるまで上達の努力を続けるべきです。

規則正しい食事は極めて重要です。食事の時間は必ず決めてください。この時間には、身体が必要とする分だけ食べ、次の食事まで何も食べないでください。食欲を抑える意志力がないため、身体が必要としないときや、不規則な間隔、食事の合間に食べる人がたくさんいます。旅行中、手の届く範囲に食べられるものがあれば、常にかじりついている人もいます。これは非常に有害です。旅行者がシンプルで栄養のある食べ物を規則正しく食べていれば、それほど疲れたり病気に苦しんだりすることはないでしょう。

もう一つの有害な習慣は、就寝直前に食べることです。通常の食事は摂っていた

かもしれませんが、気分が悪くなるので、さらに食べてしまいます。この間違っ
た習慣に耽溺することで習慣となり、し
ばしば固く定着し、食べずに眠ることは
不可能だと思われるようになります。遅
い夕食をとった結果、消化プロセスは睡
眠時間中も継続されます。しかし、胃は
絶えず働いていますが、その働きは適切
には達成されません。睡眠[304]は不快な
夢で妨げられることが多く、朝、目覚め
たときにはすっきりせず、朝食もあまり
おいしくありません。横になって休むと
きには、胃の仕事はすべて終わっている
必要があります。そうすれば、胃も体の
他の器官も休息を楽しむことができます
。座りがちな習慣のある人にとって、遅
い夕食は特に有害です。彼らにとって、

引き起こされた混乱は、死に至る病気の始まりとなることがよくあります。

多くの場合、食欲につながる気絶は、日中に消化器官が過酷な負担を受けたために感じられます。1回の食事を済ませた後、消化器官は休息を必要とします。食事と食事の間には少なくとも5～6時間の間隔を空ける必要があります。このプランを試してみると、1日3食よりも2食のほうが良いとわかる人が多いでしょう。 [305]

間違った食生活

食べ物は熱すぎたり冷たすぎたりして食べてはいけません。食べ物が冷たいと、消化が始まる前に温めるために胃の活力が使われます。冷たい飲み物も同じ理由で有害です。一方、熱い飲み物を好き勝

手に飲むと衰弱します。実際、食事中に水分を多く摂取すればするほど、食べ物の消化が難しくなります。なぜなら、消化が始まる前に液体を吸収しなければならないからです。塩分を多く摂らず、漬物やスパイスの効いた食べ物を避け、果物をたっぷり食べれば、食事中に大量の飲み物を摂らなければならないというイライラはほぼ消えます。

食べ物はゆっくり食べ、よく噛む必要があります。これは、唾液が食べ物と適切に混ざり、消化液が活動するために必要です。

もう一つの重大な害悪は、激しい運動や過度の運動の後、非常に疲れているときや[306]熱があるときなど、不適切な時間に食事をすることです。食後すぐに神経

エネルギーが強く流れ込みます。また、食事の直前または直後に心身に負担がかかっていると、消化が妨げられます。興奮したり、不安になったり、急いでいるときは、休息や安らぎが得られるまで食事をしない方がよいでしょう。

胃は脳と密接な関係があり、胃が病気になると、弱った消化器官を助けるために脳から神経力が呼び出されます。これらの要求が頻繁に行われると、脳は鬱血します。脳が常に負担をかけられ、運動不足の場合は、質素な食べ物でも控えめに食べる必要があります。食事のときは、心配や不安な考えを捨て、急ぐことなく、神のすべての恵みに対する感謝の気持ちで心を満たしながら、ゆっくりと明るく食べてください。

肉類やその他の粗悪で有害な食品を避ける人の多くは、その食品がシンプルで健康に良いので、食欲を抑制せずに食べ過ぎ、時には暴食することもあると考えます。これは間違いです。消化器官は、消化器官に負担をかけるほどの量や質の食品を摂取すべきではありません。

習慣により、食事はコース料理として食卓に並べられることになっています。次に何が出てくるかわからないので、自分にはおそらく最適ではない食べ物をたっぷり食べてしまうかもしれません。最後のコースが運ばれてくると、人は限度を超えてしまい、誘惑的なデザートを食べてしまいますが、それは決して体に良くありません。食事の予定の食べ物がすべ

て最初に食卓に並べられていれば、最善の選択をする機会があります。

食べ過ぎの結果はすぐに感じられることもあります。また、痛みを感じない場合もありますが、消化器官が活力を失い、体力の基礎が弱まります。 [307]

食べ過ぎは体に負担をかけ、病的な発熱状態を引き起こします。胃に過剰な量の血液が流れ込むため、手足がすぐに冷えます。消化器官に重い負担がかかり、消化器官が働き終わると、気絶したり、だるくなったりします。食べ過ぎ続ける人は、この完全に消え去った感覚を空腹と呼ぶことができますが、これは消化器官が働き過ぎた状態によって引き起こされます。時には、脳が麻痺し、精神的また

は肉体的な努力を嫌がることもあります。

これらの不快な症状は、自然が生命力を不必要に消費して仕事を終え、完全に疲れ果てているために感じられます。胃は「休ませてください」と言っているのです。しかし、多くの方は、この気絶をもっと食べ物が欲しいと解釈します。そのため、胃を休ませる代わりに、胃に別の負担がかかります。その結果、消化器官は、良い働きができるはずなのに、疲れ果ててしまうことがよくあります。

安息日には、他の日より多くの食物を豊富に与えたり、より多様な食物を用意したりすべきではありません。その代わりに、食物はより質素で、少量にすべきです。そうすれば、精神が明晰で活発に

なり、靈的な事柄を理解できるようになります。胃が詰まるということは、脳が詰まるということです。不適切な食事によって精神が混乱すると、最も貴重な言葉が聞こえても、その価値が理解されないことがあります。安息日に食べ過ぎると、多くの人が、その神聖な機会の恩恵を受けるのに、自分が思っている以上に不適合になります。

安息日に料理をすることは避けるべきですが、だからといって冷たい食べ物を食べる必要はありません。寒い天候のときは、前日に用意した食べ物を温めるべきです。そして、どんなに簡単なものでも、おいしくて魅力的な食事にしましょう。特に[308]子供のいる家庭では、安息日に、家族が毎日食べられないごちそうと

して考えられるものを用意するのは良いことです。

間違った食習慣に耽っている場合は、改善を遅らせてはいけません。胃を酷使して消化不良を起こした場合は、過度の負担をすべて取り除いて、生命力の残存力を維持するよう注意深く努力する必要があります。胃は長期間酷使した後、完全に健康を取り戻すことは決してないでしょう。しかし、適切な食事療法はそれ以上の衰弱を防ぎ、多くの人が多かれ少なかれ完全に回復します。すべてのケースに当てはまる規則を規定することは容易ではありませんが、食事に関する正しい原則に注意を払えば、大きな改善が実現でき、料理人は食欲をそそるために絶えず苦勞する必要がなくなります。

食事の節制は精神的、道徳的な活力をもたらし、また、情熱のコントロールにも役立ちます。食べ過ぎは、気質が鈍い人にとって特に有害です。そのような人は、控えめに食べ、十分な運動をする必要があります。優れた才能を持つ男女の中には、食欲を抑制して自制心を働かせれば達成できる成果の半分も達成できない人もいます。 [309]

多くの作家や演説家はここで失敗します。腹いっぱい食べた後、読書、勉強、執筆など、座りっぱなしの仕事に没頭し、身体を動かす時間がありません。その結果、思考と言葉の自由な流れが妨げられます。彼らは、心に届くのに必要な力と熱意を持って書いたり話したりすること

ができず、彼らの努力はおとなしく実を結ばないのです。

重要な責任を負っている人々、とりわけ精神的な関心を守る人々は、鋭い感情と素早い認識力を持つ人でなければなりません。彼らは他の人々よりも、食事に節度を持たなければなりません。彼らの食卓には、豪華で贅沢な食べ物は置いてはいけません。

毎日、信頼される立場にある人々は、非常に重要な結果を左右する決断を下さなければなりません。彼らはしばしば迅速に考えなければなりません。これは厳格な節制を実践する人々によってのみ成功裏に行うことができます。心は、肉体的および精神的力を正しく扱うことによって強化されます。負担が大きすぎなけ

れば、負担をかけるたびに新たな活力が生まれます。しかし、重要な計画を検討し、重要な決定を下す人々の仕事は、不適切な食事の結果によって悪影響を受けることがよくあります。不調な胃は、不調で不安定な心の状態を生み出します。それはしばしば、いらだち、厳しさ、または不公平を引き起こします。間違った食習慣による病的な状態の結果として、世界にとって祝福となるはずだった多くの計画が放棄され、多くの不公平で抑圧的で残酷な手段が実行されてきました。ここに、座りっぱなしの仕事や主に頭を使う仕事に従事するすべての人への提案があります。十分な道徳的勇気と自制心を持つ人は、これを試してください。毎食、2、3種類のシンプルな食べ物だけを

取り、空腹を満たすために必要な量以上は食べないでください。毎日、活発な運動をし、効果が得られないか確認してください。

活発な肉体労働に従事する力強い男性は、座ったままの習慣を持つ人々ほど、食べ物や質に気を配る必要はありません。しかし、彼らでさえ、飲食において自制心を働かせれば、より健康になれるでしょう。

食生活に厳密な規則を定めてほしいと願う人もいます。彼らは食べ過ぎて後悔し、自分が何を食べ、何を飲むかを考え続けます。これはあるべき姿ではありません。人は他人に厳密な規則を課すことはできません。誰もが理性と自制心を発揮し、原則に従って行動すべきです。

私たちの体はキリストが買い取った所有物であり、私たちはそれを好き勝手に扱うことはできません。健康の法則を理解する人は皆、神が彼らの中に定めたこれらの法則に従う義務を自覚すべきです。健康の法則に従うことは、個人の義務とすべきです。私たち自身も、法を破った結果に苦しまなければなりません。私たちは、自分の習慣や行いについて神に個人的に説明しなければなりません。したがって、私たちにとっての問いは、「世の習慣は何か」ではなく、「神が私に与えてくださった住まいを、個人としてどのように扱うべきか」です。 [311]

第24章 肉は食物である

人間が最初に定められた食事には動物性食品は含まれていませんでした。洪水の後、地上のすべての緑が破壊されて初めて、人間は肉を食べることを許されました。

エデンで人間の食物を選んだとき、主は何が最良の食事であることを示しました。イスラエルのためになされた選択において、主は同じ教訓をお教えになりました。主はイスラエル人をエジプトから連れ出し、主の所有物となるように訓練しました。彼らを通して、主は世界を祝福し、教えたいと願われました。主は彼らに、この目的に最も適した食物、肉ではなく「天のパン」であるマナを与えました

。動物性食品が彼らに与えられたのは、エジプトの肉鍋に対する彼らの不満と不平のためであり、それは短期間だけでした。動物性食品の使用は何千人もの人々に病気と死をもたらしました。しかし、肉以外の食品の制限は決して心から受け入れられませんでした。それは公然と、あるいは秘密に、不満と不平の原因であり続け、永続的なものではありませんでした。

カナンに定住したイスラエル人は、動物の食物を食べることが許されましたが、悪影響を軽減する慎重な制限[312]の下でした。豚肉の使用は禁止され、肉が不潔とされた他の動物や鳥や魚も禁止されました。許可された肉のうち、脂肪と血を食べることは厳しく禁じられました。

食用として使用できるのは、状態の良い動物だけです。引き裂かれた動物、自然に死んだ動物、または血が丁寧に抜かれていない動物は、食用としては使用できませんでした。

イスラエル人は、神が彼らの食事のために定めた計画から外れることで、大きな損失を被りました。彼らは肉食を望み、その結果を刈り取りました。彼らは神の理想の性格に達することも、神の目的を果たすこともありませんでした。主は「彼らの願いをかなえ、彼らの魂に衰弱を送られた」。詩篇106:15。彼らは霊的なものよりも地上的なものを重んじ、神が彼らのために定めた神聖な優位性を達成しませんでした。 [313]

肉食を廃棄する理由

肉を食べる人は穀物や野菜を間接的に食べているに過ぎません。なぜなら、動物はこれらのものから成長を促す栄養を得るからです。穀物や野菜の中にあつた命は食べる人の中に入ります。私たちは動物の肉を食べることでそれを受け取ります。神が私たちのために用意してくださった食物を食べることで、それを直接得る方がはるかに良いでしょう。

肉は最高の食べ物ではありませんでしたが、動物の病気が急速に増加しているため、肉の使用は今や二重に非難されています。肉食をする人は、自分が何を食べているかをほとんど知りません。多くの場合、動物が活着ているときの姿を見て、食べている肉の質を知ることができれば、嫌悪感を抱いてそれを避けたでしよ

う。人々は結核菌や癌菌に満ちた肉を絶えず食べています。結核、癌、その他の致命的な病気はこのようにして伝染します。

豚の組織には寄生虫が群がっています。豚について神はこう言われました。「それはあなたたちに汚れたものである。その肉を食べてはならない。また、その死体に触れてはならない。」申命記 14:8。

[314]この命令が与えられたのは、豚の肉が食用に適さないからです。豚は腐肉食動物であり、それが豚の本来の用途です。いかなる状況においても、豚の肉を人間が食べることは決してありません。汚物がその自然の要素であり、あらゆる忌まわしいものを食べる生き物の肉が健康的であることは不可能です。

多くの場合、動物は病気がひどく、飼い主がこれ以上飼うことを恐れるほどになってから市場に運ばれ、食用として売られます。そして、市場向けに動物を太らせる過程のいくつかは病気を引き起こします。光と清浄な空気から遮断され、不潔な厩舎の空気を吸い、おそらく腐った食物で太ると、すぐに全身が汚物で汚染されます。

動物は市場に届くまで長距離輸送され、ひどい苦しみを受けることが多い。緑の牧草地から連れ出され、暑く埃っぽい道を何マイルも疲れ果てて運ばれたり、汚い車に詰め込まれ、熱にうなされ疲れ果て、何時間も食べ物や水を与えられずにいることが多い哀れな動物たちは、死に

追いやられ、人間がその死骸を食らうのだ。

多くの場所では、魚は餌となる汚物によって汚染され、病気の原因となります。これは特に、魚が大都市の下水と接触した場合に当てはまります。排水溝の内容物を餌として摂取した魚は、遠くの水域に流れ、水が純粹で新鮮な場所で捕獲される可能性があります。したがって、魚を食用とすると、危険を疑わない人々に病気や死をもたらします。

肉食の影響はすぐには実感できないかもしれませんが、それはそれが有害ではないという証拠にはなりません。食べた肉が血液を汚染し、苦しみを引き起こしたと信じる人はほとんどいません。多くの人は、肉食だけが原因で病気で亡くなり

ますが、本当の原因は本人も他人も疑っていません。

肉食の道徳的悪は、肉体的病に劣らず顕著です。肉食は健康に有害であり、身体に影響を及ぼすものは何でも、心と魂に相応の影響を及ぼします。肉食に伴う動物への残酷さ、そして肉食を与える人々と肉食を見る人々への影響について考えてみてください。肉食は、神の創造物に対する私たちの思いやりをいかに破壊するのでしょうか。

多くの口のきけない動物が示す知能は、人間の知能に非常に近いので、不思議である。動物は見たり聞いたり、愛したり恐れたり苦しんだりする。動物は、多くの人間が自分の器官を使うよりもはるかに忠実に器官を使う。動物は、苦しんで

いる仲間に対して同情と優しさを示す。多くの動物は、世話をしてくれる人に対して、人類の一部が示す愛情よりもはるかに優れた愛情を示す。動物は人間に対して、大きな苦しみを伴わずに壊れることのない愛着を形成する。

人間らしい心を持ち、家畜を気遣ったことがある人間が、信頼と愛情に満ちた彼らの目を見つめ、喜んで彼らを肉屋のナイフに渡すことができるだろうか。どうして甘い一口のように彼らの肉をむさぼり食うことができるだろうか。

筋肉の強さは動物性食品の使用に依存すると考えるのは間違いです。動物性食品を使用しなくても、体の必要はよりよく満たされ、より活発な健康を享受できます。穀物、果物、ナッツ、野菜には、良

い血液を作るために必要な栄養成分がすべて含まれています。これらの要素は、肉食ではそれほどよく、または十分には供給されません。肉の使用が健康と強さに不可欠であったなら、動物性食品は当初から人間の食事に含まれていたはずで

す。

肉食をやめると、しばしば衰弱感や活力の欠如を感じる。多くの人々がこれを肉食が不可欠である証拠として主張するが、この種の食品は刺激性があり、血液を熱し、神経を刺激するため、それが恋しくなるのだ。酔っぱらいが酒をやめるのと同じくらい、肉食をやめるのは難しいと感じる人もいるだろう。しかし、変化によって彼らはより良くなるだろう。

肉食をやめるときには、栄養があり食欲をそそるさまざまな穀物、ナッツ、野菜、果物を代わりに食べるべきです。これは、体が弱っている人や、継続的な労働を強いられている人にとっては特に必要です。貧困が蔓延している国では、肉食は最も安価な食べ物です。このような状況では、[317]変化を起こすのは困難ですが、実行することは可能です。しかし、私たちは人々の状況と生涯にわたる習慣の力を考慮し、正しい考えであっても過度に勧めないように注意する必要があります。急に変化を強いるべきではありません。肉食の代わりには、安価で健康的な食べ物を摂取すべきです。この点は、料理人に大きく依存します。注意と技術があれば、栄養があり食欲をそそる料

理を準備でき、肉食にかなり代わるでしょう。

いずれの場合も、良心を教育し、意志を働かせ、良質で健康的な食物を供給すれば、変化は容易に起こり、肉への需要はすぐになくなるでしょう。

今は、すべての人が肉食をやめることを目指すべき時ではないでしょうか。天使たちと交わるために純粹で、洗練され、聖なる者となることを求めている人々が、魂と身体に有害な影響を与えるものをどうして食べ物として使い続けることができるでしょうか。贅沢品として肉を食べるために、神の被造物の命を奪うことがどうしてできるでしょうか。むしろ、最初に人間に与えられた健康的でおいしい食べ物に戻り、神が創造し、私たちの

支配下に置いた口のきけない被造物に対する慈悲を自ら実践し、子供たちにも実践するように教えるべきです。 [318]

第25章 極端な食生活

食生活改革を信じていると公言する人すべてが、本当の改革者であるわけではありません。多くの人にとっては、食生活改革は単に特定の不健康な食品を捨てることです。彼らは健康の原則を明確に理解しておらず、彼らの食卓には依然として有害な珍味が山積みで、キリスト教の節制と節度の例からは程遠いのです。

別の種類の人々は、正しい模範を示したいという願いから、反対の極端に走ります。最も望ましい食物が手に入らず、不足分を最もよく補うものを使う代わりに、貧弱な食生活を採用する人もいます。彼らの食物は、良い血液を作るのに必要な要素を供給しません。彼らの健康は損

なわれ、彼らの有用性は損なわれ、彼らの例は食生活の改革を支持するどころか、反対を告げています。

健康にはシンプルな食事が必要なので、食べ物の選択や調理にはあまり気を配る必要はないと考える人もいます。中には、体の必要を満たすのに十分な多様性のない、非常に質素な食事に制限し、その結果苦しんでいる人もいます。

改革の原則を部分的にしか理解していない人々は、自分自身の考えを実行するだけでなく、家族[319]や隣人にそれを強く勧める際にも、しばしば最も頑固です。彼ら自身の不健康や、他人に自分の考えを押し付けようとする努力に見られるように、彼らの誤った改革の影響は、多くの人々に食事改革についての誤った考え

を与え、それを完全に拒否することにつながります。

健康の法則を理解し、原則に従う人は、放縦も制限も極端に避けます。彼らの食事は、単に食欲を満たすためではなく、身体を鍛えるために選ばれます。彼らは、神と人への最高の奉仕のために、あらゆる力を最良の状態で維持しようとし、食欲は理性と良心によって制御され、彼らは身体と心の健康という報いを受けます。彼らは自分の意見を他人に攻撃的に押し付けることはありませんが、彼らの模範は正しい原則を支持する証拠です。これらの人々は広く良い影響を与えます。

食生活改革には真の常識がある。このテーマは広く深く研究されるべきであり、

他人の食生活が自分の食生活とあらゆる点で調和していないからといって他人を批判すべきではない。すべての人の習慣を規制する不変の規則を作ることは不可能であり、誰も自分がすべての人の基準であると考えべきではない。すべての人が同じものを食べられるわけではない。ある人にとって美味しく健康に良い食べ物が、別の人にとってはまずく、有害でさえあるかもしれない。牛乳が飲めない人もいれば、牛乳で元気になる人もいる。エンドウ豆や豆を消化できない人もいれば、健康に良いと思う人もいる。粗い穀物の調理法がおいしい食べ物である人もいれば、それを使えない人もいる。

果物やナッツが乏しい新興国や貧困地域に住んでいる人は、食事から牛乳や卵を排除するよう強く勧められるべきではありません。確かに、肉付きがよく動物的情熱が強い人は刺激的な食品を避ける必要があります。特に、官能的な習慣を持つ子供のいる家庭では、卵は摂取すべきではありません。しかし、造血器官が弱い人の場合、特に必要な要素を補給する他の食品が手に入らない場合は、牛乳や卵を完全に排除すべきではありません。ただし、牛乳は健康な牛から、卵は健康な鶏から、よく餌を与えられよく世話された牛から得るように細心の注意を払う必要があります。また、卵は消化しやすいように調理する必要があります。

食生活の改革は漸進的であるべきである。動物の病気が増えるにつれて、牛乳や卵の使用はますます危険になる。牛乳や卵の代わりに、健康的で安価な他のものを提供する努力がなされるべきである。どこの住民も、牛乳や卵を使わずに、健康的でおいしい料理を作る方法を教えられるべきである。

一日二食だけ食べる習慣は、一般的に健康に良いとされています。しかし、状況によっては、三食目が必要な場合もあります。しかし、三食目を摂る場合は、非常に軽く、消化しやすい食べ物にしてください。「クラッカー」（イギリスのビスケット）またはツヴィーバック、果物、またはシリアルコーヒーは、夕食に最適な食べ物です。

食べ物がどんなにシンプルで健康的であっても、それが体に害を及ぼすのではないかと常に心配している人もいます。そのような人たちに言いたいのは、食べ物が体に害を及ぼすなどと考えないでください。そのことについてはまったく考えないでください。自分の最善の判断に従って食べてください。そして、主に食べ物が体を強くしてくれるよう祝福して下さるようお願いしたら、主が祈りを聞いてくださると信じて、安心してください。

原則として、胃を刺激して健康を損なうものは捨てるべきなので、貧弱な食事は血液の貧弱化をもたらすことを覚えておく必要があります。最も治療が難しい病気は、この原因から生じます。体は十分

に栄養を与えられず、消化不良と全身の衰弱が結果として生じます。このような食事をする人は、必ずしも貧困によってそうせざるを得ないわけではなく、無知または怠慢によって、あるいは誤った改革の考えを実行するためにそれを選んでいるのです。

肉体が軽視されたり、酷使されたりして、神に仕えるのに適さなくなったりすると、神は敬われません。おいしくて元気になる食べ物を与えて肉体を大事にすることは、世帯主の第一の義務の一つです。食料の供給を節約するよりは、安価な衣服や家具を持つ方がはるかに良いのです。

家主の中には、訪問者に高価な接待をするために家族の食卓を節約する人もいま

す。これは賢明ではありません。客をもてなすにはもっと簡素なものであるべきです。家族の必要を第一に考えましょう。

主婦に余分な準備をさせることなく、予期せぬ客を歓迎できる。

すべての人は、何を食べるべきか、どのように調理すべきかを学ぶべきです。男性も女性も、簡単で健康的な食事の調理法を理解する必要があります。仕事の都合で、健康的な食事が手に入らない場所に行くこともよくあります。その場合、料理の知識があれば、それを有効活用できます。

食生活を注意深く検討してください。原因から結果まで研究してください。自制心を養ってください。食欲を理性で制御

してください。食べ過ぎて胃を酷使しないでください。しかし、健康に必要な栄養のあるおいしい食べ物を自分から奪ってはいけません。

健康改革を志す一部の人々の偏狭な考えは、衛生の大義に大きな損害を与えてきた。衛生学者は、食生活改革は、食卓に用意する食材によって大きく評価されることを忘れてはならない。そして、食生活改革に不名誉をもたらすような方針を取るのではなく、率直な人々に推奨されるような原則を例示すべきである。食欲を制限するような改革運動であれば、どんなに理にかなったものであっても反対する大勢の人々がいる。彼らは理性や健康法則ではなく、味覚に頼る。この層にとっては、慣習の踏み固められた道を離

れて改革を主張する者は、どんなに一貫した方針を取っていても、過激派とみなされる。これらの人々 [324] が批判される余地がないように、衛生学者は、自分たちが他の人とどれだけ違うことができるか試そうとするのではなく、原則を犠牲にすることなく、できるだけ他の人に近づくべきである。

衛生改革を主張する人々が極端な行動に出ると、こうした人々を健康原理の代表者とみなす人々がその改革を全面的に拒否するのも不思議ではありません。こうした極端な行動は、生涯にわたる一貫した生活で取り消せる以上の害を短期間でもたらすことがよくあります。

衛生改革は、広範かつ広範囲にわたる原則に基づいているため、狭い見解や慣行

によってそれを軽視すべきではありません。しかし、反対や嘲笑、あるいは他人を喜ばせたり影響を与えたりしたいという願望によって、真の原則から逸脱したり、それらを軽視したりすることは許されません。原則に支配されている人は、正義を擁護することに固執し、断固とした態度をとります。しかし、あらゆる交友関係において、寛大でキリストのような精神と真の節度を体現するでしょう。

[325]

第26章 覚醒剤と麻薬

覚醒剤と麻薬という項目には、食べ物や飲み物として使用される、胃を刺激し、血液を毒し、神経を興奮させる多種多様な品目が分類されています。それらの使用は明らかに悪です。人々は覚醒剤の興奮を求めます。なぜなら、その瞬間は結果が心地よいからです。しかし、常に反応があります。不自然な覚醒剤の使用は常に過剰になりがちで、身体の退化と衰弱を促進する活性剤です。

調味料

この忙しい時代では、食べ物は刺激が少ないほど良い。調味料は本質的に有害である。マスタード、コショウ、スパイス、ピクルス、および同様の性質を持つ他

のものは、胃を刺激し、血液を熱っぽくし、不純にする。酔っぱらいの胃の炎症状態は、アルコール飲料の影響を示すものとしてよく描写される。同様の炎症状態は、刺激的な調味料の使用によっても引き起こされる。すぐに普通の食べ物では食欲を満たせなくなる。体は、より刺激的なものを欲しがるようになる。 [326]

紅茶とコーヒー

お茶は刺激剤として作用し、ある程度は酔わせませます。コーヒーや他の多くの一般的な飲み物の作用も同様です。最初の効果は爽快感です。胃の神経が興奮し、それが脳に刺激を伝え、今度はそれが刺激されて心臓の動きが活発になり、全身に一時的なエネルギーが与えられます。疲

労は忘れられ、体力が増したように感じられます。知性が刺激され、想像力がより鮮明になります。

これらの結果から、多くの人はお茶やコーヒーが体にとても良いと考えています。しかし、これは間違いです。お茶やコーヒーは体に栄養を与えるものではありません。消化と同化に時間がかかる前にその効果が現れ、強さのように見えるのは神経の興奮だけです。刺激物の効果がなくなると、不自然な力は弱まり、その結果、それに応じた倦怠感と衰弱が起こります。

これらの神経刺激剤を継続的に使用すると、頭痛、覚醒、動悸、消化不良、震え、その他多くの弊害が起こります。なぜなら、これらの刺激剤は生命力を消耗さ

せるからです。疲れた神経は、刺激[327]や過労ではなく、休息と静寂を必要とします。自然は消耗したエネルギーを回復する時間が必要です。刺激剤の使用によって自然の力が刺激されると、しばらくの間はより多くのことが達成されますが、絶え間ない使用によってシステムが衰弱すると、エネルギーを望ましいレベルまで覚醒させることが次第に難しくなります。刺激剤の需要は、意志が抑えられなくなり、不自然な渴望を否定する力がないように思われるまで、制御することがますます難しくなります。疲れ果てた自然がもはや反応できなくなるまで、より強力な刺激剤が求められます。

タバコの習慣

タバコはゆっくりと、潜行性で、しかし最も有害な毒物である。どのような形で使用されても、体質に悪影響を及ぼす。その影響はゆっくりと現れ、最初はほとんど感じられないため、なおさら危険である。タバコは神経を興奮させ、その後麻痺させる。脳を弱め、曇らせる。しばしば、酔わせる飲み物よりも強力に神経に影響を与える。より微妙で、その影響を体から除去することは困難である。タバコを使用すると、強い酒への渴望が刺激され、多くの場合、酒癖の土台となる。

タバコの使用は不便で、高価で、不潔で、使用者を汚し、他人を不快にします。タバコの愛好者はどこにでもいます。人混みを通り抜けると、喫煙者が毒の入っ

た息を顔に吹きかけてくることはめったにありません。酒やタバコの煙が充満している車両や部屋に留まるのは不快で不健康です。人々は自分自身でこれらの毒物を使い続けるのに、他人が呼吸しなければならない空気を汚す権利が何にあるというのでしょうか。

子どもや若者の間では、タバコの使用は計り知れない害を及ぼしています。過去の世代の不健康な習慣は、今日の子どもや若者に影響を与えています。知的障害、身体の衰弱、神経の乱れ、不自然な渴望は、親から子どもへと受け継がれています。そして、同じ習慣が子どもたちに受け継がれ、悪影響が拡大し、永続しています。この原因は、身体的、精神的、

道徳的衰退に少なからず起因しており、それが大きな懸念材料となっています。男の子は幼い頃からタバコを吸い始めます。心身がタバコの影響を受けやすい時期に形成された習慣は、体力を弱め、体を矮小化し、精神を麻痺させ、道徳を墮落させます。

しかし、親や教師、牧師が手本として示している習慣の害悪を、子供や若者に教えるにはどうしたらよいでしょうか。赤ちゃんからまだ抜け出していない小さな男の子がタバコを吸っているのを目にすることがあります。そのことについて話しかけると、彼らは「私の父はタバコを吸っています」と言います。彼らは牧師や日曜学校の監督を指して、「あの人がタバコを吸うのだから、私も同じように

しても何の害もありません」と言います。禁酒運動に携わる人の多くはタバコに依存しています。そのような人に、禁酒の進行を止める力などあるでしょうか。神の言葉を信じ従うと公言する人々に私は訴えます。キリスト教徒であるあなたは、知性を麻痺させ、永遠の現実を正しく評価する力を奪う習慣にふけることができますか？ 毎日、神に当然な奉仕を奪い、同胞から、あなたがなすべき奉仕と模範となる力を奪うことに同意できますか？

あなたは神の管理人として、自分の手にある財産に対する責任を考えたことがありますか。主のお金のうち、タバコにどれだけ費やしていますか。生涯で費やした金額を計算してみてください。この汚

れた欲望に消費した金額は、貧しい人々の救済と福音の普及のために捧げた金額と比べてどうでしょうか。

タバコを必要としている人間はいませんが、タバコを使うことで無駄遣いどころか、その手段がないため多くの人が死んでいます。あなたは神の財産を不正に利用していませんか？神と同胞に対して強奪の罪を犯していませんか？「あなたがたは知らないのか... あなたがたは自分自身のものではない。代価を払って買い取られたのだ。だから、神のものである自分の体と霊をもって、神の栄光を現しなさい。」コリント人への第一の手紙6:19、20。

酔わせる飲み物

「酒は人をあざける者、濃い酒は暴れまわる。

それに惑わされる者は知恵がない。」

「災いを患っている者は誰か。悲しみを患っている者は誰か。口論をしている人、むやみに話す人

、いわれのない

傷を負っている人は誰か。赤い

目をしている者は誰か。

酒を長く飲み続ける者、

混ぜ合わせた酒を求めに行く者。

酒が赤くなっているとき、

杯の中で色を帯びているとき、

正しく動いているとき、酒を見てはならない。

最後には蛇のように噛み、

蝮のように刺す。」

箴言 20:1; 23:29-32。

人間の手によって、酔わせる酒の犠牲者の墮落と奴隷状態をこれほど鮮明に描いたものはかつてなかった。魅了され、墮落した者は、たとえ自分の惨めさに目覚めても、その罠から抜け出す力がなく、「再びそれを求める」のである。35節。

[331]

酔っぱらいに麻薬が及ぼす悪影響を示すのに議論は不要です。ぼんやりして酔っぱらった人類の残骸、キリストが死なれた魂、天使が泣いている魂はどこにでもあります。彼らは私たちの自慢の文明の汚点です。彼らはすべての国の恥であり、呪いであり、危険です。

酔っぱらいの家庭に潜む惨めさ、苦惱、絶望を誰が想像できるだろうか。繊細に

育てられ、感受性が豊かで教養があり、洗練された妻が、酒で酔っぱらいや悪魔に変貌する夫と関係を持つことを考えてみてほしい。家庭での快適さ、教育、訓練を奪われ、誇りと守り手であるはずの夫に怯えながら暮らし、酒飲みの渴きという遺伝性の呪いを負い、恥辱の烙印を押し入れながら世に放たれる子供たちのことを考えてみてほしい。

酒の影響で毎日起こっている恐ろしい事故について考えてみてください。鉄道の列車に乗っている職員が信号を無視したり、命令を誤解したりします。列車が走り出すと衝突が起こり、多くの命が失われます。あるいは、汽船が座礁し、乗客と乗組員が水死します。調査してみると、重要な地位にある人が酒に酔っていた

ことがわかります。どの程度まで酒を飲んでも、人の命を託して差し支えないのでしょうか。完全に禁酒している場合のみ、その人は信頼できます。

より軽い中毒性物質

不自然な刺激物に対する食欲を受け継いだ人は、ワイン、ビール、サイダーを視界や手の届く範囲に置いてはいけません。なぜなら、常に誘惑にさらされるからです。甘いサイダーは無害だと考え、多くの人が気軽に購入しています。しかし、サイダーが甘いのはほんの短い間だけで、その後発酵が始まります。発酵によって得られる鋭い味は、多くの人々の味覚に受け入れられやすく、飲む人は、サイダーが固くなったり発酵したりしたことを認めたくないのです。

通常生産されている甘いサイダーでさえ、健康に害を及ぼす恐れがあります。顕微鏡で見たサイダーが、購入するサイダーにどのような影響を与えるかがわかれば、喜んで飲む人はほとんどいないでしょう。市場向けにサイダーを製造する人は、使用する果物の状態に注意を払わず、虫食いや腐ったリンゴの果汁を絞り出すことがよくあります。有毒で腐ったリンゴを他の方法で使用しようとは思わない人は、そのリンゴから作られたサイダーを飲み、贅沢品と呼びます。しかし、顕微鏡で見ると、このおいしい飲み物は、搾りたての新鮮な状態でも、まったく使用に適さないことがわかります。[この発言が 1905 年になされた当時、著者がここで説明した方法でサイダーを製造す

ることは一般的な方法でした。今日、食品の純度が管理されていない場所では、アップルサイダーを同じ方法で製造することができます。しかし、衛生的な条件で、良質で健康な果物を使用してサイダーが製造されている場合、明らかに異議は消えます。-出版社。]

ワイン、ビール、サイダーは、強い酒と同じように、実際に酔わせる効果があります。これらの酒を飲むと、強い酒への嗜好が目覚め、酒癖がつきます。適度な飲酒は、酔っぱらいのキャリアを積むための教育の場です。しかし、これらのより軽い刺激物の作用は非常に巧妙で、被害者が危険に気付く前に、酔いへの道に足を踏み入れてしまいます。

決して本当に酔っているとは思われない人の中には、常に軽い麻薬の影響下にある人もいます。彼らは熱っぽく、精神的に不安定で、バランスを崩しています。彼らは安全だと思い込んで、あらゆる障壁が破壊され、あらゆる原則が犠牲になるまで、ずっと酔い続けます。最も強い決意も崩れ、最も高い考慮も、墮落した食欲を理性で制御するのに十分ではありません。

聖書のどこにも、酔わせるワインの使用を容認する記述はありません。カナの婚宴でキリストが水から作ったワインは、純粋なブドウの果汁でした。これは「ぶどうの房の中にある新しいワイン」であり、聖書には「それを滅ぼしてはならな

い。そこには祝福がある」と記されています（イザヤ書 65:8）。

旧約聖書でイスラエルに「酒は人を惑わす者、濃い酒は人を怒らせる。これに惑わされる者は知恵がない」と警告したのはキリストでした。箴言 20:1。キリスト自身はそのような飲み物は提供しませんでした。サタンは理性を曇らせ、霊的な認識を麻痺させるような放縱に人を誘惑しますが、キリストは私たちに低次の性質を従わせるよう教えています。誘惑となるものを決して人の前に置きません。彼の全生涯は自己否定の模範でした。荒野での 40 日間の断食で、彼が私たちのために人類が耐えうる最も厳しい試練を受けたのは、食欲の力を断つためでした。バプテスマのヨハネにぶどう酒も濃い

酒も飲んでではないと指示したのはキリストでした。マノアの妻に同様の禁欲を命じたのもキリストでした。キリストは自身の教えに反することはありませんでした。彼が結婚式の客に提供した未発酵のぶどう酒は健康的でさわやかな飲み物でした。これは、私たちの救世主と弟子たちが最初の聖餐式で使ったワインです。救世主の血の象徴として、聖餐式のテーブルで常に使われるべきワインです。聖餐式は魂をリフレッシュし、生命を与えるために行われます。悪に働くようなものは一切聖餐式に関係してはなりません。

聖書、自然、理性が麻薬の使用に関して教えている事柄に照らして、どうしてクリスチャンはビール製造用のホップの栽

培や、市場向けのワインやサイダーの製造に従事できるのでしょうか。もし彼らが隣人を自分自身のように愛しているのなら、どうして隣人にとって罌となるものを彼の道に置くのを手伝うことができるのでしょうか。

多くの場合、飲酒は家庭で始まります。濃厚で不健康な食べ物を摂取すると、消化器官が弱まり、さらに刺激の強い食べ物への欲求が生じます。こうして食欲は、より強いものを絶えず渴望するように教育されます。刺激物を求める欲求はより頻繁になり、抵抗するのがより困難になります。体は多かれ少なかれ毒で満たされ、体が衰弱するほど、これらのものへの欲求は大きくなります。間違った方向への一歩は、別の道を用意します。テ

ーブルにワインやあらゆる種類のリキュールを置くような罪を犯していない多くの人は、強い酒への渴望を生じさせる食べ物テーブルに積み上げ、誘惑に抵抗することがほとんど不可能になります。間違った飲食習慣は健康を破壊し、酩酊状態への道を用意します。

社会を形成し形づくる若者に、禁酒に関する正しい原則を植え付けることができれば、禁酒運動の必要性はすぐになくなるでしょう。親たちは、子供たちに幼少期から従うように教えている原則に従って、家庭の暖炉のそばで禁酒運動を始めてください。そうすれば、成功が期待できます。

母親には、子供たちが正しい習慣と純粋な味覚を身につけられるよう助ける仕事

があります。食欲を育て、刺激物を嫌うことを子供たちに教えましょう。子供たちが周囲の悪に抵抗できるような道徳的忍耐力を持つように育てましょう。他人に左右されず、強い影響力に屈せず、他人に良い影響を与えるように教えましょう。

禁酒をなくすために多大な努力がなされているが、正しい点に向けられていない努力もたくさんある。禁酒改革の提唱者は、不健康な食品、調味料、 [335]紅茶、コーヒーの使用から生じる悪に目覚めるべきである。私たちはすべての禁酒活動家の成功を祈るが、彼らが戦う悪の原因をより深く調べ、改革に一貫して取り組むことを確信するよう呼びかける。

精神力と道徳力の適切なバランスは、肉体の適切な状態に大きく依存することを、人々に常に認識させておく必要があります。肉体を弱め、衰弱させる麻薬や不自然な刺激物はすべて、知性と道徳の調子を低下させる傾向があります。節制の欠如は、世界の道徳的墮落の根底にあります。倒錯した欲望にふけることで、人は誘惑に抵抗する力を失います。

禁酒改革者たちは、こうした分野の人々を教育する仕事があります。消耗したエネルギーを不自然な発作的な行動に刺激する覚醒剤の使用によって、健康、人格、さらには生命さえも危険にさらされるということを彼らに教えましょう。

お茶、コーヒー、タバコ、アルコール飲料に関しては、触れず、味わわず、扱わ

ないことが唯一の安全な方法です。お茶、コーヒー、および類似の飲料の傾向は、アルコール飲料やタバコと同じ方向であり、場合によっては、その習慣を断つのは、酔っぱらいが麻薬をやめるのと同じくらい難しいことです。これらの刺激物をやめようとする人は、しばらくの間、喪失感を感じ、それらなしでは苦しむでしょう。しかし、粘り強く続けることで、渴望を克服し、欠乏感を感じなくなります。自然は、受けた虐待から回復するのに少し時間がかかるかもしれませんが。しかし、チャンスを与えれば、自然は再び回復し、気高く、立派にその働きを果たすでしょう。 [336] [337]

第27章 酒類の取引と禁酒

「不義によって自分の家を建て、不正によって自分の部屋を建てる者は災いである。…『広い家と広い部屋を建てよう』と言って、窓をくりぬく。天井は杉材で張り、朱で塗る。あなたは杉材で囲んだからといって、王となれるのか。…あなたの目とあなたの心は、あなたの貪欲と、罪のない者の血を流すこと、抑圧と暴虐とを行うためだけに向けられている。」エレミヤ書 22:13-17。

酒屋の仕事

この聖句は、酔わせる酒を製造し販売する者の営みを描写しています。彼らの商売は強盗です。彼らが受け取ったお金は、何の見返りもありません。彼らが得た

お金が1ドル増えるごとに、浪費した者に呪いがもたらされます。

神は惜しみなく人々に祝福を与えてきました。神の賜物が賢明に使われたなら、世界は貧困や苦悩についてどれほど知ることもなかったことでしょう。神の祝福を呪いに変えるのは人間の邪悪さです。私たちの糧として与えられた穀物や果物は、利益への貪欲と食欲によって、悲惨と破滅をもたらす毒物に変わります。 [38]

毎年、何百万ガロンもの酔わせる酒が消費されています。何百万ドルもお金が、惨めさ、貧困、病気、墮落、欲望、犯罪、そして死を買うために費やされています。利益のために、酒屋は被害者に心と体を墮落させ破壊するものを売りつけ

ます。酒飲みの家族に貧困と惨めさをもたらすのです。

犠牲者が死んでも、ラム酒売りの強要は止まない。未亡人から金を奪い、子供たちを物乞いに連れ出す。夫や父親の酒代を払うために、困窮した家族から生活必需品を奪うこともためらわない。苦しむ子供たちの泣き声、苦悩する母親の涙は、彼を苛立たせるだけだ。苦しむ人々が飢えても、彼に何の関係があるというのか。彼らもまた墮落と破滅に追いやられても、彼に何の関係があるというのか。彼は破滅へと導いている人々のわずかな金で金持ちになるのだ。

売春宿、悪徳の巣窟、刑事裁判所、刑務所、救貧院、精神病院、病院、これらすべては、酒屋の仕事の結果、かなりの程

度まで満員になっている。黙示録の神秘的なバビロンのように、彼は「奴隷と人間の魂」を扱っている。酒屋の背後には、魂を破壊する強力な存在がおり、地上や地獄が考え出せるあらゆる術が、人間を彼の支配下に引き込むために使われている。都市や田舎、鉄道、大型蒸気船、商業施設、歓楽街、診療所、教会、聖餐のテーブルにさえ、彼の罠が仕掛けられている。麻薬への欲求を生み、促進するために、あらゆる手段が講じられている。ほとんどすべての街角に酒場があり、その明るい光と歓迎と陽気さで、労働者、裕福な怠け者、そして何も知らない若者を招いている。

プライベートな食堂やおしゃれなリゾートでは、女性たちに、何か気の利いた名

前で、実際には酔わせる飲み物が提供される。病人や疲れた人のために、 [339] 広く宣伝されているビターズがあるが、これは主にアルコールを含んでいる。

小さな子供たちにお酒を飲ませるために、お菓子にアルコールが混ぜられています。そのようなお菓子が店で売られています。そして、酒屋はこれらのキャンディーをプレゼントすることで子供たちを自分の店に誘い込みます。

日ごとに、月ごとに、年ごとに、仕事は続く。父や夫や兄弟、国の支えであり希望であり誇りである人々が、酒屋のたまり場へと着実に行き、破滅し、破滅した状態で送り返されている。

さらに恐ろしいことに、この呪いは家庭のまさに中心を襲っています。ますます

多くの女性が酒に溺れるようになっていきます。多くの家庭では、幼い子供たちが、無邪気で無力な赤ん坊の時期でさえ、酒に酔った母親の無視、虐待、下劣さによって日々危険にさらされています。息子や娘たちは、この恐ろしい悪の影の下で成長しています。彼らの将来は、両親よりもさらに落ちぶれること以外には考えられません。

いわゆるキリスト教の国から、呪いは偶像崇拝の地域に持ち込まれました。貧しく無知な未開人は酒の飲み方を教えられます。異教徒の間でさえ、知識のある人は酒を猛毒として認識し、反対しますが、彼らは酒の被害から自分たちの土地を守ろうとしましたが、無駄でした。文明人によって、タバコ、酒、アヘンが異教

徒の国に押し付けられます。未開人の制御不能な情熱は酒によって刺激され、知られざる墮落へと引きずり込まれ、これらの国に宣教師を送ることはほとんど絶望的な仕事になります。

神についての知識を与えてくれるはずの民族との接触を通じて、異教徒は部族や人種全体の破滅をもたらす悪徳に導かれています。そして、地球の暗い場所では、文明国の人々はこのために憎まれています。 [340]

教会の責任

酒類業界は世の中で大きな力を持っています。金銭、習慣、食欲を合わせた力を味方につけています。その力は教会にさえ感じられます。酒類取引で直接的または間接的に金を儲けた人々は、「良い、

定期的な」教会員です。彼らの多くは、一般の慈善団体に惜しみなく寄付しています。彼らの寄付は、教会の事業を支え、牧師たちを支えるのに役立ちます。彼らは金銭力に配慮する権利があります。そのような会員を受け入れる教会は、事実上、酒類取引を支えているのです。牧師は、正義を擁護する勇気をあまり持っていません。彼は、酒類販売人の仕事に関して神が言ったことを信徒に宣言しません。率直に話すことは、会衆を怒らせ、人気を犠牲にし、給料を失うことを意味します。

しかし、教会の法廷よりも上位にあるのは神の法廷です。最初の殺人者に「あなたの兄弟の血の声が地からわたしに叫んでいる」（創世記4:10）と宣言した神は

、酒屋の贈り物を祭壇に受け入れません。神の怒りは、罪を寛大さの装いで隠そうとする者たちに燃え上がります。彼らのお金は血に染まっています。呪いがかかっています。 [341]

「あなたたちがわたしに捧げる犠牲の多さは何のためなのか
と主は言われる。...

あなたたちがわたしの前に現れるとき、
わたしの庭を踏みつけるために誰があなたたちにこれを要求したのか。

もうむなしい供え物は持って来ないでくれ。...

あなたたちが手を広げても、
わたしはあなたたちから目を隠す。
そうだ、あなたたちが多くの祈りを捧げても、わたしは聞かない。

あなたたちの手は血で満ちているのだ。

」

イザヤ書 1:11-15。

酔っぱらいはもっと良いことができる。彼は神を敬い、世界を祝福する才能を託されている。しかし、彼の仲間は彼の魂に罟を仕掛け、彼の墮落によって自らを高めた。彼らは贅沢に暮らし、彼らが奪った貧しい犠牲者は貧困と惨めさの中で暮らした。しかし神は、酔っぱらいを破滅に導くのを助けた者の手からこれを要求するだろう。天を統べる者は、酔いの第一の原因も最終結果も見失ってはいない。雀を気にかけて、野の草を着せる者は、神自身の姿に形作られ、神自身の血で買い取られた者たちを通り過ぎたり、彼らの叫びに耳を貸さなかったりはしない

。神は、犯罪と悲惨を永続させるこのすべての邪悪さに注目している。

世間や教会は、人間の魂を墮落させることで富を得た男を承認するかもしれない。彼らは、人々を恥と墮落の道に一歩ずつ導く男に微笑むかもしれない。しかし、神はそれをすべて見て、正当な裁きを下す。酒売りは、世間から良いビジネスマンと呼ばれるかもしれない。しかし、主は「彼は災いである」と言われる。彼は、酒類取引によって世界にもたらされた絶望、悲惨、苦しみの責任を負わされる。彼は、食べ物や衣服や住居に苦しみ、すべての希望と喜びを葬り去った母親と子供たちの欠乏と悲嘆に対して責任を負わなければならない。彼は、準備ができていないまま永遠の世界に送った魂に

対して責任を負わなければならない。そして、酒売りの仕事を支える人々は、彼の罪を共有する者である。彼らに対して神は「あなた方の手は血に満ちている」と言われる。

ライセンス法

酒類販売の許可は飲酒の悪弊を抑制するのに役立つと多くの人が主張しています。しかし、販売の許可は酒類を法律の保護下に置くことになります。政府は酒類の存在を認可し、規制すると公言している悪弊を助長しています。許可法の保護の下、醸造所、蒸留所、ワイナリーが全国各地に設立され、酒類販売業者は私たちのすぐそばで仕事をしています。

酒に酔っている人や常習的な酒飲みであることが知られている人に酒類を売るこ

とはしばしば禁じられているが、若者を酒飲みに仕立てる作業は着々と進んでいる。若者に酒への欲求を植え付けることに、酒類販売の存続そのものがかかっている。若者は一步一步誘導され、酒の習慣が確立され、どんな犠牲を払ってでも満足を求める渇きが生み出される。常習的な酒飲みに酒を与えることは、ほとんどの場合、破滅がすでに決まっているが、この恐ろしい習慣によって私たちの青春の花が破滅に誘い込まれるのを許すよりも、害が少ないだろう。

酒類販売の許可により、更生しようとしている人々の前に誘惑が絶えず突きつけられている。飲酒の犠牲者がその欲求を克服するのを助ける施設が設立された。これは立派な仕事であるが、酒類の販売

が法律で認可されている限り、飲酒者は酒類精神病院からほとんど恩恵を受けられない。彼らはずっとそこに留まることはできない。彼らは再び社会の中で自分の地位を取り戻さなければならない。酔わせる飲み物への欲求は抑えられても完全には破壊されない。そして誘惑があらゆるところで彼らを襲うとき、彼らはあまりにも簡単に餌食になってしまうことが多い。

凶暴な動物を飼っていて、その性質を知りながら自由にさせておいた人は、その国の法律によって、その動物が引き起こす悪事に対して責任を負わなければなりません。イスラエルに与えられた法律では、主は凶暴であると知られている動物が人間の死を引き起こした場合、その所

有者の不注意や悪意の代償は所有者の命で払うべきであると指示しました。同じ原則で、酒類販売業者に免許を与える政府は、その取引の結果に対して責任を負わなければなりません。凶暴な動物を自由にすることが死に値する犯罪であるなら、酒類販売業者の仕事を認可することはどれほどの犯罪でしょう。

免許は、国庫に収入をもたらすという口実で与えられる。しかし、酒類販売の果実である犯罪者、狂人、貧困者に課せられた莫大な費用に比べれば、この収入は大したものではない。酒に酔った男が罪を犯すと、彼は法廷に召喚され、販売を合法化した者は自らの行いの結果に対処せざるを得なくなる。彼らは正気の間人を狂わせる薬の販売を許可した。そして

今や、彼らは男を刑務所か絞首台に送る必要があり、その一方で、彼の妻や子供たちは貧困に陥り、彼らが住む地域社会の負担となることが多い。

問題の金銭面だけを考えれば、このようなビジネスを容認するのはなんと愚かなことか！しかし、人間の理性の喪失、人間の中の神のイメージの汚損と変形、貧困と墮落に陥った子供たちの破滅、そして酔っぱらいの父親の邪悪な傾向を子供たちに永続させることを、どんな収入で補うことができるだろうか？

禁止

麻薬を使用する習慣を身につけた人は絶望的な状況に陥っています。脳は病み、意志の力は弱まっています。彼自身の力に関する限り、彼の食欲は制御不能です

。彼を説得したり、自分を否定するように説得したりすることはできません。悪徳の巣窟に引き込まれ、飲酒をやめようと決心した人は再びグラスをつかむよう導かれ、麻薬を初めて味わった瞬間にすべての善意が打ち負かされ、意志の痕跡がすべて破壊されます。狂気の酒を一度味わっただけで、その結果についてのすべての考えが消え去ります。悲嘆に暮れる妻は忘れられます。墮落した父親は、子供たちが空腹で裸であることをもはや気にしません。取引を合法化することで、法律は魂の墮落を容認し、世界を悪で満たす取引を止めることを拒否します。こうしたことはこれからもずっと続くのでしょうか。魂は常に、誘惑の扉が目の前に大きく開かれた状態で、勝利のため

に奮闘しなければならないのでしょうか。無節制の呪いは、文明世界に永遠に災いとして降りかかるのでしょうか。それは毎年、何千もの幸せな家庭を焼き尽くす火のように襲い続けるのでしょうか。岸辺で船が難破したとき、[345]人々はただ黙って見ているわけではありません。彼らは命をかけて、水死に瀕した男女を救出しようとしめます。酔っぱらいの運命から救出するには、どれほどの努力が求められることでしょう。

酒売りの仕事によって危険にさらされるのは酔っ払いとその家族だけではありませんし、酒売りの仕事が社会にもたらす最大の悪は税金の負担だけではありません。私たちはみな人類という網の中に織り合わされています。偉大な人類の同胞

のどこかに降りかかる悪は、全員に危険をもたらします。

利己的または安楽な生活を求めて、酒類の取引の規制にはまったく関わりを持たない多くの男たちが、その取引が自分にも関係していることに気付くのは遅すぎた。自分の子供が酒に溺れ、破滅するのを見てきた。無法が横行する。財産が危険にさらされる。生活は危険だ。海上および陸上での事故が増加する。汚物と惨めさのたまり場で繁殖する病気は、高貴で豪華な家にも侵入する。放蕩と犯罪の子供たちによって育まれた悪徳は、洗練された教養ある家庭の息子や娘に感染する。

酒類の取引によって自分の利益が危険にさらされない人はいない。自分自身の安

全を守るために、酒類の取引を破壊しようとしなない人はいない。

世俗的な利益のみに関係する他のすべての場所よりも、立法府と法廷は飲酒の呪縛から自由でなければならない。知事、上院議員、下院議員、裁判官、国の法律を制定し施行する人々、仲間の生命、名誉、財産を握っている人々は、厳格な飲酒者でなければならない。そうして初めて、彼らは正しいことと悪いことを区別できるほど明晰な心を持つことができる。そうして初めて、彼らは信念を堅固に持ち、正義を執行し慈悲を示す知恵を持つことができる。しかし、記録はどうなっているだろうか。これらの人々の何人が強い酒で心を曇らせ、善悪の感覚を混乱させているだろうか。立法者、証人、

陪審員、弁護士、さらには裁判官の飲酒の不正により、何人の抑圧的な法律が制定され、何人の無実の人々が死刑を宣告されたことか。「酒を飲む力のある者」や「強い酒を混ぜる力のある者」、そして「悪を善と呼び、善を悪と呼ぶ者」が多くいます。彼らは「報酬のために悪人を正当化し、義人の正義を奪い取る者」です。そのような者について神はこう言っています。

「彼らは災いを受ける。
火が刈り株を焼き尽くし、
炎がもみ殻を焼き尽くすよう
に、彼らの根は腐り、
彼らの花は塵のように舞い上がる。
彼らは万軍の主の律法を捨て
、

イスラエルの聖なる者の言葉を軽んじたからだ。」

イザヤ書5:22-24。

神の名誉、国家の安定、地域社会、家庭、個人の幸福のためには、国民を飲酒という悪に目覚めさせるためにあらゆる努力を払う必要がある。間もなく、私たちは今見ていないようなこの恐ろしい悪の結末を見ることになるだろう。誰が断固たる努力で破壊の業を阻止するだろうか？ 戦いはまだ始まったばかりだ。人々を狂わせている薬物入りの酒類の販売を止めるために軍隊を結成しよう。酒類取引の危険性を明らかにし、その禁止を求め、世論を生み出そう。酒で狂った人々に、その奴隷状態から逃れる機会を与えよ

う。国民の声で、この悪名高い取引を止めるよう立法者に要求しよう。

「もしあなたが、死に引きずり込まれている者、

殺されようとしている者を救い出すことを怠り、

もしあなたが、『見よ、私たちはそれを知らなかった』と言うなら、

心を見定める方はそれを悟られないだろうか。

あなたの魂を守る方は、それを知らないだろうか。」

そして、「神があなたを罰するとき、あなたは何と言うだろうか。」

箴言24:11, 12; エレミヤ13:21。 [347]

ホーム

[348]

「人生は親と子が神の住まいにある高等学校へ卒業するための訓練学校である。

」 [349]

第28章 内務省

人間性の回復と向上は家庭から始まります。親の働きは他のすべての働きの根底にあります。社会は家族で構成され、家族の長が作り出すものです。心から「命の源」が生まれます（箴言 4:23）。そして、地域社会、教会、そして国家の中心は家庭です。社会の幸福、教会の成功、国家の繁栄は、家庭の影響にかかっています。

家庭生活の重要性と機会は、イエスの生涯に例証されています。私たちの模範と教師となるために天から来られたイエスは、ナザレの家族の一員として30年間を過ごしました。この期間に関する聖書の記録は非常に短いものです。群衆の注目

を集めた強力な奇跡はありませんでした。熱心な群衆がイエスの足跡をたどったり、イエスの言葉に耳を傾けたりすることはありませんでした。しかし、このすべての年月の間、イエスは神聖な使命を果たしていました。イエスは私たちと同じく家庭生活を送り、その規律に従い、義務を果たし、重荷を負いました。質素な家庭の保護を受け、私たちと共通の運命を経験することで、イエスは「知恵が増し、背丈も伸び、神と人から愛された」のです。ルカ2:52。 [350]

こうした隠遁生活の間、イエスの人生は同情と助け合いの流れとなっあふれ出していた。イエスの無私と忍耐、勇気と誠実さ、誘惑への抵抗、尽きることのない平穏と静かな喜びは、常に人々を鼓舞す

るものであった。イエスは家庭に純粹で心地よい雰囲気をもたらし、イエスの人生は社会の諸要素の中で働くパン種のようにであった。イエスが奇跡を起こしたと言う者は誰もいなかったが、誘惑された人々、病人、落胆した人々に、イエスの徳、すなわち愛の癒しと命を与える力が注がれた。イエスは幼少のころから、目立たないように他の人々に奉仕し、そのため、公の宣教活動を始めたとき、多くの人が喜んでイエスの教えに耳を傾けた。

救い主の幼少時代は、若者にとって単なる模範ではありません。それはすべての親にとって教訓であり、励ましとなるべきです。家族や近所の義務の輪は、同胞の向上のために働く人々にとって、まさ

に最初の努力の分野です。家庭の創設者や守護者に委ねられた努力の分野ほど重要な分野はありません。人間に託された仕事の中で、父親と母親の仕事ほど偉大で広範囲にわたる結果をもたらす仕事はありません。

社会の将来は今日の若者と子供たちによって決定され、これらの若者と子供たちがどうなるかは家庭にかかっています。人類を悩ませている病気、悲惨、犯罪の大部分は、家庭での正しい教育の欠如に起因する可能性があります。家庭生活が純粹で誠実であれば、そして家庭から出た子供たちが人生の責任と危険に立ち向かう準備ができていれば、世界にはどんな変化が見られることでしょう。

悪習慣の犠牲者を更生させるための事業や機関では、多大な努力が払われ、時間とお金と労力がほとんど無限に費やされています。しかし、これらの努力でさえ、大きな必要性を満たすには不十分です。しかし、結果はなんと小さいのでしょうか。永久に改心した人はなんと少ないのでしょうか。

多くの人々はより良い生活を望んでいますが、習慣の力から抜け出す勇気と決意が欠けています。彼らは要求される努力と闘争と犠牲を恐れ、彼らの生活は破滅し、台無しになります。このように、最も聡明な心を持ち、高い志と高貴な力を持ち、本来は信頼と責任のある地位に就くのに適性があり、教育を受けた人々で

さえ、この世と来世で墮落し、失われて
しまいます。

改心した者にとって、男らしさを取り戻
すための苦闘はなんと苦しいことか！そ
して、生涯を通じて、崩れた体質、揺ら
ぐ意志、損なわれた知性、弱まった魂の
力の中で、多くの人が自ら蒔いた悪の実
を刈り取ることになる。もし悪が最初か
ら対処されていれば、どれほど多くのこ
とが達成できたことだろう！

この仕事は、大部分において親の責任で
ある。社会の組織を癌のように蝕んでい
る無節制やその他の悪の進行を食い止め
るためになされる努力において、子供の
習慣や性格を形成する方法を親に教える
ことにもっと注意が払われれば、百倍も
良い結果がもたらされるだろう。習慣は

悪の力として非常に恐ろしいが、親にはそれを善の力に変える力がある。親はその源泉の流れに関係しており、それを正しく導くのは親の責任である。

親は、子供たちに健康で幸せな生活の基盤を築くことができます。誘惑に抵抗する道徳的忍耐力と、人生の問題にうまく対処する勇気と強さを身につけさせて、子供たちを家から送り出すことができます。親は子供たちに目的意識を植え付け、人生を神に栄誉をもたらし、世界に祝福をもたらす力をつけることができます。親は子供たちが太陽の光と影を通り抜けて、上空の栄光の高みへと向かうまっすぐな道を作ることができます。

家庭の使命は、その家庭の構成員だけに及ぶものではありません。クリスチャン

の家庭は、人生の真の原則の素晴らしさを示す実例となるべきです。そのような実例は、世の中に善をもたらす力となるでしょう。真の家庭が人の心と生活に与える影響は、どんな説教よりもはるかに強力です。若者がそのような家庭から出ていくとき、彼らが学んだ教訓が伝えられます。より崇高な人生の原則が他の家庭に紹介され、地域社会に高揚をもたらす影響が働きます。

、私たちの家庭が祝福となるべき人々は大勢います。私たちの社交行事は、世俗的な慣習の命令ではなく、キリストの精神[353]と御言葉の教えに従うべきです。イスラエル人は、すべての祝祭に、貧しい人、旅人、聖所の祭司の助手であり、宗教の教師で宣教師でもあったレビ人を

含めました。彼らは人々の客とみなされ、社交的、宗教的な喜びのあらゆる機会に歓待を受け、病気や困窮時には優しく世話されました。このような人々を私たちは家に迎え入れるべきです。そのような歓迎は、宣教師の看護婦や教師、介護に追われて働き者の母親、あるいは、しばしば家もなく貧困や多くの落胆と闘っている虚弱な老人を元気づけ、励ますのにどれほど役立つことでしょう。

「あなたが晩餐や夕食を設けるときには、友人や兄弟、親族、金持ちの隣人たちを呼ぶな。彼らもあなたを招き、報酬を請求されることのないように。しかし、あなたが宴会を設けるときには、貧しい人、体の不自由な人、足の不自由な人、目の見えない人を呼びなさい。そうすれ

ば、あなたは祝福される。彼らはあなたに報酬を与えることができないからである。あなたは、義人の復活のときに報酬を受けるからである。」ルカ14:12-14。

これらは、あなたがたが迎え入れるのに大きな負担を負うことのない客人です。彼らに手の込んだ、あるいは高価な娯楽を提供する必要はありません。見せびらかすために努力する必要もありません。温かな歓迎、炉辺の席、自宅の食卓の席、祈りの時間の祝福を分かち合う特権は、これらの多くにとって天国を垣間見るようなものでしょう。

私たちの共感は、自分自身の境界や家族の壁の囲いを超えなければなりません。自分の家庭を他の人々にとって祝福となるものにする人には、貴重な機会があり

ます。社会的影響力は素晴らしい力です。私たちは、その力を利用して、周囲の人々を助けることができます。

誘惑に負けた若者にとって、家庭は避難場所であるべきです。道の分岐点に立つ若者は大勢います。あらゆる影響、あらゆる印象が、この世と来世の両方で彼らの運命を形作る選択を決定づけています。悪が彼らを誘います。その避難所は明るく魅力的です。訪れる者すべてを歓迎します。私たちの周りには、家を持たない若者がいます。そして、助けになる、元気づけてくれる力のない家にいる若者も多く、若者は悪へと流れていきます。彼らはまさに私たちの家のすぐそばで破滅に向かっていきます。

これらの若者には、共感の手を差し伸べる必要がある。優しい言葉をただ口にし、ちょっとした気遣いをするだけで、魂に集まる誘惑の雲を一掃できる。天から生まれた共感の真の表現には、キリストのような言葉の香りと、キリストの愛の精神のシンプルで繊細なタッチを必要とする心の扉を開く力がある。もし私たちが若者に関心を示し、彼らを家に招き、彼らを元気づける助けとなる影響力で取り囲むなら、喜んで上向きの道へと歩みを変える人はたくさんいるだろう。

人生のチャンス

この世に生きる時間は短い。この世を一度しか生きられない。生きていく間、人生を最大限に楽しもう。私たちが召されている仕事には、富や社会的地位や優れ

た能力は必要ない。必要なのは、親切で自己犠牲的な精神と、確固とした目的だ。どんなに小さなランプでも、着実に燃え続ければ、他の多くのランプを灯す手段となるかもしれない。私たちの影響力は狭く、能力は小さく、機会は少なく、習得したものは限られているように思えるかもしれない。しかし、自分の家庭の機会を忠実に利用すれば、素晴らしい可能性が手に入る。心と家庭を人生の神聖な原則に開くなら、私たちは命を与える力の流れの導管となるだろう。私たちの家庭からは、今は不毛で欠乏しているところに、生命と美と豊穡をもたらす癒しの流れが流れ出るだろう。 [356]

第29章 家を建てる人々

アダムに助け手としてイブを与えた神は、結婚の祝祭で最初の奇跡を起こしました。友人や親族が共に喜ぶ祝祭の場で、キリストは公の宣教活動を開始しました。こうして、キリストは結婚を認可し、それを自らが確立した制度として認めました。男性と女性が神聖な結婚で結ばれ、家族を育て、その家族のメンバーが栄誉の冠を授かり、上位の家族の一員として認められるように決めました。

キリストは結婚関係を、彼と彼の救われた者たちとの結びつきの象徴とすることで、その関係を尊びました。彼自身が花婿であり、花嫁は教会であり、その教会に選ばれた者として、彼はこう言います

。「わが愛する者よ、あなたは全く美しく、あなたには汚れはない」（雅歌 4:7）。

キリストは「教会を愛し、そのためにご自身をささげられた。それは、教会を聖別し、清めるためである。・・・それは、教会を聖く、傷のないものにするためである。」 「そのように、男性も妻を愛すべきである。」 エペソ人への手紙5:25-28。

家族のきずなは、地上のどんなきずなよりも、最も親密で、最も優しく、最も神聖なものです。それは人類への祝福となるように意図されたものです。そして、結婚の契約が賢明に、神を畏れ、その責任を十分に考慮して締結されるところはどこでも、それは祝福なのです。

結婚を考えている人は、自分たちが築こうとしている家庭の性格と影響力がどのようなものになるかを考えるべきです。親になると、神聖な信託が彼らに託されます。この世での子供たちの幸福と来世での幸福は、彼らに大きく左右されます。子供たちが受ける肉体的、道徳的な印は、彼らによって大きく左右されます。そして、家庭の性格によって社会の状態が左右されます。各家庭の影響の重さが、上向きか下向きかの尺度で表されます。

人生の伴侶の選択は、親と子の肉体的、精神的、霊的な幸福を最も確実に保証するものでなければなりません。親と子が共に同胞を祝福し、創造主を敬えるような選択です。

結婚に伴う責任を引き受ける前に、若い男性と若い女性は、結婚に伴う義務と負担に備えるための実生活の経験を積むべきです。早婚は奨励されるべきではありません。結婚のように非常に重要で、その結果が広範囲に及ぶ関係は、十分な準備もせず、精神的および肉体的力が十分に発達する前に、性急に始めるべきではありません。

当事者は世俗的な富を持っていないかもしれませんが、健康というはるかに大きな恵みは持っているべきです。そしてほとんどの場合、年齢に大きな差があってはなりません。この規則を無視すると、年下の方のほうが健康を著しく損なう結果になることがあります。そして、多くの場合、子供たちは肉体的および精神的

な力を奪われます。年老いた親からは、若い命に必要な世話や仲間を得ることができません。そして、愛と指導が最も必要なときに、父親または母親が亡くなることで、その恩恵を奪われるかもしれません。

結婚の絆が安全に結ばれるのはキリストにおいてのみです。人間の愛は神の愛から最も密接な絆を結ぶべきです。キリストが支配するところのみ、深く真実で利他的な愛情が存在するのです。

愛はイエスから受けた貴重な賜物です。純粹で神聖な愛情は感情ではなく、原則です。真の愛に動かされている人は、理不尽でも盲目でもありません。聖霊に教えられて、彼らは神を最も愛し、隣人を自分自身のように愛します。 [359]

結婚を考えている人は、人生の運命を共にする相手について、あらゆる感情を吟味し、あらゆる性格の発達を観察しましょう。結婚への一歩一歩が、謙虚さ、素朴さ、誠実さ、そして神を喜ばせ敬うという真摯な目的によって特徴づけられるようにしましょう。結婚は、この世と来世の両方の来世に影響を及ぼします。誠実なクリスチャンは、神が承認できない計画は立てません。

神を畏れる両親に恵まれているなら、彼らに助言を求めてください。あなたの希望や計画を彼らに打ち明け、彼らの人生経験から学んだ教訓を学んでください。そうすれば、多くの心痛から救われるでしょう。何よりも、キリストをあなたの

助言者としてください。祈りをもって神の言葉を学びましょう。

このような指導のもと、若い女性は、純粹で男らしい性格の持ち主、勤勉で向上心があり正直な人、神を愛し畏れる人だけを人生の伴侶として受け入れるべきです。若い男性は、自分の人生の重荷を担うのにふさわしい人、その影響で自分を高貴で洗練させてくれる人、そして愛で幸せにしてくれる人を傍らに求めるべきなのです。

「賢い妻は主から来る。」 「夫の心は彼女に信頼を置く。…彼女は一生夫に善を行い、悪を行わない。」 「彼女は口を開いて知恵を説き、その舌には慈悲の教えがある。彼女は自分の家のやり方をよく守り、怠惰の糧を食べない。彼女の子供

たちは立ち上がって彼女を祝福し、夫もまた彼女をほめたたえる。」 「多くの娘が徳を積んでいるが、あなたはそのすべてにまさっている。」 このような妻を得た者は「良いものを見つけ、主の恵みを得る。」 箴言 19:14; 31:11, 12, 26-29 ; 18:22。

結婚がどんなに慎重に、賢明に行われたとしても、結婚式が執り行われた時点で完全に結ばれるカップルはほとんどいません。結婚した二人の本当の結びつきは、その後の数年間に成し遂げられるものです。

困惑と心配という重荷を背負った生活が新婚のカップルに降りかかると、結婚生活に想像力がしばしば与えるロマンスは消え失せてしまう。夫と妻は、以前の交

際では知り得なかったような互いの性格を知り合う。これは彼らの経験の中で最も重要な時期である。彼らの将来の全生涯の幸福と有用性は、今正しい道を歩むことにかかっている。彼らはしばしば、互いの中に思いもよらなかった弱点や欠点を見出す。しかし、愛が結んだ心は、これまで知られていなかった長所も見出す。欠点よりも長所を見出すよう皆が努めよう。しばしば、私たち自身の態度、私たちを取り巻く雰囲気、他人の中に何が明らかになるかを決定する。愛情表現を弱点とみなし、他人を遠ざけるような控えめな態度をとる人が多い。この精神は同情の流れを阻む。社交的で寛大な衝動が抑圧されると、それらは萎え、心は荒涼として冷たくなる。私たちはこの

誤りに用心すべきである。愛情は表現なしには長く存在できない。あなたと関係のある人の心が、優しさと同情の欠如によって飢えさせられることのないようにしてください。

困難、困惑、落胆が起こったとしても、夫も妻も、自分たちの結婚が間違いだったとか、失望だったなどという考えを抱かないように。お互いにできる限りのことをしようと決意しなさい。初期の関心が続けて、人生の戦いで戦うにあたって、あらゆる方法でお互いを励まし合いなさい。お互いの幸福を増進するために努力しなさい。お互いに愛し合い、お互いに忍耐し合いなさい。そうすれば、結婚は愛の終わりではなく、愛の始まりそのものとなるでしょう。真の友情の温かさ

、心と心を結びつける愛は、天国の喜びの前触れです。 [361]

どの家庭にも、決して破られることのない神聖な輪があります。この輪の中に他人が入る権利はありません。夫も妻も、自分だけに属する秘密を他人に漏らしてはいけません。

愛を求めるのではなく、愛を与えましょう。自分自身の最も高貴なものを育み、お互いの良い性質を素早く認識しましょう。評価されているという意識は素晴らしい刺激と満足感です。共感と尊敬は卓越性を求める意欲を刺激し、愛はより高貴な目標への刺激として増大します。

夫も妻も、自分の個性を相手の個性と融合させてはいけません。それぞれが神と個人的な関係を持っています。それぞれ

が神に「何が正しいのか」「何が間違っているのか」「人生の目的を最もよく果たすにはどうしたらよいのか」と問うべきです。あなたのために命を捧げてくださった神に、あなたの愛情の豊かさを注ぎ出してください。キリストをすべてのことにおいて最初で最後、そして最善としてください。キリストへの愛が深まり強くなるにつれて、お互いへの愛も浄化され、強められるでしょう。

キリストが私たちに対して示す精神は、夫と妻がお互いに対して示すべき精神です。「キリストも私たちを愛して下さったように」「愛をもって歩みなさい」「教会がキリストに服従しているように、妻もすべてのことにおいて夫に従いなさい。夫たちよ。キリストが教会を愛して

そのためにご自身をお与えになったように、妻を愛しなさい。」エペソ5:2、24、25。

夫も妻も、相手を恣意的に支配しようとすべきではありません。相手に自分の望みをかなえるよう強要してはいけません。そうすることで、お互いの愛を保つことはできません。親切で、忍耐強く、寛容で、思いやりがあり、礼儀正しくありましょう。神の恵みによって、結婚の誓いに誓ったように、お互いを幸せにすることが出来ます。 [362]

無私の奉仕における幸福

しかし、幸福は、自分自身に閉じこもり、お互いに愛情を注ぎ合うことで満足しているだけでは得られないということを覚えておいてください。周りの人々の幸

福に貢献するあらゆる機会をつかんでください。真の喜びは、利他的な奉仕の中にのみ得られるということを覚えておいてください。

忍耐と無私無欲は、キリストにあって新しい人生を生きるすべての人の言葉と行動の特徴です。キリストの人生を生きようと努め、自己と利己心を克服し、他人の必要に応えようと努めるなら、勝利を重ねるでしょう。こうして、あなたの影響力は世界を祝福するでしょう。

男性も女性も、キリストを助け手として受け入れるなら、神の理想に到達することができます。人間の知恵ではできないことを、神の恵みは、愛の信頼をもって神に身を委ねる人々のために成し遂げます。神の摂理は、天国に由来する絆で心

を結び付けることができます。愛は、単に優しくお世辞を言う言葉のやり取りではありません。天国の織機は、地上の織機で織ることができるものよりも、より細かく、よりしっかりとした縦糸と横糸で織っています。その結果、薄手の織物ではなく、摩耗や試練や試練に耐える織物が生まれます。心は、永続する愛の黄金の絆で結ばれるのです。

暖炉のそばで慈善活動を行う人々が集まる

平和な家庭です

。母や姉妹、妻によって神聖な愛の神殿と人生の天国です。

その家庭がどんなに質素であっても、あるいは天の定めによって悲しみに見舞われていても、

決して売買されず、そこに中心を置く祝
福は
、金よりも価値があるのです。

匿名[363]

第30章 家の選択と準備

福音は人生の問題を驚くほど簡単にしてくれます。その教えに耳を傾ければ、多くの困惑が明らかになり、多くの誤りから救われます。福音は、物事を真の価値で評価し、最も価値のあるもの、つまり永続するものに最大限の努力を払うように教えてくれます。この教訓は、住まいを選ぶ責任を負っている人たちに必要なものです。彼らは最高の目的から逸脱してはなりません。地上の住まいは天国の住まいの象徴であり、そのための準備であるということを忘れないようにしましょう。人生は訓練学校であり、親と子はそこから神の住まいにある高等学校へと卒業します。住まいの場所を探すときは

、この目的に従って選択してください。富への欲求、流行の命令、社会の慣習に左右されないでください。簡素さ、純粹さ、健康、そして真の価値に最もつながるものを考えてください。

世界中で、都市は悪徳の温床になりつつあります。あらゆるところに悪の光景と音があふれています。いたるところに官能と放蕩の誘惑があります。腐敗と犯罪の波は絶えず高まっています。毎日、強盗、殺人、自殺、そして名状しがたい犯罪など、暴力の記録が生まれています。

[364]

都市生活は偽りで不自然です。金儲けへの激しい情熱、興奮と快樂の追求の渦、見せびらかしへの渴望、贅沢と浪費、これらすべてが、人類の大多数とともに、

人生の真の目的から人々の心を逸らす力となっ
ています。それらは、無数の悪への扉を開いて
います。それらは若者に対して、ほとんど抵抗
できない力を持っています。

都市の子供や若者を襲う最も巧妙で危険な誘惑の一つは、快楽への愛着です。休日は数多くあり、ゲームや競馬には何千人もの人が集まり、興奮と快楽の渦に引き寄せられて、彼らは人生の地味な義務から離れてしまいます。より良い用途のために貯めておくべきお金が、娯楽のために浪費されてしまいます。

トラストの活動、労働組合やストライキの結果、都市での生活条件はますます困難になっています。深刻な問題が私たちの前に立ちはだかっており、多くの家族

にとって都市からの移転は必須となるでしょう。 [365]

都市の物理的な環境は、しばしば健康にとって危険です。病気に常にさらされる危険性、汚れた空気、不浄な水、不浄な食物の蔓延、混雑した暗い不健康な住居など、遭遇する多くの悪影響の一部です。

人々が都市に密集し、テラスハウスや長屋に密集することは、神の意図ではありませんでした。初めに神は、今日私たちが喜ぶことを願う美しい光景と音の中に私たちの最初の両親を置きました。私たちが神の当初の計画に近づくほど、体、心、魂の健康を確保するのに有利な立場になります。

高価な住居、手の込んだ家具、見せかけ、贅沢、安楽は、幸福で有益な人生に不可欠な条件を提供しません。イエスは、人類史上最大の仕事を成し遂げるためにこの地上に来ました。イエスは神の使者として、人生で最高の結果を得るためにどのように生きるべきかを私たちに示すために来ました。無限の父が御子のために選んだ条件とは何でしょうか。ガリラヤの丘陵地帯の人里離れた家、正直で自尊心のある労働で支えられた家庭、質素な生活、困難や苦難との日々の闘い、自己犠牲、儉約、忍耐強く喜ばしい奉仕、聖書の巻物を開いて母親の傍らで学ぶ時間、緑の谷間の夜明けや夕暮れの静けさ、自然の神聖な奉仕、創造と摂理の研究

、そして魂と神との交わり、これらがイエスの幼少期の条件と機会でした。

あらゆる時代の最も優秀で高貴な人々の大多数も同様です。アブラハム、ヤコブ、ヨセフ、モーセ、ダビデ、エリシャの歴史を読んでください。信頼と責任の地位を最もふさわしく果たした、後の時代の人々、世界の向上に最も効果的な影響を与えた人々の生涯を研究してください。

田舎の家で育った人はどれほどいたことでしょうか。贅沢をほとんど知りませんでした。青春時代を娯楽に費やすこともありませんでした。貧困と苦難との闘いを強いられた人も大勢いました。彼らは早くから働くことを学び、屋外での活動的な生活は彼らのすべての能力に活力と柔

軟性を与えました。自分の力に頼らざるを得なかったため、彼らは困難と闘い、障害を克服することを学び、勇気と忍耐力を身につけました。彼らは自立と自制の教訓を学びました。彼らは悪との交際からかなり守られ、自然の喜びと健全な交際で満足していました。彼らの趣味は単純で、習慣は節度がありました。彼らは原則に従って行動し、純粹で強く誠実に成長しました。彼らは生涯の仕事に呼ばれると、肉体的および精神的な力、精神的な活力、計画と実行の能力、悪に抵抗する不屈の精神をそれに持ち込み、それが彼らを世界にとっての善のための積極的な力にしました。

あなたが子供たちに与えることのできるどんな財産よりも、健康な体、健全な精

神、高潔な性格の贈り物の方が大切です。人生の真の成功とは何かを理解している人は、賢明な人になるでしょう。彼らは家を選ぶ際に、人生で最も良いものを念頭に置くでしょう。

人間の作品しか見られない場所、光景や音がしばしば邪悪な考えを連想させる場所、騒乱や混乱が疲労と不安をもたらす場所に住む代わりに、神の作品を見ることが出来る場所に行きなさい。自然の美しさ、静けさ、平和の中に心の安らぎを見つけなさい。緑の野原、林、丘に目を留めなさい。都会のほこりや煙に遮られない青い空を見上げ、天国の爽快な空気を吸いなさい。都会生活の気を散らしたり放蕩したりすることから離れ、子供たちに親しく接し、神の作品を通して神に

ついて学ぶように教え、誠実で役に立つ人生を送るよう訓練できる場所に行きなさい。

家具のシンプルさ

私たちの人工的な習慣は、多くの恵みと多くの楽しみを奪い、最も有益な生活を送るのに適さないものになっています。精巧で高価な家具は、お金の無駄であるだけでなく、それより千倍も貴重なものの無駄でもあります。それらは、家庭に心配と労力と困惑という重い負担をもたらします。

資源が限られ、家事労働が主に母親にかかっている家庭では、どのような状況になっているのでしょうか。最も良い部屋でも、住人の経済力を超えたスタイルで、便利で楽しいものに適さない家具が置か

れています。高価なカーペット、精巧に彫刻され、優美に装飾された家具、繊細なカーテンがあります。テーブル、炉棚、その他の利用可能なスペースはすべて装飾品でいっぱい、壁は絵画で覆われ、見飽きるほどです。これらすべてを整理し、ほこりを寄せ付けないようにするには、どれほどの労力が必要ですか。この作業と、流行に合わせた家族の他の人工的な習慣は、主婦に終わりのない労働を要求します。 [368]

多くの家庭では、妻や母親には読書をする時間も、知識を深める時間も、夫の相手をする時間も、成長中の子供たちの心と触れ合う時間ありません。尊い救い主が親しい、愛しい仲間です。いられる時間も場所もありません。少しずつ [369] 妻は

単なる家事労働に陥り、使うと消えてしまうものに体力と時間と関心を費やします。目覚めたときには、自分の家の中でほとんど他人になっていることに気づくのが遅すぎます。かつては愛する人たちに、改善されないまま、より高次の生活を送るよう影響を与える貴重な機会が、永遠に失われてしまったのです。

主婦はもっと賢明な計画で暮らすことを決意しましょう。快適な家を作ることを第一の目標にしましょう。労力を軽減し、健康と快適さを促進する設備を必ず用意しましょう。キリストが私たちに歓迎するように命じ、こう言われている客人をもてなす計画を立てましょう。「わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者の

ひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである。」マタイ25:40

家の家具は、扱いやすく、簡単に清潔に保て、大金をかけずに取り替えられるような、シンプルでシンプルなものにしましょう。趣味を磨くことで、愛と満足感があれば、とてもシンプルな家でも魅力的で居心地のよいものにすることができます。

美しい環境

神は美しいものを愛しておられます。神は天と地を美しいもので覆い、神が創造したものに子供たちが喜ぶ様子を父親の喜びをもって見守っておられます。神は私たちが自然の美しさで家を囲むことを望んでおられます。

田舎に住むほとんどすべての人は、どんなに貧しくても、家の中に芝生や木陰、花の咲く低木、香りのよい花などを置くことができる。そして、人工的な装飾品よりもはるかに、それらは家庭の幸福に役立つ。それらは家庭生活に和らぎと洗練をもたらし、自然への愛を強め、家族を互いに、そして神に近づける。 [371]

第31章 母

親がどのような人間であるかは、大体において、子供にも反映されます。親の身体的条件、気質や欲求、精神的、道徳的傾向は、多かれ少なかれ、子供に再現されます。

親の目的が崇高であればあるほど、親の知的・霊的素質が高ければ高いほど、また親の肉体的能力が発達していればいるほど、親が子供に与える生活の備えはより良くなります。親は、自分自身の最良の部分を育むことで、社会を形成し、将来の世代を向上させる影響力を発揮しているのです。

父親と母親は、自分の責任を理解する必要があります。この世界は、若者の足元

を陥れる罫で満ちています。多くの人々が、利己的で官能的な快樂の人生に魅了されています。彼らは、自分たちにとって幸福への道のように見える道の隠れた危険や恐ろしい結末を見分けることができません。食欲と情熱に耽溺することで、彼らのエネルギーは無駄になり、何百万人もの人々がこの世と来世で破滅しています。親は、子供たちがこれらの誘惑に遭遇しなければならないことを覚えておく必要があります。子供が生まれる前から、子供が悪との戦いに勝つことができるように準備を始めなければなりません。 [372]

特に母親には責任があります。母親の血によって子どもは養われ、肉体は鍛えられますが、同時に精神と靈的な影響も子

どもに与え、心と性格の形成につながります。信仰心が強く、「王の命令を恐れなかった」（ヘブル人への手紙 11:23）ヘブライ人の母親ヨケベドから、イスラエルの救世主モーセが生まれました。祈りと自己犠牲と天の啓示の女性ハンナから、天の教えを受けた子ども、清廉潔白な裁判官、イスラエルの聖なる学校の創始者サムエルが生まれました。ナザレのマリアの親族であり同類のエリサベツが、救世主の使者の母でした。

節制と自制心

母親が生活習慣をどれほど注意深く守るべきかは聖書の中で教えられています。主がサムソンをイスラエルの救出者として起こそうとされたとき、「エホバの使い」が母親に現れ、彼女の習慣と子供の

扱い方に関する特別な指示を与えました。「気をつけなさい。今、ぶどう酒や強い酒を飲んでではなく、汚れたものを一切食べてはならない」と彼は言いました。裁き人 13:13, 7。

多くの親は、胎児期の影響を大した問題ではないと考えています。しかし、天国はそうは考えていません。神の天使が二度も厳粛な態度で伝えたこのメッセージは、私たちが最も注意深く考えるに値するものであることを示しています。

ヘブライ人の母親に語られた言葉は、あらゆる時代のすべての母親に神が語りかける言葉です。天使は言いました。「彼女は用心しなさい。私が彼女に命じたことはすべて守らせなさい。」子供の幸福は母親の習慣によって左右されます。彼

女の欲望と情熱は原則によって制御されるべきです。彼女が子供を与えるという神の目的を果たすなら、彼女が避けるべきもの、彼女が対抗すべきものがあります。子供が生まれる前に彼女がわがままだったり、利己的で、せっかちで、厳格だったりすると、これらの特徴は子供の性質に反映されます。このように、多くの子供たちは生得権として、ほとんど克服できない悪への傾向を受け継いでいます。

しかし、母親が揺るぎなく正しい原則に従い、節度を保ち、自己を否定し、親切で優しく、利己的でないなら、彼女は子供に同じ貴重な性格特性を与えることができます。母親によるワインの使用を禁じる命令は非常に明確でした。食欲を満

たすために母親が飲む強い酒の一滴一滴は、子供の身体的、精神的、道徳的健康を危険にさらし、創造主に対する直接の罪です。

多くの助言者は、母親のあらゆる願いはかなえられるべきだ、どんなに有害な食べ物でも、母親が欲しがったら、自由にその食欲を満たすべきだと説きます。このような助言は間違っており、有害です。母親の肉体的な必要は決して無視されるべきではありません。二人の命が母親にかかっているのですから、母親の願いは優しく考慮され、必要は惜しみなく満たされるべきです。しかし、この時期は、食事においても他のすべての面においても、肉体的または精神的な力を弱めるものは、何よりも避けるべきです。神自

身の命令により、母親は自制心を働かせるという最も厳粛な義務を負っています。

過労

母親の力は、優しく大切にされるべきである。貴重な力を過酷な労働に費やす代わりに、彼女の心配や負担を軽減すべきである。夫や父親は、家族の幸福のために理解しなければならぬ物理法則を知らないことが多い。生計を立てるための闘いに没頭したり、富を得ることに熱中したり、心配や困惑に押しつぶされたりして、妻や母親に、最も危機的な時期に彼女の力を過度に消耗させ、衰弱や病気を引き起こす重荷を負わせる。 [374]

多くの夫や父親は、忠実な羊飼いの注意深さから有益な教訓を学ぶことができる

でしょう。ヤコブは、急ぎの困難な旅をするよう促されたとき、こう答えました。

「子どもたちは優しく、羊や牛の群れは子を産んでわたしとともにいる。しかし、もし人々が一日、羊や牛を酷使すれば、群れはみな死んでしまうだろう。……わたしの前を行く牛や子どもたちが耐えられる限り、わたしは優しく導く。」創世記 33:13, 14。

夫であり父親であるあなたは、人生の苦勞の道において、旅の伴侶が耐えられる限り「優しく先導」しましょう。富と権力を求める世間の激しい競争の真っ只中で、夫は自分の歩みを止め、自分の傍らを歩くよう求められている人を慰め、支えることを学びましょう。

陽気さ

母親は、明るく、満足し、幸せな性格を培うべきです。この方向へのあらゆる努力は、子供の身体的健康と道徳的性格の両方において、十分に報われるでしょう。明るい精神は家族の幸福を促進し、また、母親自身の健康も大幅に改善します。

夫は同情と変わらぬ愛情で妻を助けなさい。妻が家庭の太陽のようでありたいように、妻を元気で明るく保ちたいなら、妻が重荷を背負えるよう助けなさい。夫の優しさと愛情深い礼儀は妻にとって貴重な励ましとなり、夫が与える幸福は夫自身の心に喜びと平和をもたらすでしょう。

不機嫌で、利己的で、横柄な夫や父親は、自分自身が不幸だけでなく、家庭の住人全員に憂鬱な気持ちを抱かせます。その結果、妻は意気消沈して病弱になり、子供たちは自分の愛すべきでない気質によって傷つけられることとなります。もし母親が本来受けるべき世話や安楽を奪われ、過労や不安や憂鬱で力を消耗させられたら、その子供は受け継ぐべき生命力や精神的な弾力性、明るい快活さを奪われるでしょう。母親の生活を明るく楽しくし、欠乏や疲れる労働、憂鬱な心配から守り、子供に健全な体質を受け継がせ、自分自身の精力的な力で人生を戦い抜く方がはるかに良いでしょう。父親と母親は、子供たちに対して神の代わりを務めるという点で、大きな名誉と

責任を負っています。父親と母親の性格、日常生活、しつけの方法が、子供たちに神の言葉を伝えます。父親と母親の影響によって、子供が主の約束を信じるかどうかが決まります。

子どもの教育における親の特権

神の約束と命令が子供に感謝と畏敬の念を起こさせるような、神を真に反映した生活を送っている親は幸せです。優しさ
と正義と寛容さで子供に神の愛と正義と寛容さを伝えてくれる親は幸せです。 [376]子供に自分たちを愛し、信頼し、従うことを教えることで、天の父を愛し、信頼し、従うことを教えているのです。子供にこのような贈り物を与える親は、あらゆる時代の富よりも貴重な宝、永遠の

ように永続する宝を子供に授けているのです。

すべての母親は、自分の世話に託された子供たちに、神からの神聖な使命を与えられています。「この息子、この娘を連れて行きなさい」と神は言います。「私のために訓練しなさい。宮殿に倣って磨かれた性格を与えなさい。そうすれば、主の宮廷で永遠に輝くでしょう。」

母親の仕事は、彼女にとって取るに足らない仕事のように思われることが多い。それはめったに評価されない仕事である。他の人は、彼女の多くの心配事や重荷についてほとんど知らない。彼女の日々は、忍耐強い努力、自制心、機転、知恵、自己犠牲的な愛を必要とする、一連の小さな義務で占められている。しかし、

彼女は自分が成し遂げたことを大きな業績として自慢することはできない。彼女はただ、家庭内の物事を円滑に進めてきただけである。しばしば疲れて困惑しながらも、彼女は子供たちに優しく話しかけ、子供たちを忙しく楽しませ、小さな足を正しい道に導こうと努めてきた。彼女は、自分は何も成し遂げていないと感じている。しかし、そうではない。天使たちは、心配事で疲れ果てた母親を見守り、彼女が日々背負っている重荷に注目している。彼女の名前は世間では聞かれないかもしれないが、それは子羊の生命の書に記されている。

母親のチャンス

上には神がおり、その玉座からの光と栄光は、悪の影響に抵抗するよう子供たち

を教育しようとする忠実な母親の上にあります。彼女の仕事の重要性に匹敵するものはありません。彼女は芸術家のようにキャンバスに美しい形を描く必要はなく、彫刻家のように大理石を彫る必要もありません。彼女は作家のように気高い考えを力強い言葉で具体化する必要もなく、音楽家のように美しい感情をメロディーで表現する必要もありません。神の助けを借りて、人間の魂に神の似姿を育むのは彼女の仕事です。

このことを理解する母親は、自分の機会を貴重なものとみなすでしょう。彼女は自分の性格と教育方法によって、子供たちに最高の理想を提示しようと真剣に努めるでしょう。彼女は真剣に、忍耐強く、勇敢に、自分の能力を向上させ、子供

たちの教育において精神の最高の力を正しく使用できるように努めるでしょう。彼女はあらゆる段階で真剣に「神は何を語ったか」と尋ねます。彼女は神の言葉を熱心に学びます。彼女はキリストに目を留め、日々の世話と義務のささやかな輪の中での彼女自身の経験が、唯一の真の命の真の反映となるようにするでしょう。 [379]

第32章-子供

母親の習慣だけでなく、子供のしつけも、天使がヘブライ人の両親に与えた教えに含まれていました。イスラエルを救う子供サムソンは、生まれた時に良い家柄であるだけでは十分ではありませんでした。その後、慎重なしつけが続きました。幼少のころから、彼は厳格な節制の習慣を身につけるようにしつけられたのです。

洗礼者ヨハネに関しても同様の指示が与えられました。子供が生まれる前に、天から父親に送られたメッセージは次の通りでした。

「あなたは喜びと楽しみを味わい、多くの人が彼の誕生を喜ぶでしょう。彼は主

の目に偉大な人となり、ぶどう酒や強い酒を飲まず、聖霊に満たされるでしょう。」ルカ1:14, 15、ARV

救い主は、天国の高貴な人々の記録において、洗礼者ヨハネより偉大な人は一人もいないと宣言されました。彼に託された仕事は、肉体的なエネルギーと忍耐力だけでなく、精神と魂の最高の資質を要求するものでした。この仕事の準備として適切な肉体訓練が非常に重要であったため、天国の最高の天使が子供の両親に指示のメッセージを持って遣わされました。 [380]

ヘブライの子供たちに関して与えられた指示は、子供の身体的健康に影響を与えるものは何も無視してはならないことを教えてくれます。重要でないものは何も

ないのです。身体の健康に影響を与えるあらゆる影響は、心と性格にも関係があります。

子どもの早期教育は、いくら重視してもしすぎることはありません。幼少期や子供時代に学んだ教訓や身につけた習慣は、その後のあらゆる指導や訓練よりも、人格の形成や人生の方向性に大きく関係しています。

親はこれを考慮する必要があります。親は子供の世話と訓練の根底にある原則を理解する必要があります。親は子供を肉体的、精神的、道徳的に健康に育てる能力を持たなければなりません。親は自然の法則を学ぶ必要があります。人体の組織に精通する必要があります。親はさまざまな器官の機能、それらの関係と依存

関係を理解する必要があります。親は精神力と肉体力の関係、およびそれぞれの健全な活動に必要な条件を学ぶ必要があります。そのような準備なしに親としての責任を引き受けることは罪です。

死亡率、病気、衰退は、今日最も文明化され恵まれた国々にさえも存在していますが、その根底にある原因についてはあまりに考慮されていません。人類は衰退しています。3分の1以上が幼児期に死亡しています。[幼児死亡率に関する記述は、1905年に書かれた当時は正しかったです。しかし、現代医学と適切な育児により、幼児期と小児期の死亡率は大幅に減少しました。-出版社。] 成人および成人女性に達する人のうち、圧倒的多数が何

らかの病気に苦しみ、寿命の限界に達する人はほとんどいません。

人類に悲惨と破滅をもたらしている悪のほとんどは、予防できるかもしれませんが。そして、それらに対処する力は、親に大きくかかっています。幼い子供たちを連れ去るのは「神秘的な摂理」ではありません。神は彼らの死を望んでおられません。神は彼らを、この世で、そして来世の天国で役立つように訓練するために、親に与えます。父親と母親が子供たちに良い遺産を与えるためにできる限りのことをし、その後、正しい管理によって彼らの出生の悪い条件を改善するよう努めたなら、世界はどれほど良い方向へ変わることでしょう。

乳児のケア

子どもの生活が静かでシンプルであればあるほど、身体的、精神的発達に好ましいものとなります。母親は常に静かで、落ち着いて、冷静でいるよう努めるべきです。多くの幼児は神経質な興奮に非常に弱いので、母親の穏やかでゆったりとした態度は、子どもに計り知れない恩恵をもたらす穏やかな影響を与えます。

赤ちゃんは暖かさを必要としますが、新鮮な空気がほとんどない過熱した部屋に赤ちゃんを閉じ込めておくという重大な誤りがしばしば犯されます。寝ている間に赤ちゃんの顔を覆う習慣は、自由な呼吸を妨げるので有害です。

赤ちゃんは、体を弱めたり毒したりするあらゆる影響から守られるべきです。赤ちゃんの周りが清潔で心地よい状態を保

つよう、細心の注意を払うべきです。突然の気温の変化や急激な気温の変化から赤ちゃんを守る必要があるかもしれませんが、寝ているときも起きているときも、昼夜を問わず、赤ちゃんが清らかで元気な空気を吸えるように注意する必要があります。

赤ちゃんの服を準備する際には、流行や賞賛を浴びたいという欲求よりも、便利さ、快適さ、健康を追求すべきです。母親は小さな服を美しくするために刺繍や装飾に時間を費やすべきではありません。そうすることで、母親自身と子供の健康を犠牲にして、不必要な労働に身を投じることになります。母親は、十分な休息と楽しい運動が必要な時期に、目と神経に酷い負担をかける裁縫に身をかがめ

るべきではありません。母親は、自分に課される要求に応えられるように、自分の体力を大切にすることを自覚すべきです。 [382]

子供の服装が暖かさ、保護、快適さを兼ね備えていれば、イライラや落ち着きのなさの主な原因の 1 つが取り除かれます。赤ちゃんの健康状態は良くなり、母親は子供の世話で体力と時間を費やす負担がそれほど重く感じなくなります。

きついベルトやウエストは心臓や肺の働きを妨げるので避けるべきです。いかなる場合も、衣服が臓器を圧迫したり動きの自由を制限したりして、体のどの部分も不快にさせてはいけません。すべての子供の衣服は、最も自由に完全な呼吸ができるほどゆったりとしていて、肩が体

重を支えられるように調整されている必要があります。

いくつかの国では、幼い子供の肩や手足を露出させる習慣が今でも残っています。この習慣はいくら厳しく非難してもしすぎることはありません。手足は循環の中心から遠いため、体の他の部分よりも保護が必要です。末端に血液を送る動脈は大きく、十分な量の血液を供給して暖かさや栄養を与えます。しかし、手足が保護されていないか、十分に覆われていない場合、動脈と静脈が収縮し、体の敏感な部分が冷え、血液の循環が妨げられます。

成長期の子供には、肉体を完璧にするために、自然のあらゆる力があらゆる恩恵を必要とします。手足が十分に保護され

ていないと、子供、特に女の子は、天候が穏やかでない限り、屋外に出ることができません。そのため、寒さを恐れて、子供は屋内にとどまらなければなりません。子供がきちんとした服を着ていれば、夏でも冬でも、屋外で自由に運動することは子供にとって有益です。

息子や娘に健康の活力[383]を身につけさせたいと願う母親は、子供たちに適切な服装をさせ、天候がよければできるだけ屋外で過ごすように勧めるべきである。慣習の鎖を断ち切り、子供たちに健康に関する服装や教育を施すには努力を要するかもしれないが、結果はその努力に十分報いるであろう。

子供の食事

乳児にとって最良の食物は、自然が与えてくれる食物です。これを不必要に奪ってはいけません。母親が、利便性や社交上の楽しみのために、乳児を育てるといふ優しい務めから逃れようとするのは、無慈悲なことです。

自分の子供を他人に養育させる母親は、その結果がどうなるかをよく考えるべきである。多かれ少なかれ、乳母は乳飲み子に自分の気質や性格を伝えている。

子どもに正しい食習慣を身につけさせることの重要性は、いくら評価してもし過ぎることはありません。子どもは、食べるために生きるのではなく、生きるために食べることを学ぶ必要があります。その訓練は、乳児を母親の腕の中に抱くところから始めるべきです。子どもには、

定期的に食べ物を与え、成長するにつれて頻度を減らします。消化できない甘いものや年長者の食べ物を与えてはいけません。乳児の食事に気を配り、規則正しく与えることは、健康を促進し、おとなしく温厚な性格にさせるだけでなく、後々の子どもにとって祝福となる習慣の基礎を築くことになります。 [384]

子供が幼児期を終えても、嗜好や食欲を教育することには細心の注意を払う必要があります。多くの場合、子供は健康に関係なく、好きなものを好きなときに食べることが許されます。不健康なごちそうに費やす労力とお金は、若者に、人生で最高の目的、最大の幸福をもたらすものは食欲を満たすことだと思わせます。この訓練の結果は暴食であり、次に病気

になり、通常は有毒な薬物の服用につながります。

親は子供の食欲を訓練し、不健康な食べ物を摂取させてはいけません。しかし、食生活を規制する努力において、子供にまずいものを食べさせたり、必要以上に食べさせたりしないよう注意する必要があります。子供には権利があり、好みがあり、その好みが妥当な場合は尊重されるべきです。

食事の規則性は注意深く守らなければなりません。食事の間には、菓子類、ナッツ類、果物、あらゆる種類の食べ物など、何も食べてはいけません。食事の不規則性は、消化器官の健康的な調子を破壊し、健康と快活さを損ないます。そして、子どもたちが食卓に着くと、彼らは健

康的な食べ物を味わわず、自分にとって有害なものを欲しがります。

健康と幸せな気分を犠牲にして子供の欲求を満たす母親は、芽を出し実を結ぶ悪の種を蒔いているのです。子供が成長するにつれて自己満足が増し、精神的にも肉体的にも活力が犠牲になります。このようなことをする母親は、自分が蒔いた種を苦々しく刈り取ることになります。母親は、子供が社会や家庭で高貴で有用な役割を果たすのにふさわしくない精神と性格を持つ子供に育つのを目の当たりにします。不健康な食物の影響[385]により、精神的、肉体的だけでなく霊的な力が損なわれます。良心は麻痺し、良い印象を受けにくくなります。

子どもたちには食欲をコントロールし、健康に配慮して食べるように教えるべきですが、彼らが自分にとって害になるものだけを断っていることを明確にしましょう。彼らは有害なものをより良いもののためにあきらめます。神が惜しみなく与えてくださった良いもので満たされているように、食卓は魅力的で魅力的なものにしましょう。食事の時間は楽しく幸せな時間です。神の贈り物を楽しみながら、与え主に感謝の気持ちで応えましょう。

病気の子どもへのケア

多くの場合、子供の病気の原因は管理ミスにあります。食事の不規則さ、肌寒い夜に着る衣服の少なさ、血液の循環を良くするための激しい運動の不足、血液を

浄化するための空気の不足などが、病気の原因かもしれません。親は病気の原因を研究し、できるだけ早く間違った状態を改善しましょう。

親は誰でも、病気のケアや予防、さらには治療について多くを学ぶことができます。特に母親は、家族によくある病気の場合にどう対処すべきかを知っておくべきです。病気の子供をどう世話するかを知っておくべきです。愛情と洞察力があれば、他人に任せることのできないような世話を子供のために行うことができます。

生理学の研究

親は、子供たちが早くから生理学の勉強に興味を持つように努め、そのより単純な原理を教えるべきである。肉体的、精

神的、靈的な力を最もよく保つ方法、そして彼らの人生が互いに祝福をもたらし、神に栄光をもたらすようにその才能をどのように使うかを教えなさい。この知識は若者にとって非常に貴重である。命と健康に関する事柄に関する教育は、学校で教えられる多くの科学の知識よりも彼らにとって重要である。 [386]

親は社会のためではなく、子供のために生きるべきです。健康に関する事柄を学び、その知識を実際に活用してください。子供たちに原因から結果まで推論することを教えましょう。健康と幸福を望むなら、自然の法則に従わなければならないことを教えましょう。望むほど急速な改善が見られなくても、落胆せず、忍耐強く粘り強く努力を続けましょう。

子どもに、揺りかごのころから自己否定と自制を実践することを教えましょう。自然の美しさを楽しみ、役に立つ仕事で心身の力を体系的に鍛えることを教えましょう。健全な体質と良い道德心、明るい性格と優しい気質を持つように育てましょう。神は私たちが単に目先の満足のためではなく、究極の善のために生きると計画しておられるという真理を、子どもの繊細な心に刻みつけましょう。誘惑に屈することは弱く邪悪なことであり、抵抗することは気高く男らしいことであると教えましょう。これらの教訓は良い土壌に蒔かれた種のように、あなたの心を喜ばせる実を結ぶでしょう。何よりもまず、親は子供たちを明るく、礼儀正しく、愛情に満ちた雰囲気包む

べきです。愛が宿り、それが表情や言葉や行動で表現される家庭は、天使たちが喜んでその存在を現す場所です。

親の皆さん、愛、明るさ、幸福感の太陽の光を自分の心の中に取り入れ、その甘く元気づける影響を家庭に浸透させてください。親切で寛容な精神を示し、子供たちにもそれを奨励し、家庭生活を明るくするあらゆる優しさを養ってください。このようにして作り出された雰囲気は、子供たちにとって、植物界にとっての空気と太陽の光と同じであり、心身の健康と活力を促進します。 [388]

第33章 家庭の影響

家庭は子供にとって世界で最も魅力的な場所であるべきであり、母親の存在はその最大の魅力であるべきです。子供は感受性が強く、愛情深い性質を持っています。子供は簡単に喜んだり、簡単に不機嫌になったりします。優しいしつけ、愛情深い言葉や行為によって、母親は子供を自分の心の中に縛り付けることができます。

幼い子供は仲間が大好きで、一人で楽しむことはめったにありません。同情と優しさを切望します。子供が楽しんでいることは母親も喜ぶだろうと考え、子供がちょっとした喜びや悲しみを母親に伝えるのは自然なことです。母親は、自分に

とっては些細なことでも子供にとっては非常に重要な事柄を無関心に扱って、子供の繊細な心を傷つけてはいけません。母親の同情と承認は貴重です。承認の視線、励ましの言葉、または賞賛の言葉は、子供の心に太陽の光となり、一日中幸せな気分にならせてくれるでしょう。

母親は、子供たちの騒々しさやちょっとした欲求に悩まされることのないように、子供たちを母親のもとから遠ざける代わりに、活発な手と頭を使う娯楽や軽い仕事を計画しましょう。 [389]

母親は、子供たちの感情に入り込み、娯楽や仕事を指導することによって、子供たちの信頼を得ることができ、より効果的に間違った習慣を正したり、利己主義や情熱の表れを抑制したりすることがで

きます。適切なタイミングで発せられる警告や叱責の言葉は、大きな価値を持ちます。母親は、忍耐強く、注意深く愛情を注ぐことによって、子供たちの心を正しい方向に向け、彼らの中に美しく魅力的な性格特性を育むことができます。

母親は、子どもを依存的、自己中心的に育てないように注意すべきです。子どもが自分中心で、すべてが自分を中心に回っていると考えるように仕向けてはいけません。親の中には、子どもを楽しませることに多くの時間と注意を向ける人がいますが、子どもは自分で楽しむこと、自分の創意工夫と技術を発揮することを学ぶべきです。そうすれば、子どもはごく単純な楽しみで満足することを学ぶでしょう。子どもは、小さな失望や試練に

勇敢に耐えることを学ぶべきです。些細な痛みや苦痛に注意を向けるのではなく、子どもの気をそらし、ちょっとした迷惑や不快感を軽く受け流すことを教えましょう。子どもが他人に対して思いやりを持つことを学ぶ方法を提案するよう研究してください。

しかし、子供たちを無視してはいけません。母親は、多くの心配事を抱えて、子供たちを辛抱強く教えたり、愛情や同情を与えたりする時間を取ることができなと感じることがあります。しかし、子供たちが親や家庭の中に同情や仲間を求める欲求を満たすものを見つけられなければ、子供たちは他の源を求めるようになり、精神と性格の両方が危険にさらさ

れる可能性があることを母親は覚えておくべきです。

多くの母親は、時間や思考の不足から、子供たちに無邪気な楽しみを与えることを拒否し、忙しい指と疲れた目は、装飾のためだけの仕事に熱心に取り組んでいます。それは、せいぜい、子供たちの幼い心に虚栄心と浪費を助長するだけです。子供たちが大人や女性に近づくにつれて、これらの教訓は傲慢さと道徳的無価値という形で実を結びます。母親は子供たちの欠点を嘆きますが、自分が刈り取っている収穫は、自分自身が蒔いた種から来ていることに気づいていません。

母親の中には、子供に対する接し方が一様でない人もいます。時には子供を甘やかして傷つけ、また子供の心を喜ばせる

ような無邪気な満足を拒絶することもあります。この点で、母親はキリストを真似していません。キリストは子供を愛し、子供たちの気持ちを理解し、喜びや試練に共感したのです。

父親の責任

夫と父親は一家の長です。妻は夫に愛情と同情、そして子供の教育の援助を求めます。これは正しいことです。子供は夫のものであると同時に妻のものでもあるので、夫は子供の幸福に等しく関心を持っています。子供は父親に支援と指導を求めます。父親は人生について、また家族を取り巻く影響と関係について正しい考えを持つ必要があります。何よりも、父親は神の愛と畏れ、そして神の言葉の

教えによって支配され、子供の足を正しい道に導くべきです。

父親は家庭の立法者であり、アブラハムのように、神の律法を家庭の規則とすべきです。神はアブラハムについて、「わたしは彼を知っている。彼はその子供たちとその家族に命じるであろう」と言われました。創世記 18:19。悪を抑制する罪深い怠慢、弱気で愚かな、甘やかされたえこひいき、間違った愛情の要求に義務の信念を屈服させることはないでしょう。アブラハムは正しい指示を与えるだけでなく、公正で義にかなった律法の権威を維持します。神は私たちを導くための規則を与えました。子供たちは、神の言葉で定められた安全な道から、四方八方に開かれた危険につながる道へと迷い

込むべきではありません。優しく、しかししっかりと、粘り強く祈りながら努力して、彼らの間違った欲望を抑え、彼らの性癖を否定する必要があります。

父親は家族に、精力、誠実、正直、忍耐、勇気、勤勉、そして実用性といった厳しい美徳を徹底させるべきです。そして、父親が子供たちに求めることは、父親自身も実践し、男らしい振る舞いによってこれらの美徳を示すべきです。

しかし、父親の皆さん、子供たちを落胆させないでください。愛情と権威、親切と同情と毅然とした自制を組み合わせましょう。余暇の時間を子供たちに与え、彼らと知り合いになり、彼らの仕事やスポーツに協力し、彼らの信頼を勝ち取ってください。彼ら、特に息子たちとの友

情を育んでください。このようにして、あなたは良い影響を与えることができるでしょう。

父親は家庭を幸せにするために自分の役割を果たすべきです。父親の心配事や仕事上の困惑が何であれ、それが家族に影を落とすことは許されません。父親は笑顔と心地よい言葉で家に帰るべきです。

ある意味では、父親は朝夕の供え物を家族の祭壇に置く家庭の祭司です。しかし、妻と子供たちは祈りを捧げ、賛美の歌に加わるべきです。朝、毎日の仕事のために家を出る前に、父親は子供たちを自分の周りに集め、神の前に頭を下げ、彼らを天の父の世話に委ねましょう。一日の心配事が終わったら、家族は一日の神

の世話に感謝して、感謝の祈りを捧げ、
賛美の歌を歌いましょう。

父親や母親は、どんなに仕事が忙しくても、家族を神の祭壇の周りに集めることを怠らないでください。家庭で聖なる天使の守護を祈ってください。あなたの愛する人たちが誘惑にさらされていることを忘れないでください。日々の悩みは、老若男女を問わずつきまといます。忍耐強く、愛情深く、明るい人生を送りたい人は、祈らなければなりません。神から絶えず助けを受けることによってのみ、私たちは自己に打ち勝つことができます。

家庭は、明るさ、礼儀正しさ、そして愛が宿る場所であるべきです。そして、これらの恵みが宿るところに、幸福と平和

が宿るでしょう。困難が襲い掛かることもあるでしょうが、それは人類の運命です。日がどんなに曇っていても、忍耐、感謝、そして愛で心に太陽の光を保ちましょう。そのような家庭には、神の天使が宿ります。

夫と妻は互いの幸福について研究し、生活を元気づけ明るくする小さな礼儀や親切な行為を決して怠らないようにしましょう。夫婦の間には完全な信頼関係がなければなりません。二人は共に責任について考えるべきです。二人は共に子供たちの最大の幸福のために働くべきです。子供たちの前で、決して互いの計画を批判したり、互いの判断に疑問を呈したりしてはいけません。妻は夫が子供たちのために行う仕事をより困難にしないよう

に注意しましょう。夫は妻の手を支え、賢明な助言と愛情のこもった励ましを与えましょう。

親と子の間に冷たさや遠慮といった障壁が生じてはなりません。親は子どもと知り合い、子どもの好みや気質を理解しようと努め、子どもの気持ちに入り込み、子どもの心にあるものを引き出すようにしましょう。

親の皆さん、あなたが子供たちを愛し、子供たちを幸せにするために全力を尽くすつもりであることを子供たちに見せてください。そうすれば、必要な制限は子供たちの心にはるかに大きな重みを持つでしょう。「彼らの天使たちは、天におられるわたしの父の御顔をいつも見ている」ことを忘れずに、優しさと思いやり

をもって子供たちを支配してください。
マタイ 18:10。天使たちが子供たちのために神から与えられた仕事をしてくれることを望むなら、自分の分を尽くして天使たちに協力してください。

真の家庭の賢明で愛情深い指導のもとで育てられた子供は、楽しみや仲間を求めてさまようような気持ちにはなりません。悪は彼らを惹きつけません。家庭に浸透している精神が彼らの性格を形成し、彼らが家庭を離れて社会に出て自分の居場所を見つけるときに誘惑に対する強力な防御となる習慣や原則を形成するのです。

家庭では、親だけでなく子供にも重要な義務があります。子供は家族の一員であることを教えられるべきです。子供は食

事や衣服を与えられ、愛され、世話を受けます。そして、家庭の重荷を分担し、自分が属する家族にできる限りの幸福をもたらすことで、こうした多くの恵みに応えなければなりません。

子どもは時には抑制に苛立つ誘惑にかられるが、来世では、未熟な時代に自分たちを守り導いてくれた両親の忠実な世話と厳しい監視に感謝するだろう。 [395]

第34章 真の教育、宣教師の訓練

真の教育とは宣教師の訓練です。神のすべての息子と娘は宣教師となるよう召されています。私たちは神と同胞に奉仕するよう召されています。この奉仕に備えることが私たちの教育の目的であるべきです。

奉仕のための訓練

この目的は、キリスト教徒の親や教師が常に念頭に置いておくべきものです。私たちは、子供たちがどのような道に就くかは知りません。彼らは家庭内で一生を過ごすかもしれませんし、人生の一般的な職業に従事するかもしれませんし、福音の教師として異教の地に行くかもしれません。しかし、皆同じように神の宣教

師、世界への慈悲の使者として召されているのです。

神に愛されているのは、その新鮮な才能、エネルギー、勇気、素早い感受性を持つ子供や若者たちであり、神は彼らを神の力と調和させたいと願っておられます。彼らは、キリストの傍らに立って無私の奉仕を行えるよう助ける教育を受けるべきです。

キリストは、最初の弟子たちだけでなく、終わりの時に至るまでのすべての子供たちに対して、「あなたがわたしを世につかわされたように、わたしも彼らを世につかわしたのです」（ヨハネ17:18）と言われました。それは、彼らが神の代表者となり、神の霊を現し、神の品性を現し、神の働きを行うためです。

私たちの子供たちは、いわば分岐点に立っています。あらゆるところで、世の誘惑が利己主義と自己満足に駆り立て、主の贖われた者たちのために用意された道から彼らを遠ざけようとしています。彼らの人生が祝福となるか呪いとなるかは、彼らの選択次第です。エネルギーにあふれ、試したことのない能力を試そうとする彼らは、その溢れんばかりの人生のはけ口を見つけなければなりません。彼らは善のためにも悪のためにも活動的になるでしょう。

神の言葉は活動を抑制するのではなく、正しい方向に導きます。神は若者に野心を抑えるように命じてはいません。人を真に成功させ、人々の間で尊敬されるものにする性格の要素、つまりより大きな

善を求める抑えがたい欲求、不屈の意志、精力的な努力、疲れを知らない忍耐力は、落胆すべきものではありません。神の恵みにより、それらは単なる利己的で世俗的な利益よりもはるかに高い目的の達成に向けられるべきです。それは天が地よりも高いのと同じです。

親として、またキリスト教徒として、私たちには子供たちに正しい道を与える責任があります。子供たちは注意深く、賢明に、優しくキリストのような奉仕の道へと導かれるべきです。私たちは神との神聖な契約の下に、神に仕えるよう子供たちを育てています。子供たちを奉仕の人生を選ぶように導く影響力で囲み、必要な訓練を与えることが私たちの第一の義務です。

「神はその愛の深さゆえに、その独り子をお与えになったほどに」。それは、私たちが滅びることなく、永遠の命を得るためでした。「キリストは…私たちを愛し、私たちのためにご自身をお与えになった。」愛するなら、私たちは与えるでしょう。「仕えられるためではなく、むしろ仕えるため」は、私たちが学び、教えるべき偉大な教訓です。ヨハネ3:16、エペソ5:2、マタイ20:28。

若者たちに、彼らは自分自身のものではないという考えを植え付けなさい。彼らはキリストのものである。彼らはキリストの血によって買われたものであり、キリストの愛の権利である。彼らはキリストの力によって守られているから生きている。彼らの時間、彼らの力、彼らの能

力はキリストのものであり、開発され、訓練され、キリストのために使われるべきものである。

天使に次いで、神の似姿に形作られた人類は、神の創造物の中で最も高貴な存在です。神は、人間が神が与えたすべてのものになり、神から与えられた力で最善を尽くすことを望んでおられます。

人生は神秘的で神聖なものです。それはすべての生命の源である神自身の顕現です。人生に与えられた機会は貴重であり、真剣に活用されるべきです。一度失ったら、永遠に失われます。

神は私たちの前に永遠を厳粛な現実として置き、不滅で不滅の主題を理解できるようにし、私たちが全能力を傾けて真剣に取り組む価値のある目的を追求し、安

全で確実な道を進むことができるように、価値ある高貴な真理を提示します。

神は自らが形作った小さな種を見て、その中に美しい花や低木、高く伸びた木が包まれているのを見ます。神はすべての人間の中にも可能性を見ます。私たちは目的を持ってここにいます。神は私たちの人生に計画を与え、私たちが最高の発達基準に到達することを望んでいます。

[398]

神は、私たちが神聖さ、幸福さ、有用性において絶えず成長していくことを望んでおられます。すべての人には能力があり、それを神聖な天分とみなし、主の賜物として感謝し、正しく使うように教えなければなりません。神は、若者が自分の持つあらゆる力を養い、あらゆる能力

を活発に使うことを望んでおられます。
神は、若者がこの世で有用で貴重なものをすべて享受し、善良で善行を行い、来世のために天の宝を蓄えることを望んでおられます。

彼らの大志は、利他的で、高尚で、気高いすべてのことにおいて卓越するものであるべきです。キリストを模範として、彼らを形づくってください。キリストが生涯で明らかにした聖なる大志、すなわち、自分たちが生きてきたことで世界をより良くしたいという大志を、彼らは大切にすべきです。これこそ、彼らが召されている仕事なのです。

幅広い基盤

すべての科学の中で最も高いのは、魂を救う科学です。人類が目指すことのでき

る最も偉大な仕事は、人々を罪から聖性へと導く仕事です。この仕事の達成には、広い基礎が築かれなければなりません。包括的な教育が必要です。それは、科学の単なる指導では要求されないような思考と努力を親や教師に要求する教育です。知性の教養以上のものが求められます。体、精神、心が同じように教育されない限り、教育は完全ではありません。人格は、その完全かつ最高の発達のために適切な訓練を受けなければなりません。心と体のすべての能力が開発され、正しく訓練されなければなりません。神のためにより有能な働き手となるために、あらゆる力を養い、行使することが義務です。

、自分自身を正しく使うことを教える。それは、脳、骨、筋肉、身体、精神、そして心を最大限に活用することを可能にする。精神の能力は、高次の力として、身体王国を統治する。自然な欲求と情熱は、良心と霊的感情の制御下に置かれるべきである。キリストは人類の先頭に立っておられ、その奉仕において、私たちが高潔で神聖な道に導くことがキリストの目的である。キリストの恵みの驚くべき働きにより、私たちはキリストにおいて完全になるべきである。

イエスは家庭で教育を受けました。彼の母親は彼の最初の人間の教師でした。彼女の口から、そして預言者の巻物から、彼は天の事柄を学びました。彼は農民の家に住み、忠実にそして喜んで家事の重

荷を担う役割を果たしました。天の指揮官であった彼は、進んで従う僕であり、愛情深く従順な息子でした。彼は職業を学び、ジョセフと一緒に大工の店で自分の手で働きました。彼は普通の労働者の服装で小さな町の通りを歩き、自分の地味な仕事に出かけたり帰ったりしました。

当時の人々にとって、物事の価値は外見で判断されていきました。宗教の力が衰えるにつれ、宗教は華美さを増していきました。当時の教育者たちは、見せびらかしや虚飾によって尊敬を集めようとしていました。これらすべてと、イエスの生涯は際立った対照をなしていきました。イエスの生涯は、人々が人生の大切なものとみなしていたものの無価値さを示しました

。イエスは、当時の学校が小さなものを誇張し、大きなものを軽視する学校を求めませんでした。イエスの教育は、天が定めた情報源、有益な仕事、聖書の研究、自然、そして人生の経験から得られました。神の教科書は、進んで手を差し伸べ、見る目と理解する心を持って来るすべての人への教えに満ちています。

「幼子は成長し、霊が強くなり、知恵に満ち、神の恵みがその上にあった。」ルカ2:40。

このように準備を整えたイエスは、人々と接するたびに、世界がかつて見たこともないような祝福の影響力、変革の力を発揮しながら、使命に赴きました。

家庭は子どもにとって最初の学校であり、ここで奉仕の人生の基礎が築かれるべ

きです。その原則は単に理論として教えられるべきではありません。それは生涯の訓練全体を形作るものです。 [401]

子どもには、できるだけ早いうちから、助け合うことの教訓を教えるべきです。体力と理性が十分に発達したら、家庭で果たすべき義務を与えなければなりません。父親と母親を助けようと努力し、自分を否定し、抑制し、自分の幸せや都合よりも他人の幸せや都合を優先し、兄弟姉妹や遊び仲間を励まし助ける機会をうかがい、老人や病人、不幸な人に親切を示すよう励まされるべきです。真の奉仕の精神が家庭に浸透すればするほど、子どもの生活の中でそれがより完全に育まれます。子どもは、他人のために奉仕し

犠牲を払うことに喜びを見出すことを学ばうべし。

学校の仕事

家庭での訓練は、学校での活動によって補われるべきである。身体的、精神的、霊的、そして全体的な存在の発達と、奉仕と犠牲の教えを常に念頭に置くべきである。

キリストのために日々の些細なことで奉仕することは、他のどんな働きよりも、人格を形成し、人生を利他的な奉仕の道へと導く力を持っています。この精神を呼び覚まし、奨励し、正しく導くのは、親と教師の仕事です。彼らに委ねられる仕事はこれ以上に重要なものではありません。奉仕の精神は天の精神であり、そ

れを育て奨励するあらゆる努力に天使が協力してくれるでしょう。

そのような教育は神の言葉に基づいていなければなりません。ここにのみその原則が完全に与えられています。聖書は研究と教育の基礎とされるべきです。本質的な知識は神と神が遣わした者についての知識です。 [402]

すべての子供と若者は、自分自身について知る必要があります。神が与えてくださった物理的な住居と、それを健全に保つための法則を理解する必要があります。すべての人が、一般的な教育分野について徹底的に基礎を身につける必要があります。そして、日常生活の義務に適した実践的な能力のある男女になるための職業訓練を受ける必要があります。これ

に、さまざまな宣教活動の訓練と実践的な経験が加わる必要があります。

伝えることで学ぶ

若者は知識の獲得においてできるだけ速く、できるだけ遠くまで進むべきです。彼らの学問分野は彼らの力の及ぶ限り広くすべきです。そして、彼らが学ぶにつれて、その知識を伝えましょう。こうして彼らの精神は規律と力を身につけるのです。彼らの教育の価値を決めるのは、彼らが知識をどのように使うかです。学んだことを伝えようと努力せずに長い時間を費やすことは、真の成長を助けるどころか、むしろ妨げとなることがよくあります。家庭でも学校でも、学生は勉強の仕方と得た知識を伝える方法を学ぶよう努力すべきです。彼の職業が何であれ

、彼は生きている限り学ぶ者であり教える者でなければなりません。こうして彼は神を信頼し、無限の知恵を持ち、何世紀にもわたって隠されていた秘密を明らかにし、神を信じる者にとって最も困難な問題を解決することができる神にすぎりついて、絶えず前進することができます。

神の言葉は、男女を問わず、交友関係が及ぼす影響について、非常に強調しています。子どもや若者の心と性格の発達に及ぼす影響は、どれほど大きいことでしょう。彼らが付き合う仲間、彼らが採用する原則、彼らが身につける習慣が、彼らがこの世で役に立つかどうか、そして彼らの将来の永遠の利益を左右するのです。 [403]

若者が精神的な教養と規律を身につけるために通う多くの学校や大学で、人格を歪め、人生の真の目的から心を逸らし、道徳を墮落させる影響が蔓延していることは、恐ろしい事実であり、親の心を震え上がらせるべきことです。不信心な者、快樂を愛する者、墮落した者との接触により、多くの若者が、キリスト教徒の父親や母親が注意深い指導と熱心な祈りによって大切に守り続けてきた、単純さと純粹さ、神への信仰、自己犠牲の精神を失っています。

何らかの無私な奉仕に身を捧げる目的で学校に入学した多くの方は、世俗的な学問に没頭します。学問で名声を博し、世俗的な地位と名譽を得たいという野心が掻き立てられます。学校に入学した目的

を見失い、利己的で世俗的な追求に人生を捧げます。そして、この世と来世の両方で人生を台無しにする習慣が形成されることがよくあります。

一般的に、広い考え、利他的な目的、高潔な志を持つ男女は、幼少期の交友関係によってこれらの特性が培われた人々です。神はイスラエルとのあらゆる交渉において、子供たちの交友関係を守ることの重要性を彼らに強く勧めました。市民生活、宗教生活、社会生活のすべての取り決めは、子供たちを有害な交友関係から守り、幼い頃から神の法の教えと原則に親しませるためになされました。国家の誕生時に与えられた実物教訓は、すべての人々の心に深く印象づける性質のものでした。エジプト人に長子の死という

最後の恐ろしい審判が下る前に、神は民に子供たちを自分の家に集めるよう命じました。すべての家の戸口の柱には血が塗られ、この印によって保証された保護の範囲内に全員が留まるように命じられました。ですから、今日、神を愛し、神を畏れる親は、子供たちを「契約の絆」[404]の下、つまりキリストの贖いの血によって可能になった神聖な影響力の保護の下に守らなければなりません。

キリストは弟子たちについてこう言われました。「わたしは彼らに御言葉を与えました。わたしがこの世の者でないのと同じように、彼らもこの世の者ではありません。」ヨハネ17:14。

「この世と調子を合わせてはいけません」と神は私たちに命じます。「むしろ、

心を新たにして自分を変えなさい。」ローマ12:2。

「不信者とつり合わぬくびきをいっしょにつけてはいけません。正義と不法とに、どんなつながりがあるでしょう。光と暗やみとに、どんな交わりがあるでしょう。神の宮と偶像とに、どんな一致があるでしょう。あなた方は生ける神の宮なのです。神はこう言われました。「わたしは彼らの間に住み、彼らの間を歩む。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。」それゆえ、

「彼らの中から出て行き、彼らと分かち合いなさい。…

そして汚れたものに触れてはならない。

…

そうすれば、わたしはあなたたちを受け

入れ、
あなたたちの父となり、
あなたたちはわたしの息子、娘となる、
と
全能の主は言われる。」

コリント人への第二の手紙6:14-18。

「子供たちを集めなさい。」「神の定め
と律法を彼らに知らせなさい。」ヨエル2
:16; 出エジプト18:16。

「わたしの名をイスラエルの子らの上に
置け。わたしは彼らを祝福する。」民数
記6:27。

「そして、地上のすべての民は、あなた
がエホバの名で呼ばれていることを知る
であろう。」申命記28:10、ARV

民
の中にいる。

主から降る露のように、
草の上に降る雨のように。
それは人を待たず、
人の子らを待たない。」

ミカ5:7。 [405]

私たちはイスラエルとともに数えられています。昔のイスラエル人に与えられた、子供たちの教育と訓練に関するすべての指示、従順を通して得られる祝福の約束はすべて、私たちにも与えられています。

神は私たちにこうおっしゃっています。

「わたしはあなたを祝福する。あなたは祝福の源となるであろう。」創世記 12:2

。

最初の弟子たちと、彼らの言葉を通して彼を信じるすべての人々について、キリ

ストはこう言われました。「あなたが私に下さった栄光を、私は彼らにも与えました。それは、私たちが一つであるように、彼らも一つとなるためです。私は彼らの中におり、あなたは私の中におられます。それは、彼らが完全に一体となるためです。そして、あなたが私を遣わし、私を愛されたように、彼らをも愛されたことを、世が知るためです。」ヨハネ17:22, 23。

実に素晴らしい言葉です。ほとんど信仰の理解を超えています。すべての世界の創造主は、御子を愛するのと同じように、御自分に仕える人々を愛しておられます。今ここでも、神の恵みは、この驚くべき程度まで私たちに与えられています。神は私たちに天の光と威厳を与え、天

の宝物もすべて与えてくださいました。来世で約束されたのと同じように、神はこの世でも王子のような賜物を授けてくださいます。神の恵みの対象として、神は私たちが人格を高め、広げ、高めるあらゆるものを楽しむことを望んでおられます。神は若者を天からの力で鼓舞し、キリストの血に染まった旗の下に立たせ、キリストが働いたように働き、魂を安全な道に導き、多くの人々の足を永遠の岩の上に据えることを待っておられます。神の教育計画に従って働こうと努めるすべての人は、神の支えとなる恵み、神の絶え間ない存在、神の守護力を受けましょう。神はすべての人にこう言っています。

「強く、雄々しくあれ。恐れてはならない、おののいてはならない。あなたの神、主があなたと共におられるからだ。」

「わたしはあなたを見捨てず、あなたを見捨てない。」ヨシュア記1:9, 5. [406]

「雨が降って、雪が天から降って、天に戻らず、地を潤し、地に実りと芽を出させ、種蒔き者に種を与え、食べる者にパンを与えるように、わたしの口から出るわたしの言葉も、むなしくわたしのもとに帰らず、わたしの望むことを成し遂げ、わたしが命じたことを必ず成し遂げる。

あなたたちは喜びをもって出て行き、平和のうちに導かれる。

山々や丘々は
あなたたちの前で歌い、
野の木々はみな手を打ち鳴らす。
いばらの代わりにもみの木が生え、
おどろの代わりにミルトスの木が生い茂
る。
それは主の名となり、
絶えることのない永遠のしるしとなる。
」

イザヤ書55:10-13。

世界中で社会は混乱しており、徹底的な
変革が必要です。若者に与えられる教育
は、社会構造全体を形作るものです。

「彼らは、昔の廃墟を再建し、
以前の荒廃を復興し、
何世代にもわたって荒廃
した町々を修復する。」人々は彼らを「

私たちの神の奉仕者…

永遠の喜びが彼らに与えられる。

なぜなら、私、エホバは正義を愛するからである。」と呼ぶ。

「わたしは彼らの働きを真実に導き、
彼らと永遠の契約を結ぶ。」

「彼らの民族は諸国民の間で名声を博し、

彼らの子孫は人々の間で名声を得る。

彼らを見る者は皆、

彼らがエホバが祝福した民族であることを認めるだろう。…

地がその芽を出し、

園がその植物を生き茂らせるように、

主なるエホバは救いを生き茂らせ、

すべての国々の前で賛美される。」

イザヤ61:4, 6-8、ノイエス訳; 61:8; 61
:9, 11、ノイエス訳。 [407]

必須の知識

[408]

「神の栄光を知る光」 [409]

第35章 神についての真の知識

救い主のように、私たちは神に奉仕するためにこの世にいます。私たちは性格において神のようになるために、そして奉仕の人生を通して世界に神を明らかにするためにここにいます。神の協力者になるために、神のようになり、神の性格を明らかにするためには、私たちは神を正しく知らなければなりません。神がご自身を明らかにするように、私たちは神を知らなければなりません。

神についての知識は、すべての真の教育とすべての真の奉仕の基盤です。それは誘惑に対する唯一の真の防御策です。これこそが、私たちを神のような性格にすることができる唯一のものなのです。

これは、同胞の向上のために働くすべての人に必要な知識です。性格の変化、生活の清らかさ、奉仕の効率、正しい原則の遵守、これらすべては神についての正しい知識に依存します。この知識は、この人生と来世の両方にとって不可欠な準備です。

「聖なるものを知ることは悟りである。」箴言9:10。

神を知ることによって、私たちは「いのちと敬虔とに関するすべてのこと」を与えられるのです。ペテロの第二の手紙1:3。
。 [410]

「永遠の命とは、唯一のまことの神でいますあなたと、また、あなたがつかわされたイエス・キリストとを知ることです

」とイエスは言われました。ヨハネ17:3
。

「主はこう言われる。『
知恵ある者はその知恵を誇ってはならない。
い。

力ある者はその力を誇ってはなら
ない。富める者はその富を誇ってはなら
ない。

誇る者はこれを誇れ。すなわち、
わたしを悟り、わたしを知っていること
。わたしは主であり
、地に

慈しみと公平と正義を行う者であること
を。

わたしはこれらのことを喜ぶからだ、と
主は言われる。』」

エレミヤ 9:23, 24。

私たちは神が与えてくださった神自身の啓示を研究する必要があります。

「今、あなたは神を知り、
平和を得なさい。

そうすれば、あなたに良いことがもたらされるでしょう。

どうか、神の口から律法を受け入れ、
その言葉を心に蓄えなさい。

そうすれば、全能者はあなたの宝となるでしょう。」

「そのとき、あなたは全能者を喜びとし、

神に向かって顔を上げなさい。

あなたは神に祈りをささげ、

神はあなたの祈りを聞かれるでしょう

。あなたは誓いを果たすでしょう。

また、あなたが何かを定めれば、

それはあなたのために確立され、
光があなたの道を照らすでしょう。
人々があなたを倒しても、あなたは言う
でしょう。「
高く上げるものがある。神
は謙虚な人を救われる。」

ヨブ 22:21-29、ARV

「神の見えない性質、すなわち、神の永遠の力と神性とは、世界の創造以来、被造物を通して認められ、明らかに認められる。」ローマ1:20、ARV [411]

私たちが今見ている自然のものは、エデンの栄光をかすかにしか感じさせません。罪は地球の美しさを損ないました。すべてのものに悪の働きの痕跡が見られます。しかし、美しいものも数多く残っています。自然は、無限の力、偉大な善良

さ、慈悲、愛を持つお方が地球を創造し、生命と喜びで満たしたことを証明しています。荒廃した状態であっても、すべてのものは偉大なマスターアーティストの手による作品です。どこを向いても、神の声を聞き、神の善良さの証拠を見ることができます。

重厚な雷鳴の荘厳な響きや、太古の海の絶え間ない轟きから、森に旋律を響かせる喜びの歌まで、自然の万の声が神を讃える。大地と海と空は、その素晴らしい色合いと色彩で、華やかなコントラストを描き、あるいは調和して混ざり合い、神の栄光を目にする。永遠の丘は神の力を物語る。太陽の下で緑の旗をたなびかせる木々や、繊細な美しさを放つ花々は、創造主を指し示す。茶色い大地を覆う

生きた緑は、神がその被造物の中で最も謙虚な者を気遣っていることを物語る。海の洞窟と地の深みは、神の宝物を明らかにする。海に真珠を、岩の間に紫水晶と貴石を置いた神は、美を愛する人である。天に昇る太陽は、神が創造したすべてのものの命と光である神の代表である。地球を飾り、天を照らすすべての輝きと美しさは、神を物語っています。

「彼の栄光は天を覆った。」

「地はあなたの富に満ちている。」

「昼は昼に言葉を発し、
夜は夜に知識を告げる。

言葉も言語もない。

これらがなければ、彼らの声は聞かれない。

彼らの言葉は全世界に響き渡り、
彼らの言葉は世界の果てにまで及ぶ。」
ハバクク書 3:3; 詩篇 104:24; 詩篇 19:
2-4、欄外。

すべてのものは、神の優しく父親のような気遣いと、子供たちを幸せにしたいという神の願いを物語っています。 [413]
自然界全体に働き、すべてのものを支える強力な力は、一部の科学者が主張するように、単に遍在する原理、駆動力ではありません。神は霊です。しかし、人格を持った存在です。なぜなら、神はどのように自らを明らかにしたからです。

「主はまことの神、
生ける神、永遠の王である。…
天地を造らなかつた神々は、

地から、また
天の下から滅びるであろう。」

「ヤコブの分はそれらとは似ていない。
なぜなら彼はすべてのものの創造者だからである。」

「神はその力によって地を造り、
その知恵によって世界を定め、
その思慮によって天を広げられた。」

エレミヤ 10:10, 11, 16, 12。

自然は神ではない

自然における神の作品は、自然における神そのものではありません。自然の物は神の性格と力の表現です。しかし、私たちは自然を神と見なすべきではありません。人間の芸術的スキルは、非常に美しい技巧、目を楽しませる物を生み出し、これらの物は私たちに設計者の考えのいく

らかを明らかにします。しかし、作られた物は製作者ではありません。名誉に値するのは作品ではなく、その職人です。したがって、自然は神の考えの表現ですが、称賛されるべきなのは自然ではなく、自然の神です。

「私たちは礼拝し、ひれ伏し、
主の前にひざまずこう。」

「地の深い所は主の手にあり、
山々の高みも主のものである。
海は主のものであり、主がそれを造られ、
乾いた地も主の手で形作られた。」

詩篇 95:6; 95:4, 5, ARV [414]

「プレアデスとオリオンを造り、
死の影を朝に変え、
昼を夜で暗くする者を求めよ。」

「山々を形作り、風を創造し、
その考えを人に告げる者。」

「天にその球体を造り、
地に
そのアーチ[ノイズの翻訳]を据えた者。
」

「海の水を呼び、
それを地の面に注ぐ者、
その名はエホバ。」

アモス 5:8、ARV; アモス 4:13、ARV; ア
モス 9:6、欄外; アモス 9:6、ARV

地球の創造

創造の営みは科学では説明できません。
生命の神秘を説明できる科学は何でしょう
うか?

「信仰によって、私たちは、世界が神の
言葉で造られ、見えるものは、目に見え

るものから造られたのではないことを悟ります。」ヘブル人への手紙11:3。

「わたしは光を形作り、また闇を創造する。…

主なるわたしはこれらすべてを行う。…

わたしは地を造り、

その上に人を創造した。

わたしはわたしの手で天を広げ、

その万象を命じた。」

「わたしが彼らを呼ぶと、彼らは共に立ち上がる。」

イザヤ 45:7-12; 48:13。

地球の創造において、神は既存の物質に負うところはありませんでした。「主が語られると、それは成り、主が命じられると、それは堅く立った。」詩篇 33:9。物質的なものも霊的なものも、すべての

ものは主なるエホバの声によって主の前に立ち、主自身の目的のために創造されました。天とその万物、地とその中にあるすべてのものは、主の口の息によって存在するようになりました。

人間の創造には人格を持つ神の働きが明らかでした。神が人間を神の似姿に創造したとき、人間の形はあらゆる点で完璧でしたが、生命はありませんでした。それから人格を持ち、自存する神がその形に命の息を吹き込み、人間は生きた知性ある存在となりました。人体のあらゆる部分が活動を開始しました。心臓、動脈、静脈、舌、手、足、感覚、精神の能力、すべてが働き始め、すべてが法則の下におかれました。人間は生きた魂となりました。人格を持つ神は言葉であるキリ

ストを通して人間を創造し、知性と力を授けました。

私たちが秘密のうちに造られたとき、私たちの本質は神から隠されていませんでした。神の目は、不完全な私たちの本質をご覧になりました。そして、私たちのすべての肢体は、まだ一つもなかったときに、神の書物に書き記されていきました。

神は、あらゆる下等な存在よりも、神の創造物の最高傑作である人間が神の考えを表現し、神の栄光を現すように設計しました。しかし、人間は神として自らを高めてはなりません。

「主にむかって喜びの声をあげよ。
喜びをもって主に仕えよ。
歌いながら御前に進み出よ。」

主こそ神であることを知れ。主はわれわれを造られ、われわれも主のものである。

われわれは主の民、主の牧場の羊である。

感謝をもって主の門に入り、
賛美をもって主の庭に入れ。

主に感謝し、その御名をほめたたえよ。

」

「われらの神、主をあがめ、
その聖なる山で礼拝せよ。われらの神、主は聖なる方だからである。」

詩篇100:1-4、欄外；詩篇99:9。 [416]

神は、自らが創造したものを常に支え、その僕として用いることに努めています。神は自然の法則を道具として用いて、自然の法則を通して働きます。自然の法

則は自ら動くものではありません。自然の働きは、すべてのものに自らの意志に従って動く存在の知的な存在と能動的な働きを証明しています。

「主よ、
あなたの言葉はとこしえに天に定められ、
あなたの誠実は代々に及びます。
あなたが地を定められたので、それは存続します。
彼らは今日もあなたの定めに従っています。
すべてはあなたのしもべです。」

「主は、
天と地、海とすべての深淵において、御心のままになさった。」

「主が命じられると、それらは創造され

た。

主は、それらを世々限りなく定め、
廃れることの無い定めを定められた。」

詩編 119:89-91; 135:6; 148:5, 6。

地球が毎年恵みをもたらし、太陽の周りを回り続けるのは、本来の力によるものではありません。無限なる神の手が、この惑星を常に導いているのです。地球が自転する位置を保っているのは、神の力が絶えず発揮されているからです。太陽を天に昇らせるのは神です。神は天の窓を開き、雨を降らせます。

「主は雪を羊毛のように降らせ、
霜を灰のように散らされる。」

天には

水が満ち、

地の果て

から蒸気が立ち上る。

主は稲妻を出して雨を降らせ、

その宝物庫から風を起こされる。」

詩篇 147:16; エレミヤ 10:13。

植物が繁茂し、すべての葉が現れ、すべての花が咲き、すべての果実が実るのは、神の力によるものです。 [417]

人体の仕組みは完全には理解できません。それは、最も知的な人でさえも当惑させる謎を呈しています。脈が打ったり、呼吸が続くのは、一度動き出したらその働きを続ける仕組みの結果ではありません。私たちは神の中で生き、動き、存在しています。脈打つ心臓、脈動する脈、生体のあらゆる神経と筋肉は、常に存在する神の力によって秩序と活動が保たれています。

聖書は、神がその高く神聖な場所におられることを示しています。神は何もせず、沈黙して孤独な状態にあるのではなく、何万倍、何千倍もの聖なる存在に囲まれ、神の意志を遂行しようと待っておられます。これらの使者を通して、神はその支配下にあるすべての地域と活発にコミュニケーションを取っておられます。神は御霊によってどこにでもおられます。御霊と天使の働きを通して、神は人の子らに仕えられます。

神は地上の雑念を超越して玉座に座し、すべてのものは神の神聖な観察に開かれ、神はその偉大で静かな永遠から、神の摂理が最善と見なすものを秩序づけます。

「人の道は人自身のうちにはなく、
歩む者は自分の歩みをまっすぐに導くこ
とはできない。」

「心を尽くして主に信頼せよ。…
あなたの行くところすべてにおいて主を
認めよ。

そうすれば、主はあなたの道をまっすぐ
にされる。」

「主の目は、主を畏れる者、
主の慈悲を待ち望む者の上に注がれてい
る。主は
彼らの魂を死から救い、
飢餓のときにも彼らを生き長らえさせる
。」

「ああ、神よ、あなたの慈しみは何と尊
いことでしょうか。…人の子らは
あなたの翼の

陰に避難します。」

「ヤコブの神を助けとし、
神である主に望みを置く人は幸いです。
」 [418]

「エホバよ、地はあなたの慈しみに満ち
ています。」

あなたは「正義と公正」を愛しておられ
ます。

あなたは「地の果てまでも、
遠く海上の者たちも信頼しておられます
。

あなたは力をもって山々を固め、
力で身を固め、
海のとどろきを静め、
諸国の民の騒ぎを静められます。」

「あなたは朝夕の出入り
を喜ばせます。」

「あなたは一年をあなたの善良さで飾り、
あなたの道は豊かさを落とします。」

「主は倒れる者すべてを支え、
かがむ者すべてを立ち上がらせませます。
すべての者の目はあなたを待ち望みます
。

あなたは時宜にかなった食物を彼らに与
えます。

あなたは御手を広げ、
すべての生き物の願いを満たします。」

エレミヤ 10:23; 箴言 3:5, 6; 詩篇 33:
18, 19; 詩篇 36:7, ARV; 詩篇 146:5;
詩篇 119:64, ARV; 詩篇 33:5, ARV; 詩
篇 65:5-7, ARV; 詩篇 65:8, 11; 詩篇 1
45:14-16。

キリストに示された神の人格

人格的存在として、神は御子においてご自身を現されました。父の栄光の輝きと「その人格の完全なかたち」であるイエスは、人格的救世主としてこの世に来られました。人格的救世主として、イエスは高い所に昇られました。人格的救世主として、イエスは天の宮廷で執り成しをされます。神の御座の前で、私たちのために「人の子のような方」が仕えられます。ヘブル人への手紙 1:3; 黙示録 1:13。

世の光であるキリストは、その神性のまばゆいばかりの輝きを覆い、人間として人々の間で生きるために来られました。それは、人々が滅ぼされることなく、創造主と知り合うためでした。罪が人間と創造主の間に隔たりをもたらしただため、

キリストを通して神が顕現されるとき以外に、人間が神を見ることは決してありませんでした。

「わたしと父とは一つである」とキリストは宣言しました。「子を知る者は父のみであり、また子と子が父をあらわそうと思う者のほかには、だれも父を知る者はいない。」ヨハネ10:30、マタイ11:27。

キリストは、神が人間に知ってほしいと願っていることを人間に教えるために来られました。天上、地、大海の広い海に、私たちは神の御業を見ることが出来ます。すべての創造物は神の力、知恵、愛を証明しています。しかし、星や海や滝からは、キリストに示された神の性格を知ることはできません。

神は、神の人格と性格の両方を描写するためには、自然よりも明確な啓示が必要であるとご覧になりました。神は、人間の目が耐えられる範囲で、目に見えない神の性質と属性を現すために、御子をこの世に遣わされました。

弟子たちに明らかにされた

十字架刑の前夜、キリストが上の部屋で語った言葉を学びましょう。試練の時間が近づいていたイエスは、厳しい誘惑と試練を受ける弟子たちを慰めようとされました。

「心配しないでください」とイエスは言いました。「あなた方は神を信じていますし、わたしも信じています。わたしの父の家には住まいがたくさんあります。そうでなかったら、わたしはあなた方に

そう言っていたでしょう。わたしはあなたの方のために場所を用意しに行くのです...」

知りません。どうしてその道がわかるのでしょうか。』 イエスは彼に言われた。『わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通してでなければ、だれも父のみもとに行くことはできない。もしあなたがたがわたしを知っていたなら、わたしの父をも知っていたであろう。しかし今から、あなたがたは父を知っており、また父を見ているのである。...

「主よ、父を私たちに示してください」とフィリポは言った。「それで十分です。」 イエスは彼に言われた。「フィリポ、こんなに長い間あなたと一緒にいるのに、あなたは私を知らなかったのですか

。私を見た者は、父を見たのです。それなのに、どうしてあなたは、『父を示してください』と言うのですか。私が父におり、父が私におられることをあなたは信じないのですか。私があなたに話している言葉は、私自身から話しているのではなく、私のうちにおられる父が、御業をなさるのです。」ヨハネ14:1-10。

弟子たちは、神とキリストとの関係に関するキリストの言葉がまだ理解できませんでした。キリストの教えの多くは、弟子たちにとってまだ理解できないものでした。キリストは、弟子たちが神についてより明確ではっきりとした知識を持つことを望んでいました。

「わたしはこれらのことをたとえで話した」とイエスは言われた。「しかし、わ

たしがもうたとえで話さないで、父のことをはっきりとあなたたちに告げる時が来ます。」ヨハネ16:25、欄外。

ペンテコステの日に聖霊が弟子たちに注がれたとき、弟子たちはキリストがたとえ話で語った真理をより完全に理解しました。弟子たちにとって謎だった教えの多くが明らかにされました。しかし、そのときでさえ、弟子たちはキリストの約束の完全な成就を受け取っていませんでした。彼らは神についての知識を耐えうる限りすべて受けましたが、キリストが父について彼らに明らかにするという約束の完全な成就はまだ来ていなかったのです。今日もそうです。私たちの神についての知識は部分的で不完全です。戦いが終わり、人であるキリスト・イエスが

、罪の世界で彼のために真の証しをした忠実な働き手を父の前に認めるとき、彼らは今自分たちにとって謎であるものをはっきりと理解するでしょう。 [421]

キリストは、栄光に輝く人間性を天の宮廷に持って行かれました。キリストを受け入れる人々には、神の子となる力を与え、ついには神が彼らを自分の子として受け入れ、永遠に神とともに住むことができるようにします。彼らがこの世で神に忠実であれば、ついには「神の御顔を見、その名が彼らの額に記される」でしょう。黙示録 22:4。そして、天国での幸福とは、神を見ること以外に何があるでしょうか。キリストの恵みによって救われた罪人にとって、神の御顔を見て神を

父として知ることよりも大きな喜びがあるのでしょうか。

聖書は神とキリストの関係をはっきりと示しており、それぞれの人格と個性をはっきりと示しています。

「神は、昔、預言者たちによって父祖たちに、いろいろな機会に、いろいろな方法で語られました。この終わりの日に、御子によって私たちに語られました。…御子は神の栄光の輝きであり、神の性質の完全な写しであり、神の力ある言葉によってすべてを支えておられる方です。御子は、自ら私たちの罪をきよめた後、いと高き所で大能者の右に座されました。御子は天使たちよりも優れた者とされ、彼らよりもすぐれた名を受け継いで

おられます。というのは、神はどの天使にこう言われたのでしょうか。

「あなたは私の息子です。
私は今日あなたを産んだのですか？」
そしてまた、
わたしは彼の父となり、
彼はわたしの子となるであろうか。

ヘブル人への手紙 1:1-5。

父と子の個性、また両者の間に存在する一体性は、ヨハネによる福音書第 17 章で、キリストが弟子たちのために祈った言葉の中で示されています。

言葉を聞いてわたしを信じる人々のためにもお願いします。彼らがみな一つとなり、父よ、あなたがわたしにおられ、わたしがあなたのうちにおられるように、彼らもわたしたちのうちに一つとなり、

あなたがわたしをお遣わしになったことを、世が信じるようになるためです。」
ヨハネ17:20, 21。

キリストと弟子たちの間に存在する一体性は、両者の個性を破壊するものではありません。彼らは目的、心、性格において一つですが、人格においては一つではありません。したがって、神とキリストは一つなのです。

キリストに示された神の性格

キリストは人間性を身にまとい、人類と一体となるために来られ、同時に罪深い人類に天の父を現されました。初めから父の御前におられた方、目に見えない神の完全な似姿であった方だけが、神の性格を人類に現すことができました。キリストはすべての点で兄弟たちと同じよう

に造られました。私たちと同じように肉体となりました。キリストは空腹で喉が渇き、疲れていました。食べ物で生き、睡眠で元気を取り戻しました。キリストは人間と同じ運命をたどりましたが、罪のない神の子でした。キリストは地上の旅人であり寄留者でした。世にあっても世のものではありませんでした。今日の人々が誘惑され、[423]試練を受けるように誘惑され、試練を受けましたが、罪のない生活を送っていました。優しく、同情心にあふれ、思いやりがあり、常に他人を思いやるキリストは、神の性格を体現し、常に神と人のために奉仕していました。

「エホバはわたしに油を注がれた」とイエスは言われました。

「貧しい人々に良い知らせを宣べ伝える
ため、
主はわたしを遣わされた。心の打ち砕か
れた者を癒し、
捕らわれ人に解放を告げ、
盲人に視力の回復を告げるため、
エホバの恵みの年を告げ知らせるため、
…

悲しむ者すべてを慰めるためである。」

イザヤ 61:1、ARV、欄外；ルカ 4:18；イ
ザヤ 61:2、ARV

「敵を愛しなさい」とイエスは私たちに
命じています。「あなたがたを呪う者を
祝福し、あなたがたを憎む者に善をなし
、あなたがたを侮辱し迫害する者のため
に祈りなさい。そうすれば、天におられ
るあなたがたの父の子どもとなることが

できる。」 「父は、恩を知らぬ者にも悪人にも慈悲深いからである。」 「父は、悪い人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださる。」 「だから、あなたがたの父があわれみ深いように、あなたがたもあわれみ深くありなさい。」 マタイ5:44, 45; ルカ6:35; マタイ5:45; ルカ6:36。

「私たちの神の優しい慈悲により、...
高い所からの夜明けが私たちを訪れ、
暗闇と死の影に座する人々に光を与え
、
私たちの足を平和の道に導いてくれました。」

ルカ 1:78, 79。

十字架の栄光

神の愛の啓示は十字架に集中しています。その意味を完全には言葉で表現できず、筆で描くこともできず、人の心で理解することもできません。カルバリの十字架を見ながら、私たちはただこう言うしかありません。「神はその独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」ヨハネ3:16。私たちの罪のために十字架につけられたキリスト、死からよみがえったキリスト、そして高く昇ったキリストこそ、私たちが学び、教えるべき救いの科学です。それはキリストだった

「キリストは、神の御姿であられたが、神のあり方を捕らえられるものとは思わず、かえってご自分を無にして、仕える

者の姿をとり、人間と同じようになられました。そして、人としての姿をとって現れ、へりくだり、死にまでも従われました。しかも、十字架の死にまでも従われました。」ピリピ人への手紙 2:6-8、A RV

「キリストは死んで、いや、よみがえり、神の右におられるのです。」 「それゆえ、キリストは、ご自分によって神に来る人々を、完全に救うことができます。なぜなら、キリストはいつまでも生きていて、彼らのために執り成しをしておられるからです。」 ローマ人への手紙 8:34; ヘブル人への手紙 7:25。

「私たちには、私たちの弱さを理解できない大祭司はいません。すべての点で私たちと同じように試みられながらも、罪

を犯されなかった大祭司がいます。」へ
ブル人への手紙4:15、ARV

キリストの賜物を通して、私たちはあらゆる祝福を受けます。その賜物を通して、エホバの慈悲が日々絶え間なく流れ込んできます。その賜物を通して、すべての花が、その繊細な色合いと香りとともに、私たちの楽しみのために与えられています。太陽と月はキリストによって造られました。天を美しくする星で、キリストが造らなかったものは一つもありません。降る雨の一滴一滴、私たちの感謝のない世界に注がれる光の一筋一筋は、キリストにおける神の愛を証ししています。すべては、神の独り子という、言い表せない賜物を通して私たちに与えられます。彼は十字架に釘付けにされ、これ

らすべての恵みが神の作品に流れ込むようにされました。

「見よ、父がわたしたちにどんな愛を与えて下さったか。わたしたちは神の子と呼ばれるようになったのだ。」ヨハネ第一 3:1。

「人々は聞いたこともなく、耳で聞いたこともなく、
目で見たこともない、あなた以外に神はいない。

主を待ち望む者のために働く神。」

イザヤ書 64:4、ARV

変革に役立つ知識

キリストに啓示された神の知識は、救われるすべての人が持つべき知識です。それは人格の変革をもたらす知識です。この知識を受け取ると、魂は神の姿に生ま

れ変わります。それは、神である霊的な力を全存在に授けます。

「私たちはみな、顔を上げ、鏡のように主の栄光を見つめながら、栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられてゆくのです。」コリント人への手紙二第3章18節。
[426]

救い主は、ご自身の人生について、「私は父の戒めを守ってきた」と言われました。ヨハネによる福音書 15:10。「父は私をひとり残しておかなかった。私はいつも、父のみこころにかなうことを行っているからである」ヨハネによる福音書 8:29。イエスが人間であったように、神は従者も人間であることを意図しておられます。私たちは、イエスの力によって

、救い主が生きられた純粹で気高い人生を生きるべきなのです。

「そのために、私は、天と地にある家族すべての名のもととなっている、私たちの主イエス・キリストの父にひざまずいて祈ります。どうか、神がその栄光の豊かさに従い、あなたがたの内なる人を御霊によって力強く強くして下さるよう。また、信仰によってキリストがあなたがたの心の内に住んで下さるよう。あなたがたが愛に根ざし、愛にしっかりと立って、すべての聖徒とともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解し、人知をはるかに超えたキリストの愛を知ることができるよう。こうして、あなたがたは、神の満ちあふれ

る豊かさすべてに満たされるのです。」
エペソ3:14-19。

「私たちは、あなたがたのために絶えず
祈り、また、あなたがたがあらゆる知恵
と霊的な理解力によって、神の御旨を知
る知識に満たされ、すべてのことにおい
て主に喜ばれるように、また、あらゆる
善いわざに実を結び、神を知る知識にお
いて増し加わり、神の栄光の力に従って
、あらゆる力で強くされ、あらゆる忍耐
と寛容を喜びにあふれて行うようにと、
願っています。」コロサイ1:9-11。

これこそが神が私たちに受け取るよう招
いている知識であり、これ以外のすべて
は虚しく無に等しいのです。 [427]

第36章 推測的知識の危険性

知識の探求、科学の探究に伴う最大の悪の1つは、人間の推論をその真の価値と本来の領域よりも高く評価する傾向です。多くの人々が、自分の不完全な科学知識で創造主とその作品を判断しようとします。彼らは神の性質、属性、特権を決定しようと努め、無限なる神に関する推測的な理論に耽溺します。この研究に従事する人々は禁断の領域に踏み込んでいます。彼らの研究は価値ある結果をもたらさず、魂を危険にさらしてのみ追求できます。

私たちの最初の先祖は、神が彼らから隠しておいた知識への欲望にふけり、罪に導かれました。この知識を得ようとした

ために、彼らは所有する価値のあるものをすべて失いました。アダムとエバが禁断の木に触れていなかったら、神は彼らに知識を与えたでしょう。それは罪の呪いのない知識であり、永遠の喜びをもたらしたであろう知識でした。誘惑者の言うことに耳を傾けることで彼らが得たのは、罪とその結果を知ることだけでした。彼らの不従順によって、人類は神から疎遠になり、地球は天国から切り離されました。

この教訓は、私たちにも当てはまります。サタンが私たちの最初の両親を誘い込んだ分野は、彼が今日人々を誘惑している分野と同じです。サタンは、心地よい寓話を世界に氾濫させています。あらゆる手段を使って、神について推測するよ

う人々を誘惑します。こうして、サタンは人々が神の知識、つまり救いを得るのを妨げようとしているのです。

汎神論の理論

今日、神と神の言葉への信仰を弱める心靈主義の教えが、あらゆる教育機関や教会に持ち込まれています。神は自然界全体に浸透している本質であるという理論は、聖書を信じていると公言する多くの人々に受け入れられています。しかし、どんなに美しく装っても、この理論は最も危険な欺瞞です。それは神を誤って表現し、神の偉大さと威厳を汚すものです。そして、それは確かに人を惑わすだけでなく、墮落させる傾向があります。その要素は闇であり、その領域は官能性です。それを受け入れると、神から離れて

しまいます。そして、墮落した人間性にとって、これは破滅を意味します。

罪による私たちの状態は不自然であり、私たちを回復させる力は超自然的でなければなりません。そうでなければ価値がありません。人々の心から悪の支配を打ち破ることができる力はただ一つ、それはイエス・キリストの神の力です。十字架にかけられた方の血を通してのみ、罪は清められます。彼の恵みだけが、私たちが墮落した性質の傾向に抵抗し、それを抑えることを可能にします。神に関する心霊主義的な理論は、彼の恵みを無効にします。神が全自然界に浸透する本質であるならば、神はすべての人間の中に宿ります。そして、神聖さを獲得するた

めに、人は自分の中の力を発達させさえすればよいのです。

これらの理論を論理的に推し進めると、キリスト教の教え全体が覆されてしまう。これらの理論は、贖罪の必要性をなくし、人間を自分自身の救世主とする。 [429]これらの神に関する理論は、神の言葉を無力なものにし、これらの理論を受け入れる人々は、最終的に聖書全体を作り話とみなすようになる大きな危険にさらされている。彼らは、美德は悪よりも優れていると考えるかもしれないが、神をその正当な主権の地位から締め出し、神なしには価値のない人間の力に頼ることになる。助けのない人間の意志には、悪に抵抗し、それを克服する真の力はない。魂の防御は崩壊している。人間には、

罪に対する障壁がない。神の言葉と神の
霊の抑制が一度拒否されると、人はどこ
まで落ち込むか分からない。

「神の言葉はすべて純粹である。
神は、神に信頼を置く者にとって盾であ
る。
神の言葉に付け加えてはならない。
そうしないと、神に責められ、偽り者と
みなされる。」

「悪人は自分の不義に捕らわれ、
自分の罪の縄に縛られる。」

箴言 30:5, 6; 5:22。

神の神秘を探る

「隠されたことは、私たちの神、主のも
のである。しかし、現されたことは、永
遠に私たちと私たちの子孫のものである
。」申命記 29:29。神が御言葉で与えて

くださったご自身の啓示は、私たちが学ぶためのものです。私たちはこれを理解しようと努めることができます。しかし、それ以上のことを突き詰めてはなりません。最高の知性は、神の性質に関する推測に疲れ果てるまで努力するかもしれませんが、その努力は無駄でしょう。この問題は、解決するために私たちに与えられたものではありません。人間の心は神を理解することはできません。誰も神の性質に関する推測にふけてはなりません。ここでは沈黙が雄弁です。全知なる方は議論の対象ではありません。

救いの計画が立てられたとき、天使たちでさえ父と子の間の協議に参加することは許されませんでした。そして人間は至高者の秘密に立ち入るべきではありません

ん。私たちは神について幼い子供のように無知です。しかし、幼い子供のように、私たちは神を愛し従うことができます。 [430] 神の本質や特権について推測する代わりに、神が語った言葉に耳を傾けましょう。

「あなたは探究によって神を見つけ出すことができるか？
あなたは全能者を完全に見つけ出すことができるか？
それは天のように高い。あなたに何ができるのか？
地獄よりも深い。あなたは何を知ることができようか。その長さは地よりも長く、海よりも広い。」 「知恵はどこにあるのか。悟りの場所はどこにあるのか。人はその値段を知らない。それは生ける者の地にも見いだされない。深淵は言う、

「それはわたしの内にはない」。海は言う、「それはわたしの内にはない」。金をもってしても得ることはできない。銀をもってしてもその値段を量ることはできない。オフィルの金をもってしても、高価なしまめのうやサファイアをもってしても、その値段を量ることはできない。金と水晶もこれに匹敵することはできない。純金の宝石と引き換えることはできない。珊瑚や真珠も言及されない。知恵の値段はルビーよりも高い。エチオピアのトパーズもこれに匹敵することはできない。純金と同値にもならない。それでは、知恵はどこから来るのか。理解の場所はどこにあるか。 ...
滅びと死は言う、「我々はその評判を耳にした。
神はその道を知り、&l

t;br/>その場所を知っておられる。&l
t;br/>「神は地の果てまで見渡し、&l
t;br/>全天の下を見渡される。...<
;br/>雨のために定めをなし、<br/
>雷の道を定められたとき、<br/&g
t;神はそれを見て、それを告げ、<br/
>それを備え、探し出された。<br/
>そして人に言われた、「見よ、主を
恐れることは知恵である。
悪
を避けることは悟りである。」

ヨブ11:7-9; 28:12-28. [431]

知恵は、地の奥深くまで探しても、神の存在の神秘を解明しようと無駄な努力をしても見つかりません。知恵はむしろ、神が喜んで与えてくださった啓示を謙虚に受け入れ、神の意志に人生を従わせることによって見つかります。

最も優れた知性を持つ人々でさえ、自然界に明らかにされたエホバの神秘を理解することはできません。神の靈感は、最も深い学者でさえ答えることのできない多くの疑問を投げかけます。これらの疑問は、私たちが答えられるようにするためではなく、神の深遠な神秘に私たちの注意を向けさせ、私たちの知恵には限界があること、私たちの日常生活の周囲には有限の存在の理解を超えた多くのことがあることを教えるために投げかけられたのです。

懐疑論者は、神が自らを明らかにする無限の力を理解できないため、神を信じようとしません。しかし、神は、私たちの限られた理解力でわかるものだけでなく、神が自ら明らかにしないものからも認

められるべきです。神の啓示と自然の両方において、神は私たちの信仰を強制する神秘を与えました。これは当然のことです。私たちは常に探求し、常に問いかけ、常に学び続けますが、その先には無限のものがああります。

「だれが、その手のひらで水を量り、手はかりで天を量り、地の塵を升で量り、はかりで山々を量り、天秤で丘を量ったか。だれがエホバの霊を導いたか。だれが神の助言者となって神を教えたか。 . . .
見よ、諸国民は桶の一滴のようであり、
秤の上の小さな塵のようにみなされる。
見よ、神は島々をごく小さなもののように持ち上げられる。
レバノンには焼き尽くすには足りず、
その獣

は全焼の供え物には足りず。

すべての諸国民は神の前に無に等しい。

それらは神によって無に等しいものとみなされ、むなしいものと見なされる。 [432]

「それでは、神をだれにたとえるのか。
何にたとえるのか。…

あなたがたは知らなかったのか。

聞いたことがないのか。

初めから告げられていなかったのか。

地の基が据えられた時から悟らなかったのか。

神は地の円の上に座しておられ、そこに住む者はイナゴのようである。

神は天を幕のように広げ、

住むための天幕のように広げておられる

。…

それでは、わたしをだれにたとえるのか

。…

聖なる方が言われる。

目を高く上げて、

これらを創造した者を見よ。神

はその軍勢を数えて導き出し、

すべてを名で呼ぶ。

その力は大きく、その

力は強いので、

一つも欠けることはない。

「ヤコブよ、なぜあなたは言うのか。イ

スラエルよ、なぜあなたは言うのか。

わたしの道はエホバから隠され、

わたしの正当な裁きはわたしの神から取

り去られたと。

あなたは知らなかったのか。

あなたは知らなかったのか。
永遠の神、エホバ、
地の果ての創造主は、
弱ることなく、疲れることなく、
その理解は測り知れない。」

イザヤ書 40:12-28、ARV

聖霊が預言者たちに与えた啓示から、私たちの神の偉大さを学びましょう。預言者イザヤはこう書いています。

「ウジヤ王が死んだ年に、私は主が高く上げられた王座に座しておられるのを見た。そのすそは神殿に満ちていた。その上にはセラフィムが立っていて、それぞれ六つの翼があり、二つで顔を覆い、二つで足を覆い、二つで飛んでいた。そして、彼らは互いに叫び合った。『聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の

主。その栄光は全地に満ちている。』そして、叫び声のために敷居の基が揺れ、神殿は煙で満たされた。

「その時、わたしは言った。『ああ、わたしは滅びる。わたしは汚れた唇の者であり、汚れた唇の民の中に住んでいる。わたしの目は万軍の主、王を見たのに。

「すると、セラフィムのひとりが、火ばさみで祭壇から取った燃えている炭を手を持ち、わたしのところに飛んで来て、わたしの口に触れ、こう言った。『見よ、これがあなたの唇に触れた。すると、あなたの咎は取り除かれ、あなたの罪は償われた。』」イザヤ書 6:1-7、ARV、欄外。

「主よ、あなたに並ぶものはありません。

あなたは偉大で、
あなたの名は力に満ちています。
諸国の王よ、あなたを恐れない者がある
うか。」

「主よ、あなたは私を探り、私をご存知
です。

あなたは私が座るのも立ち上がるのも知
っておられ、

私の考えを遠くから理解されます。

あなたは私の歩む道も伏す道も見渡し、
私のすべての行いを熟知しておられます
。

私の言葉には一言も無いのに

、主よ、あなたはそれをすべて知ってお
られます。

あなたは私の後ろと前を囲み、
私に手を置かれました。

そのような知識は私にはあまりに素晴らしく、それは高く、私はそれに到達できません。」

エレミヤ 10:6, 7。詩篇 139:1-6。

「われらの主は偉大で、力は偉大。その悟りは無限である。」詩篇 147:5。

「人の道は主の目の前にあり、主はそのすべての行いを熟知しておられる。」箴言5:21。

「彼は深遠な秘密をあらわし、暗黒にあることを知っており、光は彼とともに宿る。」ダニエル書 2:22。

「神は世の初めから、そのすべてのわざを知っておられる。」 「だれが主の思いを知ったか。だれが主の相談役であったか。だれがまず主にささげて、その報い

を受けるとであろうか。すべてのものは、神から発し、神によって成り、神に帰するからである。栄光がとこしえに神にあるように。」使徒行伝15:18; ローマ11:34-36。

「永遠の王、不滅の王、目に見えない王」。 「この王はただ不滅の者であり、人の近づくことのできない光の中に住まわれ、人の見たこともなく、見ることもできない方です。この王に、とこしえの誉れと力があらんことを。」 1テモテ1:17; 6:16。

「そのすぐれた威厳は、あなたがたを怖がらせないだろうか。その恐ろしさは、あなたがたに臨まないだろうか。」

「神は天の高みにおられるではないか。

星の高さを見よ。なんと高いことか。」

「その軍勢はいくつあるだろうか。その光が誰の上にも輝かないだろうか。」

「神は、わたしたちの理解しがたい偉大なことをなされる。

雪に『
地に降れ』と命じ、
雨に

『大雨』を降らせ、
すべての人の手を封印される。それは、
神が創造したすべての人に、それを知る
ためである。…

神はいなずまの雲を広げ、
その導きによって雲を巡らせ、神が命じ
ることを、
すべてこの世界の面において

行わせる。

懲らしめのためであれ、神の国のためであれ

、神がもたらす慈しみのためであれ。

「これに聞き従いなさい。…

立ち止まって、神の不思議なわざを考えなさい。

神が彼らに命令を下し、

その雲の稲妻を輝かせる方法をあなたは知っていますか。

雲のバランスをとる方法、知識

に完全な彼の不思議な働きを知っていますか

?…

あなたは彼と一緒に空を広げることができますか

?それは鑄造された鏡のように強いです

か？

私たちが彼に何を言うべきかを教えてく
ださい。暗闇

のせいで私たちは言葉を整えることがで
きません

...

そして今、空が明るいとき、人々は光を
見ることはできません

。 [435]

「風が通り過ぎて、彼らを吹き飛ばすと
、

北から黄金の輝きがやって来る。

神は恐ろしい威厳を持っている。

全能者に関しては、私たちは彼を見つけ
出すことができない。

彼は力に優れ、

正義と正義に満ちている…。

それゆえ、人々は彼を恐れる。」

天にあるもの、地にあるものをご覧になる

私たちの神、主に似た者がいるでしょうか。」

「主は旋風と嵐の中にもその道を歩まれる。

雲はその足の塵である。」

「主は偉大であり、大いに讃えられるべき方です。

その偉大さは測り知れません。

あなたの御業を世代から世代へと讃え、

あなたの偉大な御業を語り伝えます。

わたしはあなたの威厳の輝かしい栄誉と

、

あなたの不思議な御業について語ります。
。

人々はあなたの恐ろしい御業の威力を語ります

。わたしはあなたの偉大さを語り伝えます。彼らはあなたの偉大な
善良さ

を大いに語り、

あなたの正義を歌うでしょう...

「主よ、あなたのすべての御業はあなたを讃えます

。あなたの聖徒たちはあなたを祝福します。

彼らはあなたの王国の栄光を語り、

あなたの力を語ります。人の子らに主の偉大な御業

と、その王国の輝かしい威厳を

知らせます。

あなたの王国は永遠の王国です。

あなたの統治はすべての世代に続きます
。

私の口は主の賛美を語ります。

そしてすべての肉なる者が永遠に彼の聖
なる御名を祝福します。」

ヨブ 13:11; 22:12; ヨブ 25:3; 37:5-24
、ARV、欄外; 詩篇 113:5, 6; ナホム 1:
3; 詩篇 145:3-21。

神がどのような方であるか、また神の目
に私たち自身がどのような方であるかを
私たちがより深く知るにつれ、私たちは
神を恐れ、震えるようになるでしょう。
現代の人々は、神が神聖なものと宣言し
たものを自由に利用しようとした古代の
人々の運命[436]から警告を受けましょう

。イスラエル人がペリシテ人の地から戻る途中、箱を開けようとした時、彼らの不敬な大胆さは厳しく罰せられました。もう一度、ウザに下された裁きについて考えてみましょう。ダビデの治世に、箱がエルサレムに運ばれるとき、ウザは箱を安定させるために手を伸ばしました。神の臨在の象徴に触れようとしたため、ウザは即死しました。

燃える柴のところで、モーセが神の存在に気づかず、その素晴らしい光景を見るために立ち寄ったとき、次のような命令が下されました。

「ここに近づいてはならない。足からくつを脱ぎなさい。あなたが立っている場所は聖なる地である。…モーセは神を見

るのを恐れて顔を隠した。」出エジプト記3:5, 6。

「ヤコブはベエルシェバから出てハランへ向かった。そして、ある場所に着いたが、日が沈んだので、一晩そこにとどまり、その場所の石を取って枕にし、そこに横になって眠った。

「彼は夢を見た。見よ、地上に梯子が立てられ、その頂は天に達していた。そして神の御使いたちがその上を上り下りしていた。そして見よ、主はその上に立って言われた、

「わたしはあなたの父アブラハムの神、主、イサクの神である。あなたの今いる地を、わたしはあなたとあなたの子孫に与える。…見よ、わたしはあなたとともにいて、あなたがどこへ行ってもあなた

を守り、あなたをこの地に連れ戻す。わたしは、あなたに約束したことを成し遂げるまでは、あなたを見捨てない。」

「ヤコブは眠りからさめて言った。『確かに主はこの所におられる。私はそれを知らなかった。』そして彼は恐れて言った。『この所はなんと恐ろしい所だろう。ここは神の家にほかならない。ここは天の門だ』」創世記28:10-17。

荒野の幕屋と神殿の聖所は神の住まいの地上の象徴であったが、その中の一つの部屋は神の御前に神聖なものであった。その入り口にあるケルビムの彫り込まれた幕は、一人の手以外では持ち上げられてはならないものであった。その幕を持ち上げて、至聖所の神聖な神秘に勝手に侵入することは、死を意味する。なぜな

ら、贖罪所の上には至聖所の栄光が宿っていたからである。その栄光を見つめて生きることなどできる者は誰もいなかった。一年のうちで至聖所での奉仕のために定められた一日に、大祭司は震えながら神の御前に出たが、香の雲が彼の視界から栄光を覆い隠した。神殿の庭全体では、あらゆる音が静まり返っていた。祭司たちは祭壇で奉仕していなかった。崇拝者たちは沈黙して畏敬の念を抱き、神の慈悲を請う嘆願を捧げた。

「これらのことは、例として彼らに起こったのです。そして、それが書かれたのは、世の終わりに臨んでいるわたしたちへの訓戒のためなのです。」コリント人への第一の手紙第10章11節。

「主はその聖なる宮におられる。
全地は主の前に静まれ。」

「主は支配しておられる。民は震え上が
れ。

主はケルビムの間に座しておられる。地
は揺れ動く。

主はシオンにおいて偉大であり、
すべての民の上に高くおられる。
彼らはあなたの偉大で恐るべき名を讃え
よ。

それは聖なるものだから。」

「主の王座は天にあり、
その目は人の子らを見、そのまぶたは人
々を試す。」

「主は聖所の高い所から見下ろしておら
れる。」

「主は住まいの場所から

地に住むすべての者を見渡される。
主は彼らの心を一つにし、
彼らのすべての行いを顧みられる。」
「全地は主を畏れ、
世界に住むすべての者は主を畏れ敬え。
」

ハバクク 2:20。詩篇 99:1-3; 11:4; 102
:19; 33:14、15、8。

人間は探し求めても神を見つけることは
できません。誰も傲慢な手で神の栄光を
隠しているベールを持ち上げようとして
はいけません。「神の裁きは測り知れず
、その道は見抜くことができない」ロー
マ11:33。神の力が隠されていることは神
の慈悲の証拠です。なぜなら、神の存在
を隠しているベールを持ち上げることは
死に等しいからです。全能の神が住まわ

れ、働く秘密を人間の心で突き通すことはできません。神が明らかにすることが適切であるとみなすものだけが、神について理解することができます。理性は、自分よりも優れた権威を認めなければなりません。心と知性は、偉大な「私は在る」にひれ伏さなければなりません。 [439]

第37章 教育における真実と虚偽

悪の同盟の首謀者は常に神の言葉を見えなくし、人間の意見を見えるようにしようとしています。彼は、私たちが「これが道だ。これに歩め」と語る神の声を聞かないようにしようとしています。イザヤ書 30:21。彼は歪んだ教育過程を通じて、天国の光を覆い隠すために全力を尽くしています。

神を認めない哲学的思索と科学的研究は、何千人もの人々を懐疑主義者にしています。今日の学校では、学識のある人々が科学的調査の結果として得た結論が注意深く教えられ、十分に説明されています。その一方で、これらの学識のある人々が正しいのであれば、聖書は正しくな

いという印象が明確に与えられています。懐疑主義は人間の心に魅力的です。若者は懐疑主義の中に想像力を魅了する独立性を見て、騙されます。サタンは勝利します。彼は若い心に蒔かれた疑いの種をすべて育てます。彼はそれを成長させて実を結ばせ、すぐに不信心の豊かな収穫を刈り取ります。 [440]

人間の心は悪に傾く傾向があるため、若い心に懐疑主義の種を蒔くのは非常に危険です。神への信仰を弱めるものは何であれ、誘惑に抵抗する力を魂から奪います。それは罪に対する唯一の本当の防御を奪います。偉大さとは日々の生活の中で神の性格を明らかにすることによって神を敬うことであると若者に教える学校が必要です。神の言葉と神の働きを通し

て、私たちは神について学び、私たちの人生が神の目的を果たすようにする必要があります。

異教徒の著者

多くの人は、教育を受けるには異教徒の著者の著作を学ぶことが不可欠だと考えています。なぜなら、これらの著作には多くの輝かしい思想の宝石が含まれているからです。しかし、これらの思想の宝石の創始者は誰だったのでしょうか。それは神であり、神のみでした。神こそがすべての光の源です。では、すべての真理が私たちの手の届くところにあるのに、なぜ私たちは少数の知的真理のために異教徒の著作に含まれる大量の誤りをかき分けて調べなければならないのでしょうか。

神の政府と戦っている人間が、時折見せる知恵をどのようにして手に入れるのでしょうか。サタン自身も天の宮廷で教育を受けており、善悪の知識を持っています。サタンは高貴なものと卑しいものを混ぜ合わせ、それがサタンに欺く力を与えています。しかし、サタンは天の輝きの衣をまとっているのです、私たちは彼を光の天使として受け入れるべきでしょうか。誘惑者には、彼の方法に従って教育され、彼の精神に触発され、彼の仕事に適応した手先がいます。私たちは彼らに協力すべきでしょうか。私たちは、彼の手先の仕事を、教育の獲得に不可欠なものとして受け入れるべきでしょうか。もし不信心者の輝かしい考えを理解しようと努めるのに費やされた時間と努力が

、神の言葉の貴重な事柄の研究に向けられたなら、今暗闇と死の影の中に座っている何千人もの人々が、生命の光の栄光を喜ぶことになるだろう。 [441]

歴史と神学の伝承

キリスト教の働きの準備として、多くの人は、歴史的および神学的な著作に関する広範な知識を身につけることが不可欠であると考えています。彼らは、この知識が福音を教える助けになると考えています。しかし、人々の意見を骨身にしみて研究することは、彼らの宣教活動を強化するどころか、むしろ弱体化させる傾向があります。歴史と神学に関する重々しい知識が詰まった図書館を見ると、なぜパンではないものにお金を使うのかと考えます。ヨハネによる福音書第 6 章は

、そのような著作に書かれている以上のことを語っています。キリストはこう言っています。「わたしは命のパンです。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決して渴くことはありません。」「わたしは天から下って来た生きたパンです。このパンを食べる人は、いつまでも生きるのです。」「わたしを信じる者は永遠の命を持っています。」「わたしがあなたがたに話すことばは、霊であり、また命です。」ヨハネによる福音書 6:35、51、47、63。

非難されるべきではない歴史研究があります。神聖な歴史は預言者の学校での勉強の一つでした。諸国民に対する神の対応の記録にはエホバの足跡が残されています。ですから今日私たちは、地上の諸

国民に対する神の対応について考えなければなりません。私たちは[442]歴史の中で預言の成就を見、偉大な改革運動における神の働きを学び、大争鬪の最終的な戦いに向けて諸国民を動員する出来事の進行を理解しなければなりません。

このような研究は、人生に対する広く包括的な見方を与えてくれます。人生における関係や依存関係、私たちが社会や国家という偉大な兄弟愛の中でいかに素晴らしく結びついているか、そして一人の抑圧や屈辱が全員にとってどれほど大きな損失を意味するかを理解するのに役立ちます。

しかし、一般的に研究される歴史は、人間の業績、戦いでの勝利、権力と偉大さの獲得の成功に関するものであり、人間

の営みにおける神の働きは見落とされています。国家の興亡における神の目的の実現を研究する人はほとんどいません。そして、研究され教えられた神学は、大部分において、人間の思索の記録にすぎず、「知識のない言葉で助言を曇らせる」ことしか役に立ちません。これらの多くの本を集める動機は、精神と魂の糧を得たいという願望というよりも、哲学者や神学者と知り合いになりたいという野心、学術的な言葉と命題で人々にキリスト教を伝えたいという願望である場合が多すぎます。

書かれたすべての本が聖なる生活の目的にかなうわけではありません。「『私に学びなさい』」と偉大な教師は言いました。「『私のくびきを負いなさい』、私

の柔和さと謙遜さを学びなさい。」あなたの知的自尊心は、命の糧を欠いて滅びつつある魂とコミュニケーションをとるのに役立ちません。これらの本を研究することで、あなたはキリストから学ぶべき実践的な教訓をそれらの本に取って代わらせています。この研究の結果では、人々は養われません。精神を非常に疲れさせる研究のうち、魂のために成功する働き手となるのに役立つものはほとんど提供されません。

救い主は「貧しい人々に福音を宣べ伝えるために」来られました。ルカ4:18。教えの中で、主は最も単純な言葉と最も明白な象徴を使われました。そして、「民衆は喜んで彼の話聞いた」と言われています。マルコ12:37。この時代に主の働

きを行おうとする人々は、主が与えてくださった教訓についてより深い洞察が必要です。

生ける神の言葉は、あらゆる教育の中で最も高いものです。人々に奉仕する人々は、命のパンを食べる必要があります。これにより、霊的な力が与えられ、あらゆる階層の人々に奉仕する準備が整います。

クラシック

大学では、何千人もの若者が人生の最も輝かしい時期の大部分をギリシャ語とラテン語の勉強に費やしています。そして、彼らがこれらの勉強に取り組んでいる間に、彼らの精神と性格は異教文学の邪悪な感情によって形成されます。異教文学を読むことは、これらの言語の勉強に

不可欠な部分であると一般に考えられています。

古典に精通した人々は、「ギリシャ悲劇は近親相姦、殺人、そして好色で復讐心に燃える神々への人間の犠牲に満ちている」と断言します。そのような情報源から得られる教育が不要になれば、世界にとってははるかに良いことでしょう。「人は燃える炭火の上を歩いて、その足を焼かないようにできようか」箴言 6:28。「汚れたものから清いものを引き出せる者はだれか。ひとりもない」ヨブ 14:4。では、神の律法の原則を無視する人々の教えによって若者の教育が形作られているのに、彼らがクリスチャンとしての性格を育むことを期待できるでしょうか。

[444]

自制心を捨てて無謀な娯楽、放蕩、悪徳に陥る学生たちは、これらの勉強によって心に留められたことを真似しているに過ぎません。ギリシャ語とラテン語の知識が必要な職業もあります。これらの言語を勉強しなければならない人もいます。しかし、実用上不可欠なこれらの言語の知識は、墮落した、墮落させる文学を勉強しなくても得られるかもしれせん。

そして、ギリシャ語やラテン語の知識は、多くの人には必要ではありません。死語の勉強は、心身のあらゆる力を正しく使うことを教える科目の勉強に次ぐものであるべきです。学生が、人生の実際的な義務のための訓練を怠って、死語やあ

らゆる分野の書物の知識の習得に時間を費やすのは愚かなことです。

学生たちは学校を卒業するときに何を持っていくのでしょうか。どこへ行くのでしょうか。何をやるのでしょうか。他の人に教えることができるような知識を持っているのでしょうか。真の父親、母親になれるよう教育を受けているのでしょうか。賢明な指導者として一家の長として立つことができるのでしょうか。教育の名に値する唯一の教育とは、若い男性と若い女性をキリストのような者に導き、人生の責任を担うのに適し、一家の長として立つのに適する教育です。そのような教育は、異教の古典を研究することによって得られるものではありません。

センセーショナルな文学

今日の人気の出版物の多くは、若者に悪事を教わり、彼らを破滅の道へと導くセンセーショナルな物語で満ちています。ほんの子供でも、犯罪の知識は大人と同じです。彼らは読んだ物語によって悪事に駆り立てられます。想像の中で、彼らは描かれた行為に基づいて行動し、犯罪を犯して罰を逃れるために何ができるかを知りたいという野心が掻き立てられるまでになります。

子どもや若者の活発な心にとって、未来の空想の啓示に描かれた場面[445]は現実である。革命が予測され、法と自制の壁を打ち破るあらゆる種類の行為が描写されるにつれて、多くの人がこれらの描写の精神をつかむ。彼らは、可能であれば、これらのセンセーショナルな作家が描

くよりもさらに悪い犯罪を犯すように導かれる。このような影響を通じて、社会は道徳的崩壊しつつある。無法の種は広くまかれる。その結果、犯罪が収穫されるのに誰も驚かない。

ロマンス作品、軽薄で刺激的な物語も、読者にとっては、ほとんど同じくらい呪いである。著者は道徳的な教訓を教えると公言し、作品全体に宗教的な感情を織り交ぜているかもしれないが、多くの場合、これらはその下にある愚かさや無価値さを隠すためだけに機能している。

世の中には、誘惑的な誤りに満ちた本があふれています。若者は、聖書が偽りであると非難しているものを真実として受け入れ、魂を破滅させる欺瞞を愛し、それに固執しています。

真理を教えたり、大きな悪を暴露したりする目的で書かれたフィクション作品があります。これらの作品の中には良いことを成し遂げたものもありますが、計り知れない害ももたらしています。それらの作品には、想像力を刺激し、特に若者にとって危険に満ちた思考の流れを生み出すような記述や巧妙に描かれた絵が含まれています。描写された場面は、彼らの思考の中で何度も何度も生き返らされます。そのような読書は、精神を役に立たなくし、靈的訓練に適さなくします。それは聖書に対する興味を破壊します。天国の事柄は思考の中にほとんど入りません。描写された不純な場面を思い巡らすと、情熱がかき立てられ、最終的には罪になります。

たとえ不純なところがまったくなく、優れた原理を教えることを意図しているフィクションであっても、有害である。[446]単に物語だけを読もうと、性急で表面的な読書を習慣づける。こうして、連関のある活発な思考力を破壊しがちであり、義務と運命という大きな問題を熟考する魂を不適格にする。

小説を読むことは、単なる娯楽への愛着を育むことによって、人生の実際的な義務に対する嫌悪感を生み出します。小説の持つ興奮と陶酔の力により、精神と肉体の両方の病気の原因になることも少なくありません。多くの悲惨で無視された家庭、多くの生涯病人、多くの精神病院の入院患者が、小説を読む習慣によってそのような状態になっています。

若者を扇情的または価値のない文学から引き離すには、より良質のフィクションを提供すべきだとよく言われます。これは、酔っぱらいを治すために、ウイスキーやブランデーの代わりに、ワイン、ビール、サイダーなどのより穏やかな酔わせる飲み物を与えようとするようなものです。これらを使用すると、より強い刺激物への欲求が絶えず高まります。酔っぱらいにとって唯一の安全策、そして節制している人にとって唯一の予防策は、完全な禁酒です。フィクション愛好家にも同じルールが当てはまります。完全な禁酒が唯一の安全策です。

神話とおとぎ話

子どもや若者の教育において、おとぎ話、神話、架空の物語は、現在大きな位置

を占めています。この種の本は学校で使用され、多くの家庭で見受けられます。キリスト教徒の親は、どうしてこのように虚偽に満ちた本を子どもに使わせることができるのでしょうか。子どもが親の教えに反する物語の意味を尋ねると、その答えは、その物語は真実ではないということです。しかし、これでその本の使用による悪影響がなくなるわけではありません。これらの本で提示される考えは、子どもを惑わします。それらは[447]人生についての誤った見方を伝え、非現実的なものへの欲求を生み出し、育てます。こうした本が現在広く使用されているのは、サタンの巧妙な策略のひとつです。サタンは、老若男女の心を人格形成という偉大な仕事からそらそうとしています

。サタンが世界に流布している魂を破壊するような欺瞞によって、子供たちや若者たちがさらわれることをサタンは望んでいます。そのため、サタンは彼らの心を神の言葉からそらし、彼らの安全を守る真理の知識を得るのを妨げようとしているのです。

真実を歪曲した内容を含む本を、子供や若者の手に渡すことは絶対に避けてください。教育を受けている最中に、子供たちに罪の種となるような考えを受け取らせてはいけません。成熟した精神を持つ人々がそのような本に一切関わらなければ、彼ら自身ははるかに安全であり、彼らの模範と正しい側への影響力によって、若者を誘惑から守ることははるかに容易になるでしょう。

私たちには真実のもの、神聖なものがあふれています。知識に飢えている人は、汚れた泉に行く必要はありません。主はこう言っています。

「耳を傾けて、賢者の言葉を聞き、わたしの知識に心を向けよ。…あなたが主に信頼を置くことができるように、わたしは今日、あなたに知らせた。わたしは助言と知識において、あなたに優れたことを書き記したではないか。それは、あなたに真実の言葉の確かさを知らせるためであり、あなたに遣わした

人々に真実の言葉で答えるためである。
」

「彼はヤコブに証を立て、
イスラエルに律法を定めた。 [448]
神はこれを、私たちの先祖に命じて、
その子孫に伝えさせられました。』 『そ
れ
は、主の賛美
と、その力と、主が行われた不思議な業
とを、後の世代に示すためでした。』 『
それは、後の世代、
すなわち、生まれてくる子供たちが
これを知り、
立ち上がって、その子孫にそれを告げ知
らせ
、神に望みを置くようになるためでした
。』

「主の祝福は人を豊かにし、
それに悲しみを加えない。」

箴言 22:17-21。詩篇 78:5, 4, 6, 7。箴
言 10:22。

キリストの教え

同様に、キリストは福音の中で真理の原則を説かれました。キリストの教えの中で、私たちは神の御座から流れ出る清らかな流れを飲むことができます。キリストは、これまでのいかなる啓示をも凌ぐ知識を人々に授け、他のあらゆる発見を影に追いやることもできました。キリストは次から次へと謎を解き明かし、これらの素晴らしい啓示を中心に、世の終わりまで続く世代の積極的で真剣な思考を集中させることもできました。しかし、キリストは救いの科学を教えることを一

瞬たりとも惜しみませんでした。キリストの時間、能力、そして人生は、人々の魂の救いを実現するための手段としてのみ評価され、使われました。キリストは失われたものを探し出し、救うために来られたので、その目的から目をそらすことはしませんでした。キリストは、何事にもそらされることを許しませんでした。

キリストは、利用できる知識だけを伝えた。人々への教えは、実際の生活における彼ら自身の状況の必要に限定されていた。人々が詮索好きな質問をして彼のもとに来る好奇心を、彼は満足させなかった。そのような質問はすべて、厳粛で、真剣で、重要な訴えの機会となった。知識の木から摘み取ることに熱心な人々に

、彼は生命の木の実を差し出した。彼らは、神に通じる道を除いて、すべての道が閉ざされているのを知った。永遠の生命の泉を除いて、すべての泉は封印されていた。

私たちの救い主は、当時のラビ学校に通うことを誰にも勧めませんでした。それは、「彼らは言う」とか「言われている」という繰り返しで心が腐敗してしまうからです。では、より偉大で確かな知恵が私たちの手に握られているのに、なぜ私たちは人間の不安定な言葉を崇高な知恵として受け入れなければならないのでしょうか。

私が見た永遠のもの、そして私が見た人間の弱さは、私の心に深い感銘を与え、私の生涯の仕事に影響を与えました。私

は人間が賞賛されるべきものや栄光を与えられるべきものを何も見ていません。世俗的な賢人やいわゆる偉人の意見を信頼し、称賛すべき理由も見当たりません。神の啓示を欠いた人々が、どうして神の計画や道について正しい考えを持つことができるのでしょうか。彼らは神を完全に否定し、神の存在を無視するか、あるいは自分自身の有限な概念によって神の力を制限します。

天と地を創造した神、大空の星々を秩序正しく配置し、太陽と月をその働きのために定めた神から教えを受けることを選びましょう。

若者が自分の知力を最大限に発達させなければならぬと感じるのは当然です。神が制限を設けていない教育を私たちは

制限しません。しかし、神の名誉と人類の利益のために役立てなければ、私たちの成果は何の役にも立ちません。

実生活で役に立たない勉強で頭をいっぱいにするのはよくありません。そのような教育は学生にとって損失です。なぜなら、これらの勉強は、学生の役に立つようになり、責任を果たせるようになるような勉強に対する彼の欲求と傾向を減じるからです。実践的な訓練は、単なる理論化よりもはるかに価値があります。知識を持っているだけでは十分ではありません。知識を正しく使用する能力がなければなりません。

多くの人が比較的役に立たない教育に費やす時間、手段、勉強は、人生の責任を担うのに適した実践的な男女になるため

の教育を受けることに充てられるべきです。そのような教育は最高の価値を持つでしょう。

私たちに必要なのは、心と魂を強くし、私たちをよりよい人間にしてくれる知識です。心の教育は、単なる書物による学習よりもはるかに重要です。私たちが住んでいる世界についての知識を持つことは、良いことであり、不可欠です。しかし、永遠を考慮に入れなければ、私たちは決して回復できない失敗を犯すこととなります。

学生は知識の獲得に全力を注ぐかもしれませんが、神についての知識がなければ、自分自身の存在を支配する法則に従わなければ、自分自身を破滅させるでしょう。間違った習慣によって、自己評価の

力を失い、自制心を失います。最も深く関わっている事柄について正しく推論することができません。心と体の扱いにおいて無謀で非合理的です。正しい原則を養うことを怠ったため、この世と来世の両方で破滅します。

若者が自分の弱さを理解していれば、神に強さを見出すでしょう。神に教えを求めるなら、神の知恵によって賢くなり、彼らの人生は世界に祝福をもたらすでしょう。しかし、彼らが世俗的で思索的な研究に心を委ね、神から離れれば、人生を豊かにするものをすべて失うでしょう。
。 [451]

第38章 真の知識を求めることの重要性

わたしたちが関わっているこの大きな紛争で問題となっている事柄を、わたしたちはもっとはっきりと理解する必要があります。神の言葉の真理の価値と、偉大な欺瞞者によってわたしたちの心がそこから逸らされることの危険性を、もっと十分に理解する必要があります。

わたしたちの救済に必要な犠牲の無限の価値は、罪がとてつもない悪であるという事実を明らかにしています。罪によって、人間の組織全体が狂い、精神が歪められ、想像力が墮落します。罪は魂の能力を低下させました。外部からの誘惑は心の中に共鳴し、いつの間にか悪へと向かってしまいます。

私たちのための犠牲が完全であったように、罪の汚れからの私たちの回復も完全でなければなりません。神の律法はいかなる悪行も許しません。いかなる不義もその非難を免れることはできません。福音の倫理は、神の品性の完全さ以外の基準を認めません。キリストの生涯は律法のすべての戒めを完全に成就しました。彼は言いました、「私は父の戒めを守りました。」彼の生涯は従順と奉仕の模範です。神だけが心を新たにすることができます。「神は、御心のままに、あなたがたのうちに働いて、志を立てさせ、行わせて下さる方です。」しかし、私たちは「自分の救いを達成しなさい」と命じられています。ヨハネ15:10; ピリピ2:13, 12。

思考を必要とする仕事

弱々しく断続的な努力では、間違いを正すことも、行動を改めることもできません。人格の形成は、1日や1年ではなく、一生かけて行う作業です。自己を征服し、神聖さと天国を求める闘いは、一生続く闘いです。絶え間ない努力と絶え間ない活動がなければ、神聖な生活の進歩も、勝利者の冠の獲得もありません。

人間がより高い状態から墮落したことを示す最も強力な証拠は、戻るのに多大な犠牲を払わなければならないという事実です。戻る道は、少しずつ、時間ごとに、懸命に戦って初めて得られるものです。一瞬のうちに、軽率で油断した行動によって、私たちは悪の力に身を置くことになるかもしれませぬ。しかし、束縛を

破り、より神聖な生活に到達するには、一瞬では足りません。目的が定まり、仕事が始まったとしても、それを達成するには、苦勞、時間、忍耐、忍耐、犠牲が必要です。

衝動に任せて行動することは許されません。一瞬たりとも油断はできません。数え切れないほどの誘惑に襲われますが、断固として抵抗しなければ負けてしまいます。努力を怠ったまま人生を終えるなら、それは永遠の損失です。

使徒パウロの人生は、常に自分との葛藤でした。彼は「私は日々死んでいます」と言いました。コリント人への第一の手紙 15:31。彼の意志と欲望は日々、義務と神の意志と衝突しました。彼は自分の性質にとってどれほど十字架につけられ

ても、性癖に従う代わりに神の意志を実行しました。

闘争の生涯の終わりに、その苦闘と勝利を振り返りながら、パウロはこう言うことができました。「わたしは戦いをりっぱに戦いぬき、走るべき行程を走りつくし、信仰を守り通した。今や、わたしのために義の冠が用意されている。かの日に、義なる審判者である主が、それをわたしに授けてくださるであろう。」テモテへの手紙二第4章7、8節。

キリスト教徒としての人生は戦いであり、行進です。この戦いには休息はありません。努力は継続的かつ忍耐強くなければなりません。絶え間ない努力によってこそ、私たちはサタンの誘惑に打ち勝つことができるのです。キリスト教徒とし

での誠実さは、抵抗できないエネルギーで追求し、断固とした目的意識で維持しなければなりません。

自分自身のために厳しく粘り強い努力をしなければ、誰も昇進することはできません。誰もが自分自身のためにこの戦いに挑まなければなりません。他の誰も私たちの戦いを戦うことはできません。私たちは個々にこの闘争の結果に責任があります。ノア、ヨブ、ダニエルは地にいましたが、彼らの正義によって息子や娘を救うことはできませんでした。

習得すべき科学

キリスト教には習得すべき科学があります。それは、天が地よりも高いのと同じくらい、人間の科学よりもはるかに深く、広く、高い科学です。精神は訓練され

、教育され、訓練されなければなりません。なぜなら、私たちは生来の性向と調和しない方法で神に奉仕しなければならないからです。遺伝的および培われた悪への傾向は克服されなければなりません。多くの場合、生涯にわたる教育と訓練は捨て去られなければなりません。そうすることで、人はキリストの学校の生徒になることができます。私たちの心は、神にしっかりと従うように教育されなければなりません。私たちは誘惑に抵抗できるような思考習慣を身につけなければなりません。私たちは上を見上げることを学ばなければなりません。神の言葉の原則、つまり天のように高く、永遠に及ぶ原則を、私たちは日常生活に関係するものとして理解しなければなりません。

ん。すべての行為、すべての言葉、すべての考えは、これらの原則と一致していなければなりません。すべてはキリストと調和し、キリストに従わなければなりません。

聖霊の貴重な恵みは、一瞬にして得られるものではありません。勇気、不屈の精神、柔和さ、信仰、神の救いの力に対する揺るぎない信頼は、長年の経験によって獲得されるものです。神の子らは、聖なる努力と正義への固い固執の人生によって、自らの運命を決定づけるのです。

時間を無駄にしない

私たちには失う時間はありません。私たちの試練がいつ終わるかはわかりません。長くても、この世での人生はほんの短いもので、死の矢がいつ私たちの心を射

抜くかはわかりません。私たちがいつこの世とその利益を放棄するよう求められるかはわかりません。永遠が私たちの前に広がっています。幕が開きます。しかし、ほんの数年で、今生きている者全員に命令が下されます。

「不正を行う者は、なお不正を行い、義を行う者は、なお義を行い、聖なる者は、なお聖なる行いを続けよ。」ヨハネの黙示録 22:11。

わたしたちは準備ができているでしょうか。天の統治者であり、立法者である神と、神がその代表としてこの世に遣わしたイエス・キリストについて、わたしたちはよく知っているでしょうか。わたしたちの生涯の仕事が終わるとき、わたしたちはキリストがわたしたちの模範であ

ったように、次のように言うことができるでしょうか。

「わたしは地上でああなたの栄光をあらわしました。わたしにさせるためにお与えになったわざを成し遂げました。…わたしはあなたの御名を現しました」ヨハネ17:4-6。

神の天使たちは、私たちを私たち自身と地上のものから引き離そうとしています。彼らの努力が無駄にならないように。

[455]

放縦な考えに陥った心は変える必要があります。「心の腰帯を締め、慎み、イエス・キリストの現われのときにあなたがたに与えられる恵みを最後まで待ち望みなさい。従順な子供らしくありなさい。無知なころの欲に従って自分を形作って

はいけません。むしろ、あなたがたを召された方は聖なる方ですから、あなたがたもすべての行いにおいて聖なる者となりなさい。『わたしは聖なる者であるから、あなたがたも聖なる者となりなさい』と書いてあるからです。」ペテロの手紙一第1章13～16節。

思いは神に集中しなければなりません。私たちは、生まれながらの心の邪悪な傾向を克服するために、真剣に努力しなければなりません。私たちの努力、自己否定、忍耐は、私たちが追い求めている目的の無限の価値に比例していなければなりません。キリストが克服したように克服することによってのみ、私たちは命の冠を勝ち取ることができるのです。

自己放棄の必要性

人間にとっての大きな危険は、自己欺瞞に陥り、自己満足にふけり、それによって自分の力の源である神から離れることです。私たちの生来の傾向は、神の聖霊によって矯正されない限り、道徳的死の種を宿しています。神と生き生きと結びつかない限り、自己満足、自己愛、罪への誘惑という不浄な影響に抵抗することはできません。

キリストの助けを受けるためには、私たちは自分の必要性に気づかなければなりません。私たちは自分自身について本当の知識を持たなければなりません。キリストが救えるのは、自分が罪人であることを知っている人だけです。私たちが自分の完全な無力さを知り、すべての自己

信頼を放棄して初めて、私たちは神の力をつかむことができるのです。

この自己放棄は、キリスト教徒としての生活を始めたばかりのときにだけ行うべきものではありません。天国へ向かって一歩ずつ前進するたびに、自己放棄は新たにされなければなりません。私たちの善行はすべて、私たち自身の外にある力に依存しています。したがって、絶えず心から神を求め、絶えず真剣に罪を告白し、神の前で魂を謙虚にする必要があります。危険は私たちを取り囲んでいます。私たちが安全でいられるのは、自分の弱さを感じ、信仰の力で力強い救世主にすがっているときだけです。

真の知識の源であるキリスト

我々は、注目を集める無数の話題から目をそらさなければなりません。時間を費やし、探究心を掻き立てるが、結局は何も終わらない問題があります。最も高い関心は、比較的取るに足りないものにしばしば向けられる細心の注意とエネルギーを必要とします。

新しい理論を受け入れること自体が、魂に新しい命をもたらすわけではありません。たとえ事実や理論自体が重要だとしても、それを実際に活用しなければほとんど価値がありません。私たちは、霊的生活を養い、刺激する食べ物を魂に与える責任を感じる必要があります。

「あなたの耳を知恵に傾け、あなたの心を悟りに向けよ。銀を求めるように知恵を求め、隠された宝を求めるように知恵

を尋ねよ。そうすれば、あなたは主を畏れることを悟り、神を知る知識を見いだすであろう。そうすれば、あなたは正義と公正と公平と、すべての良い道とを理解するであろう。知恵はあなたの心に入り、知識はあなたの魂に喜びをもたらすであろう。思慮分別はあなたを守り、悟りはあなたを守るであろう。」
知恵は「これをつかむ者にとっては命の木である。
これを保っている者は皆幸いである。」

箴言 2:2-11、ARV; 3:18。

私たちが研究すべき問いは、「真理とは何か。大切にされ、愛され、尊敬され、従われるべき真理とは何か」です。科学の信奉者たちは神を見つけようとする努力に挫折し、落胆してきました。彼らが

今問うべきことは、「私たちの魂の救済を勝ち取ることができる真理とは何か」です。 [457]

「キリストをどう思いますか？」これは最も重要な質問です。あなたはキリストを個人的な救世主として受け入れますか？キリストを受け入れるすべての人に、神の子となる力を与えてくださいます。キリストは、弟子たちに神を啓示し、彼らの心の中で特別な働きを成し遂げました。それは、神が私たちの心の中で行うことを望んでおられるのと同じです。理論にこだわりすぎて、救い主の模範の生きた力を見失っている人はたくさんいます。謙虚で自己を犠牲にする働き手としての救い主を見失っています。彼らが必要としているのは、イエスを見つめるこ

とです。私たちは毎日、イエスの存在を新たに啓示してもらう必要があります。自己放棄と自己犠牲のイエスの模範にもっと忠実に従う必要があります。

パウロが次のように書いたときのような経験が私たちには必要です。「私はキリストとともに十字架につけられました。しかし、私が生きているのです。しかし、私ではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。私が今肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお与えになった神の御子を信じる信仰によっているのです。」ガラテヤ人への手紙 2:20。

人格に表される神とイエス・キリストについての知識は、地上や天国で尊重される他のすべてのものよりも高貴なもので

ある。それはまさに最高の教育である。
それは天の都の門を開く鍵である。この
知識は、キリストを身にまとうすべての
人が持つべきものであるというのが神の
目的である。 [458]

第39章 神の言葉を通して得られる知識

聖書全体は、キリストにおける神の栄光の啓示です。聖書は、受け入れ、信じ、従うことで、人格の変革に大きな役割を果たします。聖書は、肉体的、精神的、靈的な力を活性化し、人生を正しい方向に導く、偉大な刺激、抑制力です。

若者、そして成人した人々でさえ、誘惑と罪に陥りやすいのは、彼らが神の言葉を学び、それについて熟考すべきことをしていないからです。生活と性格に表れる、堅固で断固とした意志力の欠如は、神の言葉の神聖な教えを無視した結果です。彼らは、純粹で神聖な考えを喚起するものに心を向け、不純で真実ではないものから心を逸らすために、真剣な努力

をしません。マリアのように、イエスの足元に座って神の教師について学ぶという、より良い方を選ぶ人はほとんどいません。彼の言葉を心に大切にし、生活の中で実践する人はほとんどいません。 [459]

聖書の真理を受け入れると、心と魂は高揚します。神の言葉が適切に評価されれば、老若男女を問わず、誘惑に抵抗できる内面の正直さと信念の強さを身につけることができます。

人々は聖書の貴重なものを教え、書き記すべきである。思考、才能、鋭い知力の行使を、神の考えの研究に捧げるべきである。人間の推測の哲学を学ぶのではなく、真理である神の哲学を学びなさい。

他のいかなる文学も、価値においてこれに匹敵するものはない。

地上の心は神の言葉を熟考することに喜びを見いだしません。しかし、聖霊によって新たにされた心には、神聖なページから神聖な美しさと天国の光が輝きます。地上の心にとって荒涼とした荒野であったものが、霊的な心にとっては生きた川の流れる土地になります。

神の言葉に明らかにされた神についての知識は、私たちの子供たちに与えられるべき知識です。理性が芽生えた最初のところから、彼らはイエスの名と生涯に親しむべきです。彼らの最初のレッスンでは、神が彼らの父であることを教えるべきです。彼らの最初の訓練は、愛ある従順の訓練であるべきです。彼らの理解に適

した、そして彼らの興味を喚起するのに適した部分で、敬虔に、そして優しく神の言葉を彼らに読み聞かせ、繰り返し聞かせてください。そして何よりも、キリストに明らかにされた神の愛と、その偉大な教訓を学ばせてください。

「神がこのように私たちを愛してくださったのなら、私たちも互いに愛し合うべきです。」ヨハネ第一4:11。

若者は神の言葉を心と魂の糧としましょう。キリストの十字架をすべての教育の科学、すべての教えとすべての研究の中心としましょう。それを実際の生活の日々の経験に取り入れましょう。そうすれば、救い主は若者にとって日々の仲間、友人になるでしょう。すべての考えはキリストの服従に捕らえられるでしょう。

使徒パウロとともに彼らはこう言うことができるでしょう。

「わたしは、わたしたちの主イエス・キリストの十字架以外には、誇るところがありません。この十字架によって、世界はわたしに対して十字架につけられ、わたしも世界に対して十字架につけられたのです。」ガラテヤ6:14。 [461]

こうして彼らは信仰を通して、経験的な知識によって神を知るようになります。彼らは神の言葉の現実性と神の約束の真実性を自ら証明しました。彼らは味わい、主が善良であることを知りました。

愛するヨハネは、自分自身の経験を通して得た知識を持っていました。彼は次のように証言することができました。

「初めからあったもの、わたしたちが聞いたもの、目で見たもの、じっと見つめ、また手でさわったもの、すなわち、いのちのことばについて。いのちは現れ、わたしたちはそれを見たので、その証しをし、父とともにあったが、わたしたちに現れたその永遠のいのちについて、あなたがたに示します。わたしたちが見聞きしたことをあなたがたに告げ知らせるのは、あなたがたもわたしたちと交わりを持つようになるためです。わたしたちの交わりは、父と御子イエス・キリストとの交わりです。」ヨハネの手紙一第1章1~3節。

そうすれば、誰もが自分の経験を通して、「神は真実である」と証しすることができるのです。ヨハネ 3:33、ARV 彼は、

キリストの力について、自分が見聞きし感じたことを証しすることができます。彼は次のように証言することができます。

「私は助けを必要としていましたが、イエスにそれを見つけました。あらゆる欲求が満たされ、私の魂の飢えは満たされました。私にとって聖書はキリストの啓示です。イエスは私にとって神聖な救世主なので、私はイエスを信じています。聖書は私の魂への神の声であると分かったので、私は聖書を信じています。」

個人的な経験を通して神と神の言葉についての知識を得た人は、自然科学の研究に取り組む準備ができています。キリストについては、「彼のうちに命があった。その命は人々の光であった」と書かれ

ています。ヨハネ1:4。罪が入る前、エデンの園のアダムとエバは、神の光である、澄んだ美しい光に囲まれていました。この光は、彼らが近づくすべてのものを照らしました。神の性格や[462]作品に対する彼らの認識を曇らせるものは何もありませんでした。しかし、彼らが誘惑者に屈したとき、光は彼らから去りました。聖性の衣服を失ったことで、彼らは自然を照らしていた光を失いました。もはや彼らは自然を正しく読み取ることができませんでした。彼らは神の作品の中に神の性格を見分けることができませんでした。したがって、今日、人間は自分自身で自然の教えを正しく読み取ることができません。神の知恵に導かれない限り、人間は自然と自然の法則を自然の神よ

りも高く評価します。これが、科学に関する単なる人間の考えが神の言葉の教えとしばしば矛盾する理由です。しかし、キリストの命の光を受け入れる者にとっては、自然は再び照らされます。十字架から輝く光の中で、私たちは自然の教えを正しく解釈することができます。

個人的な経験を通して神と神の言葉を知る人は、聖書の神性に確固とした信仰を持っています。神の言葉が真実であることを証明し、真実が矛盾することは決してないことを知っています。人間の科学の考えで聖書をテストするのではなく、これらの考えを誤りのない基準でテストします。真の科学では言葉の教えに反するものは何もないことを知っています。両者は同じ著者を持っているので、両方

を正しく理解すれば、それらが調和していることがわかります。いわゆる科学的教えの中で神の言葉の証言と矛盾するものは何でも、単なる人間の推測です。

そのような学生にとって、科学的研究は広大な思考と情報の領域を開くでしょう。自然の物事を熟考するにつれて、真実に対する新たな認識が彼にもたらされます。自然の書物と書かれた言葉は、お互いに光を投げかけます。どちらも、神の性格と神が働く法則を教えることで、神をよりよく知るようになります。

詩篇作者の経験は、自然と啓示を通して神の言葉を受け取ることによってすべての人が得ることができる経験です。彼はこう言っています。 [463]

「主よ、あなたは御業によってわたしを
喜ばせてくださいました。

わたしはあなたの御手の業によって勝利
を得ます。」

「主よ、あなたの慈悲は天にあり、
あなたの誠実さは雲にまで達します。
あなたの正義は大いなる山々のようで、
あなたの裁きは深い淵のようです...」

「ああ神よ、あなたの慈愛は何と素晴ら
しいのでしょうか！」

「人の子らは
あなたの翼の陰に避難します。そしてあ
なたは彼らに
あなたの喜び
の川から飲ませてくださいます。
あなたのもとに命の泉があります。」

あなたの光の中で私たちは光を見ます。

」

主の教えに従って歩み

、正しい道を歩む人たちは幸いだ。

主の証しを守り、

心を尽くして主を求める人たちは幸いだ

。」

「若者は何によって自分の道を清めることができるでしょうか

。あなたの言葉に心を留めることです。

」

「私は誠実の道を選び、

あなたの定めを私の前に置きました。」

「

私はあなたに罪を犯さないために、

あなたの言葉を心に留めました。」

「そして私は自由に歩みます。
私はあなたの戒めを求めたからです。」
「わたしの目を開いて、
あなたの律法の驚くべきことを見せてく
ださい。」

「あなたの証しはわたしの喜びであり
、わたしの助言者です。」 「あなたの口
の律法は、わたしにとって
何千もの金や銀よりも価値があります。
」

「ああ、あなたの律法をどれほど愛して
いることでしょう
。それは一日中私の瞑想です。」
「あなたの証言は素晴らしいです。
それゆえ、私の魂はそれを守ります。」
「あなたの法令は

私の巡礼の家で私の歌となっています。
」

「あなたの言葉はきわめて純粹です。
それゆえ、あなたのしもべはそれを愛し
ます。」 [464]

「あなたの言葉の総体は眞実です。
あなたの正しい定めはどれも永遠に続
きます。」

「私の魂が生き、あなたを讃美しますよ
うに。
あなたの戒めが私を助けますように。」

「あなたの律法を愛する者には大いなる
平安があり、
彼らにはつまづくことはありません。」

「エホバよ、わたしはあなたの救いを望
み、

あなたの戒めを守りました。
わたしの魂はあなたの証しを守り、
それを深く愛しています。」

「あなたの言葉が開かれると光が差し、
純朴な者に理解を与えます。」

「あなたの戒めは私を敵よりも賢くしま
す。
それはいつも私とともにあるからです。
私はすべての教師よりも理解力があ
ります。」

あなたの証しは私の瞑想です。
私は年長者よりも理解力があ
ります。な
ぜなら、
私はあなたの戒めを守っているから
です。」

「あなたの戒めによって私は理解を得
ます。」

それゆえ、私はすべての偽りの道を憎みます。」

「あなたの証しを私は永遠に受け継ぎました。

それは私の心の喜びです。」

詩篇 92:4; 36:5-7; 36:7-9、ARV; 119:1
、2、9、30、ARV、欄外; 119:11、45、18
、24、72、97、129、54、140、160、175
、165-167、130、98-100、104、111、ARV

神のより明確な啓示

神の性格をより明確に明らかにするために、さらに高みを目指すのは私たちの特権です。モーセが「どうか、あなたの栄光をお見せください」と祈ったとき、主は彼を叱責せず、祈りを聞き入れられました。神はその僕に「わたしはわたしの善良さをことごとくあなたの前に通らせ

「主の名をあなたの前に宣べ伝えよう」と宣言されました（出エジプト記 33:18, 19）。

私たちの心を暗くし、知覚を鈍らせるのは罪です。罪が私たちの心から取り除かれると、イエス・キリストの顔にある神の栄光の知識の光 [465] が、神の言葉を照らし、自然界に反映され、ますます完全に神が「慈悲深く、恵み深く、忍耐強く、善意と真実に満ちている」ことを宣言するようになります。出エジプト記34:6。

神の光の中で、私たちは光を見るでしょう。そして、心と魂が神の聖性の姿に変えられるのです。

このように神の言葉の神聖な保証をつかむ人々にとって、素晴らしい可能性があ

ります。彼らの前には広大な真理の領域、広大な力の源があります。栄光ある事が明らかにされます。聖書にあるとは想像もしなかった特権と義務が明らかにされます。謙虚に従順の道を歩み、神の目的を果たす人は皆、神の預言をますます知るでしょう。

学生に聖書を導きとして受け入れさせ、信念を堅持させれば、どんな高みにも到達できるでしょう。人間性に関するすべての哲学は、神が全てであると認識されていないときに混乱と恥辱をもたらしました。しかし、神から靈感を受けた貴重な信仰は、強さと気高い性格を与えます。神の善良さ、慈悲、愛について深く考えるにつれて、真理の認識はますます明確になり、心の清らかさと思考の明晰さ

への欲求はより高く、より神聖になります。神聖な思考の純粹な雰囲気に住む魂は、神の言葉の研究を通して神と交わることで変化します。真理は非常に大きく、非常に広範囲に及び、非常に深く、非常に広いので、自己を見失います。心は和らぎ、謙虚さ、親切さ、愛に落ち着きます。

そして、神聖な従順さのおかげで、自然の力は拡大されます。命の言葉を学ぶことで、生徒は心が広がり、高められ、高貴になります。彼らがダニエルのように神の言葉を聞き、実行するなら、ダニエルのようにあらゆる学問の分野で進歩することができます。心が清らかであれば、彼らは強い意志を持つようになります。あらゆる知的能力が活性化されます。

彼らは自らを教育し、鍛えることで、彼らの影響範囲内にいるすべての人が、知恵と力の神とつながると、人間は何者になり、何ができるのかを知るでしょう。

永遠の命における教育

この世での生涯の仕事は永遠の命への準備です。この世で始まる教育はこの世で完了することはありません。永遠に進み続けるものであり、決して完了することはありません。贖いの計画における神の知恵と愛は、ますます完全に明らかにされます。救い主は、子供たちを生ける水の源に導きながら、豊富な知識を授けてくださいます。そして日々、神のすばらしい御業、宇宙を創造し維持する神の力の証拠が、新たな美しさで私たちの心にかかれます。御座から輝く光の中で、神

秘は消え去り、これまで理解できなかった物事の単純さに、魂は驚きに満たされるでしょう。

今は鏡にぼんやり映っているが、その時は顔と顔とを合わせて見る。今は部分的にしか知らないが、その時は、私たちがすでに知られているのと同じように、完全に知ることになる。 [467]

労働者のニーズ

[468] [469]

第40章 日常生活の助け

純粹で真のクリスチャンの静かで一貫した生活には、言葉の雄弁さよりもはるかに強力な雄弁さがあります。人が何者であるかは、その人が言うことよりも影響力があります。

イエスのもとに遣わされた役人たちは、イエスが語ったように話した人は誰もいないという報告を持って戻ってきました。しかし、その理由は、イエスが生きたように生きた人が誰もいなかったからです。イエスの人生が今と違っていたなら、イエスはこのように話すことはできなかったでしょう。イエスの言葉には説得力がありました。なぜなら、それは愛と

同情、慈悲と真実に満ちた純粹で神聖な心から出たものだったからです。

他人に対する私たちの影響力は、私たち自身の性格と経験によって決まります。キリストの恵みの力を他人に納得させるためには、私たち自身の心と生活の中でその力を知らなければなりません。私たちが魂の救いのために伝える福音は、私たち自身の魂が救われる福音でなければなりません。キリストを個人的な救い主として信じる生きた信仰を通してのみ、懐疑的な世界に私たちの影響力を及ぼすことができます。罪人を激流から引き上げたいなら、私たち自身の足は岩であるキリスト・イエスの上にしっかりと据えられていなければなりません。

キリスト教の象徴は、外面的なしるしでも、十字架や王冠をかぶることでもありません。それは、人間と神との結合を明らかにするものです。人格の変化に現れる神の恵みの力によって、世界は神がその子を救い主として遣わされたことを確信するのです。人間の魂を包み込むことのできる影響力の中で、利他的な生活ほどの力を持つものはありません。福音を支持する最も強力な論拠は、愛情深く愛すべきキリスト教徒です。

裁判の規律

そのような生活を送り、そのような影響力を発揮するには、あらゆる段階で努力、自己犠牲、規律が必要です。多くの人がこのことを理解していないため、クリスチャン生活でいとも簡単に落胆します

。神への奉仕に人生を捧げる多くの人々は、かつてないほどの障害に直面し、試練や困惑に悩まされていることに驚き、失望します。彼らはキリストに似た性格、主の働きにふさわしい性格を祈りますが、彼らの本性の悪をすべて呼び起こすような状況に置かれます。存在すら疑わなかった欠点が明らかにされます。昔のイスラエルのように、彼らは「神が私たちを導いているのなら、なぜこれらすべてのことが私たちに起こるのか」と疑問に思います。 [471]

神が彼らを導いているからこそ、これらのことが彼らに降りかかるのです。試練と障害は、主が選んだ訓練の方法であり、成功の条件です。人の心を読む神は、彼ら自身よりも彼らの性格をよく知って

います。神は、ある人たちが、正しく導かれれば、神の御業の発展に役立てられる力と感受性を持っていることを見抜いています。神の摂理により、神はこれらの人々をさまざまな立場やさまざまな状況に導き、彼らが自分の知識からは隠されていた性格の欠点を発見できるようにします。神は彼らに、これらの欠点を矯正し、神の奉仕にふさわしい者となる機会を与えます。神は、彼らが清められるよう、苦難の炎が彼らを襲うことをしばしば許します。

わたしたちが試練に耐えるよう求められているという事実は、主イエスがわたしたちの中に貴重なものを見て、それを伸ばしたいと望んでおられることを示しています。もし主がわたしたちの中に、神

の名をたたえるようなものを何も見出さなかったなら、わたしたちを精錬するのに時間をかけることはなかったでしょう。主は価値のない石を炉に投げ入れたりはしません。主が精錬するのは貴重な鉱石です。鍛冶屋は鉄と鋼を火の中に入れ、それがどのような金属であるかを知ろうとします。主は、選ばれた者たちがどのような気質を持っているか、また主の働きのために形作られるかどうかを試すために、苦難の炉に入れられることをお許しになります。

陶工は粘土を取り、自分の意志に従ってそれを成形します。彼はそれをこね、加工します。彼はそれを引き裂き、押し付けます。彼はそれを濡らし、そして乾かします。彼はそれを触らずにしばらく放

置します。それが完全に柔軟になると、彼は[472]それを器にするための作業を続けます。彼はそれを形作り、ろくろでそれを整え、磨きます。彼はそれを太陽で乾かし、オーブンで焼きます。こうしてそれは使用に適した器になります。このように、偉大な職人は私たちを成形し、形作りたいと願っています。そして粘土が陶工の手にあるように、私たちも彼の手にあるべきです。私たちは陶工の仕事をしようとすべきではありません。私たちの役割は、自分自身を職人に委ねて成形してもらうことです。

「愛する者たちよ。あなたがたを試みるために燃えるこの試練を、何か思いがけないことが起こったかのように不思議に思わないで、むしろ、キリストの苦しみ

にあずかっているのだから、喜びなさい。そうすれば、キリストの栄光が現れるときには、あなたがたも大喜びするであろう。」 1 ペテロ 4:12, 13。

鳥かごに入れられた鳥は、明るい日差しの中で、他の歌声を聞いても、主人が教えようとしている歌を歌おうとはしません。鳥は、この歌やあの歌の断片を覚えますが、独立した完全なメロディーを覚えることはありません。しかし、主人は鳥かごにカバーをかけて、鳥が歌おうとしている歌を一曲だけ聞く場所に置きます。鳥は暗闇の中で、その歌を何度も何度も歌おうとして、ついには覚え、完璧なメロディーを歌い出します。それから鳥は連れ出され、その後はいつでも光の中でその歌を歌えるようになります。神

はその子供たちをこのように扱っておられます。神は私たちに歌を教え、私たちが苦難の影の中でそれを覚えると、その後はいつでもそれを歌えるのです。

多くの人は、自分の生涯の仕事に満足していません。周囲の環境が居心地が悪いのかもしれませんが、自分はまだもっと大きな責任を担えると思っているのに、ありふれた仕事に時間を費やしているのかもしれませんが、自分の努力が評価されなかったり、実を結ばなかったりすることが多いようです。自分の将来は不確かです。私たちがしなければならない仕事は、私たちが選択できるものではないかもしれませんが、神が私たちのために選んだ仕事として受け入れなければならないことを覚えておきましょう。 [473]喜ばしい

ことであれ、喜ばしくないことであれ、
私たちは最も身近な義務を果たさなければなりません。「あなたの手のなすべきことは、力の限りそれをなせ。あなたが行く陰府には、わざも、計略も、知識も、知恵もないからだ。」伝道の書9:10。
もし主がわたしたちにニネベにメッセージを伝えるよう望んでおられるなら、わたしたちがヨッパやカペナウムに行くことは主にとってそれほど喜ばしいことではないはずです。わたしたちが向かった場所にわたしたちを遣わすのには、主の理由があるのです。まさにその場所に、わたしたちが与えることのできる助けを必要としている人がいるかもしれません。ピリポをエチオピアの議員のもとに、ペテロをローマの百人隊長のもとに、イ

スラエルの少女をシリアの隊長ナアマンの助けのもとに遣わした主は、今日も、神の助けと導きを必要としている人々のところに、御自分の代表として男女や若者を遣わしておられます。

神の計画は最善

私たちの計画は、必ずしも神の計画ではありません。神は、ダビデの場合のように、私たちの最善の意図を拒否することが、私たちと神の大義にとって最善であるとお考えかもしれません。しかし、一つだけ確信できることは、神は、神の栄光のために誠実に自分自身と自分のすべてを捧げる人々を祝福し、神の大義の推進のために利用されるということです。神が彼らの望みを叶えないことが最善であるとお考えの場合、神は愛のしるしを

与え、別の奉仕を彼らに託すことで、拒否を相殺します。

私たちに対する神の愛情深い配慮と関心により、私たち自身よりも私たちのことをよく理解している神は、私たちが利己的に自分の野望の満足を求めることをしばしば許しません。神は、私たちが次に控えている、質素だが神聖な義務を怠ることを許しません。これらの義務は、私たちをより高次の仕事に備えるために不可欠な訓練を与えてくれることがよくあります。私たちの計画が失敗するのは、神の計画が成功するためである場合がよくあります。

私たちは神のために本当の犠牲を払うよう求められることはありません。神は私たちに多くのものを捧げるよう求めます

が、そうすることで私たちは天国への道を妨げるものを放棄しているに過ぎません。それ自体は良いものを放棄するよう求められたとしても、私たちは神が私たちのためにより高い善を成し遂げようとしていることを確信できます。

来世では、この世で私たちを悩ませ、失望させた謎が明らかにされるでしょう。私たちは、一見答えられない祈りや失望した希望が、私たちにとって最大の祝福であったことを知るでしょう。

わたしたちは、どんなにささやかな義務でも、神への奉仕の一部であるがゆえに、それを神聖なものともみなすべきです。わたしたちの日々の祈りは、「主よ、わたしが最善を尽くせるよう助けてください。よりよい仕事をする方法を教えてく

ださい。わたしに活力と明るさを与えてください。わたしの奉仕に救い主の愛ある働きを取り入れられるよう助けてください」であるべきです。

モーセの生涯から学ぶ教訓

モーセの経験を考えてみましょう。王の孫であり、将来の王位継承者としてエジプトで受けた教育は非常に徹底したものでした。エジプト人が知恵を理解していたように、彼を賢者にするために計算されたことは何一つ怠られませんでした。彼は最高の文武両道の訓練を受けました。彼はイスラエルを奴隷状態から解放する仕事に十分に備えていると感じていました。しかし、神はそうではないと判断しました。神の摂理は、モーセに荒野で

羊飼いとして40年間の訓練を与えることを命じました。

モーセがエジプトで受けた教育は、多くの点で彼の助けとなったが、彼の生涯の仕事にとって最も価値ある準備は、羊飼いとして雇われていたときに受けた教育であった。モーセは生来、衝動的な性格であった。エジプトでは成功した軍人であり、王と国民に愛されていた彼は、賞賛とお世辞を受けることに慣れていた。彼は人々を自分の元に引き付けた。彼はイスラエルを解放するという仕事を自分の力で成し遂げたいと願っていた。神の代理人として彼が学ばなければならなかった教訓は、それとはまったく異なっていた。彼は羊の群れを山の荒野から谷の緑の牧草地へと導きながら、信仰と柔和

さ、忍耐、謙遜、そして自己を忘れることを学んだ。彼は弱者の世話をし、 [475]病人を看護し、迷える者を捜し、手に負えない者を我慢し、子羊の世話をし、老人や虚弱者を養うことを学んだ。

この仕事で、モーセは牧者の大主により近づきました。彼はイスラエルの聖なる者と密接に結びつきました。彼はもはや偉大な仕事をする計画を立てませんでした。彼は神に託された仕事を忠実に遂行しようと努めました。彼は周囲に神の存在を認めました。自然界のすべてが彼に、目に見えない存在について語りました。彼は神を個人的な神として知り、神の性格について瞑想することで、神の存在をますます完全に理解しました。彼は永遠の腕の中に避難所を見つけました。

この経験の後、モーセは天から、羊飼いの杖を権威の杖と取り換え、羊の群れを離れてイスラエルの指導者となるようにという呼びかけを聞いた。神の命令により、彼は自信を失い、口が重く、臆病になった。彼は神の代弁者となる能力がないと感じて打ちのめされた。しかし、彼は主に全面的に信頼を置き、その仕事を引き受けた。彼の使命の偉大さは、彼の精神の最高の力を働かせた。神は彼の素早い従順を祝福し、彼は雄弁で、希望に満ち、落ち着き、人間に与えられた最大の仕事にふさわしい者となった。彼について次のように書かれている。「イスラエルには、主が顔と顔を合わせて知ったモーセのような預言者は、その後現れなかった。」申命記 34:10、ARV [476]

自分の仕事が評価されていないと感じ、もっと責任のある地位を切望している人は、「昇進は東からも西からも南からも来るのではない。しかし、神は審判者であり、一人を下げ、他の一人を立てられる」ということを考えてみましょう。詩篇 75:6, 7。すべての人には、天の永遠の計画の中で自分の場所があります。その場所を満たすかどうかは、神に協力する私たち自身の忠実さにかかっています。

自己憐憫には気をつけなければなりません。自分が当然評価されていないとか、自分の努力が評価されていないとか、自分の仕事が難しすぎるとかという気持ちに決して浸ってはいけません。キリストが私たちのために耐え忍んでくださったこ

とを思い出して、すべての不平を黙らせ
ましょう。私たちは主よりも良い扱いを
受けています。「あなたは自分の利益の
ために大いなることを願うのか。それを
求めてはならない。」エレミヤ書 45:5。
十字架を負うよりも冠を得ることを望む
者を主の御業に受け入れる余地はありま
せん。主が求めているのは、報酬を受け
ることよりも義務を果たすこと [477] に熱
心な人、昇進よりも信念を重んじる人で
す。

謙虚で、神に仕えるように自分の仕事を
する人は、騒々しさと自尊心でいっぱい
の人ほど派手なことはしないかもしれま
せんが、彼らの仕事はもっと価値があり
ます。派手なことをする人は、しばしば
自分自身に注目を集め、人々と神の間に

割り込んでしまい、彼らの仕事は失敗に終わります。「知恵は最も重要なものである。知恵を得よ。あなたが得るものすべてとともに、悟りを得よ。知恵を高く上げよ。そうすれば、知恵はあなたを引き上げ、あなたがそれを抱きしめると、それはあなたに栄誉をもたらす。」箴言4:7, 8。

自らを律し、改革する決意がないため、多くの人が間違った行動方針に固執してしまいます。しかし、そうする必要はありません。最高の奉仕をするために自分の力を磨けば、常に需要が生まれます。その価値が十分に評価されるでしょう。より高い地位にふさわしい人がいるなら、主はその重荷をその人だけに負わせるのではなく、その人を試し、その人の価

値を知り、理解を示しながらその人を前進させることができる人たちに負わせませぬ。日々、自分に与えられた仕事を忠実に果たす人たちこそ、神の定められた時に「もっと高い地位に昇れ」という神の呼びかけを聞くのです。

羊飼いたちがベツレヘムの丘で羊の群れの番をしていたとき、天使たちが彼らを訪ねました。ですから今日、神のために謙虚に働く者が自分の仕事に取り組んでいる間、天使たちは彼の傍らに立ち、彼の言葉に耳を傾け、彼の仕事のやり方を観察し、より大きな責任が彼の手に移されるかどうかを見守っています。

神は、富や教育、地位によって人を評価するのではありません。動機の純粹さと性格の美しさによって評価します。神は

、彼らが神の霊をどれほど持っているか、彼らの生活が神に似ているかどうかを見ます。神の王国で偉大になるということは、謙遜さ、信仰の純粹さ、愛の純粹さにおいて幼子のようになることです。

「あなたがたも知っているように、異邦人の支配者たちは、その民の上に君臨し、偉い人たちは、その民の上に権力をふるいます。しかし、あなたがたの間では、そうであってはなりません。あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、あなたがたに仕える者となりなさい。」マタイ20:25, 26, ARV

天が人間に授ける賜物の中で、キリストの苦しみに共にあずかることは、最も重い信頼であり、最高の栄誉です。天に移されたエノクも、火の戦車に乗って昇天

したエリヤも、牢獄でひとり死んだ洗礼者ヨハネより偉大で、より名誉ある者ではありませんでした。「あなたがたは、キリストのために、ただ信じることだけではなく、キリストのために苦しむことも賜わっているのです。」ピリピ1:29。

将来の計画

多く的人是は、将来の明確な計画を立てることができません。彼らの生活は不安定です。物事の結末を見極めることができず、不安と動揺に満たされることがよくあります。この世における神の子たちの人生は巡礼の人生であることを覚えておきましょう。私たちには自分の人生を計画する知恵はありません。私たちが自分の将来を形作ることはできません。「信仰によって、アブラハムは、受け継ぐべ

き土地に出て行けという召しを受けたとき、それに従い、どこに行くのか知らないで出て行きました。」ヘブル人への手紙 11:8。

キリストは地上での生活において、ご自身のために計画を立てることはしませんでした。キリストは神がご自身のために立てた計画を受け入れ、父なる神は日々その計画を明らかにされました。ですから、私たちも神に頼るべきです。そうすれば、私たちの人生は神の意志の単純な実行となるでしょう。私たちが神に自分の道をゆだねるなら、神は私たちの歩みを導いてくださいます。

輝かしい未来を計画して、完全に失敗する人が多すぎます。あなたのために神に計画させてください。幼子のように、「

聖徒たちの足元を守られる」神の導きに信頼してください。サムエル記上 2:9。神は、子供たちが初めから終わりを見通すことができ、神と共に働く者として果たしている目的の栄光を識別できるなら、彼らが望む以外の方法で子供たちを導くことはありません。

賃金

キリストが弟子たちに従うように呼びかけたとき、イエスは彼らにこの世でのうぬぼれの効いた見通しを何も与えませんでした。イエスは彼らに利益や世俗的な名誉を約束せず、また彼らが何を受け取るべきかについてもいかなる条件も与えませんでした。マタイが税関に座しているとき、救い主は「わたしについて来なさい」と言われました。そこで彼はすべ

てを捨てて立ち上がり、イエスに従いました。ルカ5:27, 28。マタイは奉仕をする前に、以前の職業で受け取っていた金額と同額の一定の報酬を要求するのを待つことはしませんでした。彼は疑問もためらいもなくイエスに従いました。彼にとっては救い主とともにいること、救い主の言葉を聞き、救い主の働きに加わることで十分でした。

以前召された弟子たちもそうでした。イエスがペテロとその仲間に、イエスに従うように命じられたとき、彼らはすぐに船と網を捨てました。これらの弟子たちの中には、彼らに頼っている友人がいましたが、救い主の招きを受けたとき、彼らはためらうことなく、「どうやって生活し、家族を養ったらよいのでしょうか

」と尋ねました。彼らは召しに従い、その後イエスが「財布も袋も履物も持たせずにあなたがたを遣わしたとき、何か不足したことがありましたか」と尋ねたとき、彼らは「何もありませんでした」と答えることができました。ルカ 22:35。今日、救い主は、マタイ、ヨハネ、ペテロを召されたように、私たちをもその仕事に召されます。もし私たちの心が主の愛に感動するなら、報酬の問題は私たちの心の中で最優先事項ではなくなるでしょう。私たちはキリストの協力者であることを喜び、主の配慮を信頼することを恐れないでしょう。もし私たちが神を自分の力とするなら、私たちは義務と利他的な願望を明確に認識するでしょう。私たちの人生は、私たちが卑しい動機から

引き上げてくれる崇高な目的によって動かされるでしょう。

神は与えてくださる

キリストの信者であると公言する人の多くは、神に自分を委ねることを恐れているため、不安で悩む心を持っています。彼らは神に完全に服従しません。 [481] そのような服従が伴うかもしれない結果を恐れているからです。彼らが服従しない限り、彼らは平安を見つけることができません。

世の基準に達しようとするあまり、心配の重荷に心が痛んでいる人はたくさんいます。彼らは世の奉仕を選び、その困惑を受け入れ、その習慣を取り入れました。こうして彼らの性格は傷つき、彼らの生活は退屈なものになりました。絶え

間ない心配は生命力を消耗させます。私たちの主は彼らがこの束縛のくびきを捨て去ることを望んでおられます。主は主のくびきを受け入れるよう彼らを招いて、「わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽い」と言われます。心配は盲目で、未来を見分けることができませんが、イエスは初めから終わりを見通されます。どんな困難にも、主は救済をもたらす道を用意しておられます。「主は、正しく歩む者には良いものを差し控えられない」マタイ11:30、詩篇84:11。

天の父は、私たちが知らない方法で私たちに恵みを与えてくれます。神への奉仕を至高とする唯一の原則を受け入れる人は、困惑が消えて、目の前に平らな道があることに気づくでしょう。

今日の義務を忠実に果たすことは、明日の試練に対する最良の準備です。明日の負債や心配事をすべて集めて、今日の重荷に加えないでください。「その日の悪はその日だけで十分です。」マタイ6:34
希望と勇気を持ちましょう。神への奉仕において落胆するのは罪深く不合理です。神は私たちの必要をすべてご存知です。万王の王の全能に、契約を守る神は優しい羊飼いの優しさと気遣いを結び付けています。神の力は絶対であり、神を信頼するすべての人に対する神の約束の確実な実現の保証です。神はあらゆる困難を取り除く手段を持っており、神に仕え、神が用いる手段を尊重する人々は支えられます。神の愛は、天が地よりも高いのと同じくらい、他のすべての愛よりも

高いです。神は計り知れない永遠の愛でその子供たちを見守っています。

最も暗い日々、外見が最も恐ろしいように思えるとき、神を信じてください。神は御心を実行し、神の民のためにすべてのことをうまく行っています。神を愛し、神に仕える人々の力は日々新たにされます。

神は、その僕たちに、必要なあらゆる助けを与える能力と意志をお持ちです。また、彼らのさまざまな必要に応じた知恵を与えてくださいます。

試練を受けた使徒パウロはこう言いました。「主は私に言われた。『わたしの恵みはあなたに対して十分である。わたしの力は弱いところにこそ完全に現れる。』それゆえ、私はむしろ喜んで自分の弱

さを誇りましょう。そうすれば、キリストの力が私に宿るからです。ですから、私はキリストのために、弱さ、侮辱、窮乏、迫害、苦難を喜んで受け入れます。なぜなら、私が弱いときにこそ、私は強いからです。」コリント人への手紙第二12:9, 10。 [483]

第41章 他者との接触

人生におけるあらゆる関わりには、自制心、忍耐、共感が必要です。私たちは気質、習慣、教育において大きく異なるため、物事の見方も異なります。判断も異なります。真実に対する理解、人生の行いに関する考えは、すべての点で同じではありません。すべての点で同じ経験をする人はいません。ある人にとっての試練は、別の人にとっての試練ではありません。ある人にとっては軽い義務でも、別の人にとっては極めて困難で困惑する義務です。

人間の本性は、あまりにも弱く、あまりにも無知で、あまりにも誤解されやすいので、各自が他人を評価する際には注意

が必要です。私たちは、自分の行為が他人の経験にどのような影響を与えるかをほとんど知りません。私たちが行うことや言うことは、私たちにとっては大したことではないように思えるかもしれませんが、もし私たちの目が開かれるなら、それが善悪の最も重要な結果にかかっていることに気づくはずで

負担者への配慮

多くの人は重荷をほとんど背負ったことがなく、心は本当の苦悩をほとんど知らず、他人のために困惑や苦悩をほとんど感じたことがないので、真の重荷を背負う人の働きを理解することができません。子供が重荷を背負った父親の心配や苦勞を理解できないのと同じように、彼らには父親の重荷を理解する能力はありま

せん。子供は父親の恐れや困惑に驚くか
もしれません。それらは彼には不必要な
ことに思えます。しかし、人生に何年も
の経験が加わり、自分自身が重荷を背負
うようになると、父親の人生を振り返り
、かつては理解できなかったことを理解
するでしょう。苦い経験が彼に知識を与
えたのです。

多くの重荷を背負う者の働きは、死が彼
を倒すまで理解されず、その労苦は評価
されません。他の人々が彼が負った重荷
を引き受け、彼が遭遇した困難に立ち向
かうとき、彼らは彼の信仰と勇気がいか
に試されたかを理解することができます
。そして、彼らがすぐに非難した間違い
はしばしば見落とされます。経験は彼ら
に同情心を教えます。神は人が責任ある

立場に置かれることを許します。彼らが過ちを犯したとき、神には彼らを正すか、または解く力があります。私たちは、神に属する裁きの仕事を自分の手に引き受けないよう注意する必要があります。サウルに対するダビデの行為には教訓があります。神の命令により、サウルはイスラエルの王として油を注がれていました。彼の不従順のため、主は王国を彼から取り上げると宣言されました。それでも、彼に対するダビデの行為はなんと優しく、礼儀正しく、寛容だったことでしょう。ダビデの命を狙うサウルは荒野に入り、付き添いもなく、ダビデとその兵士たちが隠れていた洞窟に入りました。「ダビデの部下は彼に言った。『主があなたに言われた日を見よ。… [485]わた

しはあなたの敵をあなたの手に引き渡す。あなたは彼によいと思うことをしなさい。…』彼は部下に言った。『主が油を注がれたわたしの主君に、わたしがこのようなことをして、手を伸ばしてはならない。彼は主に油を注がれた者なのだから。』」救い主は私たちに命じます。「人を裁くな。あなたがたも裁かれないうために。あなたがたがさばくそのさばきで、あなたがたもさばかれ、あなたがたの量るそのはかりで、自分にも量り与えられるであろう。」あなたの人生の記録が間もなく神の前で審査されることを忘れないでください。また、神がこう言われたことも覚えておいてください。「人よ。あなたがたは、だれでもさばく者である。……あなたがたは、さばく者であり

ながら、同じことをしている。」サムエル記上24:4-6、マタイ7:1、2、ローマ2:1。

不当な扱いに対する忍耐

自分自身に対して実際に、あるいは想定される不正行為が行われたことで、心を苛立たせる余裕はありません。自己こそ、私たちが最も恐れるべき敵です。聖霊の制御下にはない人間の情熱ほど、人格に有害な影響を及ぼす悪徳はありません。自己に対する勝利ほど貴重な勝利は、他にはありません。

私たちは、自分の感情を簡単に傷つけてはいけません。私たちは、自分の感情や評判を守るために生きるのではなく、魂を救うために生きるべきです。魂の救いに関心を持つようになると、私たちは互

いの交わりの中で頻繁に生じる小さな違いを気にしなくなります。他の人が私たちについて何を考え、何をしようとも、それがキリストとの一体性、聖霊の交わりを妨げる必要はありません。「あなたがたが自分の過ちのために打たれても、それを忍耐して耐えたところで、何の誉れがあるか。しかし、あなたがたが善をなし、そのために苦しみを受けるなら、それを忍耐して耐えるなら、それは神に喜ばれることである。」 1 ペテロ 2:20。

報復してはいけません。できる限り、誤解を招く原因をすべて取り除いてください。悪意のある態度は避けてください。信念を犠牲にすることなく、他の人を和解させるために全力を尽くしてください

。「あなたが供え物を祭壇に持って来て、そこで兄弟があなたに対して何か恨みを持っていることを思い出したなら、供え物を祭壇の前に残して立ち去り、まず兄弟と和解し、それから戻って供え物をささげなさい。」マタイ5:23, 24。

いらいらした言葉をかけられたら、決して同じ気持ちで答えてはいけません。「柔らかな答えは憤りを静める」ということを覚えておいてください。箴言 15:1。沈黙には驚くべき力があります。怒っている人に言い返す言葉は、時には相手を激怒させるだけです。しかし、優しく寛容な気持ちで沈黙すれば、怒りはすぐに消えます。

痛烈で非難の言葉の嵐の中でも、心を神の言葉に留めてください。心と心を神の

約束で満たしてください。もしあなたがひどい扱いを受けたり、不当に非難されたりしたら、怒りの返事を返す代わりに、自分自身に貴重な約束を繰り返してください。

「悪に負けてはいけません。むしろ、善をもって悪に勝ちなさい。」ローマ12:21。

「あなたの道を主にゆだね、主に信頼せよ。そうすれば、主はそれを成し遂げてくださる。主はあなたの義を光のように、あなたのさばきを真昼のように現される。」詩篇37:5, 6。

「覆われているもので、あらわにならないものはなく、隠されているもので、知られずに済むものは何もない。」ルカ12:2。

「あなたは人々を私たちの頭上を通過させ、私たちは火の中や水の中を通り抜けました。しかし、あなたは私たちを豊かな場所に導き出されました。」詩篇66:12

。私たちが、イエスに頼る代わりに、同胞に同情や励ましを求める傾向があります。神はその慈悲と誠実さゆえに、私たちが信頼する人々が私たちを裏切ることをしばしば許されます。それは、人間に頼り、肉を自分の腕とすることの愚かさを私たちが学ぶためです。神に完全に、謙虚に、利己心なく信頼しましょう。神は、私たちが心の底から感じているが、表現できない悲しみ[487]をご存知です。すべてが暗く説明できないように思えるとき、キリストの言葉を思い出してください

い。「わたしのしていることは、今はあなたにはわかりませんが、あとでわかるようになります。」ヨハネ13:7。

ヨセフとダニエルの歴史を研究してください。主は彼らに危害を加えようとする人々の陰謀を阻止しました。しかし、試練と争いの中で信仰と忠誠を保った主の僕たちにとって、これらすべての策略が益となるようにされました。

この世にいる限り、私たちは逆の影響に遭遇するでしょう。気質を試すような挑発もあるでしょう。そして、正しい精神でこれらに立ち向かうことで、キリスト教の美徳が養われるのです。キリストが私たちの中に住んでくださるなら、私たちは忍耐強く、親切で、寛容で、いらだちや苛立ちの中でも明るくいられるでし

よう。私たちは日ごとに、年ごとに自己を克服し、気高い英雄へと成長していきます。これが私たちに与えられた課題ですが、イエスの助け、断固たる決意、揺るぎない目的、絶え間ない警戒、そして絶え間ない祈りがなければ、達成することはできません。各人は戦うべき個人的な戦いを持っています。神と協力しない限り、神でさえ私たちの性格を気高いものにしたり、私たちの人生を有益なものにしたりすることはできません。戦いを拒否する者は、勝利の力と喜びを失います。

試練や困難、悲しみ、悲嘆の記録を自分でつける必要はありません。これらすべては書物に書かれており、天国がそれらを処理してくれます。私たちが嫌なこと

を数え上げている間に、思い起こすと楽しい多くのことが記憶から消えていきます。たとえば、私たちが常に取り囲んでいる神の慈悲深い優しさや、神が私たちのために死なせるために御子を与えてくださったことに対する天使たちの驚嘆する愛などです。キリストの働き人として、他の人々が経験してきたよりも大きな心配や試練を経験してきたと感じるなら、これらの重荷を避ける人々には知られていない平安があなたにはあることを忘れないでください。キリストに仕えることには慰めと喜びがあります。キリストと共に生きることは失敗ではないことを世に知らせてください。

気分が明るく楽しくないなら、自分の気持ちを話さないでください。他人の人生

に影を落とさないでください。冷たく、陽の当たらない宗教は、決して魂をキリストに引き寄せすることはできません。それは、魂をキリストから遠ざけ、迷える者の足元にサタンが張った網の中に追いやります。落胆について考える代わりに、キリストの名において主張できる力について考えてください。想像力を働かせて、目に見えないものをつかんでください。あなたに対する神の偉大な愛の証拠に思いを向けてください。信仰は試練に耐え、誘惑に抵抗し、失望に耐えることができます。イエスは私たちの弁護者として生きておられます。彼の仲介によって確保されるものはすべて私たちのものです。

キリストは、完全に神のために生きる人々を高く評価するとは思わないのですか。捕囚中の愛するヨハネのように、神のために困難で試練の多い場所にいる人々を、神は訪れるとは思わないのですか。神は、心から働く者が一人も残され、大きな困難と闘い、打ち負かされることを許しません。神は、キリストとともに命を秘めているすべての人を、貴重な宝石として保存します。そのような人すべてについて、神はこう言われます。「わたしはあなたを選んだから、あなたを印章のようにする。」ハガイ 2:23。

それから約束について、イエスが喜んで祝福してくださることについて語りましょう。イエスは一瞬たりとも私たちを忘れません。不愉快な状況にもかかわらず

、私たちがイエスの愛に信頼を置き、イエスと共にいるとき、イエスの存在を感じて深い静かな喜びが湧き上がります。キリストはご自身についてこう言われました。「わたしは自分からは何事も行いません。ただ父が教えられたとおりに、これらのことを話しているのです。わたしをつかわされた方はわたしと共におられます。父はわたしをひとりにしておかれませんでした。わたしはいつも、父のみこころにかなうことを行なっているからです。」ヨハネ 8:28, 29。

父の存在がキリストを取り囲み、無限の愛が世の祝福のために許すもの以外、何も彼に起こりませんでした。ここに彼の慰めの源があり、それは私たちのためのものです。キリストの霊に満たされた者

はキリストに留まります。彼に起こることはすべて、彼をその存在で取り囲む救い主から来ます。主の許可なしに彼に触れるものは何也不会あります。私たちのすべての苦しみと悲しみ、すべての誘惑と試練、すべての悲しみと嘆き、すべての迫害と窮乏、つまり、すべてのものは私たちの益のために一緒に働いています。すべての経験と状況は神の働き手であり、それによって私たちに善がもたらされます。

神が私たちに対して寛容であると感じるなら、私たちは他人を裁いたり非難したりすることはないでしょう。キリストが地上に住んでいた時、キリストの仲間がキリストと知り合った後、非難したり、あら探しをしたり、いらだちを言ったり

するのを聞いたなら、どんなに驚いたこと
でしょう。キリストを愛する人々は人
格においてキリストを体現すべきである
ことを決して忘れないようにしましょう
。

「兄弟愛をもって互いに情け合い、尊敬
し合いなさい。」 「悪に対して悪を、の
のしりに対してののしりを返さず、かえ
って祝福しなさい。あなたがたは祝福を
受け継ぐために召されたのだと、あなた
がたは知っているからです。」 ローマ12
:10; ペテロ第一3:9。

主イエスは、すべての人の権利を認める
ことを私たちに要求しています。人々の
社会的権利、そしてキリスト教徒として
の権利が考慮されなければなりません。

すべての人は神の息子、娘として、上品かつ繊細に扱われるべきです。

キリスト教は人を紳士にします。キリストは迫害者に対しても礼儀正しかったので、真の信者は同じ精神を示します。支配者たちの前に連れ出されたときのパウロを見てください。アグリッパの前での彼の演説は、説得力のある雄弁さだけでなく、真の礼儀正しさの例です。福音書[490]は、世間で流行している形式的な礼儀正しさではなく、心の本当の優しさから生じる礼儀正しさを奨励しています。外面的な礼儀をどれだけ注意深く培っても、いらだちや厳しい判断、不適切な言葉遣いをすべて排除することはできません。自己を至上の対象とみなす限り、真の洗練は決して表れません。愛は心に宿

らなければなりません。徹底したキリスト教徒は、主に対する心の奥底の愛から行動の動機を得ます。キリストに対する愛情の根から、兄弟に対する無私の関心が湧き上がります。愛は、その持ち主に、優雅さ、礼儀正しさ、立ち居振る舞いの美しさを与えます。愛は顔を明るくし、声を抑えます。愛は、存在全体を洗練し高めます。

人生は、大いなる犠牲や素晴らしい業績ではなく、主に小さなことでできています。大抵の場合、注目に値しないと思われる小さなことを通じて、人生に大きな善や悪がもたらされます。小さなことで起こる試練に耐えられないことで、習慣が形成され、性格が歪んでしまいます。そして、より大きな試練が来たとき、私

私たちは準備ができていないことがわかります。日常生活の試練の中で原則に従って行動することによってのみ、最も危険で最も困難な状況でもしっかりと忠実に立ち向かう力を得ることができます。

私たちは決して独りではありません。神を選ぶかどうかに関わらず、私たちには仲間がいます。あなたがどこにいても、何をしても、神はそこにいるということを覚えておいてください。あなたが言うこと、行うこと、考えることの何一つが、神の注意を逃れることはできません。あなたのすべての言葉や行いには、聖なる、罪を憎む神が証ししています。話す前や行動する前に、常にこのことを考えてください。クリスチャンとして、あなたは王族の一員であり、天の王の子供で

す。「あなたがたが呼ばれているその立派な名に恥をかかせるようなことは、何も言わず、何もしてはなりません」。ヤコブの手紙 2:7。

神と人間の性格を注意深く研究し、絶えず「イエスが私の立場だったらどうするだろうか」と自問してください。これが私たちの義務の尺度となるべきです。自分の技で正しいことをする意志を弱めたり、良心に汚点をつけたりする人たちと、不必要に付き合ってはなりません。見知らぬ人の間でも、路上でも、車の中でも、家の中でも、少しでも悪の印象を与えるようなことはしないでください。キリストが自らの血で買い取った命を改善し、美しくし、気高いものにするために、毎日何かをしてください。

常に原則に従って行動し、決して衝動に流されないでください。あなたの本性に備わっている衝動性を、柔和さと優しさで和らげてください。軽薄さやつまらないことにふけてはいけません。下品な冗談を口にしてはいけません。考えさえも暴走させてはいけません。考えは抑制され、キリストの服従のとりこにされなければなりません。考えを聖なるものに置きましよう。そうすれば、キリストの恵みによって、考えは純粹で真実なものになるでしょう。

わたしたちは、純粹な考えが持つ高貴な力を常に感じていなければなりません。どんな魂にとっても、正しい考えだけが唯一の安全です。人は「心に思うとおりになる」のです（箴言 23:7）。自制心は

訓練によって強まります。最初は難しいように思えても、絶えず繰り返すことで容易くなり、正しい考えと行動が習慣になります。わたしたちが望むなら、安っぽくて劣ったものすべてから離れて、高い基準に達することができます。わたしたちは人々から尊敬され、神に愛されるようになるでしょう。 [492]

他人のことを良く言う習慣を身につけましょう。付き合う人の良い点に目を向け、できるだけその人の間違いや欠点を見ないようにしましょう。誰かの言ったことやしたこと文句を言いたくなったら、その人の人生や性格の何かを褒めましょう。感謝の気持ちを培いましょう。私たちのためにキリストを死なせてくださった神の素晴らしい愛を讃えましょう。

自分の不満について考えることは決して無駄です。神は、私たちが賛美の気持ちを抱けるように、神の慈悲と比類のない愛について考えるようにと私たちに呼びかけておられます。

熱心な働き手には、他人の欠点にこだわる暇はありません。他人の欠点や失敗の殻で生きている余裕はありません。悪口は二重の呪いであり、聞く人よりも話す人に重くのしかかります。不和と争いの種をまき散らす者は、自分の魂に致命的な果実を刈り取ります。他人の中に悪を探すという行為自体が、見る人の中に悪を育てます。他人の欠点にこだわることで、私たちは同じイメージに変えられてしまいます。しかし、イエスを見つめ、その愛と性格の完全さについて語ること

によって、私たちはイエスのイメージに変えられます。イエスが私たちの前に置いた崇高な理想を熟考することによって、私たちは純粹で神聖な雰囲気、つまり神の臨在へと高められます。私たちがここに留まるとき、私たちから光が発せられ、私たちと関係のあるすべての人を照らします。

他人を批判したり、非難する代わりに、こう言いましょう。「私は自分の救いを達成しなければなりません。私の魂を救おうと願う神に協力するなら、私は自分自身を熱心に監視しなければなりません。私は自分の生活からすべての悪を取り除かなければなりません。私はすべての過ちを克服しなければなりません。私はキリストにあって新しく造られた者とな

らなければなりません。そうすれば、悪と闘っている人々を弱める代わりに、励ましの言葉によって彼らを強めることができます。」私たちはお互いに対してあまりにも無関心です。私たちはあまりにも頻繁に、私たちの同労者が強さと励ましを必要としていることを忘れていきます。彼らにあなたの関心と同情を確実に伝えるように注意してください。あなたの祈りによって彼らを助け、あなたがそうしていることを彼らに知らせてください。

キリストのために働くと言ふ人すべてが真の弟子であるわけではありません。キリストの名を名乗り、キリストの働き手として数えられる人の中にも、性格においてキリストを代表しない人がいま

す。彼らはキリストの原則に従っていません。これらの人は、キリスト教の経験が浅い同僚を困惑させ、落胆させる原因となることがよくありますが、誰も惑わされる必要はありません。キリストは私たちに完璧な模範を示してくださいました。彼は私たちに彼に従うように命じています。

世の終わりまで、麦の中には毒麦があるでしょう。家の主人の召使たちが、主人の名誉のために熱心に毒麦を抜き取る許可を求めたところ、主人は言いました。

「いいえ、毒麦を集めるときに、麦も一緒に抜いてしまうといけません。収穫まで、両方とも一緒に育てておきましょう。」マタイ13:29、30。

神は慈悲と忍耐の心をもって、邪悪な者や偽りの心を持つ者に対しても忍耐強く耐え忍ばれます。キリストの選ばれた使徒の中には裏切り者のユダがいました。では、今日のキリストの働き人の中に偽りの心を持つ者がいるとしても、驚くべきことでしょうか、それとも落胆すべきことでしょうか。心を読む神が、ご自分を裏切る者と知りながらその者に対して忍耐できたのであれば、私たちは罪を犯した者に対してどれほどの忍耐力をもって耐え忍ぶべきでしょうか。

そして、最も欠点があるように見える人々でさえ、皆がユダのようなわけではありません。ペテロは衝動的で、性急で、自信家で、ユダよりもはるかに不利な立場に置かれているように見えました。彼

は救い主からより頻繁に叱責されました。しかし、彼の人生はなんと奉仕と犠牲に満ちたものだったのでしょう。それは神の恵みの力のなんと大きな証しでしょう。私たちはできる限り、地上でイエスが弟子たちと歩き、語り合ったときのよう、他の人々に対してそうあるべきです。

まず第一に、あなた方の同労者の中で、自分を宣教師とみなしなさい。一人の魂をキリストに導くには、しばしば膨大な時間と労力が必要です。そして、魂が罪から正義に変わるとき、天使たちの前で喜びが起こります。これらの魂を見守る奉仕の霊たちは、クリスチャンであると主張する一部の人々から彼らがいかに無関心に扱われているかを見て喜んでいる

と思いますか？イエスが私たちを扱うのが、私たちがあまりにも頻繁にお互いを扱うのと同じであるなら、私たちのうちの誰が救われるのでしょうか？

心を読むことはできないことを覚えておいてください。間違っているように見える行動の動機はわかりません。正しい教育を受けていない人はたくさんいます。彼らの性格はゆがんでおり、頑固で節くれ立っていて、あらゆる点で曲がっているように見えます。しかし、キリストの恵みは彼らを変えることができます。「あなたは私を失望させました。私はあなたを助けようとはしません」と言って、彼らを決して捨てたり、落胆させたり絶望させたりしないでください。挑発されて急いで発した数語（まさに彼らが当然

受けるに値すると思う言葉)は、彼らの心を私たちの心と結びつけているはずの影響力の紐を切断してしまう可能性があります。

一貫した生活、忍耐強い忍耐、挑発されても動じない精神は、常に最も決定的な議論であり、最も厳粛な訴えです。他の人には得られなかった機会や利点をあなたが持っていたなら、このことを考慮して、常に賢明で、慎重で、優しい教師になりましょう。

ワックスにはっきりとした強い印影を残すには、急いで力強く印を押してはいけません。慎重にプラスチックワックスの上に印を置き、静かに着実に押し付けて、型の中で固まるまで待ちます。同じようにして、人の魂を扱いましょう。キリ

スト教の影響力が持続することがその力の秘密であり、これはキリストの品性をあなたがしっかりと示すことに依存します。あなたの[495]経験を話すことによって、過ちを犯した人々を助けてください。あなたが重大な過ちを犯したとき、同僚の忍耐、親切、協力があなたに勇気と希望を与えたことを示してください。

判決が下されるまで、あなたは、一貫性のない、理不尽な、価値のない人々に対する親切で思いやりのある行動の影響を知ることはないでしょう。恩知らずや神聖な信頼の裏切りに遭遇すると、私たちは軽蔑や憤りを示すよう奮い立たされます。罪人はこれを予期しており、それに備えています。しかし、親切な寛容は彼らを驚かせ、しばしば彼らのより良い衝

動を呼び覚まし、より高貴な生活への憧れを喚起します。

「兄弟たちよ。もしだれかが罪に陥ったなら、御霊の人であるあなたがたは、柔らかな心でその人を正しなさい。自分も誘惑に陥らないように、よく考えてからなさい。互いに重荷を負い合いなさい。そうすれば、キリストの律法を全うすることになるのです。」ガラテヤ6:1, 2。

神の子であると公言する者は皆、宣教師としてあらゆる階層の心と接触することになるということを心に留めておくべきです。洗練された人もいれば粗野な人も、謙虚な人もいれば傲慢な人も、信仰深い人もいれば懐疑的な人も、教養のある人もいれば無知な人も、金持ちもいれば貧乏人もいます。これらの[496]多様な心

を同じように扱うことはできませんが、すべての人に親切と共感が必要です。相互の接触によって、私たちの心は磨かれ、洗練されるはずで、私たちは互いに依存し、人類の兄弟愛の絆で密接に結ばれています。

「天は互いに頼り合うように形づくられ、
主人、召使、友人が、
互いに助けを求めて呼びかけ、
一人の弱さが全員**の強さを生むまで。**」
キリスト教は社会関係を通じて世界と接触する。神の啓示を受けたすべての男女は、より良い道を知らない人々の暗い道に光を当てなければならない。キリストの精神によって聖化された社会力は、魂を救い主のもとに導くために向上されな

ければならない。キリストは、所有者だけが享受する、神聖で甘美な切望される宝物として心の中に隠されるべきではない。私たちはキリストを、永遠の命へと湧き出る水の井戸として私たちの中に持つべきであり、私たちと接触するすべての人を元気づけるのである。 [497]

第42章 開発とサービス

キリスト教徒としての人生は、多くの人
が考えている以上のものです。それは、
優しさ、忍耐、柔和さ、親切さだけで成
り立っているわけではありません。これ
らの恵みは不可欠ですが、勇気、力、エ
ネルギー、忍耐も必要です。キリストが
定めた道は、狭く、自己否定の道です。
その道に入り、困難や落胆を乗り越えて
進むには、弱虫以上の人間が必要です。

キャラクターの力

スタミナのある男性、道が整えられ、あ
らゆる障害が取り除かれるのを待たない
男性、意気消沈した労働者の衰えつつあ
る努力に新たな熱意で刺激を与える男性
、キリスト教の愛で心が温まり、主の仕

事を遂行する力強い手を持つ男性が求められています。

伝道活動に従事する人の中には、弱気で、気力がなく、意気消沈しやすい人もいます。彼らには推進力がありません。何かを成し遂げる力を与えるような、積極的な性格特性、つまり熱意をかき立てる精神とエネルギーがありません。成功を勝ち取るには、勇気と希望が必要です。受動的な美德だけでなく、積極的な美德も培う必要があります。怒りを遠ざけるような穏やかな答えをしながらも、悪に抵抗する英雄のような勇気を持たなければなりません。すべてに耐える慈愛とともに、彼らの影響力を積極的な力に変える性格の強さが必要です。

中には、堅固な性格を持たない人もいます。彼らの計画や目的には、明確な形や一貫性がありません。それらは、世の中ではほとんど役に立ちません。この弱さ、優柔不断さ、非効率さは克服すべきです。真のキリスト教徒の性格には、逆境によって形作られたり、抑えられたりしない不屈の精神があります。私たちは、おだてられたり、買収されたり、脅かされたりしない道徳的な芯、誠実さを持たなければなりません。

神は、私たちが神の御業の準備のためにあらゆる機会を活用することを望んでおられます。神は、私たちがその遂行に全力を注ぎ、その神聖さと恐ろしい責任を心に刻み続けることを期待しておられます。

優れた仕事をする資格がある人でも、努力が足りないため、成果もほとんど上がりません。何千人もの人が、生きる目的もなく、到達すべき高い基準もないかのように人生を歩んでいます。その理由の1つは、彼らが自分自身を低く評価していることです。キリストは私たちのために無限の代価を払ってくださいました。そして、払った代価に応じて、私たちが自分自身を高く評価することを望んでおられます。

低い基準に達することで満足してはなりません。私たちは、本来あるべき姿、あるいは神が私たちに望んでいる姿ではありません。神は私たちに推論力を与えましたが、それは活動しないままでのため、あるいは地上の卑しい追求に墮落す

るためではなく、最大限に発達させ、洗練させ、神聖化し、高貴にし、神の王国の利益を推し進めるために用いられるためです。

他人の心で動かされる単なる機械になることに、誰も同意すべきではありません。神は私たちに考え行動する能力を与えました。慎重に行動し、神に知恵を求めることによって、あなたは重荷を担うことができるようになります。神から与えられた個性を貫きなさい。他人の影になってはいけません。主があなたの中で、あなたによって、あなたを通して働かれることを期待しなさい。

十分に学んだから、もう努力を緩めてもよいなどと決して考えないでください。教養ある精神こそが、その人の尺度です

。生涯にわたって教育を続けるべきです。毎日学び、得た知識を実際に活用すべきです。

どのような役職に就くにしても、動機を明らかにし、人格を育むことを忘れないでください。どんな仕事をするにしても、正確に、勤勉に行い、簡単な仕事を求める傾向を克服してください。

日々の労働に持ち込むのと同じ精神と原則が、人生全体に持ち込まれる。決まった量の仕事と決まった給料を望み、適応や訓練の手間をかけずに自分にぴったり合うことを証明したいと望む人は、神がその目的のために働くよう召し出す人ではない。肉体的、精神的、道徳的力をできるだけ少なくする方法を研究する人は、神が豊かな祝福を注ぐことのできる労

働者ではない。彼らの模範は伝染する。利己心が支配的な動機である。監視される必要があり、指定された義務だけをこなす人は、善良で忠実であると宣言される人ではない。エネルギー、誠実さ、勤勉さを示す労働者、必要なことは何でもやる気のある労働者が必要とされる。 [500]

多く的人是は失敗を恐れて責任を回避することで非効率になります。こうして、読書や勉強、その他の方法で得られるあらゆる利点では得られない、経験から得られる教育を得ることができなくなってしまう。

人間は状況を形作ることができるが、状況が人間を形作らせてはならない。私たちは状況を仕事の道具として捉えるべき

である。私たちは状況を支配するべきであるが、状況に支配されてはならない。権力者とは、反対され、当惑し、妨害された人々です。自分のエネルギーを行動に移すことで、彼らが遭遇する障害は彼らにとって前向きな祝福となります。彼らは自立します。対立と困惑は、神への信頼と、力を育む堅固さを実践することを求めます。

キリストは、決して奉仕を惜しみませんでした。イエスは、自分の仕事を時間で測りませんでした。イエスの時間、心、魂、そして力を、人類の利益のために働かせるために捧げました。イエスは、疲れる日々を労苦に過ごし、長い夜を過ごし、より大きな仕事を行えるよう、恵みと忍耐を求めて祈り続けました。イエス

は、激しく泣き、涙を流しながら、天に嘆願を送りました。それは、イエスの人間性が強められ、あらゆる欺瞞的な働きをする狡猾な敵に立ち向かう覚悟ができ、人類を高めるという使命を果たせるよう強化されたからです。イエスは、自分の働き手に対して、「わたしがしたように、あなたがたもするように、わたしは模範を示した」と語っています。ヨハネ 13:15。

「キリストの愛が私たちを駆り立てます」とパウロは言いました。コリント人への手紙第二 5:14。これが彼の行動の原動力であり、彼の原動力でした。義務の道における彼の熱意が一瞬でも弱まったとき、十字架を一目見るだけで、彼は再び心の腰帯を締め、自己否定の道を突き進

みました。兄弟たちのために働くとき、彼はキリストの犠牲における無限の愛の現れ、そしてその従順で駆り立てる力に大いに頼りました。 [501]

イエスの訴えは、何と真剣で、何と感動的でしょう。「あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っているはずです。キリストは富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられました。それは、あなたがたが、キリストの貧しさによって富む者となるためです。」コリント人への手紙第二第 8 章 9 節。あなたがたは、イエスが身をかがめられた高さ、イエスが下された屈辱の深さを知っています。イエスの足は犠牲の道に入り、命を捧げるまでそれませんでした。天の王座と十字架の間には、イ

イエスに休息はありませんでした。イエスは人への愛ゆえに、あらゆる侮辱を受け入れ、あらゆる虐待に耐えられました。パウロは私たちに「おのこの自分のことばかりでなく、おのこの他人のことにも目を留めなさい」と勧めています。彼は私たちに「キリスト・イエスにもあった思いを持つように。キリストは神の御姿である方であるのに、神のあり方であることに固執しようとは思わず、かえってご自身を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられました。そして、人としての姿をとって現れ、へりくだって、死にまで、実に十字架の死にまで従われました」と命じています（ピリピ2:4-8）。

パウロは、キリストの屈辱が人々に見られ、理解されることを深く切望していました。彼は、人々が天の威厳によってなされた驚くべき犠牲について考えるよう導かれるなら、利己心は人々の心から追い払われるだろうと確信していました。使徒は、罪人のために救い主がとられた驚くべき謙遜を、ある程度理解できるように、次から次へと点を長々と説明します。彼はまず、キリストが天で父の懐にいた立場に心を向けます。その後、キリストが栄光を捨て、自ら進んで人間の生活の屈辱的な条件に服し、しもべの責任を引き受け、死に至るまで従順になり、最も不名誉で不快で、最も苦痛な十字架の死に至るまで従順になったことを明らかにします。私たちは、感謝と愛、そし

て私たちが自分自身のものではないという事実の深い認識なしに、神の愛のこの素晴らしい現れを熟考できるでしょうか。そのような[502]主人は、不本意で利己的な動機から仕えられるべきではありません。

「あなたがたが知っているように、銀や金のような朽ちる物で贖われたのではないことを」とペテロは言います。ペテロの手紙一第1章18節。ああ、もしこれらが人間の救いを買うのに十分であったなら、「銀も金もわたしのものだ」とおっしゃるお方によって、どれほど容易にそれが成し遂げられたことでしょうか。ハガイ書第2章8節。しかし、罪人は神の子の尊い血によってのみ贖われることができました。この素晴らしい犠牲を認識できず

、キリストの奉仕から身を引く人は、利己心の中で滅びるでしょう。

目的の単一性

キリストの生涯において、すべてはキリストの働き、すなわちキリストが成し遂げるために来られた偉大な贖罪の働きに従属させられました。そして、同じ献身、同じ自己否定と犠牲、神の言葉の要求に対する同じ服従が、キリストの弟子たちにも表れるべきなのです。

キリストを自分の救世主として受け入れる人は皆、神に仕える特権を切望します。天が自分のためにしてくださったことを思い巡らすと、その人の心は限りない愛と感謝の念で動かされます。その人は自分の能力を神への奉仕に捧げることで、その感謝の気持ちを表そうとします。

キリストとキリストが買い取って下さった所有物に対する愛を示したいと切望します。その人は労苦、困難、犠牲を切望します。

神のために真に働く者は最善を尽くします。そうすることで主を讃えることができるからです。神の要求を尊重するために正しいことをします。自分の能力をすべて向上させるよう努めます。神に対する義務をすべて果たします。キリストが敬意と完全な奉仕を受けることが唯一の望みです。

鋤と祭壇の間に立つ雄牛の絵があり、その絵には「どちらにも準備万端」と刻まれている。つまり、畝で苦勞するか、犠牲の祭壇に捧げられる準備ができているということだ。これは神の真の子の姿勢

であり、義務が呼ぶところへ進んで行き、自己を否定し、救い主の大義のために犠牲を捧げる姿勢である。 [503]

第43章-より高い経験

私たちは常にキリストの新たな啓示、つまりキリストの教えと調和する日々の経験を必要としています。高く神聖な達成は私たちの手の届くところにあります。知識と徳の継続的な進歩は神が私たちに与えた目的です。神の律法は神自身の声の反響であり、すべての人に「もっと高みに上れ。もっと神聖に、もっと神聖に」という招きを与えています。私たちは毎日、キリスト教徒としての性格の完成へと前進することができます。

主のために奉仕する人々は、多くの人がまだ考えも及ばないほど高く、深く、広い経験を必要としています。すでに神の偉大な家族の一員となっている多くの人

は、神の栄光を見つめ、栄光から栄光へと変えられることが何を意味するのかほとんど知りません。多くの人々はキリストの素晴らしさを薄れつつも認識し、その心は喜びに震えます。彼らは救い主の愛をより完全で深い感覚で感じたいと切望しています。これらの人々は、魂が神を慕うあらゆる願いを大切にしてください。聖霊は、働かされる人々とともに働き、形作られる人々を形作り、形作られる人々を形作ります。霊的な考えと聖なる交わりの文化を身に付けてください。あなた方は、神の栄光の夜明けのほんの最初の光を見たに過ぎません。主を知るために歩み続けると、「義人の道は夜明けの光のようで、いよいよ輝きを増して真

昼となる」ということを知るでしょう。
箴言 4:18、RV、欄外。

「わたしがこれらのことをあなたたちに話したのは、わたしの喜びがあなたたちのうちにとどまり、あなたたちの喜びが満たされるためである」とキリストは言いました。ヨハネ15:11。

キリストは、常に自らの使命の結果を目の当たりにしていました。苦勞と自己犠牲に満ちた地上での生涯は、この苦勞がすべて無駄になることはないという考えによって励まされました。人々の命のために自らの命を捧げることで、キリストは人類に神の似姿を回復させようとされました。キリストは私たちを塵から引き上げ、キリスト自身の性格の型に従って

人格を作り直し、キリスト自身の栄光でそれを美しくしようとされました。

キリストは、自分の魂の苦しみを見て、満足しました。永遠の広がりを見て、自分の屈辱を通して赦しと永遠の命を受け人々の幸福を見ました。彼らの罪のために傷つけられ、彼らの咎のために打ち砕かれました。彼らの平和のための懲罰が彼に与えられ、彼の傷によって彼らは癒されました。彼は、贖われた人々の叫び声を聞きました。彼は、贖われた人々がモーセと小羊の歌を歌うのを聞きました。最初に血の洗礼を受けなければならなかったにもかかわらず、世の罪が彼の無垢な魂に重くのしかかり、言い表せない悲しみの影が彼にかかっていたにもかかわらず、彼は自分の前に置かれた喜び

のために十字架に耐えることを選び、恥辱を軽蔑しました。

この喜びは主に従う者全員が共有すべきものです。来世がいかに偉大で栄光に満ちたものであっても、私たちの報酬は最終的な解放の時まですべて取っておかれるものではありません。私たちは今ここでも信仰によって救い主の喜びにあずかることができます。モーセのように、私たちは目に見えないものを見ているように耐えなければなりません。

今、教会は戦闘的です。今、私たちは、ほとんど完全に偶像崇拝に陥った暗闇の世界に直面しています。 [505] [506] しかし、戦いが終わり、勝利を得る日が来ます。神の意志は、天で行われるのと同じように、地上でも行われます。救われ

た国々は、天の法以外の法を知りません。すべては、賛美と感謝の衣、つまりキリストの義の衣をまとった、幸福で団結した家族になります。すべての自然は、その並外れた美しさで、神に賛美と崇拝の捧げ物を捧げます。世界は天の光に浸されます。月の光は太陽の光のようになり、太陽の光は今よりも7倍強くなります。年月は喜びのうちに過ぎていきます。その光景の中で、明けの明星は共に歌い、神の子たちは喜びの叫びを上げ、神とキリストは「もはや罪はなく、もはや死はない」と宣言して団結します。神の手によって描かれた未来の栄光の光景は、神の子供たちにとって大切なものであるはずです。

永遠の入り口に立って、この世でキリストに協力し、キリストのために苦しむことを特権と名誉とみなした人々に与えられる恵み深い歓迎を聞いてください。天使たちとともに、彼らは救い主の足元に冠を投げ、叫びました。「ほふられた小羊は、力と富と知恵と力と誉れと栄光と祝福を受けるにふさわしい。…誉れと栄光と力が、玉座に座しておられる方と小羊とに、世々限りなくありますように。」黙示録 5:12, 13。

そこで、救われた者たちは、高められた救世主のもとへ導いてくれた者たちに挨拶する。彼らは、人類が神の命に匹敵する命を得られるよう命を捧げた主を賛美して団結する。争いは終わった。すべての苦難と争いは終わった。救われた者た

ちが神の玉座の周りに立つと、勝利の歌が全天に響く。全員が「ほふられ、私たちを神のもとへ救い出してくださった小羊こそふさわしい」という喜びの歌を歌う。

「わたしは見ていると、見よ、あらゆる国民、部族、民族、言葉の民のうちから、数えきれないほどの大群衆が、白い衣をまとい、手にしゅろの枝を持ち、御座と小羊の前に立って、大声で叫んで言った。『御座にいますわれらの神と小羊に救いがあらんことを。』」黙示録 7:9, 10。

「彼らは大きな患難を逃れてきた者たちで、その衣を小羊の血で洗って白くした。それで、彼らは神の御座の前におり、昼も夜もその聖所で神に仕えている。御

座にいますかたが彼らの間に住まわれる。彼らはもはや飢えることも渴くこともない。太陽も暑さも彼らを照らすことはない。御座の真ん中にいます小羊が彼らを養い、いのちの水の泉に導き、神は彼らの目から涙をすっかりぬぐいにとって下さるであろう。」 「もはや、死はなく、悲しみ、叫び、痛みもない。先のものが、すでに過ぎ去ったからである。」 黙示録7:14-17; 黙示録21:4。

私たちは、目に見えないものに対するこのビジョンを常に心に留めておく必要があります。そうすることで、永遠のものと時間のものの正しい価値を見定めることができるようになります。これが、より高次の人生に向けて他の人々に影響を与える力を与えてくれるのです。

神とともに山に

「わたしのもとに山に登りなさい」と神は私たちに命じます。モーセは、イスラエルを救う神の道具となる前に、山奥で神と40年間交わる務めを負っていました。ファラオに神のメッセージを届ける前に、モーセは燃える柴の中の天使と話しました。神の民の代表として神の律法を受ける前に、モーセは山に呼ばれ、神の栄光を目にしました。偶像礼拝者たちに正義を執行する前に、モーセは岩の裂け目に隠れ、主はこう言われました。「わたしはあなたの前に主の名を唱えよう。慈悲深く、恵み深く、怒るのにおそく、慈しみと真実に満ちている。…しかし、それによって罪人を無罪にすることは決してできない。」出エジプト記33:19; 34

:6, 7、ARV モーセが自分の命とイスラエルの重荷を下ろす前に、神は彼をピスガの頂上に呼び、約束の地の栄光を彼の前に広げました。

弟子たちは宣教に出発する前に、イエスとともに山に召されました。ペンテコステの力と栄光の前に、[509]救い主との聖餐の夜、ガリラヤの山での出会い、天使の約束によるオリーブ山での別れの場面、そして上の部屋での祈りと聖餐の日々がありました。

イエスは、大きな試練や重要な仕事に備えるとき、山奥の静かな場所に行き、父なる神に祈りを捧げて夜を過ごしました。使徒の叙任と山上の垂訓、変容、裁きの場と十字架での苦しみ、そして復活の

栄光の前に、一晩の祈りが捧げられました。

祈りの特権

私たちも、瞑想と祈り、そして霊的なリフレッシュを得るための時間を設けなければなりません。私たちは祈りの力と効能を、本来あるべきほど高く評価していません。祈りと信仰は、地上のいかなる力も成し遂げられないことを成し遂げます。あらゆる点で、私たちが同じ立場に二度置かれることはめったにありません。私たちは常に、過去の経験が十分な指針とならないような、新しい場面や新しい試練を乗り越えなければなりません。私たちは神から来る絶え間ない光を必要とします。

キリストは、その声に耳を傾ける人々に常にメッセージを送っています。ゲッセマネの苦しみの夜、眠っている弟子たちはイエスの声を聞きませんでした。彼らは天使たちの存在をぼんやりと感じていましたが、その光景の力と栄光は感じられませんでした。眠気と昏睡状態のため、彼らは目の前の恐ろしい光景に対して魂を強くするはずの証拠を受け取ることができませんでした。このように、今日、神の教えを最も必要としている人々でさえ、天国との交わりを持っていないために、しばしば神の教えを受け取れないのです。

日々私たちがさらされる誘惑のために、祈りは必要不可欠です。危険はあらゆる道に付きまといまいます。悪と破滅から他人

を救おうとする人々は、特に誘惑にさらされます。悪と常に接触している彼らは、自分自身が墮落しないように、神にしっかりとつかまっている必要があります。高く神聖な地から低いレベルに人を導く段階は短く、決定的です。一瞬のうちに、その人の状態を永遠に決める決定が下されることがあります。一度でも克服できないと、魂は無防備なままになります。一つの悪い習慣も、しっかりと抵抗しなければ、鋼鉄の鎖のように強くなり、人全体を縛ります。

誘惑の場で多くの人が独りぼっちになってしまうのは、彼らが常に主を前にしていないからです。神との交わりが断たれると、私たちの防御は失われてしまいます。善い目的や善意のすべてが悪に抵抗

できるわけではありません。あなた方は祈りの男女にならなければなりません。あなたの祈りは弱々しく、時折、断続的なものでなく、真剣で、粘り強く、絶え間なく続けなければなりません。祈るために常に膝をかがめる必要はありません。一人でいるとき、歩いているとき、日々の仕事で忙しいときに、救い主と話す習慣を養いなさい。助け、光、力、知識を求めて、心は常に静かに祈り求めなさい。すべての呼吸を祈りにしましょう。神のために働く者として、私たちは、暗闇に包まれ、悪徳に陥り、腐敗に染まった人々のところに手を差し伸べなければなりません。しかし、私たちの太陽であり盾である神に心を留めている限り、私たちを取り巻く悪は私たちの衣服に一片

の汚れももたらしません。私たちが滅びようとしている魂を救うために働くとき、神を信頼するなら、私たちは恥をかくことはありません。心にキリスト、命にキリスト、これが私たちの安全です。キリストの存在の雰囲気は、すべての悪に対する嫌悪で魂を満たします。私たちの精神は、考えと目的において神と一体となるほど、神と一体となることができます。

信仰と祈りを通して、ヤコブは弱さと罪の人から神の王子となりました。こうして、あなた方は高貴で神聖な目的を持ち、気高い人生を送る男女となり、いかなる理由があっても真実、正義、公正から揺らぐことのない男女となるのです。すべての人は差し迫った心配事、重荷、義

務に追われていますが、あなたの立場が困難であればあるほど、また重荷が重ければ重いほど、イエス様が必要になります。

神への公の礼拝を怠るのは重大な過ちです。神への奉仕の特権を軽視すべきではありません。病人の世話をする人々は、こうした特権を享受できないことがよくありますが、礼拝堂から不必要に離れないように注意すべきです。

病人に奉仕する場合、単に世俗的な仕事以上に、仕事を行う際の献身と自己犠牲の精神が成功の鍵となります。責任を担う者は、神の霊に深く感銘を受ける場所に身を置く必要があります。あなたがたは、他の人よりも信頼される立場にあるのと同じくらい、聖霊の助けと神を知る

知識を他の人よりも熱心に求めるべきです。

神との交わりの実際的な結果以上に、私たちの仕事に必要なものではありません。私たちは日々の生活で、救い主の中に平安と安らぎがあることを示すべきです。心の平安は顔に輝きます。それは声に説得力を与えます。神との交わりは人格と生活を高貴にします。人々は、最初の弟子たちと同じように、私たちがイエスと共にいたことを知るでしょう。これは、働く人に他の何物も与えることのできない力を与えます。彼はこの力を奪われてはなりません。

私たちは、考えと行動、静かな祈りと真剣な仕事という二重の人生を送らなければなりません。神との交わりを通して得

られる力は、思慮深さと気配りを身につけるよう心を訓練する真剣な努力と結びつき、日々の義務を果たす準備を整え、どんなに困難な状況でも精神を平穩に保ちます。

神の助言者

困ったとき、多くの人々は、地上の友人に頼らなければならないと考え、困惑を打ち明け、助けを求めます。困難な状況下では、不信仰が心を満たし、道は暗く見えます。しかし、常に彼らのそばには、万世の偉大な助言者が立っていて、彼に信頼を置くように招いています。重荷を負う偉大なイエスは、「私のところに来なさい。そうすれば、私はあなたに休息を与えよう」と言っています。私たちは、私たち自身と同じように神に依存して

いる不確かな人間に、彼から離れて行くべきでしょうか。 [513]

仕事の偉大さに比べると、自分の性格の欠陥や能力の小ささを感じるかもしれません。しかし、たとえ人間に与えられた最高の知性を持っていたとしても、仕事には十分ではないでしょう。「わたしを離れては、あなたがたは何事もすることができない」と、私たちの主であり救い主は言っています。ヨハネ15:5。私たちのすることの結果はすべて神の手の中にあります。何が起ころうとも、揺るぎない確信をもって神をつかみなさい。

仕事であれ、余暇の付き合いであれ、生涯の友であれ、あなたが結ぶすべての関係は、真剣で謙虚な祈りをもって始めなさい。そうすれば、あなたが神を敬って

いることを示し、神もあなたを敬ってくださいます。気落ちしているときは祈りなさい。落胆しているときは、人々に対して口を閉ざし、他人の行く末を邪魔せず、すべてをイエスに打ち明けなさい。助けを求めて手を伸ばしなさい。弱っているときは、無限の力をつかみなさい。謙虚さ、知恵、勇気、信仰の増大を求めなさい。そうすれば、神の光の中に光を見、神の愛を喜ぶことができるでしょう。

奉献； 信頼

謙虚で悔い改めの気持ちを持つとき、私たちは神が私たちにご自身を現すことができる立場に立つことができます。神は、私たちが過去の慈悲と祝福を、より大きな祝福を授ける理由として訴えるとき

、喜んでくださいます。神は、神を完全に信頼する人々の期待をはるかに超えて満たしてください。主イエスは、神の子供たちに何が必要か、私たちが人類の祝福のためにどれほどの神の力を用いるか、よくご存じです。そして、私たちが他者を祝福し、自分自身の魂を高めるために使うものすべてを、私たちに授けてくださいます。

、自分自身ができることへの信頼を少なくし、主が私たちに代わって、また私たちを通して何ができるかへの信頼をもっと持たなければなりません。あなたは自分の仕事に従事しているのではなく、神の仕事をしているのです。あなたの意志と道を主に委ねてください。少しも遠慮せず、自分自身と妥協しないでください

。キリストにおいて自由であることがどういふことかを知ってください。

安息日ごとに説教を聞いたり、聖書を隅々まで読んだり、一節ずつ説明を聞いたりするだけでは、聖書の真理を個人的な経験に取り入れない限り、私たち自身にも、私たちの話を聞く人たちにも何の役にも立ちません。理解、意志、感情は、神の言葉の支配に委ねられなければなりません。そうすれば、聖霊の働きを通して、言葉の教えが人生の原則となるでしょう。

主に助けを求めるとき、主の祝福を受けていると信じて救い主を敬いましょう。すべての力、すべての知恵は私たちの命令で与えられます。私たちに必要なのは、ただ求めることだけです。

神の光の中を絶えず歩んでください。昼も夜も神の性格について瞑想してください。そうすれば、神の美しさを知り、神の善良さを喜ぶでしょう。あなたの心は神の愛を感じて輝きます。永遠の腕に抱かれているかのように高揚するでしょう。神が授けてくださる力と光によって、あなたはこれまで可能だと考えていた以上のことを理解し、達成することができます。

「わたしに留まりなさい」

キリストは私たちにこう命じています。

「わたしにつながれ。そうすれば、わたしもあなたがたにつながろう。枝がぶどうの木につながっていないければ、自分だけでは実を結ぶことができないように、あなたがたもわたしにつながっていない

と実を結ぶことができない。…人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっているなら、その人は多くの実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何一つできないからである。…あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたにつながっていれば、何でも望むものを求めなさい。そうすれば、かなえられる。あなたがたが多くの実を結ぶなら、それによってわたしの父は栄光をお受けになる。そのようにして、あなたがたはわたしの弟子となるのである。」

「父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛した。わたしの愛にとどまりなさい。」

。あなたがたは行って実を結び、 [516]
それは、あなたがたの実が残るためであり、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものは何でも、父があなたがたに与えて下さるためである。」ヨハネ15:4-16。

「見よ、わたしは戸の外に立って、たたいている。だれでもわたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしはその中に入って彼と食を共にし、彼もまたわたしと食を共にするであろう。」ヨハネの黙示録3:20。

「勝利を得る者には、隠されたマナを食べさせ、また白い石を与える。その石には新しい名が記されている。それを受け取る者のほかは、だれもその名を知ることはない。」ヨハネの黙示録 2:17。

「勝利を得る者には、わたしは明けの明星を与えよう。」 「そして、わたしは彼の上にわたしの神の名と、わたしの神の都の名とを書き記そう。…わたしは彼の上にわたしの新しい名を書き記そう。」
26-28節； 3:12。

「私がやっていることはこれだけです」
神を信頼する者はパウロと共にこう言うことができるでしょう。「私を強くして下さるかたによって、私は何事でもできる。」 ピリピ人への手紙 4:13、RV 過去のどんな過ちや失敗も、神の助けによって乗り越えられるでしょう。使徒と共に私たちはこう言うことができます。

「私はただこの一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、前のものに向かって手を伸ばしながら、キリスト

・ イエスにおいて上に召して下さる神の賞を得るために、目標を目ざして一心に走っているのです。」ピリピ3:13, 14。